はじめに

このたびは、「V601N」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●V601Nをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
●V601Nのボーダフォンライブ！に関する説明は付属のVodafone live!編をご参照ください。
●本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
●本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（☞P16-8）までご連絡ください。
●ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

V601Nは1.5GHzの周波数帯を利用し、ボーダフォンのネットワークに対応した仕様になっております。
V601Nは、日本国外ではご使用になれません。

ご注意

・本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
・本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先（☞P16-8）までご連絡ください。
・乱丁、落丁はお取り替えいたします。

付属品・オプション品について

付属品 （オプション品としても取り扱いしております） ※ストラップを除く。	オプション品
■ 電池パック （NEBK01） ■ V601N 急速充電器 （NECK01） ■ 卓上ホルダー （NEEK01） ■ TV アンテナ付きステレオイヤホンマイク （NELK01） ■ ライン入力ケーブル （NEPK01） ■ 接写 de レンズ （NEPJ01） ■ ストラップ（非売品）	■ V601N シガーライター充電器 （NEJK01）

※ 付属品、オプション品につきましては、お問い合わせ先（☞P16-8）までご連絡ください。

安全上のご注意

■製品を安全にご使用いただくため､｢安全上のご注意｣をご使用の前によくお読みください。お読みになったあとは、必要なときにご覧になれるよう大切に保管してください。

■ここに示した説明事項は､お使いになる人や他の人への危害､財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので､必ずお守りください。

絵表示について　この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

この絵表示は、禁止の行為であることを告げるものです。

この絵表示は､行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

この絵表示は､電源プラグを必ずコンセントから抜いていただく内容を告げるものです。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、メモリの消失､その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害について、当社はその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠危　険

■ V601N、電池パック、充電用機器の取り扱いについて(共通)

●V601Nに使用する機器※は当社が指定したもの以外は使用しないでください。指定品以外のものを使用した場合は、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

※指定電池パック、指定充電用機器（急速充電器、卓上ホルダー、シガーライター充電器）については、「付属品・オプション品について」（☞Pii）を確認してください。

●V601N、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク、ライン入力ケーブル、接写deレンズ、電池パック、急速充電器、卓上ホルダー、シガーライター充電器を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。漏液、発熱、破裂、発煙、発火、変形の原因となります。

■ 電池パックの取り扱いについて

●電池パックをV601Nに接続するときに、うまく接続できない場合は、無理に接続しないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。電池パックは向きを確かめてから接続してください。

●分解、改造をしないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

●電池パックをぬらさないでください。水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取り扱いに注意してください。

●電池パックをご使用の際は、次のことは絶対にしないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

・火の中に投下しないでください。
・直接はんだ付けしないでください。
・電池パックの端子を針金などの金属類で接続しないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
・釘を刺したり、ハンマーでたたいたり踏み付けたりしないでください。

●電池パック内部の液が目に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の診療を受けてください。失明などの原因となります。

⚠警　告

■ V601N、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

●強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

●ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れのある場所では使用しないでください。プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

●電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、V601Nや充電用機器を入れないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、V601N、充電用機器の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

●直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、機器の変形、故障の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

■ 電池パックの取り扱いについて

●所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

●電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、V601Nから取り外し、使用しないでお問い合わせ先（☞P16-8）までご連絡ください。そのまま使用すると、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

●電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で洗い流してください。皮膚に傷害を起こす原因となります。

●電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざけてください。漏液した溶解液に引火し、発火、破裂の原因となります。

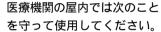
⚠警　告

■ 医用電気機器の近くでのＶ６０１Ｎの取り扱いについて

ここで記載している内容は､｢医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［旧不要電波問題対策協議会］［平成９年４月]）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成１３年３月「社団法人　電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

●植込み型心臓ペースメーカ及び植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカなどの装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

●満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、Ｖ６０１Ｎの電源を切るようにしてください。電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

●医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

・手術室､集中治療室（ICU)､冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはＶ６０１Ｎを持ち込まない。

・病棟内では、Ｖ６０１Ｎの電源を切る。

・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は､Ｖ６０１Ｎの電源を切る。

・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。

・自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

●自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

⚠警　告

■ Ｖ６０１Ｎの取り扱いについて

●自動車などを運転中に使用しないでください。安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全な場所に停車させてからご使用ください。
歩きながら使用されるときも、周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

●分解、改造をしないでください。火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。指定部分以外の点検・調整・修理は、お問い合わせ先（☞P16-8）までご連絡ください。

●アンテナ、ストラップ、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク、ライン入力ケーブルなどを持ってＶ６０１Ｎを振り回さないでください。本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

●赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

●ライトを人の目に近づけて点灯したり、点灯中に直視したりしないでください。視力障害の原因となることがあります。また、目がくらんだり突然の光に驚くなどして、事故の原因になることがあります。

●高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、Ｖ６０１Ｎの電源を切ってください。電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

⚠警　告

●航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、V601Nの電源を切ってください。電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

●屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、アンテナをV601Nに収納し、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。落雷、感電の原因となります。

●心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

●医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。V601Nは折り畳み式のため、閉じた状態を検出するために磁石を使用しています。V601Nを医用電気機器などの近くで使用しますと、磁石の影響で医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

●イヤホンマイクを使用しているときの歩行中に音量を上げ過ぎないでください。周囲の音が聞こえにくくなり、事故の原因となることがあります。

■ 充電用機器の取り扱いについて

●急速充電器は必ずAC100Vを使用してください。誤った電圧で使用すると、火災、故障の原因となります。

●分解、改造をしないでください。感電、火災、故障の原因となります。指定部分以外の点検・調整・修理は、お問い合わせ先（☞P16-8）までご連絡ください。

●シガーライター充電器はマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。火災の原因となります。

●電源コードが傷んだら、使用しないで、お問い合わせ先（☞P16-8）までご連絡ください。そのまま使用すると、感電、発煙、火災の原因となります。

⚠警　告

●シガーライター充電器は必ず指定された電圧（DC12V・24V）の車両で使用してください。誤った電圧で使用すると、火災、故障の原因となります。

●シガーライター充電器のヒューズが万一切れたときは、必ず指定のヒューズを使用してください。誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

●充電用機器をぬらさないでください。水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取り扱いに注意してください。

●万一水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントや、シガーライターソケットからプラグを抜いて、お問い合わせ先（☞P16-8）までご連絡ください。そのまま使用すると、感電、発煙、火災の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●ぬれた手で充電用機器、電源コードやコンセントに触れないでください。感電の原因となります。

●充電中は、充電用機器を不安定な場所に置かないでください。また、布や布団で覆ったり包んだりしないでください。V601Nが外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

●コンセントやシガーライターソケットにつながれた状態で充電端子やコネクター端子をショートさせないでください。また、充電端子やコネクター端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。火災、故障、感電、傷害の原因となります。

●急速充電器や卓上ホルダーは、ふろ場など湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。感電の原因となります。

●プラグに付いたほこりはふき取ってください。火災の原因となります。

●急速充電器をコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。感電、ショート、火災の原因となります。

⚠警　告

■ テレビ視聴時の取り扱いについて

●テレビを使用中にＶ６０１Ｎを長時間直接肌に触れさせないでください。Ｖ６０１Ｎが熱くなり、皮膚へ影響を与えることがあります。

■ 接写 de レンズの取り扱いについて

●接写 de レンズを通して太陽や強い光を見ないでください。目を傷める危険性があります。

●接写 de レンズは乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込む危険性があります。また、けがなどの原因となります。

⚠注　意

■ V601N、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

●湿気やほこりの多い場所、また高温となる場所には保管しないでください。故障の原因となります。

●ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。落下して、けがや故障の原因となります。

●子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかを注意してください。けがなどの原因となります。

●乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

■ 電池パックの取り扱いについて

●一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは端子にテープなどを貼り、絶縁してから当社窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

■ V601Nの取り扱いについて

●自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあるため、自動車内で使用する際は、十分な対電磁波保護がされているか、自動車販売店にご確認ください。安全走行を損なう原因となります。

●ストラップ、接写deレンズ、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク、ライン入力ケーブルなどを挟んだまま、V601Nを折り畳まないでください。故障、破損の原因となります。

●磁気カードなどをV601Nに近づけたり、挟んだりしないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

⚠注　意

●人の多い場所では使用しないでください。アンテナが他の人に当たり、けがの原因となります。

●V601Nをぬらさないでください。水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取り扱いに注意してください。

●ズボンやスカートの後ろポケットにV601Nを入れたまま、いすなどに座らないでください。また、かばんの底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。故障、破損の原因となります。

●アンテナが破損したまま使用しないでください。肌に触れるとやけどなど、けがの原因となります。

●万が一ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した場合は、割れたガラスなどにご注意ください。ディスプレイ部やカメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた切断面などに触れますとけがの原因となります。

●内蔵カメラのレンズや接写deレンズに太陽光などの強い光が進入する状態で長時間放置しないでください。レンズの集光作用により、火災、故障の原因となります。

●TV アンテナ付きステレオイヤホンマイク、ライン入力ケーブルを端子から抜く場合はコード部分を引っ張らず、プラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが傷付き感電、火災の原因となります。

●テレビや Java™ アプリのご利用時などはイヤホンをつけたまま大きな音で長時間聞かないでください。
耳を刺激するような大きな音で長時間聞くと、聴力に悪い影響を与える場合があります。

●テレビの音声をイヤホンで聞いているときは、はじめから音量を上げすぎないでください。突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。
特に、電波状態が悪いときは大きな雑音が入ることがありますので、ご注意ください。

⚠注　意

●お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などを生じることがあります。そのような場合は、直ちに使用をやめ医師の診療を受けてください。

使用箇所	材質	表面処理
アンテナ	ABS 樹脂 黄銅 ナイロン 黄銅	― クロムメッキ（下地：ニッケル） ― ニッケルメッキ
外装ケース （イメージウィンドウ面、電池面）	ABS 樹脂	アクリル系 UV 硬化塗装
フロントケース全体（表示操作面）	マグネシウム合金	アクリル系焼き付け塗装
背面ロゴプレート	アルミニウム	アルマイト処理
イルミネーションウィンドウ　スクリーン	アクリル樹脂	アクリル系 UV 硬化樹脂
赤外線ポート	PC 樹脂	アクリル系 UV 硬化塗装
着信ランプレンズ	PC 樹脂	―
モバイルライトレンズ	アクリル樹脂	―
カメラレンズ	アクリル樹脂	アクリル系 UV 硬化樹脂
レンズカバー枠	ニッケル	クロムメッキ
メインディスプレイ　スクリーン	アクリル樹脂	アクリル系 UV 硬化樹脂
ネジキャップ（メインディスプレイ部）	シリコーンゴムフィルム	―
マルチセレクター	ABS 樹脂	クロムメッキ（下地：ニッケル）
メモリダイヤルボタン	ABS 樹脂	クロムメッキ（下地：ニッケル）
ボーダフォンライブ！ボタン、メールボタン、クリアボタン、ダイレクトボタン	PC 樹脂	アクリルウレタン系 UV 硬化塗装
ダイヤルボタン、電源ボタン、開始ボタン	PC 樹脂	―
サイドボタン	ABS 樹脂	―
ヒンジキャップ	ABS 樹脂	―
イヤホンマイク端子、外部接続端子カバー	エラストマー樹脂	―
ネジキャップ（ストラップ付近）	シリコーンゴム	―
ネジ（電池パック収容部）	鉄	三価クロムクロメート処理
充電端子	リン青銅	金メッキ
TV アンテナ付きステレオイヤホンマイク	ポリエステルエラストマー樹脂 ABS 樹脂 PC 樹脂	― ― ―

⚠注　意

■ 充電用機器の取り扱いについて

●シガーライター充電器はエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる原因となります。

●電源コードの上に重いものを載せないでください。感電や火災の原因となります。

●充電終了後は、コンセントやシガーライターソケットからプラグを抜いてください。火災、故障の原因となります。

●清掃する際には、必ずコンセントや、シガーライターソケットからプラグを抜いてください。感電の原因となります。

●充電器をコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となります。

■ 接写 de レンズの取り扱いについて

●ストラップを持って振り回さないでください。本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

●接写 de レンズを磁気カードなどに近づけないでください。フロッピーディスク、キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカードなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

お願いとご注意

■ ご利用にあたって

● Ｖ６０１Ｎは電波を使用しているため、電波の弱いところ、およびサービスエリア外ではご使用になれません。また、サービスエリア内であっても、ビルの陰、ビル内、トンネル、地下、山間部など、電波の弱いところ、電波の届かないところでは、ご使用になれません。また、通話中にこのような場所へ移動する場合、通話が途切れることがありますのであらかじめご了承ください。

● 電車の中や人の多い場所、静かな場所でのご使用は、周囲の方の迷惑にならないように注意してください。

● イヤホンをご使用中に音量を上げすぎないでください。音が外に漏れてまわりの人の迷惑になることがあります。

● 電車などの交通機関内で使用した場合、まれに電車などに搭載されている電子機器に影響を与える場合がありますので注意してください。

● 事故や故障などによりＶ６０１Ｎに登録したデータ（メモリダイヤル・画像・サウンドなど）が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切なメモリダイヤルなどのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。

● Ｖ６０１Ｎは電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

● Ｖ６０１Ｎの時刻表示はあくまでも目安です。正確な時刻を確認したい場合は、時報サービスなどによって確認してください。

● 次のような場合は電話がつながらなかったり、雑音が入ることがあります。
  - ・製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。正常に動作しないことがあります。
  - ・金属製家具などの近くは避けてください。電波が飛びにくくなります。
  - ・電気製品・ＡＶ・ＯＡ機器などの磁気を帯びているところや磁波が発生しているところに置かないでください。（コンピュータ、電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
  - ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります。特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。

・放送局や無線局などが近く雑音が大きいときは、V601Nを移動してみてください。電波が強すぎるときはV601Nが使用できないことがあります。
・トラックや車、オートバイが近くを通ったとき、雑音が入る場合があります。

● **傍受にご注意ください。**

V601Nは、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられた場合には、第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえでご使用ください。

傍受（ぼうじゅ）とは

無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

■ お取り扱いについて

● 水をかけないでください。V601N、電池パック、充電用機器、TV アンテナ付きステレオイヤホンマイク、ライン入力ケーブルは防水仕様にはなっておりません。ふろ場など、湿気の多い場所や、雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また、シャツの胸ポケットに入れるなど身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。

● お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。ぬれたぞうきんなどでふくと、故障の原因となります。また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などでふくと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

● 端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電用機器では正常に充電できない場合があります。

● エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。急激な温度の変化により結露し、内部が腐食する原因となります。

● V601Nに無理な力がかかるような場所に置かないでください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ると、ディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。

● 極端な高温・低温は避けてください。温度は5℃～40℃、湿度は35%～85%の範囲でお使いください。

● 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますのでなるべく離れた場所でご使用ください。

- V601Nの電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので注意してください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 通常はイヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップをはめた状態でご使用ください。ほこり、水などが入りやすくなり、故障の原因となります。

■ 著作権などについて

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。
V601Nを使用して複製などを行う場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、V601Nにはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

目　次

5 テレビ

14 オプションサービス

15 Abridged English Manual

16 付録

ご利用になる前に

V601Nの便利な機能

マナーモード
周囲の迷惑にならないように、音／バイブレータの設定ができます。

P2-14、8-13

メモリダイヤル
500件まで登録できます。1件のメモリダイヤルには、電話番号とE-mailアドレスを各3件まで登録することができます。

P4-1

マイコール・マイメール
メモリダイヤルに登録されている相手ごとに着信音や着信ランプの色などを設定することができます。

P4-9

テレビ
V601Nのメインディスプレイでテレビ映像を見ることができます。また、外部の機器からの映像を表示したり、表示中の画面を録画することもできます。

P5-1

モバイルカメラ
静止画や動画などを撮影することができます。

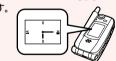
P6-1

待受画面表示
待受中の画面の内容や背景画像を設定することができます。

P7-3

壁紙設定
待受中に（PWR HLD）を押すと、壁紙が表示されます。2種類の壁紙が一定時間ごとに交互に表示されるように設定することもできます。

P7-6

イメージウィンドウ
イメージウィンドウに時計や画像を表示させることができます。また、モバイルカメラのファインダーとしても使用できます。

P6-15、7-16

Language（日本語／英語）
ディスプレイの表示を英語に切り替えることができます。

P7-31

ワン切り設定
メモリダイヤルに登録していない相手からの電話は、最初の何秒間か着信音が鳴らないように設定できるので、すぐ切れてしまう迷惑電話にもわずらわされません。

P8-18

セキュリティ
無断で他の人が使えないようにするなど、いろいろなセキュリティ機能があります。

P9-1

オフラインモード
電波を送受信しないように設定できます。

P9-18

スケジュール設定

指定した日時に音と文字でスケジュールを通知するように設定したり、独自の休日や記念日を登録することができます。

P10-2

ユーザ辞書登録・ライブラリ登録

文字を入力するときによく使う単語やメッセージを登録することができます。

P10-89、10-93

データフォルダ

画像やサウンドなどのデータをまとめて管理することができます。

P11-2

赤外線通信機能

メモリダイヤルやオーナー情報、スケジュールなどを赤外線で送受信することができます。

P11-50、11-53

録音／再生機能

電話に出られないときに相手のメッセージを録音したり、メモ代わりに声を録音することができます。

P13-2、13-12

ショートカット

よく使う機能を10件まで登録して、簡単に呼び出すことができます。

P1-17、13-15

リモコン

V601Nをテレビ、ビデオ、DVD、カラオケなどのリモコンとして使うことができます。

P13-32

バーコード機能

V601Nのモバイルカメラでバーコードから読み取った情報を使って、簡単にURLにアクセスしたりメールを送ったりすることができます。

P13-46

ボーダフォンライブ！

メール、ウェブ、Java™、ステーションの各機能に対応しています。

Vodafone live!編

オプションサービス

かかってきた電話を指定した電話に転送します。

P14-3

圏外などで電話に出られないとき、留守番電話センターでメッセージをお預かりします。

P14-6

通話中にかかってきた別の電話に応答できます。

P14-15

通話中に別の相手を呼び出して3人で同時に通話できます。

P14-18

□の部分は、おすすめ機能です。

各部の名称と機能

■ 本体

レシーバー（受話口）
相手の声がここから聞こえます。

メインディスプレイ
現在の状況やメッセージなどを表示します（☞P1-6）。

着信履歴ボタン ▲（側面）
電話を受けるときや通話中に受話音量を上げるとき、着信履歴の表示やオフラインモードの設定／解除などに使用します。また、機能メニューや一覧画面などの表示中にページを切り替えることができます（☞P1-9）。

メモ／シャッターボタン ▼（側面）
電話を受けるときや通話中に受話音量を下げるとき、モバイルカメラで撮影するときなどに使用します。また、機能メニューや一覧画面などの表示中にページを切り替えることができます（☞P1-9）。

リダイヤル／クリアボタン
以前にかけた電話番号に再度かけるときや、入力した電話番号や文字を消去するときなどに使用します。また、操作中や設定操作中に1つ前の状態へ戻すときに使用します（☞P1-8）。

開始ボタン
電話をかけるときや受けるときに使用します。

ダイヤルボタン
電話番号や文字の入力を行うときなどに使用します。

イヤホンマイク端子 🎧（側面）
イヤホンマイク（付属品／別売）を接続します。

＊ボタン
「＊」や濁点、半濁点を入力するときに使用します。
また、モバイルカメラ画像の表示を切り替えるときなどに使用します。

＃ボタン
「＃」や句読点、スペースなどを入力するときや、キー操作無効を設定するときに使用します。

ストラップ取り付け穴
付属品のストラップを下図のように取り付けます。

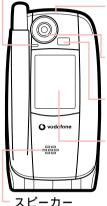
アンテナ

マイク（送話口）
自分の声をここから伝えます。

充電端子
卓上ホルダーに取り付けて充電するときに使用します。

外部接続端子キャップ

外部接続端子
急速充電器や、シガーライター充電器（別売）などを接続します。

着信ランプ
電話がかかってきたときやメッセージを受信したときなどに点滅します。また、充電中には赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。

赤外線ポート
赤外線通信でデータのやりとりを行います。また、リモコン操作時の発信部となります。

モバイルカメラ
ここから撮影した画像がディスプレイに表示されます。

ライト
待受状態のときや撮影時に、照明として使えます。

イメージウィンドウ
不在着信や新着メールなどお知らせや、「着信中」、「応答中」などの現在の状況を表示します（☞P1-6、1-12）。

スピーカー
着信音などが聞こえます。

ソフトキー
メインディスプレイの最下段に表示されている操作／項目を実行／選択するときなどに押します（☞P1-8）。また、次の機能でも使用します。

ボーダフォンライブ！ボタン（左）
ボーダフォンライブ！の各機能を呼び出すときに使用します（☞『Vodafone live!編』）。
また、長く（1秒以上）押すとモバイルカメラを呼び出せます。

メモリダイヤルボタン（中央）
メモリダイヤルを呼び出すときに使用します。
また、長く（1秒以上）押すと不在着信などを確認できます（☞P1-10）。

メールボタン（右）
メールやTVの機能を呼び出すときに使用します（☞P5-6、『Vodafone live!編』）。

マルチセレクター
上下左右の4か所を押すことができます。また、Java™アプリによっては動作時に上下左右に加え右上、右下、左上、左下の8方向への操作ができる場合があります（☞『Vodafone live!編』）。次のように使用します。

◎：変換／上スクロールボタン
漢字変換や音量調節、カーソルを上に移動させるときなどに使用します。押し続けると上方向に連続スクロールさせることができます。

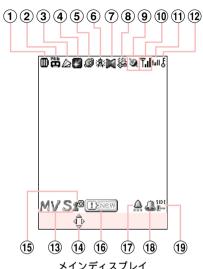
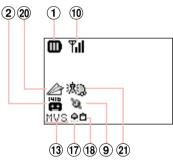
◎：変換／下スクロールボタン
漢字変換や音量調節、カーソルを下に移動させるときなどに使用します。押し続けると下方向に連続スクロールさせることができます。

◎：メニュー／カーソル右ボタン
機能メニューやスケジュールカレンダーを表示させるときや、カーソルを右に移動させるときなどに使用します。また、複数のページを持つ機能メニューや一覧画面などの表示中にページを切り替えることができます。

◎：アシスト／マナー／カーソル左ボタン
アシストダイヤルを呼び出すときやマナーモードを設定／解除するとき、カーソルを左に移動させるときなどに使用します。また、複数のページを持つ機能メニューや一覧画面などの表示中にページを切り替えることができます。

ダイレクトボタン
ショートカット（☞P13-15）の一覧を表示するときに使用します。文字入力時には候補選択モードへの切り替えや改行入力に使用します。

電源／終了ボタン
電源をON／OFFしたり、通話を終了するとき、操作を中止するときなどに使用します（☞P1-8）。また、着信時に押すと応答保留になります。

■ディスプレイ

〈メインディスプレイ〉

〈イメージウィンドウ〉

① **(電池レベル表示)**
電池残量の目安を示します。

② **(メッセージお預かり表示)**
留守番電話センターに新しいメッセージが入っているときに表示されます。

③ **(メール受信表示)[メインディスプレイ]**
未読のメール(スーパーメール以外)があるときに表示されます。

④ **(スーパーメール受信表示)**
未読のスーパーメールがあるときや、メールサーバーにメッセージをお預かりしているときに表示されます。

⑤ **(ウェブ受信表示)**
ウェブ機能で、未読の情報があるときに表示されます。

⑥ **(ステーション受信表示)**
ステーションのマイリストに登録したコンテンツが更新されたときに表示されます。

⑦ **(回線接続中表示)**
メールサーバーと通信しているときや、ウェブでサービスセンターと通信しているときに表示されます。

⑧ **(SSL 通信表示)**
SSL 接続を行っているときに表示されます。

⑨ **Java™起動状態表示**
Java™の起動状態が表示されます。
(Java™起動中)
(Java™一時停止中)

⑩ **(電源 ON 表示)**
サービスエリア内で電源がONのときに表示されます。
(電波状態表示)
電波の強さを表示します。棒の数が多いほど、電波状態が良好です。
(圏外表示)
サービスエリア外または電波の届かない場所にいるときに表示されます。
(オフラインモード表示)
オフラインモードで使用しているときに表示されます。
(赤外線通信中表示)
赤外線通信を行っているときに表示されます。

⑪ **full(メモリフル表示)**
ボーダフォンライブ!で使用できる空きメモリが残り 10%を切ったときに表示されます。

⑫ **(シークレットモード表示)**
点灯:シークレットモードが設定されていることを示します。
点滅:シークレットが設定されているメモリダイヤルや登録データを表示させていることを示します。

⑬ **M(マナーモード表示)**
マナーモードを設定しているときに表示されます。
V(バイブレータ表示)
通常着信時にバイブレータを設定しているときに表示されます。
S(サイレント表示)
通常着信時の着信音量を「サイレント」に設定しているときに表示されます。

⑭ (選択方向表示)
それぞれの方向にカーソル移動や表示内容のスクロールができるときに表示されます。

⑮
(簡易留守録件数表示)
簡易留守録が設定されているときに、録音件数が表示されます。

⑯ (新着あり表示)
確認していない簡易留守録があるとき、不在着信や新着のメール/ウェブ/ステーションのメッセージなどを確認せずに待受画面に戻ったときなどに表示されます。

⑰ (スヌーズ表示)
スヌーズを設定しためざましが起動しているときに表示されます。

⑱ (アラーム表示)
スケジュールやアクションアイテム、めざまし、Java™タイマーを設定した日付になると表示され、設定した時刻が過ぎると消えます。

⑲ (サイドボタン操作無効表示)
折り畳み時、サイドボタンの操作を無効に設定しているときに表示されます。

⑳ (メール受信表示)[イメージウィンドウ]
未読のメールがあるときに表示されます。

㉑ (ウェブ・ステーション受信表示)
ウェブの未読情報や、ステーションのマイリストに登録したコンテンツからの未読情報があるときに表示されます。

補足
- 各ディスプレイのサイズは次のようになっています。
  メインディスプレイ：縦 216 ドット×横 160 ドット
  イメージウィンドウ：縦 80 ドット×横 120 ドット
- イメージウィンドウの待ち受け表示設定で「アナログ 2」を設定すると、左記の表示はされません。
- V601Nのディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、ごくまれに点灯しないドット(点)や常時点灯するドットが存在する場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 偏光機能付きのサングラスをかけたときには、ディスプレイの向きによっては表示が見えなくなることがあります。
- 「イメージウィンドウ」は日本電気株式会社の商標です。

■ マルチセレクターの使いかたについて

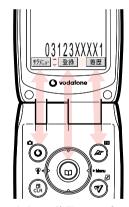
この取扱説明書では、マルチセレクターの使いかたを次のような表記方法で説明しています。

表記例	操作方法
「(Menu)を押す」	マルチセレクターの右を押す (Menu ボタンとして使用する)
「()を押す」	マルチセレクターの左を押す (マナーボタンとして使用する)
「(変換)を押す」	マルチセレクターの上または下を押す (変換ボタンとして使用する)
「でメニューを選択する」	マルチセレクターの上下左右を押してカーソルを移動させ、目的の項目を選択する
「で項目を選択する」	マルチセレクターの上または下を押してカーソルを上下に移動させ、目的の項目を選択する
「でメニューを選択する」	マルチセレクターの左または右を押してカーソルを左右に移動させ、目的の項目を選択する

■ カーソルについて

この取扱説明書では、文字を入力する位置に表示される「■」(反転表示)や「_」をカーソルと呼びます。また、メニューの項目を選択する際に、いずれかの項目が「　」で表示されます。これもカーソルと呼び、現在選択している項目を表しています。
特定の文字を消去したり目的の箇所に入力するとき、または項目を選択するときなどには、◎ ◎ ◎ ◎を押してカーソルを移動させます。選択したい項目にカーソルを移動させることを、この取扱説明書では「選択する」と表現しています。

■ ソフトキーの使いかたについて

メインディスプレイの最下段には、消去 登録のような操作の選択肢や、ON OFFのような設定の選択肢などが表示されます。これらの表示内容を選択するときには、その表示位置に対応するソフトキーを押します。

〈ソフトキーの使用イメージ〉

左の例の操作方法

● サブメニューを選択するとき→◎を押す

● 登録を選択するとき→◎を押す

● 着歴を選択するとき→◎を押す

■ 終了ボタン/クリアボタンの使いかたともどるについて

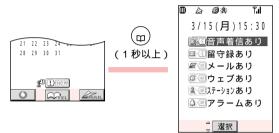
各機能の操作を中止したいときは◎を押します。また、選択した機能によっては、◎を押すと操作途中や設定途中の画面を1つ前の状態に戻すことができます。メインディスプレイにもどるが表示されている場合は、対応するソフトキーを押して戻すこともできます。ただし、これらのボタンを押して操作を終了した場合は、それまで行っていた操作が無効になります。

■サイドボタンの使いかたについて

機　能	操　作	参照ページ
電話を受ける	▲／▼を押す（エニーキーアンサー）	2-10
着信中に簡易留守録を起動する	▲／▼を長く（1 秒以上）押す	2-13
着信履歴を表示する	待受中に V601N を折り畳んだ状態で▲を押す	2-18
テレビでディスプレイの明るさを調節する	映像の表示画面で▲／▼を押す	5-7
モバイルカメラで撮影する	静止画の撮影・動画の撮影開始：V601Nを開いた状態で撮影する画像をファインダーに表示させ、▼を押す	6-5 6-8 6-10
	動画の撮影終了：V601N を開いた状態で撮影中に▼を押す	
イメージウィンドウの表示を切り替える	イメージウィンドウに時計が表示されているとき、待受中に V601N を折り畳んだ状態で▼を繰り返し押す（表示中の状態で固定するときは▲を長く（1 秒以上）押す）	7-26 7-27
	表示固定の解除：表示固定中に▲を長く（1秒以上）押す	7-27
通話中に受話音量を調節する	音量を上げる：▲を押す、音量を下げる：▼を押す	8-2
オフラインモードを切り替える	V601Nを開いた状態で、待受画面表示中に▲を長く（1 秒以上）押す	9-18
簡易留守録・メモを再生する	V601Nを開いた状態で、待受画面表示中に▼を押す	13-5 13-14
ページを切り替える	V601N を開いた状態で、機能メニューや一覧画面、メールの内容画面などを表示中に▲／▼を押す（長く（1 秒以上）押すと連続切り替え）	—

折り畳んだ状態でのサイドボタン操作を無効にすることができます（☞P9-17）。

■ (新着あり表示) について

不在着信の画面で着信履歴を確認せずにを押したときや、確認していない簡易留守録の録音メッセージ（☞P13-2）などがあるときは、待受画面にが表示されます。このときを長く（1秒以上）押すと、確認していない新着情報の内容が表示されます。これらの内容をすべて確認すると、は表示されなくなります。

「音声着信あり」： 選択して（選択）を押すと、着信履歴（☞P2-18）が表示されます。

「留守録あり」： 選択して（選択）を押すと、簡易留守録選択画面（☞P13-5）が表示されます。V601Nを開いた状態でを押して簡易留守録を再生した場合（☞P13-6）も、内容を確認したことになります。

「メールあり」： 選択して（選択）を押し、新着メールを確認してください（☞『Vodafone live!編』）。

「ウェブあり」： 選択して（選択）を押し、ウェブの自動配信の情報を確認してください（☞『Vodafone live!編』）。

「ｽﾃｰｼｮﾝあり」： 選択して（選択）を押し、ステーションの情報を確認してください（☞『Vodafone live!編』）。

「アラームあり」： スケジュール、アクションアイテム、または、めざましが設定されている時刻になったときに、通話中、録音中、通信中などの理由によりアラームが起動しなかった場合に表示されます。選択して（選択）を押すと、どの機能のアラームが起動しなかったのかを確認できる画面が表示されます（☞P10-11、10-36、10-47）。

日付時刻設定（☞P2-4）をしていないときは、「メールあり」および「ウェブあり」の新着情報の確認はできません。

■「END」表示について

メモリダイヤルの検索画面（☞P4-17〜4-21）や着信音パターン選択の画面（☞P8-5）など登録項目や保存項目の一覧画面では、一覧の最後の項目の下に「--- END ---」が表示されます。

■ こんなときにはご利用になれません

●「圏外」の表示が出ているとき
サービスエリア外または電波の届かない場所です。電波の届く場所へ移動してください。

● （オフラインモード）の表示が出ているとき
電波を送受信することができません。オフラインモードを解除してください（☞P9-18）。

● （ダイヤルロック）の表示が出ているとき
操作を行うことができません。ダイヤルロックを解除してください（☞P9-3）。

● （キー操作無効）の表示が出ているとき
操作を行うことができません。#記号を長く（1秒以上）押してキー操作無効を解除してください（☞P9-4）。

●**電池アラーム音が鳴り、「電池が残り少なくなっています～」のメッセージが出ているとき**
電池が切れかかっています。一度充電するか、電池パックの交換を行ってください（☞P1-21～1-26）。

●**「現在電話がかかりにくくなっております」のメッセージが出ているとき**
しばらくたってから、かけ直してください。

■イメージウィンドウの表示について

V601Nを折り畳んだ状態のとき、イメージウィンドウには状態によって次のような画面が表示されます。

●**かかってきた電話に出なかったとき（不在着信）**
▲を押すと電話がかかってきた日付・時刻などが確認できます。V601Nを開いてメインディスプレイで着信履歴を確認するか、CLRまたはPWR HLDを押すと、通常の待受画面に戻ります。

●**確認していない新着メールがあるとき**
受信メールの確認を行うと、通常の待受画面に戻ります（☞『Vodafone live!編』）。

●**不在着信および確認していない新着メールがあるとき**
V601Nを開いてメインディスプレイで着信履歴を確認するか、CLRまたはPWR HLDを押すと、不在着信の表示が消えます。受信メールの確認を行うと、新着メールの表示が消えます。

●**電池残量がなくなったとき**

アラーム音が約10秒間鳴り、約40秒後に電源がOFFされます（☞P1-26）。充電を行ってください。

イメージウィンドウには、V601Nのさまざまな状態を表す画面が表示されます。これらは、V601Nを折り畳んでいても開いていても、同様に表示されます。次に示すのは、状態表示画面の一例です。

着信中

通話中

応答保留中

簡易留守録録音中

スケジュールのアラーム起動中

アクションアイテムのアラーム起動中

めざましのアラーム起動中

赤外線通信中

メール／メッセージ受信中

Java™タイマー起動中

イメージウィンドウが表示固定に設定されている場合は、表示されない画面もあります。「イメージウィンドウの表示をお気に入りの画面に固定する」（☞P7-27）

機能の呼び出しかた

いろいろな機能を利用したり、設定の確認や変更をしたりするときには、各機能の操作画面を表示させます。ここでは、この機能操作画面を呼び出す2通りの方法を紹介します。それぞれの機能の内容や操作方法については、各機能のページを参照してください。
また、機能によっては、サブメニューから呼び出して設定したり、ダイヤルボタンなどを押して項目を選択したりすることができます。

■ アイコンを選んで呼び出す

この取扱説明書で説明している呼び出しかたです。機能分類と各メニュー項目の構造については、「メニューの流れ」（☞P1-18）を参照してください。

例：音／バイブ／ランプ機能グループの「マナーモード設定」の操作画面を表示させる場合

1 ◯（Menu）を押す

メインメニュー画面が表示されます。

◯（Menu）を押しても、着信中や機能操作中などにはメインメニュー画面は表示されません。

2 ◯で呼び出したい機能や機能グループのアイコンを選択する

ここでは、「マナーモード設定」が含まれている（各種設定）を選択します。

3 ◯（選択）を押す

（各種設定）／（ツールBOX）／（ユーザデータ）を選択したときは、機能グループ別のメニュー画面が表示されます。
その他のアイコンを選択したときは、各機能の操作画面や設定画面が表示されます。

4 で呼び出したい機能や機能グループのアイコンを選択する

ここでは（音／バイブ／ランプ）を選択します。

5 （選択）を押す

6 でカーソルを移動し、目的の機能を選択する

ここでは「マナーモード設定」を選択します。

で別の機能グループを選択することもできます。

7 （選択）を押す

機能操作画面が表示されます。

で前後のメニュー番号の画面を表示させることができます。

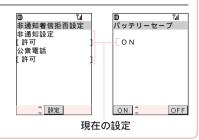
8 設定操作をする

操作を終了し、待受画面に戻るときは、を押します。

通話中はを繰り返し押して通話中画面に戻してください。を押すと通話が切れてしまいます。

現在の設定を確認する

機能によっては、現在の設定が右のように表示されます。
設定状態を確認し、設定を変更する必要がないときには、(PWR HLD)を押すか(CLR)を繰り返し押すと待受画面に戻ります。

現在の設定

■ メニュー番号を入力して呼び出す

各機能の操作説明ページには、メニュー番号のマークが付いています。このメニュー番号を入力して機能を呼び出します。各機能のメニュー番号は「メニューの流れ」(☞P1-18)、「機能メニュー一覧」(☞P16-2)を参照してください。

メニュー番号

例：メニュー28「暗証番号変更」の操作画面を表示させる場合

1 ◯(Menu)を押す

メインメニュー画面が表示されます。

◯(Menu)を押しても、着信中や機能操作中などにはメインメニュー画面は表示されません。

2 メニュー番号のダイヤルボタンを押す

ここでは(2)(8)と押します。
機能操作画面が表示されます。

- ◯で前後のメニュー番号の画面を表示させることができます。
- (CLR)を押すと機能グループ別のメニュー画面が表示されます。

3 設定操作をする

操作を終了し、待受画面に戻るときは（PWR HLD）を押します。

通話中に操作できる機能の場合は、（CLR）を繰り返し押して通話中画面に戻してください。（PWR HLD）を押すと通話が切れてしまいます。

ショートカットから呼び出すには

よく使う機能は、あらかじめショートカット（10件まで）に登録しておくと便利です。待受画面で（　）を押すとショートカットの一覧画面が表示されます。（　）で目的のショートカットを選択し（　）（選択）を押すか、項目番号のダイヤルボタンを押すと、機能操作画面が表示されます。

とくによく使うショートカット1件を、待受画面で（　）を長く（1秒以上）押す（または（　）を2回押す）だけで表示できるように設定することもできます。ショートカットの登録方法については、「よく使う機能をショートカットに登録する」（☞P13-15）を参照してください。

例：ショートカットに「着信音パターン選択」と「待ち受け表示設定」が登録されている場合

■ サブメニューの使いかたについて

（サブメニュー）が表示されている画面で対応するソフトキーを押すと、サブメニューが表示されます。（　）でサブメニュー項目を選択し（　）（選択）を押すと、操作画面を呼び出すことができます。
ただし、利用できる機能は状況によって異なり、利用できない項目は表示されません。

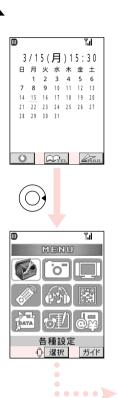
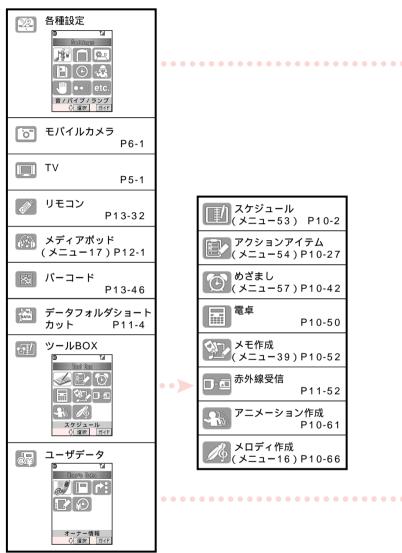
■ 機能ガイダンスについて

（ガイド）が表示されているメニュー画面でアイコンや項目を選択して（　）（ガイド）を押すと、その機能の説明が表示されます。各機能の大まかな内容を知りたいときに利用します。

メニューの流れ

機能のメニューは、以下のような構成になっています。ただし、待受中以外設定操作が行えない機能のアイコンは、通話中には表示されません。

- 各種設定
- モバイルカメラ P6-1
- TV P5-1
- リモコン P13-32
- メディアポッド（メニュー17）P12-1
- バーコード P13-46
- データフォルダショートカット P11-4
- ツールBOX
- ユーザデータ

- スケジュール（メニュー53） P10-2
- アクションアイテム（メニュー54）P10-27
- めざまし（メニュー57）P10-42
- 電卓 P10-50
- メモ作成（メニュー39）P10-52
- 赤外線受信 P11-52
- アニメーション作成 P10-61
- メロディ作成（メニュー16）P10-66

※1： 通話中も設定できる機能（ただし、「オーナー情報」の編集はできません。）
※2： 北海道／東北・新潟／北陸／中国／四国／九州・沖縄の各地域でご契約の方は、転送呼出・留守番呼出「なし」を現在ご利用いただけません。
※3： 北海道／東北・新潟／北陸／中国／四国／九州・沖縄の各地域でご契約の方は、現在この機能をご利用いただけません。
※4： 東北・新潟／中国／四国の各地域でご契約の方は、現在この機能をご利用いただけません。

音／バイブ／ランプ

着信音量設定（メニュー11）	P8-3
着信音パターン選択（メニュー10）	P8-5
着信時間設定（メニュー15）	P8-8
バイブレータ設定（メニュー12）	P8-9
効果音設定（メニュー13）　※1	P8-11
マナーモード設定（メニュー43）	P8-13
ワン切り設定（メニュー19）	P8-18
着信イルミネーション設定（メニュー18）	P8-16
未確認通知（メニュー93）	P8-17

画面

画面配色設定（メニュー40）	P7-2
待ち受け表示設定（メニュー44）	P7-3
壁紙設定（メニュー49）	P7-6
マイキャラクター（メニュー97）	P7-9
ウェイクアップ設定（メニュー36）	P7-11
照明設定（メニュー34）	P7-13
フォント切替（メニュー46）	P7-29
Language（メニュー35）	P7-31

録音／再生

簡易留守録設定（メニュー90）	P13-2
簡易留守録再生（メニュー91）	P13-5
メモ選択（メニュー92）	P13-13～13-14

背面LCD

背面LCD（メニュー47）	P7-16

時計

日付時刻設定（メニュー59）　※1	P2-4
自動電源ON（メニュー51）	P13-20
自動電源OFF（メニュー52）	P13-24

付加サービス

留守番センター接続（メニュー77）	P14-8
呼出時間設定（メニュー70）　※4	P14-10
転送呼出（メニュー71）　※2	P14-5
留守番呼出（メニュー72）　※2	P14-7
秘書サービス停止（メニュー73）	P14-12
秘書サービス確認（メニュー74）	P14-13
割り込み設定（メニュー75）　※3	P14-16
割り込み確認（メニュー76）　※3	P14-17
転送先番号登録（メニュー78）	P14-3

禁止

シークレットモード（メニュー22）　※1	P4-13、9-2
ダイヤルロック（メニュー20）	P9-3
オートロック（メニュー21）	P9-5
発信禁止（メニュー24）	P9-6
非通知着信拒否設定（メニュー25）	P9-7
サイドボタン設定（メニュー23）	P9-17
オフラインモード（メニュー94）	P9-18

初期化

設定リセット（メニュー26）	P9-9
メモリオールクリア（メニュー27）	P9-8
オールリセット（メニュー29）	P9-10

etc.
その他

メモリ確認（メニュー31）　※1	P13-28
暗証番号変更（メニュー28）	P9-16
クローズ終話（メニュー41）	P13-9
通話品質アラーム（メニュー38）　※1	P13-8
バッテリーセーブ（メニュー33）	P13-27
文字入力方式（メニュー48）	P3-3
赤外線全件転送（メニュー98）	P11-53

オーナー情報（メニュー0）※1
P2-22、10-80

ユーザ辞書登録（メニュー45）
P10-89

アシスト登録（メニュー42）
P10-85

ライブラリ（メニュー95）
P10-93

通話時間／料金表示（メニュー60）
P2-20

暗証番号について

V601Nをご利用するにあたっては、「操作用暗証番号」と「交換機用暗証番号」が必要になります。

■ 操作用暗証番号

「9999」またはご契約時にお決めいただいた4桁の番号に設定されています。

■ 交換機用暗証番号

ご契約時にお決めいただいた4桁の番号で、オプションサービスの設定などを一般電話から操作する際に使用します。

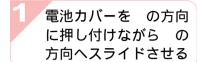
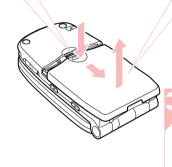
- ●転送電話サービス（☞P14-3）
- ●留守番電話サービス（☞P14-6）
- ●割込通話サービス（☞P14-15）（関東・甲信／東海／関西の各地域でご契約の方のみ使用できます）

- **交換機用暗証番号とは**
  交換機用暗証番号は、ご自分が加入の申し込みをされたときにお決めいただいた4桁の番号で、オプションサービスの「一般電話から操作する」（☞P14-27）をご利用になる場合に必要となります。交換機用暗証番号は、V601Nから変更することはできません。
- いずれの暗証番号も絶対にお忘れにならないように注意してください。暗証番号を必要とする操作ができなくなります。
- 交換機用暗証番号を変更したい場合や、いずれの暗証番号もお忘れになった場合は、所定の手続きが必要となります。詳しくは、お問い合わせ先（☞P16-8）までご連絡ください。
- トラブルの原因となりますので、いずれの暗証番号も他人に知られないように注意してください。他人に知られ悪用された場合、その損害について当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 操作用暗証番号を必要とする操作は約10秒間番号の入力がないと無効になります。

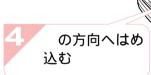
電池パックを充電する

■ 電池パックの取り付けかた／取り外しかた

●取り付けかた

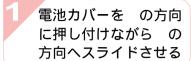
1 電池カバーを①の方向に押し付けながら②の方向へスライドさせる

2 ③の方向に持ち上げて取り外す

3 電池パックのツメ部を①の方向にV601Nの溝部へ差し込む

ラベル面を上にしてください。

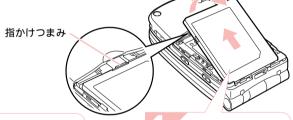
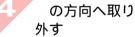
4 ②の方向へはめ込む

5 電池カバーを約3mm開けた状態でV601Nの溝に合わせる

6 矢印の方向へスライドさせながら「カチッ」と音がするまで押し込む

●取り外しかた

1 電池カバーを①の方向に押し付けながら②の方向へスライドさせる

2 ③の方向に持ち上げて取り外す

3 電池パックの指かけつまみに指先などを引っ掛けて、①の方向に持ち上げる

4 ②の方向へ取り外す

5 電池カバーを約3mm開けた状態でV601Nの溝に合わせる

6 矢印の方向へスライドさせながら「カチッ」と音がするまで押し込む

- 電池パックは必ずV601N専用のものをご使用ください。
- 電池パックの交換は、必ず電源をOFFにしてから行ってください（☞P2-2）。
- 取り付け時、電池パックに無理な力を加えないでください。V601Nの充電端子がこわれる場合があります。
- 電池カバーの先端部をV601Nに差し込んだ状態で無理に押さえ込まないでください。電池カバーのツメがこわれる場合があります。

■急速充電器と卓上ホルダーを使って充電するとき

1 急速充電器のコネクターを、卓上ホルダー背面の接続端子に差し込む

コネクターは確実に差し込んでください。

3 電池パックを取り付けたV601Nを卓上ホルダーに取り付ける（充電時間：約95分）

卓上ホルダーにしっかり取り付けてください。充電が開始されるとV601Nの着信ランプが赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。卓上ホルダーを押さえながら、V601Nの両側を持って右図の矢印の方向へ持ち上げて取り外し、ACプラグをコンセントから抜いてください。

2 急速充電器のACプラグを引き出し、AC100Vコンセントに差し込む

コネクターの取り外し

卓上ホルダーやV601Nから充電器のコネクターを取り外すときには、コネクターの両側にあるリリースボタンを押しながら引き抜いてください（番号順）。

■ 急速充電器のみを使って充電するとき

1 電池パックを取り付けたV601Nの外部接続端子キャップを開け、急速充電器のコネクターを接続する

コネクターは確実に差し込んでください。

2 急速充電器のACプラグを引き出し、AC100Vコンセントに差し込む（充電時間：約95分）

充電が開始されるとV601Nの着信ランプが赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。急速充電器のコネクターをV601Nから取り外し、ACプラグをコンセントから抜いてください。

■ シガーライター充電器を使って充電するとき

1 電池パックを取り付けたV601Nの外部接続端子キャップを開け、シガーライター充電器のコネクターを接続する

コネクターは確実に差し込んでください。

2 車のエンジンをかけ、シガーライター充電器の電源プラグをシガーライターソケットに差し込む（充電時間:約95分）

充電が開始されるとV601Nの着信ランプが赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。シガーライター充電器のコネクターをV601Nから取り外し、電源プラグをシガーライターソケットから抜いてください。

電池パック、充電器のご使用にあたって

●電池パックを初めてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用になる前に必ず充電してください。
●長期間使用しない場合でも、なるべく6か月に一度は充電してください。長い間ご使用にならなかった電池パックは十分に充電されず、使用時間が短くなることがあります。
●電池パックはリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はメモリ効果がないため、継ぎ足し充電が自由にできます。
●次のような場所では充電しないでください。
・周囲の温度が5°C以下または35°C以上になる場所
・湿気、ほこり、振動の多い場所（誤動作の原因となります）
・ラジオなどのそば（ラジオなどに雑音が入ることがあります）
●充電中に電池パックや充電器が温かくなることがありますが、異常ではありません。ただし、手で触れられないほど熱くなった場合は充電を中止し、お問い合わせ先（☞P16-8）までご相談ください。
●たこ足配線にしないでください。たこ足配線にすると、コンセントが加熱し、火災の原因となることがあります。
●電池パックは直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。長時間使用しないときは、使い切った状態でV601Nから取り外して保管してください。
●電池パックは消耗品です。充電を繰り返しても機能が回復しない場合は、電池パックの寿命です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
●不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てずに、端子にテープなどを貼り付け絶縁してから、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップ窓口へお持ちください。電池を分別廃棄している市町村の場合は、その条例に基づいて廃棄してください。
●リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

- V601Nに使用する充電用機器は必ず当社指定のものをご使用ください。
- 充電する際は、必ずV601Nに電池パックを取り付けた状態で充電してください。電池パックなしの状態では充電することも電源をONにすることもできません。
- 充電中に着信ランプが赤色に点滅する場合は、電池パックの異常が考えられますので、お問い合わせ先（☞P16-8）までご相談ください。
- メインディスプレイに「充電器異常です　充電を中止してください」と表示され、着信ランプが赤色に点滅したときは、V601Nから電池パックと充電器をいったん取り外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。再び同じ状態になった場合には充電器の異常が考えられますので、お問い合わせ先（☞P16-8）までご相談ください。

- 電池パックを単体で充電することはできません。
- 充電時間は、V601Nの電源をOFFにして充電したときの目安です。電源をONにしたまま充電すると、充電時間は長くなります。周囲の温度によって変わることもあります。
- 充電器を長時間ご使用にならない場合は、プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

■電池レベル表示について

電池レベル表示は、ご使用の時間経過とともに次のように変化します。ディスプレイの電池レベル表示と案内表示をご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。

電池レベルの目安（常温：25℃で使用した場合の例）

レベル3：十分残っています
レベル2：少なくなっています
レベル1：ほとんど残っていません
レベル0：40秒後に使用できなくなります

電池がなくなると…

電池の残量がなくなると、電池アラーム音が鳴り、メインディスプレイに「電池が残り少なくなっています　充電してください」と表示されます。必ず、一度V601Nの電源をOFFにしてから充電を行ってください。

イメージウィンドウ
（折り畳んでいるとき）

●通話中の場合

アラーム音が「ピピピ…」と約0.5秒間鳴ります。通話を終了し、電源をOFFにしてから充電するか、充電済みの電池パックと交換してください。
そのまま通話を続けると、約20秒後に通話が切れてアラーム音が約10秒間鳴り、約40秒後に自動的に電源がOFFされます。簡易留守録応答中の場合は、すぐに通話が切れます。

●待受中の場合

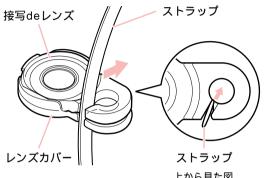
アラーム音が約10秒間鳴り、約40秒後に自動的に電源がOFFされます。

- PWR/HLDを押すと、アラーム音を止めることができます。
- マナーモード時には、アラーム音は鳴りません。

上記の電池レベル表示は電池残量の目安です。ご使用の状態により、電池レベル表示は変動する場合があります（例：▯←→▯）。

接写 de レンズの付けかた／外しかた

Ｖ６０１Ｎには接写ｄｅレンズが付属しています。バーコードを読み取る（☞Ｐ13-46）ときなどに使用します。
紛失などの防止のため、ストラップに付けてご使用ください。

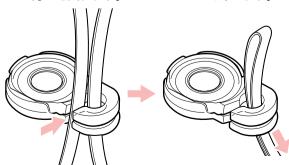
■ ストラップに付ける

- ストラップはＶ６０１Ｎに確実に取り付けてください。紛失の原因となることがあります。
- 取り扱いの際には、レンズに指紋や油膜などが付着しないようにご注意ください。
- 接写 de レンズは傷がつきやすい素材で作られています。金属や砂などの硬いものに触れたり擦れたりしないようにご注意ください。バーコードを正しく認識できなくなることがあります。
- 接写 de レンズおよびレンズカバーは付属品のストラップに取り付けるように作られています。市販のストラップには取り付けられないことがありますのでご注意ください。
- 接写 de レンズを使用しないときは必ずレンズカバーを取り付けておいてください。

■ ストラップから外す

数字の順に取り外してください。

接写 de レンズに通していないストラップの一方①を入れます。

ストラップを下②に引いて外します。

基本的な操作のご案内

電源ON!／OFF!

■ 電源ONのしかた

1 PWR HLD を長く（1秒以上）押す

ウェイクアップ音が鳴ります。
バイブレータの設定によっては、
本体が振動します（☞P8-9）。

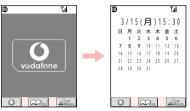
ネットワーク自動調整について

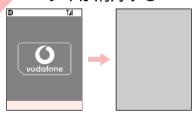
お買い上げ後、初めてV601Nの電源をONにして、（V）、（本）、（メール）、（V）、（CLR）または（方向キー）を押すと、「ネットワーク自動調整」の画面が表示されるので、（V）（はい）を押してネットワーク自動調整を行ってください。詳しくは『Vodafone live!編』を参照してください。

■ 電源OFFのしかた

1 PWR HLD を長く（2秒以上）押す

シャットダウン音が鳴ります。
バイブレータの設定によっては、
本体が振動します（☞P8-9）。

2 メインディスプレイが点灯し、待受画面が表示される

ウェイクアップイラストとOPENWAVE、RSAのロゴのあとに表示される画面を「待受画面」と呼びます。

2 メインディスプレイが消灯する

シャットダウンイラストが表示されたあとに電源がOFFされます。

初めてお使いになるときは、電源をONにすると日付時刻設定画面が表示されます。◎（はい）を押すと設定が行え（☞P2-4）、✉（いいえ）を押すと待受画面が表示されます。
設定後の待受画面にはカレンダーが表示されます。

■待受画面の表示を変えるには

- **日付・時刻を見やすくする**
  待受画面表示を「拡大時計」に設定します（☞P7-3）。
- **メッセージを表示させる**
  待受画面表示を「文章」に設定し、メッセージを入力します（☞P7-3）。
- **背景画像を変更する**
  待ち受け表示設定で背景画像を変更します（☞P7-3）。

■電源ONしたときの設定を変えるには

メインディスプレイにメッセージやイラストを表示させたり、ウェイクアップ画面の表示時間を変えたいときは、ウェイクアップ設定（☞P7-11）の設定を変更してください。

■電源ON／OFFしたときのイラストを変えるには

マイキャラクター（☞P7-9）の設定を変更してください。

■電源ON／OFFしたときの音を変えるには

効果音設定（☞P8-11）の設定を変更してください。

日付・時刻を合わせる（日付時刻設定）

時計を利用するには、現在の年月日と時刻を合わせます。お買い上げ時は日付・時刻は設定されていません。
日付・時刻の設定をしないとご利用になれない機能があります。お使いになる前に設定することをおすすめします。

1 (Menu)を押す

（各種設定）が選択されます。

2 （選択）を押す

3 で（時計）を選択し、（選択）を押す

「日付時刻設定」が選択されます。

7 を押す

待受画面に戻ります。

注意
通話中はを繰り返し押して通話中画面に戻してください。を押すと通話が切れてしまいます。

4 (選択) を押す

現在の設定が表示されます。

5 (設定) を押して年月日(西暦)と時刻(24時間制) を入力する

入力を間違えたときは でカーソルを訂正したい数字の上に移動し、もう一度入力し直してください。前回設定した時刻に戻したい場合は、CLRを長く（1秒以上）押してください。

6 (登録) を押す

設定の完了をお知らせします。

■日付時刻設定を行っていないと利用できない機能

次の各機能はご利用になれません。

テレビ	アクションアイテム
モバイルカメラ	めざまし
データフォルダ	自動電源 ON
ショートカット	自動電源 OFF
バーコード	メモ作成
アニメーション作成	電卓
メロディ作成	ボーダフォンライブ！
スケジュール	

また、各種機能でデータフォルダ内のファイルを使用することもできません。

電池パックを外したまま 2 週間以上放置すると、日付・時刻がリセットされることがあります。その場合は、もう一度設定し直してください。

設定可能な日付・時刻は 2003 年 1 月 1 日 00 時 00 分〜2098 年 12 月 31 日 23 時 59 分です。

電話をかける

1 アンテナを伸ばす

「カチッ」と音がして止まるまで引き伸ばします。

アンテナを伸ばさないと十分な性能は発揮できません。

2 電源が入っていることを確認する

電波状態も確認してください。

3 ダイヤルする

●**一般電話**
必ず市外局番からダイヤルします。

例：03-123X-XXX1へかける場合

03123XXXX1
登録

●**携帯電話・自動車電話・PHS**
0から始まる全桁の番号をダイヤルしてください。

例：090-392X-XXX1へかける場合

090392XXXX1
登録

相手の声が聞こえにくいときは（受話音量）

通話中に◎または▲を押すと相手の声が大きく、◎または▼を押すと小さくなります。待受中に調節することもできます（☞P8-2）。

4 ダイヤル番号を確認してを押す

相手につながると通話できます。

5 通話が終わったら（PWR HLD）を押す

通話が切れ、待受画面に戻ります。

アンテナを収納するときは、先端を持って押し込まないでください。破損の原因となります。

相手の声をスピーカーで聞くときは

ラウドスピーカーを使うと、受話口に耳を当てなくてもスピーカー出力による音声を聞くことができます。（スピーカー）が表示されているときに設定できます。

- 呼出中、通話中、スカイメロディ接続時、留守番センター接続時に（ ）（スピーカー）を押します。（スピーカー）が（スピーカーオフ）になります。

- ラウドスピーカーを使用しているときは、相手に自分の声は聞こえなくなります。
- 三者通話サービスをご利用のときには使用できません。

発信禁止（☞P9-6）やオフラインモード（☞P9-18）が設定されているときは、電話をかけることはできません。

- （ ）を先に押してからダイヤルしても電話がかけられます。
- 電話番号は、最大24桁まで入力することができます。25桁以上入力した場合は、電話番号が先頭から順次消えていきます。

■間違えてダイヤルしたときは

（CLR）を押すと最後の桁から 1 桁ずつ消去されます。

■相手が話し中のときは

「プーッ、プーッ」という話中音が聞こえます。（PWR HLD）を押していったん電話を切り、もう一度かけ直してください。

■ご自分の電話番号を相手に通知するには

発信者番号通知サービスを受けている方は、相手の電話機（ディスプレイ）にご自分の電話番号を表示させることができます（☞P14-23）。

■国際電話を利用するには

V601Nから、国際電話サービスがご利用になれます。詳しくはサービスガイドブックをご覧ください。

■通話相手の声を録音するには

通話中に（ ）（録音）を押します（☞P13-12）。

以前かけた電話番号にもう一度かける(リダイヤル)

以前にかけた電話番号やその日時などの情報は、最新の20件まで記録されています。同じ電話番号にかけたときは、1件として最新のものが記録されます。もう一度かけたい電話番号を検索し、簡単な操作でかけ直すことができます。

1 CLR を押す

最後にかけた電話番号や、かけた日時などが表示されます。

リダイヤルNo.が大きいほど新しいデータであることを示します。

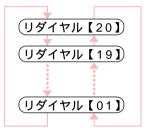
リダイヤルの日付時刻を表示させるには、あらかじめ日付時刻設定(☞P2-4)をしておく必要があります。

リダイヤルが1件もないときは、着信履歴が表示されます。リダイヤルも着信履歴もないときは、警告音とメッセージでお知らせします。

サブメニューを使ってリダイヤルデータを活用するには

(サブメニュー)を押すとサブメニューが表示されます。で項目を選択し、(選択)を押すと、次のような操作が行えます。

項目	概要
消去	(1件)を押して表示中の1件を消去する。または(すべて)を押して、全リダイヤルデータを消去する
メール作成	送信方法を選択し、リダイヤルデータの相手宛てのメッセージを作成する(☞『Vodafone live!編』)

2 (CLR)または(◯)でリダイヤルする電話番号を表示させる

(CLR)を長く（1秒以上）押すと、待受画面に戻ってしまいます。

3 (☎)を押す

相手につながると通話できます。

- 通話中にリダイヤルを確認したあと、通話中画面に戻るときは、(CLR)を長く（1秒以上）押してください。(PWR HLD)を押すと通話が切れてしまいます。
- 発信禁止（☞P9-6）やオフラインモード（☞P9-18）が設定されているときは、電話をかけることはできません。

- リダイヤルは、電源をOFFにしても消去されません。
- リダイヤルが20件を超えたときは、古いものから順次消去されます。
- ダイヤルした相手の電話番号と名前がメモリダイヤルに登録されている場合には、名前も表示されます。ただし、シークレットメモリに登録されている相手の名前は表示されません。

- (✍)（着歴／発歴）を押すごとに着信履歴（☞P2-18）とリダイヤルの表示を切り替えることができます。

■リダイヤルの電話番号をメモリダイヤルに登録するには

リダイヤルに記録されている電話番号を、メモリダイヤルに登録することができます（☞P4-3）。

電話を受ける

1 着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

電話がかかってきたときの表示例

例1

090392XXXX1

- 相手から電話番号が通知されてきた場合

例2

ﾔﾏﾀﾞ ﾀﾛｳ
山田太郎

090392XXXX1

- メモリダイヤルに登録されている相手から電話番号が通知されてきた場合

例3

非通知設定

- 相手が電話番号を通知してこなかった場合　非通知の理由（「非通知設定」「公衆電話」のいずれか）が表示される

例4

- 相手が発信者番号を通知できないエリア、またはネットワークからかけてきた場合

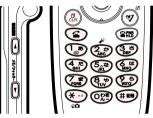
- シークレットメモリに登録されている相手からの場合は、シークレットモードを設定しているときは例2のように名前が表示され、設定していないときは例1のように電話番号のみの表示となります。
- 着信ランプの色はお好みの色に変更できます（☞P8-16）。

3 通話が終わったら PWR HLD を押す

通話が切れ、待受画面に戻ります。

2 を押す

通話できます。

以外に　のボタンを押しても、電話を受けることができます。（エニーキーアンサー）

電話に出なかったときは（不在着信）

次のような画面が表示されます。相手がメモリダイヤルに登録されている場合は、名前も表示されます。メインディスプレイに電話番号が表示されているときにを押すと、折り返し電話がかけられます。また、着信履歴（☞P2-18）を確認すると、着信していた秒数から「ワン切り」の可能性を判断できます。

折り畳んでいるとき

折り畳んでいるときに▲を押した場合

オフラインモードに設定しているときは、電話を受けることができません（☞P9-18）。

■**簡易留守録を設定しているときは**

自動的に応答して、相手のメッセージを録音します（☞P13-2）。

■**電話番号を通知してこない電話を受けたくないときは**

非通知着信拒否を設定します（☞P9-7）。

■**特定の電話番号からの着信を受けたくないときは**

受けたくない相手の電話番号を指定着信拒否の設定リストに登録します（☞P4-32）。

■**すぐに切れてしまう迷惑電話にわずらわされたくないときは**

ワン切り設定を利用します（☞P8-18）。

■**着信中に着信音を消すには**

を短く押します。

■**バイブレータを設定しているときは**

本体が振動して着信をお知らせします（☞P8-9）。

■**マナーモードを設定しているときは**

着信音やバイブレータはマナーモード設定（☞P8-13）に従います。マナーモードは着信中にも設定できます（☞P2-14）。

■**通話相手の声を録音する**

通話中に（録音）を押します（☞P13-12）。

■**メモリダイヤルにマイコールやグループコールを登録しているときは**

登録されている着信音や表示でお知らせします（☞P4-9、4-15）。

すぐに電話に出られないときは(応答保留)

すぐに電話に出られないときは、一時的に電話を保留にして相手にしばらく待っていただくことができます。

1 着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

2 PWR HLD を押す

電話が保留になり、応答保留音が鳴ります。

相手には「まもなく電話に出ますので、そのままお待ちになるか、しばらくたってからもう一度おかけ直しください」というアナウンスが流れます。

注意

PWR HLD を長く（2秒以上）押すと電源がOFFされてしまいますので注意してください。

3 通話できる状態になったら ☎ を押す

通話できます。

- 応答保留中でも、相手側に通話料金がかかります。
- 応答保留中に PWR HLD を押すと、通話が切れてしまいます。

- 応答保留中は、約30秒ごとに保留中であることを知らせる応答保留音が鳴ります。
- マナーモード（☞P2-14）を設定しているときも、応答保留音は一定の音量で鳴ります。

電話に出られないときは（簡易留守録応答）

あらかじめ簡易留守録を設定していなかった場合でも、その場の操作で応答のアナウンスを流して、相手のメッセージを約20秒間（5件まで）録音することができます。録音後も簡易留守録の設定は「OFF」のままです。

1 着信中に ◎（Menu）を押す

補足
簡易留守録がすでに5件録音されているときは、簡易留守が表示されず、簡易留守録応答することができません。

2 ◎（簡易留守）を押す

相手には「ただいま電話に出られません。ピー音のあとにご伝言を約20秒以内でお預りします」というアナウンスが流れます。

録音終了後、待受画面に戻ります。

補足
待受画面には NEW（☞P1-10）が表示されます。

- 着信中に▲または▼を長く（1秒以上）押して簡易留守録応答することもできます。
- 簡易留守録応答中や録音中でも、☎を押すと電話を受けることができます。
- 簡易留守録応答した場合は、その着信に限って録音します。次の着信からは同様の操作をしないと録音しません。「簡易留守録を設定する」（☞P13-2）
- 簡易留守録を再生／消去する（☞P13-5～13-7）
- Java™の着信優先設定（☞『Vodafone live!編』）を「着信通知」にしてJava™アプリを動作している場合は、着信中にCLRか☎PWR HLDを押して、Java™アプリを一時停止か終了させてから操作1を行ってください。
- Java™待受設定（☞『Vodafone live!編』）により、Java™アプリが動作している場合は、この操作での簡易留守録応答はできません。
- 割込通話サービス（☞P14-15）をご利用の場合、あとからかかってきた電話の着信中に簡易留守録応答することはできません。

マナーモードを設定する

静かな場所や公共の場所でご利用のときは、周囲の迷惑とならないようマナーモードを設定してください。
お買い上げ時のマナーモードは、次のように設定されています。

- **着信音量（すべての着信）：「サイレント」**
- **アラーム音量（すべてのアラーム機能）：「サイレント」**
- **バイブレータ（すべての着信、すべてのアラーム機能）：「ON」**
- **簡易留守録（通常着信）：「ON」**

着信のお知らせ方法や簡易留守録の設定は、マナーモード設定（☞P8-13）で変更できます。

1 ◯（📳）を長く（1秒以上）押す

マナーモードが設定されます。メインディスプレイやイメージウィンドウには M（マナーモード表示）のほか、マナーモードの設定内容を示すアイコンが表示されます。

マナーモードを設定したときの表示について

マナーモードを設定すると M が表示されます。その他の表示内容はマナーモード設定（☞P8-13）で「通常着信」に設定した内容によって異なります。

- S 通常着信の着信音量が「サイレント」に設定されているときに表示
- V 通常着信のバイブレータが「ON」または「SMAF連動」に設定されているときに表示
- 簡易留守録アイコン 通常着信の簡易留守録が「ON」に設定されているときに表示（メインディスプレイのみ）

- を短く押すとアシストダイヤル（☞P10-85）の呼び出し画面になり、マナーモードは設定されません。
- マナーモードは待受中だけでなく、着信中にも設定できます。ただし、マナーモード設定で簡易留守録を「ON」に設定していても簡易留守録は起動しません。
- 着信中にを短く押すと、マナーモードを設定せずに着信音だけを一時的に消すことができます。
- 通話中にを長く（1秒以上）押すと、マナーモードを設定せずに一時的にマイクの感度を上げることができます。

■マナーモードを解除するには

（）を長く（1秒以上）押します。

マナーモードが解除され、メインディスプレイのや、マナーモード設定の内容に応じて設定されたなどの表示が消えます。イメージウィンドウも同様に表示が消えます。

着信中または通話中にを長く（1秒以上）押しても、マナーモードは解除されません。

留守番電話センターに転送する（着信留守電転送）

あらかじめ留守番電話サービスの開始操作をしていなかった場合でも、かかってきた電話をその場の操作で留守番電話センターに転送することができます。北海道／東北・新潟／北陸／中国／四国／九州・沖縄の各地域でご契約のお客様は現在この機能をご利用いただけません。

1 着信中に ◯（Menu）を押す

ヤマダ タロウ
山田太郎
03123XXXX1
簡易留守 転送 拒否

2 (📖)（転送）を押す

着信中の電話が留守番電話センターに転送され、待受画面に戻ります。

着信を転送します

↓

留守番電話に転送しました

- 「留守番電話サービスを利用する」（☞P14-6）
- 留守番電話センターに転送できなかったときは、「ご利用になれません」と表示されます。(CLR)を押して着信中画面に戻してください。(📖)（転送）を押してもう一度転送の操作を行うこともできます。
- 割込通話サービス（☞P14-15）をご利用の場合、通話中に別の電話がかかってきたときも同様の操作で留守番電話センターへ転送することができます。

出たくない電話を切る（着信拒否）

かかってきた電話を拒否することができます。拒否した電話も着信履歴に記録されます。

1 着信中に ◯（Menu）を押す

ﾔﾏﾀﾞ ﾀﾛｳ
山田太郎
03123XXXX1
簡易留守 転送 拒否

2 ✉（拒否）を押す

電話が切れ、着信があったことをお知らせするイラストが表示されます。

ﾔﾏﾀﾞ ﾀﾛｳ
山田太郎
03123XXXX1
登録

3 PWR HLD を押す

待受画面に戻ります。

- 電話番号を通知してこない相手や特定の電話番号からの電話を受けないように、あらかじめ設定しておくことができます（☞P4-32、9-7）。
- 割込通話サービス（☞P14-15）をご利用の場合、通話中に別の電話がかかってきたときも同様の操作で切ることができます。

電話がかかってきた日付・時刻などを確認する(着信履歴)

かかってきた電話の記録を、最新の20件まで表示させて確認することができます。着信履歴は通話中にも表示させることができます。また、着信履歴を表示させ、簡単な操作で折り返し電話をかけることもできます。

1 CLRを押す

リダイヤルが表示されます。

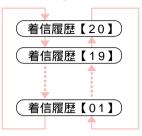
- リダイヤルが1件もないときは、着信履歴が表示されます。操作3に進んでください。
- 着信履歴が1件もないときは、着歴は表示されません。

2 （着歴）を押す

最後にかかってきた電話の日付・時刻などが表示されます。

No.が大きいほど新しい着信履歴であることを示します。
着信結果は「通話」「応答保留」「無応答」「留守電転送」「簡易留守録」「着信不可」「着信拒否」のいずれかが表示されます。
無応答、簡易留守録、着信不可、着信拒否の場合には着信時間（呼び出しを行った秒数）が表示されるので、着信が「ワン切り」だった可能性を判断できます。

着信履歴の日付・時刻を表示させるには、あらかじめ日付時刻設定（☞P2-4）をしておく必要があります。

3 CLR または ◯ で確認する着信履歴を表示させる

注意 CLRを長く（1秒以上）押すと、待受画面に戻ってしまいます。

4 確認が終わったら PWR HLD を押す

待受画面に戻ります。

注意 通話中はCLRを長く（1秒以上）押して通話中画面に戻してください。PWR HLDを押すと通話が切れてしまいます。

サブメニューを使って着信履歴を活用するには

(サブメニュー)を押すとサブメニューが表示されます。◯で項目を選択し、(選択)を押すと、次のような操作が行えます。

項目	概要
消去	(1件)を押して表示中の1件を消去する。または(すべて)を押して、全着信履歴を消去する
メール作成	送信方法を選択し、着信履歴の相手宛てのメッセージを作成する（☞『Vodafone live!編』）
着信拒否設定	操作用暗証番号を入力すると指定着信拒否の設定リスト（☞P4-32）が表示され、電話を受けたくない相手として登録できる

補足
- 着信履歴は、電源をOFFにしても消去されません。
- 着信履歴が20件を超えたときは、古いものから順次消去されます。
- かかってきた相手の電話番号と名前がメモリダイヤルに登録されている場合には、名前も表示されます。ただし、シークレットメモリに登録されている相手の名前は表示されません。

- (発歴／着歴)を押すごとに、リダイヤル（☞P2-8）と着信履歴の表示を切り替えることができます。
- 電話に出なかった場合に限り、折り畳み時に▲を押すと、イメージウィンドウに最新の着信履歴が表示されます。

■着信履歴を使って電話をかけるには

表示させた着信履歴に相手の電話番号が表示されているときは、☎を押すと電話をかけることができます。

注意 発信禁止（☞P9-6）やオフラインモード（☞P9-18）が設定されているときは、電話をかけることはできません。

■着信履歴の電話番号をメモリダイヤルに登録するには

着信履歴に記録されている電話番号を、メモリダイヤルに登録することができます（☞P4-3）。

通話時間と通話料金を確認する（通話時間／料金表示）

直前の通話がご自分からかけた電話だった場合、通話時間と通話料金の目安をメインディスプレイに表示させることができます。また、今までにV601Nからかけた電話の累積通話時間と累積通話料金の目安を表示させることができます。

1 **（Menu）を押す**

2 **で（ユーザデータ）を選択し、（選択）を押す**

3 **で（通話時間／料金表示）を選択し、（選択）を押す**

直前の通話時間と通話料金の目安が表示されます。

この表示は一例です

4 ◎（累積）を押す

累積通話時間と累積通話料金の目安が表示されます。

この表示は一例です

◎（直前／累積）を押すごとに、直前の情報と累積の情報を切り替えることができます。

5 確認が終わったら PWR HLD を押す

待受画面に戻ります。

- 表示される料金は目安であり、正確なものではありません。三者通話サービス（☞P14-18）で三者通話を行った場合の料金は、合算されます。
- 次のような場合には、通話料金は表示されません。
  - 電波が弱くなって通話が切断した場合（通話中にボーダフォンのサービスエリアから外へ移動したときや、通話中にトンネルに入って通話が切れたときなど）
  - 国際電話をかけた場合
  - 留守番電話センターの遠隔操作用電話番号などをダイヤルした場合
  - かかってきた電話で通話をした場合

- 通話時間／累積通話時間は、最大「9999h59m59s」まで表示されます。これを超えると、もう一度「0s」から表示されます。
- 通話料金／累積通話料金は、最大「¥9,999,999」まで表示されます。これを超えると、百万以上の桁は「E」で表示されます。
- 電源をOFFすると通話時間は「0s」に、通話料金は「¥－」に戻ります。

■通話時間・通話料金情報をリセットするには

すべての通話時間・通話料金情報をリセットすることができます。リセットするときには操作用暗証番号（☞P1-20）の入力が必要です。

① 通話時間・通話料金情報を表示させる
② ✉（ﾘｾｯﾄ）を押す
③ 操作用暗証番号を入力する
④ ◎（はい）を押す
⑤ PWR HLD を押す
待受画面に戻ります。

リセットすると、通話時間と累積通話時間は「0s」に、通話料金と累積通話料金は「¥－」に戻ります。

ご自分の電話番号やメールアドレスを確認する(オーナー情報)

お使いになっているＶ６０１Ｎの電話番号が確認できます。あらかじめオーナー情報（☞P10-80）を登録しておき、表示させることもできます。確認は通話中でも行えます。

1 (Menu)を押す

各種設定 選択 ガイド

2 で(ユーザデータ)を選択し、(選択)を押す

(オーナー情報)が選択されます。

User's Data
オーナー情報 選択 ガイド

3 (選択)を押す

Ｖ６０１Ｎの電話番号が表示されます。

オーナー情報
山田太郎
ﾔﾏﾀﾞ ﾀﾛｳ
090392XXXX3
ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ 編集

4 確認が終わったら PWR HLD を押す

待受画面に戻ります。

注意

通話中は CLR を繰り返し押して通話中画面に戻してください。PWR HLD を押すと通話が切れてしまいます。

補足

- オーナー情報には、Ｖ６０１Ｎの電話番号を含む電話番号３件、名前、フリガナ、メールアドレス３件、郵便番号、住所が登録できます（☞P10-80）。
- Ｖ６０１Ｎの電話番号以外の情報を確認するときは、操作３のあと、で(電話)／(メールアドレス)／(住所)を選択します。

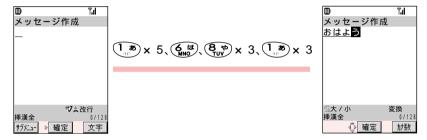
文字の入力方法

入力方式とワード予測機能について

かな方式と T9 方式

V601N では、「モード 1（かな方式）」と「モード 2（T9 方式）」という 2 つの入力方式のどちらかを選択することができます（☞P3-3）。
お買い上げ時は「モード 1（かな方式）」に設定されています。

かな方式で文字を入力するときは、文字を割り当てられているボタン（☞P3-6）を目的の文字が表示されるまで繰り返し押します。たとえば「おはよう」と入力する場合は1を 5 回押して「お」、6を 1 回で「は」、8を 3 回で「よ」、1を 3 回で「う」を表示させます。

T9 方式で文字を入力するときは、文字を割り当てられているボタン（☞P3-7）を 1 回ずつ押し、表示された候補から目的の語句を選択します。「おはよう」と入力する場合は1（あ）、6（は）、8（や）、1（あ）を押し、表示された「いひょう」、「1681」などの候補の中から「おはよう」を選択します。

T9 方式のときに表示　　先頭の候補が表示される

- T9 方式のときには、予測による候補を使わずにひらがなやカタカナを 1 文字ずつ指定する「固定入力」に切り替えることができます（☞P3-22）。
- T9 Text Input®およびT9 ロゴマークはTegic Communications 社の登録商標です。T9 テキストインプットは全世界において特許を取得または申請しております。

ワード予測機能とは

ワード予測機能とは、ひらがな／漢字入力モードでの文字入力を簡略化するために、過去に入力した文字の記憶を利用する機能です。ひらがな／漢字入力モードで文字を入力すると、記憶に基づいて、変換する文字や語句の候補が表示されます。また、入力した文字を確定したときには、それに続く文字や定型文が予測され、候補として表示されます。リストから目的の語句や定型文などを選択することにより、すばやく文字入力が行えます。
ワード予測機能は、お買い上げ時は「ON」に設定されています。
文字入力中、候補リストに目的の語句が表示されなかった場合には、一時的にワード予測機能を「OFF」にして通常の漢字変換を行うことができます（☞P3-14）。また、あらかじめワード予測機能を「OFF」に設定しておくこともできます（☞P3-3）。
※「ワード予測」は日本電気株式会社の登録商標です。

文字入力方式を変更する

文字入力時に通常使用する入力方式や、ワード予測機能の設定を変更することができます。

1 「文字入力方式」を呼び出す

① ◎（Menu）を押す
② ◎で（各種設定）を選択し、📖（選択）を押す
③ ◎で etc.（その他）を選択し、📖（選択）を押す
④ ◎で「文字入力方式」を選択し、📖（選択）を押す

2 📖（設定）を押す

- 「かな方式／T9 方式を切り替える」（☞P3-3）
- 「ワード予測機能の ON ／ OFF を切り替える」（☞P3-4）

かな方式／T9 方式を切り替える

3 ◎で「入力モード」を選択し、📖（選択）を押す

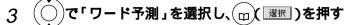
4 ◎で入力方式を選択し、📖（決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

ワード予測機能の ON ／ OFF を切り替える

例：「OFF」に設定する場合

3 で「ワード予測」を選択し、（選択）を押す

4 （いいえ）を押す

設定の完了をお知らせします。

ワード予測を ON にするときは（はい）を押します。

文字の入力方法

入力できる文字

ひらがな、漢字、絵文字、顔文字および全角／半角のカタカナ、英字、数字、記号を入力できます。

文字入力画面について

メッセージ作成
元気？＿
挿漢全小　改行　12/128
サブメニュー　確定　文字

- 挿入モードのときは「挿」、上書きモードのときは「上」が表示されます。
- 現在の文字モードが表示されます。
- サブメニューで「小文字切替」に切り替えたときに表示されます。
- を長く（1秒以上）押して改行できるときに表示されます。
- 入力する内容によっては、入力可能な最大文字数と入力済みの文字数の目安が半角文字に換算して表示されます。
- 文字モードを切り替えるときにソフトキーで選択します。
- 入力した文字を確定するときにソフトキーで選択します。
- ▵ ▿ ◃ ▹はカーソルを上下左右に動かせるときに表示されます。
- サブメニュー（☞P3-14）を使うときにソフトキーで選択します。

今度、町の...
でもメールでおくっ
大／小　▲▼変換
挿漢全　86/128
確定　カナ数

- を押すと入力した文字が大文字／小文字に切り替わるときに表示されます。
- を押すと入力した文字が漢字などに変換できるときに表示されます。

文字モードの切り替えについて

（文字）を押して切り替えます。入力画面によっては選択できない文字モードもあります。

各ボタンに割り当てられた文字と機能

ボタンには、次の文字や記号および機能が割り当てられています。ひらがな／漢字モードは全角のみ、それ以外のモードでは特に注意のない限り、全角半角の両方が入力可能です。

ボタン＼モード	ひらがな／漢字	カタカナ	大文字英字	小文字英字	数字
1 あ @	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@ . _ ￣ .CO.JP .NE.JP .AC.JP .OR.JP .COM .HTML HTTP:// HTTPS:// WWW. .NET	@ . _ ￣ .co.jp .ne.jp .ac.jp .or.jp .com .html http:// https:// www. .net	1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	ABC	abc	2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	DEF	def	3
4 た GHI	たちつてとっ	タチツテトッ	GHI	ghi	4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
8 や TUV	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
0 わをんー	わをんーゎ	ワヲンーヮ※	□（スペース）		0
＊ ゛゜	゛ ゜		＊		
# 記号	、。ー・，□（スペース）↵ ！？ （）「」〈〉		，　’　”／□（スペース）↵ ：；＋－＝＆％＄ ￥！？＃（）〈〉		：／□（スペース）↵ ＋－．＝％￥ ＄（）＃
（変換）	変換する候補文字の呼び出し	—			
CLR	短く押したとき：カーソル位置の 1 文字消去　　長く（1 秒以上）押したとき：全文字消去				
✓	短く押したとき：候補選択モードへの切り替え（ひらがな／漢字モードのみ） 長く（1 秒以上）押したとき：↵				
☎	大文字／小文字の切り替え				

※「ヮ」を半角文字で入力することはできません。

- 続けて入力する文字が違うボタンの文字のときは、ボタンを押すと自動的にカーソルが右に移動します。同じボタンの文字を続けて入力するときは◯でカーソルを右に移動させます（＊゛゜の文字を入力する場合を除く）。
- ▭ の小文字を入力するには、文字を入力する前にサブメニューで「小文字切替」に設定しておく方法もあります（☞P3-14）。
- ．co．jp など▭の文字は、一括して入力されます。ただし、文字を確定したときに最大文字数を超えた場合、入力できる文字数を超えた部分が自動的に消去されます。
- 「↵」（改行コード）は、確定前の文字に続けて表示させることはできません。
- 「ひらがな／漢字入力モード」と「全角カタカナ入力モード」では、「゛」「゜」を付けられる文字の入力後にカーソルを移動して＊゛゜を押すと、1回押すごとに濁音、半濁音、清音の順に表示されます。
  例：「ば」→「ぱ」→「は」→「ば」
- ディスプレイに表示される文字は、実際の文字と異なる場合があります（例：履→履）。
- ディスプレイに表示される文字は、全角と半角で異なる場合があります（例：￣→˜）。

T9方式（☞P3-3）に切り替えたときには、文字や機能のボタンへの割り当ては次のように変わります。ひらがな／漢字モードは全角のみ、それ以外のモードでは特に注意のない限り、全角半角の両方が入力可能です。

モード／ボタン	ひらがな／漢字		カタカナ（全角／半角）	
	T9 入力前	**候補表示中**	**T9 入力前**	**候補表示中**
1 あ @	あいうえおぁぃぅぇぉ 1		アイウエオァィゥェォ 1	
2 か ABC	かきくけこ 2		カキクケコ 2	
3 さ DEF	さしすせそ 3		サシスセソ 3	
4 た GHI	たちつてとっ 4		タチツテトッ 4	
5 な JKL	なにぬねの 5		ナニヌネノ 5	
6 は MNO	はひふへほ 6		ハヒフヘホ 6	
7 ま PQRS	まみむめも 7		マミムメモ 7	
8 や TUV	やゆよゃゅょ 8		ヤユヨャュョ 8	
9 ら WXYZ	らりるれろ 9		ラリルレロ 9	
0 わを んー	わをんーゎ 0		ワヲンーヮ※ 0	
＊ ゛゜	゛ ゜			
＃ 記号	、。ー・,□（スペース） ↵！？ ()「」〈〉	―	、。ー・,□（スペース） ↵！？ ()「」〈〉	―
CLR	短く押したとき：カーソル位置の 1 文字消去		長く（1 秒以上）押したとき：全文字消去	
	大文字／小文字の切り替え	―	大文字／小文字の切り替え	―
	カーソル上下移動	候補選択モードへの切り替え	カーソル上下移動	候補選択モードへの切り替え
	カーソル左右移動	かな候補範囲変更	カーソル左右移動	カナ候補範囲変更
	短く押したとき：ワード予測候補選択 長く（1 秒以上）押したとき：↵	候補選択モードへの切り替え	長く（1 秒以上）押したとき：↵	候補選択モードへの切り替え

※「ヮ」を半角文字で入力することはできません。

- 「↵」（改行コード）は、確定前の文字に続けて表示させることはできません。

文字の入力例

文字モードを切り替えながら文字を入力する例です。

例： メモリダイヤルの名前に全角文字で「K．堀田」とかな方式を使って入力する場合

1 （ ）を押す

2 で （メモリ登録）を選択し、（選択）を押す

名前の行が反転表示されます。

3 （選択）を押す

4 （文字）を 3 回押す

全角の大文字英字入力モードに切り替わります。

5 （5 JKL な）を 2 回押す

「K」が表示されます。

文字の入力を間違えたときは（CLR）を押して消去します。（CLR）を押すとカーソル位置の文字、カーソル上に文字がない場合はカーソルの左側の文字が消去されます。また、（CLR）を長く（1秒以上）押すと文字はすべて消去されます。

6

「.」が表示されます。

7

ひらがな／漢字入力モードに切り替わります。

8 （6 MNO は）を 5 回押す

「ほ」が表示されます。

9 （4 GHI た）を 3 回押す

「つ」が表示されます。

10 を 1 回押す

「つ」が「っ」になります。

11 を 1 回押す

「た」が表示されます。

「カタカナ／数字変換を利用するには」（☞P3-12）

12 （変換）を 2 回押す

候補選択の画面が表示されます。

（変換）を一度だけ押すと、候補が一つ表示されます。この候補でよいときは（確定）を押します。漢字が確定され、操作 13 の画面に進みます。

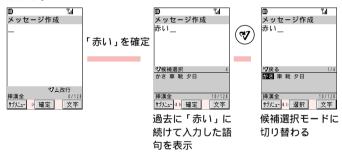
13 で目的の語句を選択し、（選択）を押す

漢字が確定されます。

- 目的の候補が表示されなかったときはを押したあとで変換の対象となる文字（反転表示）の範囲を変え、再度変換を行います。
- 入力可能な最大文字数を超えたときは、確定時に超えた部分が切り捨てられます。

ワード予測機能が「ON」に設定されていると

ワード予測機能（☞P3-3）が「ON」に設定されていると、一度入力した語句は記憶され、文字入力時に役立てられます。たとえば、「あ」と入力しただけで過去に入力した「あ」で始まる語句が候補として一覧表示されます。目的の語句が表示された時点で（キー）を押して候補選択モードに切り替え、（キー）で目的の語句を選択して（キー）（選択）を押すと語句が入力されます。

また、記憶されている入力履歴をもとに、確定した語句に続く次の語句が予測され、候補として表示されます。

14 名前の入力が終わったら、（キー）（確定）を押す

名前で入力した文字が、半角文字でフリガナ入力画面に表示されます。

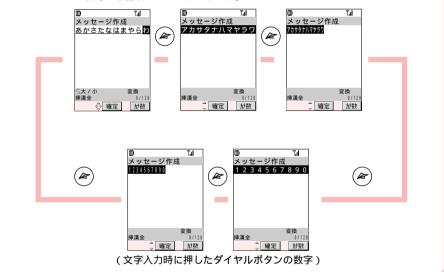
15 (確定) を押す

文字の登録が終わります。

- 入力可能な最大文字数を超えたときは、警告音でお知らせし、それ以上文字を入力することができません。
- よく使う単語などは、ユーザ辞書に登録しておくと変換が簡単になります（☞P10-89）。
- よく使うメッセージなどは、ライブラリに登録しておくと入力の手間が省けます（☞P3-21、10-93）。

カタカナ／数字変換を利用するには

ひらがな／漢字入力モードで入力した確定前のひらがなは、(ｶﾅ数)を押してカタカナやダイヤルボタンの数字に変換することができます。

（文字入力時に押したダイヤルボタンの数字）

編集を中断したデータがあるときは

一部の機能（ユーザ辞書登録、ライブラリ登録、メモリダイヤル、待ち受け表示設定、ウェイクアップ設定、スケジュール設定、アクションアイテム設定、オーナー情報登録、メモ作成）では、文字の入力／編集中に電話がかかってきたときなどには編集が中断され、データが一時的に保護されます。編集を再開するときには、右のような画面が表示されます。

- 編集を続ける場合は◎（はい）を押します。
- 保護されているデータを消去して、新たに編集する場合は✍（いいえ）を押します。

電源を OFF にしたときは保護されたデータは消去されます。

3 文字の入力方法

文字入力／編集中の各種操作

文字入力画面のサブメニューを利用すると、各種の文字や文を簡単に入力することができます。また、入力中の文をライブラリに登録したり、文字入力機能の設定を変更するなど、さまざまな操作が行えます。

1 文字入力画面で◎（サブメニュー）を押す

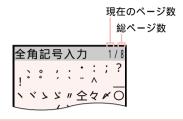
文字入力画面のサブメニューが表示されます。

項　目	項目選択時の動作	参照ページ
小文字切替／大文字切替	小文字入力／大文字入力が切り替わる（かな入力方式のときのみ表示される）	3-6
絵文字入力	絵文字の一覧が表示される	3-15
記号入力	記号の一覧が表示される	3-15
顔文字入力	顔文字の一覧が表示される	3-16
一括文字入力	「.co.jp」のような文字のセット（半角小文字の英字のみ）の一覧が表示される	3-16
ライブラリ	ライブラリに登録されている語句や文の一覧が表示される	3-16
改行入力	カーソルの位置で改行される。改行は、入力画面で◎を長く（1秒以上）押しても行える	—
上書きモード／挿入モード	上書きモード／挿入モードが切り替わる※	3-17
ウェブメモ	ウェブメモ（☞『Vodafone live!編』）の一覧が表示される	3-16
位置情報入力	カーソルの位置に位置情報データ（☞『Vodafone live!編』）が入力される	3-16
オーナー情報入力	オーナー情報（☞P10-80）が表示され、項目を選択して入力することができる	3-17
定型文入力	定型文の分類項目の一覧が表示される。あいさつ文や、メールでよく使う表現を一覧から選択して入力することができる	『Vodafone live!編』
メロディ添付	メロディの一覧が表示される	『Vodafone live!編』
メール色指定	V601N／J-N51／J-N03／J-N03 II／J-N04／J-N05にメールを送信するときに限り、メッセージの配色を指定することができる	『Vodafone live!編』
ペースト	コピーまたはカットした内容が表示される	3-20
コピー	コピーする範囲の指定操作に移行する	3-20
カット	カットする範囲の指定操作に移行する	3-20
消去	消去する範囲の指定操作に移行する	3-18
ライブラリ登録	ライブラリに登録する範囲の指定操作に移行する	3-21
先頭へジャンプ	カーソルが文頭に移動する	—
末尾へジャンプ	カーソルが文末に移動する	—
固定入力	候補を予測しない固定入力に切り替わる（T9入力方式のときにのみ表示される）	3-22
ワード予測ON／ワード予測OFF	ワード予測機能のON／OFFが一時的に切り替わる※	3-3
入力モード切替	入力方式（かな方式／T9方式）の選択画面が表示される※ 入力モード切替は、入力画面で◎を長く（1秒以上）押しても行える	—
文字入力中止	入力／編集途中の内容がすべて破棄され、文字入力前の画面に戻る	—

※設定の変更は編集中の文字入力画面にのみ有効です。

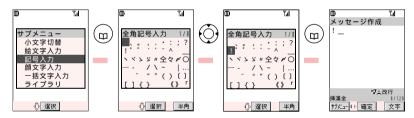
2 で項目を選択し、(選択)を押す

入力文字の一覧が複数にわたるときは

サブメニューから呼び出した入力文字の一覧画面が複数のページを持つ場合は、次のようにページ数が表示されます。

絵文字／記号を入力する

表示される一覧からで目的の絵文字（477種類）／記号（全角385種類、半角41種類）を選択し、(選択) を押します。

例：「記号入力」を選択して全角記号「！」を入力する場合

補足

- 「絵文字・顔文字一覧」（☞『Vodafone live!編』）
- 各入力モードでダイヤルボタンを押して入力できる記号もあります（☞P3-6、3-7）。また、ひらがな／漢字入力モードで「きごう」と入力して(変換) を押して入力できる記号もあります（88種類）。
- 全角／半角記号の一覧画面の右下に「半角」／「全角」が表示されているときに(半角／全角) を押すと、一覧画面を半角／全角に切り替えることができます。
- Vodafoneは、絵文字一覧ではのみ表示されます。を選択するとVodafoneと入力できます。

顔文字／一括文字／ライブラリの文／ウェブメモを入力する

◎で一覧から顔文字（54種類）／一括文字（10種類）／ライブラリの語句や文（最大30件）（☞P3-21、10-93）／ウェブメモの語句や文（最大20件）（☞『Vodafone live!編』）を選択し、Ⓜ（選択）を押します。

例：「一括文字入力」を選択して「.ne.jp」を入力する場合

- 顔文字は、ひらがな／漢字入力モードで「かお」または「かおもじ」と入力して◎(変換）を押しても入力できます。
- 「絵文字・顔文字一覧」（☞『Vodafone live!編』）
- 大文字英字入力モードや小文字英字入力モードでは一括文字を入力するときに、サブメニューを使わずに1を押して入力することもできます（☞P3-6）。
- ライブラリやウェブメモから選択した語句や文に、その入力画面で使用できない文字が含まれていた場合は、入力できない文字が削除されます。
- ウェブメモの一覧に全文が表示されていないときは✍（全文）を押すと選択されているウェブメモの全文が確認できます。

位置情報を入力する

サブメニューの「位置情報入力」を選択してⓂ（選択）を押すだけで、現在地を示す位置情報が入力されます。

位置情報は、V601Nが交信している基地局周辺のおおまかな場所を文字で表した情報で、ステーションで受信します（☞『Vodafone live!編』）。

オーナー情報を入力する

V601Nの電話番号や、あらかじめ登録したオーナー情報（☞P10-80）の中から、目的の項目を選択して◯（選択）を押します。

例：1件目のメールアドレスを入力する場合

一覧に登録内容の全文が表示されていないときは◯（全文）を押すと選択されている項目の全文が確認できます。

挿入モード／上書きモードを切り替える

文字入力画面が表示されたときには挿入モードに設定されていますが、上書きモードに切り替えて入力を行うこともできます。

例：上書きモードを選択する場合

同じ文字を入力しても、入力モードによって次のような結果になります。

●挿入モード

3 文字の入力方法

●上書きモード

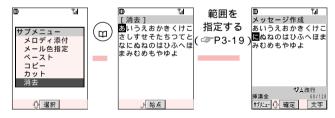
上書きモードに切り替えても、文字入力を終了すると挿入モードに戻ります。

文字を訂正する

間違えた文字を訂正するときは、でカーソルを訂正したい文字の上に移動してを押します。カーソル位置の１文字が消去されます。そのまま文字入力を行うと、消去した文字があった位置に新しい文字が入力されます。

文字を消去する

長いメッセージなどの全文をまとめて消去するときはを長く（1秒以上）押します。また、サブメニューの「消去」を選択すると、範囲を指定した消去が行えます。

例：「さ」から「な」までを消去する場合

範囲を指定するには

サブメニューから「コピー」「カット」「消去」「ライブラリ登録」を選択すると、範囲の始点を指定する画面が表示されます。範囲を指定するには、次のように操作します。

① ◎で始点の文字にカーソルを移動する

② 📖（始点）を押す
範囲の終点を指定する画面が表示されます。

③ ◎で終点の文字までの範囲を選択する

④ 📖（終点）を押す

文字を複写／移動する

入力画面にすでに入力されている単語や文を繰り返し入力するときや、入力画面内の別の場所に移動させたいときには、サブメニューを利用すると便利です。複写するときは、「コピー」と「ペースト」を、移動するときは「カット」と「ペースト」を利用します。
サブメニューから「コピー」／「カット」を選択して範囲の指定を行い、カーソルで複写／移動させる位置を指定してから「ペースト」を選択します。
たとえば文を移動するときは、次の例のようにサブメニューからまず「カット」を選択して、移動する部分を指定します。次にカーソルで移動先を指定し、「ペースト」を選択します。カットした文字が、カーソルの前にペーストされます。

例：「さ」から「な」までを「やゆよ」の前に移動する場合

- 「ペースト」を選択したときに、その入力画面で使用できない文字が含まれていた場合は、入力できない文字が削除されて、ペーストされます。
- コピー／カットした文字は、他の文字をコピー／カットするか、電源を切るか、オールリセット（☞P9-10）を行うまで何度でもペーストできます。

文字をライブラリに登録する

メッセージを入力／編集しているときなどに、繰り返し使えそうな文（全角最大61文字、半角最大128文字）をライブラリとして登録しておくと、次に同じ文を入力するときに便利です。

例：「02」に登録する場合

機能メニューから「ライブラリ」を呼び出して登録することもできます（☞P10-93）。

T9 方式の入力方法を固定入力に切り替える

T9 方式で「おはよう」と入力するときは、通常1(あ)、6(は)、8(や)、1(あ)を押し、表示された「いひょう」、「1681」などの候補の中から「おはよう」を選択します。これらの予測候補を使わずに 1 文字ずつ入力したいときには、サブメニューから「固定入力」を選択して(選択) を押し、固定入力に切り替えます。
固定入力を解除するときは、(解除) を押します。

固定入力で文字を入力するには

文字が割り当てられているボタン（☞P3-7）を押すと、文字が一覧表示されるので、目的の文字に対応する番号をダイヤルボタンで指定します。

例：「お」を入力する場合

固定入力のときに表示

メモリダイヤル

メモリダイヤルの登録

電話番号やE-mailアドレスをメモリダイヤルに登録しておくと、電話をかけたりメールを送信するときに呼び出して使用できます。また、電話がかかってきたときや着信履歴などには、登録した名前が表示されます。
登録できるメモリダイヤルは最大 500 件で、1 件のメモリダイヤルに電話番号とE-mail アドレスを各 3 件まで登録することができます。

メモリダイヤルに登録できる項目

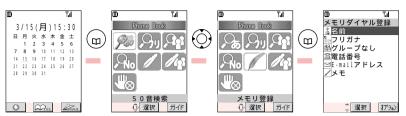
メモリダイヤルには次の項目が登録できます。名前、電話番号、E-mail アドレスのいずれかを登録しておけば、あとから登録内容の追加や変更が行えます。

項目		登録内容	参照ページ
―	メモリ No.	000 ～ 499	4-7
	名前	全角最大 10 文字／半角最大 20 文字	4-4
	フリガナ	半角最大 20 文字	4-5
	グループ	「グループなし」または 19 のグループに分類	4-5
	電話番号	最大 24 桁（3 件まで登録可能）	4-6
	E-mail アドレス	半角英数で最大 60 文字（3 件まで登録可能）	4-6
	メモ	全角最大 30 文字／半角最大 60 文字	4-7
オプション		着信音や着信ランプの色などを相手によって変えるときに設定 マイコール着信音 マイコール着信色 マイコールイラスト マイメール着信音 マイメール着信色 Pin PIN コード Sub サブアドレス	4-9

補足

マイコール着信音やマイコール着信色などのオプション項目は、そのメモリダイヤルに登録されているすべての電話番号やメールアドレスに対して適用されます。登録している複数の電話番号やメールアドレスに個別に設定することはできません。

メモリダイヤルの登録には、次の２通りの方法があります。

● [TEL key icon]が表示されているとき（待受画面など）にメモリダイヤル登録画面を表示させると、お好みの項目から登録することができます。

メモリダイヤル登録画面

● 電話番号を入力したあとや、リダイヤル、着信履歴からメモリダイヤル登録画面を表示させ、他の項目を登録することができます。次のように新規のメモリダイヤルとして登録する以外に、すでに登録済みのメモリダイヤルに追加登録することもできます（☞P4-25）。

「電話番号」という項目名の代わりに、入力した電話番号が表示されます。

大切なデータを失わないために

メモリダイヤルに登録した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切なメモリダイヤルなどは、控えをとっておかれることをおすすめします。なお、メモリダイヤルが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

メモリダイヤルに登録する

登録したい項目を選択して、内容を登録します。必須項目（名前、電話番号、E-mail アドレス）のいずれかを登録すれば、それ以外の項目は省略できます。また、必要に応じて、電話やメールの相手を着信音や着信ランプの色で識別できるようにしたり、着信イラスト、PIN コード、サブアドレスなどを登録するオプション設定が行えます（☞P4-9）。

メモリダイヤルの登録例

例：[電話帳]が表示されているとき、名前、フリガナ、グループ、電話番号、E-mailアドレス、メモの項目を登録する場合

1 **[電話帳]（[電話帳]）を押す**

2 **[方向キー]で[メモリ登録アイコン]（メモリ登録）を選択し、[電話帳]（選択）を押す**

名前の行が反転表示されます。

3 **[電話帳]（選択）を押し、名前（全角最大 10 文字、半角最大 20 文字）を入力する**

「文字の入力方法」（☞P3-1）

4 メモリダイヤル

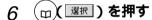
4 (確定) を押す

名前入力の画面で入力した文字列がそのままフリガナとして半角文字で表示されます。

- フリガナを変更するときはでカーソルを変更する文字に移動し、を押して消去してから入力し直します。
- 最大 20 文字まで表示されます。

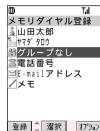
5 (確定) を押す

グループの行が反転表示されます。

6 (選択) を押す

グループ選択画面が表示されます。

「グループなし」または 19 のグループの中から選択できます。「グループ 01」～「グループ 19」には「友達」「会社」などの名前を付けたり、グループ別の着信音や着信ランプの色などを設定することができます(☞P4-16)。

7 でグループを選択し、(選択) を押す

電話番号の行が反転表示されます。

8 📖（選択）を押し、電話番号（最大24桁）を全桁入力する

- 一般電話の場合は、市外局番から入力します。
- 「文字の入力方法」（☞P3-1）
- 13桁目以降を入力したときは、1桁目から順に上の行に移動します。
- あらかじめメモリダイヤルやメッセージ、ウェブの情報、バーコードの認識データに含まれる電話番号などをコピーしてあるときは、電話番号入力画面に［ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ］が表示され、電話番号のペーストが行えます。◎（ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ）を押し、「ペースト」を選択して📖（選択）を押すとコピーされている電話番号が表示されるので、📖（決定）を押します。

9 📖（確定）を押す

入力した電話番号の下に、もう1つ電話番号の行が表示されます。1つのメモリダイヤルに複数の電話番号を登録する場合は、操作8〜9を繰り返します。

1つのメモリダイヤルに最大3件まで登録できます。

10 ◎で E-mail アドレスの行を選択する

11 📖（選択）を押し、E-mailアドレス（半角最大60文字）を入力する

「文字の入力方法」（☞P3-1）

12 📖（確定）を押す

入力した E-mail アドレスの下に、もう1つ E-mail アドレスの行が表示されます。1つのメモリダイヤルに複数の E-mail アドレスを登録する場合は、操作11〜12を繰り返します。

1つのメモリダイヤルに最大3件まで登録できます。

13 ◎でメモの行を選択する

14 (選択)を押し、メモ（全角最大 30 文字、半角最大 60 文字）を入力する

「文字の入力方法」（☞P3-1）

メモ入力
取引先営業担当
高校時代の級友＿
挿漢全
ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ　確定　文字

15 (確定)を押す

必須項目（名前、電話番号、E-mail アドレス）のいずれかを入力しないと 登録 が表示されず、登録することができません。

メモリダイヤル登録
山田太郎
ﾔﾏﾀﾞ ﾀﾛｳ
取引先
０９０３９２ＸＸＸＸ１
電話番号
taro-yamada@abcde
E-mailアドレス
取引先営業担当
登録　選択　ｵﾌﾟｼｮﾝ

16 (登録)を押す

空いている一番若いメモリ No. が反転表示されます。

17 メモリ No.（000 〜 499）を入力する

登録の完了をお知らせします。続けてメモリダイヤルの登録が行えます。

- 表示されているメモリ No.に登録する場合は(登録)を押します。
- メモリ No. の先頭の「00」や「0」を省略し、最後に(登録)を押して指定することもできます。たとえば「009」に登録する場合は 9 と(登録)を押します。
- 入力したメモリ No.にシークレットメモリ（☞P4-13）が登録されている場合は、登録できません。メモリ No. を指定し直してください。

＊を使って登録するメモリ No. を指定するには

3 桁のメモリ No. を入力する代わりに＊を使って登録するメモリ No. の範囲を指定することができます。

メモリ No.		ダイヤル入力
空いている一番若い番号		＊
10 番台 ⋮ 90 番台	010 ⋮ 099	1＊ ⋮ 9＊
100 番台 ⋮ 490 番台	100 ⋮ 499	10＊ ⋮ 49＊

入力したメモリ No. にすでに登録されているときは

入力したメモリNo.にすでにメモリダイヤルが登録されているときには、右のような画面が表示されます。

- すでに登録されているメモリNo.に上書きして登録する場合は◉（変更）を押します。
- 別のメモリ No. に変更する場合は✉（新規）を押すと、操作 16 の画面に戻ります。別のメモリ No. を指定してください。

「変更したメモリダイヤルがグループアドレスや自動振り分けに登録されているときは」（☞P4-24）

4 メモリダイヤル

オプションを設定する

必要に応じてメモリダイヤルのオプションを設定します。

1 メモリダイヤル登録画面で（オプション）を押す

オプション項目画面が表示されます。

オプション項目画面

項　目		概　要	初期値	参照ページ
	マイコール着信音	電話がかかってきたときの着信音を設定する	個別指定無：着信音パターン（☞P8-5）に従う	4-10
	マイコール着信色	電話がかかってきたときの着信ランプの色を設定する	個別指定無：着信イルミネーション（☞P8-16）に従う	4-10
	マイコールイラスト	電話がかかってきたときの画像を設定する	個別指定無：マイキャラクター（☞P7-9）に従う	4-11
	マイメール着信音	メールが届いたときの着信音を設定する	個別指定無：着信音パターン（☞P8-5）に従う	4-10
	マイメール着信色	メールが届いたときの着信ランプの色を設定する	個別指定無：着信イルミネーション（☞P8-16）に従う	4-10
Pin	PIN コード	PIN コード（4 桁の数字）を登録する	—	4-12
Sub	サブアドレス	サブアドレス（0～65535）を登録する	—	4-12

2 で項目を選択し、（選択）を押す

3 設定操作を行う

4 設定操作後オプション項目画面に戻ったら、必要に応じてほかの項目を設定したあと、（決定）を押す

メモリダイヤル登録画面に戻ります。

マイコール着信音／マイメール着信音を設定する

例：マイコール着信音をデータフォルダのサウンドから選択する場合

1 オプション項目画面でマイコール着信音の行（ ）を選択する

マイメール着信音を設定するには、マイメール着信音の行（ ）を選択します。

2 で「データフォルダ」を選択し、（選択）を押す

- 「内蔵メロディ」を選択したときは、メロディ一覧が表示されます。
- 「個別指定無」または「OFF」を選択したときは、設定が終わり、オプション項目画面に戻ります。

3 目的のフォルダから目的のファイルを選択し、（選択）を押す

設定が終わり、オプション項目画面に戻ります。

（演奏）を押してメロディ／サウンドを再生し、再生中に（選択）を押すこともできます。再生音量は各着信の設定（☞P8-3）に従います。ただし、ステップトーンに設定されている場合は最小の音量（レベル 1）で鳴ります。また、マナーモード時はマナーモード設定（☞P8-13）の各着信音量に従います。

設定したメモリダイヤルがシークレットメモリの場合には、シークレットモードに設定されていないとマイコール着信音、マイメール着信音の設定は無効になります。

マイコール着信色／マイメール着信色を設定する

例：マイコール着信色を設定する場合

1 オプション項目画面でマイコール着信色の行（ ）を選択する

マイメール着信色を設定するには、マイメール着信色の行（ ）を選択します。

2 で色または「個別指定無」を選択し、(選択) を押す

設定が終わり、オプション項目画面に戻ります。

補足 選択した着信色は、背面の着信ランプで確認できます。

補足 設定したメモリダイヤルがシークレットメモリの場合には、シークレットモードに設定されていないとマイコール着信色、マイメール着信色の設定は無効になります。

マイコールイラストを設定する

例：データフォルダのファイルから選択する場合

1 **オプション項目画面でマイコールイラストの行（ ）を選択する**

2 で「データフォルダ」を選択し、(選択) を押す

補足 「個別指定無」を選択したときは、通常の着信イラストが表示されます。操作4に進みます。

3 **目的のフォルダから目的のファイルを選択し、(表示) を押す**

画像が再生されます。

4 **(選択) を押す**

設定が終わり、オプション項目画面に戻ります。

補足 画像再生画面でを押して、画像の表示サイズを変更（リサイズ）することができます（☞P11-5）。

補足
- マイコールイラストには、静止画像、ファインアニメやメールアニメといったアニメーションを設定することができます。DCF形式のJPEGファイル（☞P11-3）は設定できません。
- 設定できる画像の大きさは、縦67×横160ドットまでです。大きすぎる場合は、設定できない部分をカットして画像の中央部分を表示します。
- 設定したメモリダイヤルがシークレットモードの場合には、シークレットモードに設定されていないとマイコールイラストの設定は無効になります。

PIN コード／サブアドレスを登録する

例：PINコードを登録する場合

1 オプション項目画面で「PIN コード」を選択する

サブアドレスを登録するには、「サブアドレス」を選択します。

2 PIN コードを入力する

PIN コードは 4 桁の数字、サブアドレスは 0 ～ 65535 の数字を入力します。

3 (確定) を押す

設定が終わり、オプション項目画面に戻ります。

秘密にしたい電話番号を登録する

シークレットモードで登録したメモリダイヤルは、シークレットメモリとして保管され、操作用暗証番号（☞P1-20）を入力してシークレットモードを設定しない限り、呼び出すことができません。他の人に知られたくないメモリダイヤルは、シークレットメモリに登録してください。
シークレットメモリを登録したり呼び出したりするには、次のように操作します。

STEP1　**シークレットモードを設定する（☞P4-13）**

STEP2　**シークレットメモリを登録する／呼び出す（☞P4-14）**

4 メモリダイヤル

STEP1　シークレットモードを設定する

1 「シークレットモード」を呼び出す

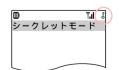
① ◯（Menu）を押す
② ◯で［各種設定アイコン］（各種設定）を選択し、◯（選択）を押す
③ ◯で［禁止アイコン］（禁止）を選択し、◯（選択）を押す
④ ◯で「シークレットモード」を選択し、◯（選択）を押す

2 ◯（変更）を押し、操作用暗証番号を入力する

操作用暗証番号が正しく入力されると、確認画面が表示されます。

3 ◯（はい）を押す

設定の完了をお知らせします。シークレットモードが設定されているときはディスプレイに「⚷」が表示されます。

4 (PWR HLD)を押す

待受画面に戻ります。

通話中は(CLR)を繰り返し押して通話中画面に戻してください。(PWR HLD)を押すと通話が切れてしまいます。

STEP2　シークレットメモリを登録する／呼び出す

1 メモリダイヤル登録／呼び出しの操作をする

通常のメモリダイヤルと同様の登録操作（☞P4-4）、呼び出し操作（☞P4-17）を行ってください。

- シークレットモードを解除するには、待受画面表示中に(PWR HLD)を押します。「 」が消え、シークレットモードが解除されます。
- シークレットモードを設定しているときにシークレットメモリを表示させると「 」が点滅します。通常のメモリダイヤルを表示中には点灯します。

シークレットメモリに登録されている相手から電話がかかってきたり、メールが送信されてくると

シークレットモードを設定しているときには名前が表示され、設定していないときには電話番号または E-mail アドレスが表示されます。

シークレットメモリを通常のメモリダイヤルに変更するには

シークレット解除を行って通常のメモリダイヤルに変更することができます。

①「シークレットモードを設定する」の操作と「シークレットメモリを登録する／呼び出す」の操作を行い、シークレット解除するメモリダイヤルを呼び出す

②(サブメニュー) を押す

③ で「シークレット解除」を選択し、(選択) を押す

④(はい) を押す

グループを登録する

メモリダイヤルのグループ「グループ01」～「グループ19」には、次の項目を登録できます。
また、メールの自動振り分け設定にグループを利用することもできます
(☞『Vodafone live!編』)。

項目		概要	初期値
－	グループ名	全角最大10文字／半角最大20文字	「グループ01」～「グループ19」
	グループコール着信音	電話がかかってきたときの着信音を設定する	個別指定無：着信音パターン(☞P8-5)に従う
	グループコール着信色	電話がかかってきたときの着信ランプの色を設定する	個別指定無：着信イルミネーション(☞P8-16)に従う
	グループコールイラスト	電話がかかってきたときの画像を設定する	個別指定無：マイキャラクター(☞P7-9)に従う
	グループメール着信音	メールが届いたときの着信音を設定する	個別指定無：着信音パターン(☞P8-5)に従う
	グループメール着信色	メールが届いたときの着信ランプの色を設定する	個別指定無：着信イルミネーション(☞P8-16)に従う

1 (　) を押す

2 で (グループ登録)を選択し、(選択)を押す

4 メモリダイヤル

3 でグループを選択し、（選択）を押す

グループ編集画面が表示されます。

- 「グループ名を登録／編集する」（☞P4-16）
- 「グループごとの着信音や着信色、イラストを登録／編集する」（☞P4-16）

グループ名を登録／編集する

4 でグループ名の行を選択し、（選択）を押す

で前後のグループを表示させることもできます。

5 グループ名（全角最大１０文字／半角最大２０文字）を入力し、（確定）を押す

グループ編集画面に戻ります。続けて他の項目の登録／編集が行えます。

「文字の入力方法」（☞P3-1）

グループごとの着信音や着信色、イラストを登録／編集する

4 で項目の行を選択し、（選択）を押す

で前後のグループを表示させることもできます。

5 各項目の設定を行う

設定操作の方法は、メモリダイヤルのオプションの設定と同じです（☞P4-9～4-11）。

- 個々のメモリダイヤルのオプションの設定内容は、グループ登録の内容よりも優先されます。そのため、グループ分けされたメモリダイヤルに個別のオプションが設定されている場合には、グループ別の着信音や着信色などの設定は無効となります。
- 「グループなし」にはグループ名や着信音、着信色などを設定できません。
- 設定したグループの中にシークレットメモリが含まれている場合は、シークレットモードに設定されていないときには、グループ中のシークレットメモリに対するグループごとの着信音、着信色、イラストの設定は無効になります。

メモリダイヤルで電話をかける

メモリダイヤルを呼び出すには、50音／フリガナ／グループ／メモリNo.のいずれかの検索方法を使います。シークレットメモリを呼び出す（☞P4-14）ときは、シークレットモードを設定してから操作します。メモリダイヤルを使って電話をかけるには、これらの検索方法を使うほかに、メモリNo.を直接入力するスピードダイヤル（☞P4-31）があります。

50音検索で呼び出す

名前のフリガナによって50音順に並べられたリストからメモリダイヤルを検索します。行のタグを指定してすばやく呼び出すことができます。

例：「山田太郎」を呼び出す場合

1 **(📖TEL) を押す**

2 **で (50音検索)を選択し、(選択)を押す**

すべてのメモリダイヤルが50音順に表示されます。

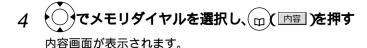
行の指定が不要なときは、操作4に進みます。

3 **(前へ) または (次へ) を押して目的の行のタグを表示させる**

ここではや行のタグを表示させます。

- 文字を割り当てられているボタン（や行：8TUV や）で行を指定することもできます。アルファベットのタグは（＊ ﾞﾟ）、記号など「他」のタグは（# 記号）で指定します。
- ディスプレイの最下段に選択方向表示の◁や▷が表示されているときは、またはを押すことにより、表示中のタグ内で改ページすることができます。

4 メモリダイヤル

4 でメモリダイヤルを選択し、(内容)を押す

内容画面が表示されます。

5 電話をかけるときは、で目的の電話番号を表示させ、を押す

相手につながると通話できます。

補足

操作4の画面でを押すと、前後のメモリダイヤルの内容画面が表示されます。
「メモリダイヤル内容画面での各種操作」（☞P4-27）

注意

発信禁止（☞P9-6）やオフラインモード（☞P9-18）が設定されているときは、電話をかけることはできません。

補足

を押して選択できるのは、表示中のタグに含まれるメモリダイヤルのみです。ただし、「全て」タグ表示中にを押すと、すべてのメモリダイヤルが50音順に検索できます。

フリガナ検索で呼び出す

名前のフリガナの頭の何文字かを入力して、そのフリガナが登録されているメモリダイヤルを検索します。

例：「山田太郎」を呼び出す場合

1 () を押す

2 で(フリガナ検索）を選択し、(選択）を押す

3 フリガナ（半角最大 20 文字）を入力する

ここでは「ﾔﾏ」と入力します。

- 「文字の入力方法」（☞P3-1）
- 最初の文字を入力するだけでも検索できます。

4 （検索）を押す

入力したフリガナで登録されているメモリダイヤルが表示されます。

5 「50 音検索で呼び出す」の操作 4 ～ 5（☞P4-18）を行う

- フリガナ検索では、入力したフリガナを名前の先頭に持つメモリダイヤルのみが検出されます。
- フリガナを入力せずに検索すると、フリガナなしで登録しているメモリダイヤルが検出されます。

グループ検索で呼び出す

グループの中から、目的のメモリダイヤルを検索します。

例：「取引先」から「山田太郎」を呼び出す場合

1 （TEL）を押す

2 で（グループ検索）を選択し、（選択）を押す

3 で目的のグループを選択し、（検索）を押す

ここでは「取引先」を選択します。
選択したグループに登録されているメモリダイヤルが50音順に表示されます。

4 メモリダイヤル

4 「50音検索で呼び出す」の操作4～5（☞P4-18）を行う

メモリNo.検索で呼び出す

メモリNo.を手がかりにメモリダイヤルを検索します。
メモリNo.「000」～「099」に登録されているメモリダイヤルに電話をかけるときは、スピードダイヤルでかけるとさらに便利です（☞P4-31）。

例：メモリNo.「019」の「山田太郎」を呼び出す場合

1 （）を押す

2 で（メモリNo.検索）を選択し、（選択）を押す

3 メモリ No.（3 桁）を入力する

ここでは「019」と入力します。

メモリ No.「000 ～ 099」のメモリダイヤルを検索するときは、1 桁または 2 桁だけ入力して◎を押してもリストが表示されます。たとえば、「019」と入力する代わりに「19」と入力して◎を押します。

4 「50 音検索で呼び出す」の操作 4 ～ 5（☞P4-18）を行う

補足 操作2の画面で何も入力せずに◎を繰り返し押すと、すべてのメモリダイヤルがメモリNo.順に表示されます。また、◎を繰り返し押すと逆順に表示されます。

メモリダイヤルを編集する

メモリダイヤルの登録内容を確認／変更したり、着信履歴やリダイヤル、送受信メールなどの電話番号／ E-mail アドレスを追加登録することができます。

登録内容を確認する

例：メモの内容を確認する場合

1 内容を確認するメモリダイヤルを呼び出す

内容画面が表示されます。

呼び出しかた：「メモリダイヤルで電話をかける」
(☞P4-17 ～ 4-21)

2 を選択する

メモとして登録したすべての内容が表示されます。

3 確認が終わったら PWR HLD を押す

待受画面に戻ります。

通話中は CLR を繰り返し押して通話中画面に戻してください。PWR HLD を押すと通話が切れてしまいます。

登録内容を変更する

例：電話番号を変更する場合

1 変更するメモリダイヤルを呼び出す

内容画面が表示されます。

呼び出しかた：「メモリダイヤルで電話をかける」（☞P4-17～4-21）

2 (編集) を押す

3 で変更する項目の行を選択し、(選択) を押す

ここでは１件目の電話番号を選択します。

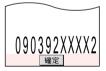
4 内容を変更する

- 「文字の入力方法」（☞P3-1）
- あらかじめメモリダイヤルやメッセージ、ウェブの情報、バーコードの認識データに含まれる電話番号などをコピーしてあるときは、電話番号入力画面にｻﾌﾞﾒﾆｭｰが表示され、電話番号のペーストが行えます。(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ) を押し、「ペースト」を選択して(選択) を押すとコピーされている電話番号が表示されるので、(決定) を押します。

4

メモリダイヤル

5 (確定) を押す

6 (登録) を押す

メモリダイヤル

7 (変更) を押す

変更の完了をお知らせします。

補足 シークレットメモリはシークレットモード（☞P4-13）に設定しないと変更ができません。

変更したメモリダイヤルがグループアドレスや自動振り分けに登録されているときは

操作７のあとで右の画面が表示されたときは、グループアドレスに同じメモリ No. で登録されていた内容が消去されます。自動振り分けに登録されていたときは「旧データを自動振り分けから消去しました」、両方に登録されていたときは「自動振り分け、グループアドレスから消去しました」と表示されます。

補足 グループアドレスおよび自動振り分けについては、『Vodafone live!編』を参照してください。

変更内容を新しいメモリ No. に登録するには

変更前のメモリダイヤルはもとの内容のまま残し、変更後の内容を別のメモリ No. で登録したいときは、次のように操作します。

① 操作６で変更を確認する画面が表示されたら、(新規) を押す
空いている一番若いメモリ No. が反転表示されます。
②「メモリダイヤルの登録例」の操作１７（☞P4-7）を行う

電話番号／E-mailアドレスを追加登録する

各種の機能の画面（リダイヤル、着信履歴、送受信メール、ウェブ、ステーション、マルチメディアメモ、vシリーズのファイル、テキストメモ、バーコード）に表示される電話番号やE-mailアドレスを、登録済みのメモリダイヤルに追加登録することができます。また、0〜9で入力した電話番号を追加登録することもできます。

例：着信履歴の電話番号を追加登録する場合

1 登録したい電話番号が表示されている画面を呼び出す

待受中または通話中に、電話番号を0〜9で入力することもできます。

2 📖（登録）を押す

3 ◎で「追加登録」を選択し、📖（選択）を押す

新規のメモリダイヤルとして登録するときには「新規登録」を選択します（☞P4-3）。

4 追加登録するメモリダイヤルを呼び出す

内容画面が表示されます。

- 呼び出しかた：「メモリダイヤルで電話をかける」（☞P4-17～4-21）
- 電話番号を追加登録するときには、すでに電話番号が3件登録されているメモリダイヤルは表示されません。同様に、E-mail アドレスを追加登録するときは、E-mail アドレスが 3 件登録済みのメモリダイヤルは表示されません。不要な電話番号／ E-mail アドレスを消去してから操作し直すか、別のメモリダイヤルに追加登録してください。

5 （編集）を押す

着信履歴の電話番号が2件目の電話番号として表示されます。

6 「登録内容を変更する」の操作 6 ～ 7（☞P4-24）を行う

登録の完了をお知らせします。

メール、ウェブ、ステーションの各機能の画面から登録した場合は、各機能の画面に戻ります。

メモリダイヤル内容画面での各種操作

メモリダイヤルの内容画面からは、サブメニューを使ったさまざまな操作が行えます。

項　目	概　要	参照ページ
送出	ポケットベルにメッセージを送ったり、留守番電話を遠隔操作したり、プッシュホンサービスを利用したりする	13-11
メール作成※	登録した電話番号やE-mailアドレス宛てのメッセージを作成する	4-27
赤外線送信	表示中の登録内容を赤外線通信で転送する	11-50
vCard で保存	表示中の登録内容を vCard ファイルとして保存する	11-49
個人データ消去	表示中のメモリダイヤルを消去する	4-28
シークレット解除	表示中のメモリダイヤルのシークレット設定を解除する	4-14
電話番号消去	表示中のメモリダイヤルの電話番号／E-mailアドレスを消去する	4-29
アドレス消去		
電話番号コピー	表示中のメモリダイヤルの電話番号／E-mailアドレス／メモをコピーする	4-30
アドレスコピー		
メモコピー		

※メール作成を行うときは、あらかじめ日付時刻設定（☞P2-4）をしておく必要があります。

送信メッセージを作成する（メール作成）

1　メモリダイヤルを呼び出し、◯で宛先に指定する電話番号または E-mail アドレスを表示する

呼び出しかた：「メモリダイヤルで電話をかける」（☞P4-17～4-21）

2　（ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ）を押す

サブメニューが表示されます。

3　◯で「メール作成」を選択し、（選択）を押す

通信選択メニュー画面が表示されます。

- 「文字の入力方法」（☞P3-1）
- メールの送信方法（☞『Vodafone live!編』）
- 日付時刻設定（☞P2-4）をしていないときはメッセージの作成を行えません。

メモリダイヤルを 1 件消去する（個人データ消去）

1 消去するメモリダイヤルを呼び出す

呼び出しかた：「メモリダイヤルで電話をかける」
（☞P4-17 ～ 4-21）

2 （ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ）を押す

サブメニューが表示されます。

3 で「個人データ消去」を選択し、（選択）を押す

確認画面が表示されます。

4 （はい）を押す

消去の完了をお知らせします。

消去したデータがグループアドレスや自動振り分けに登録されているときは

右のような画面が表示されたときは、グループアドレスに登録されていた内容も消去されます。自動振り分けに登録されていたときは「自動振り分けから消去しました」、両方に登録されていたときは「自動振り分け、グループアドレスから消去しました」と表示されます。

グループアドレスおよび自動振り分けについては、『Vodafone live!編』を参照してください。

電話番号／E-mailアドレスを消去する

例：電話番号を消去する場合

1 メモリダイヤルを呼び出し、◎で消去する電話番号を表示する

呼び出しかた：「メモリダイヤルで電話をかける」
（☞P4-17～4-21）

2 ◎（ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ）を押す

サブメニューが表示されます。

3 ◎で「電話番号消去」を選択し、📖（選択）を押す

確認画面が表示されます。

E-mailアドレスを消去するときは、操作1でE-mailアドレスを表示させ、サブメニューから「アドレス消去」を選択して📖（選択）を押します。

4 ◎（はい）を押す

消去の完了をお知らせします。

- たとえば2件目の電話番号が登録されている状態で1件目の電話番号を消去した場合には、2件目の内容が1件目に移動します。E-mailアドレスを消去した場合も同様です。
- 消去した電話番号／E-mailアドレスが含まれるメモリダイヤルにグループアドレスや自動振り分けに登録されている電話番号／E-mailアドレスがあったときには、メモリダイヤルを消去したときと同様に、「グループアドレスから消去しました」などのメッセージが表示されます。

電話番号／E-mail アドレス／メモをコピーする

例：E-mailアドレスをコピーする場合

1　メモリダイヤルを呼び出し、でコピーするE-mail アドレスを表示する

呼び出しかた：「メモリダイヤルで電話をかける」
（☞P4-17 ～ 4-21）

2　（ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ）を押す

サブメニューが表示されます。

3　で「アドレスコピー」を選択し、（選択）を押す

コピーの完了をお知らせします。

- 電話番号／メモをコピーするときは操作 1 で電話番号／メモを表示させ、サブメニューから「電話番号コピー」／「メモコピー」を選択し、（選択）を押します。
- コピーした内容は、メッセージ作成画面などに繰り返しペーストできます（☞P3-20）。

4
メモリダイヤル

メモリダイヤルをすばやく呼び出す(スピードダイヤル)

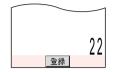
メモリ No.「000」〜「099」に登録されているメモリダイヤルは、メモリ No. と
(☎)を押すだけで電話がかけられます。

例： メモリNo.「022」を呼び出して電話をかける場合

1 メモリ No. のダイヤルボタンを押す

ここでは(2)(2)と押します。

先頭の「00」または「0」は省略します。
・「000」の場合：(0)
・「010」の場合：(1)(0)

2 (☎)を押す

メモリ No.「022」に登録されている電話番号にダイヤルされます。相手につながると通話できます。

発信禁止（☞P9-6）やオフラインモード（☞P9-18）が設定されているときは、電話をかけることはできません。

シークレットモード（☞P4-13）が設定されているときには、該当するメモリダイヤルがシークレットメモリでもスピードダイヤルでかけられます。

4
メモリダイヤル

電話を受けたくない相手を登録する（指定着信拒否）

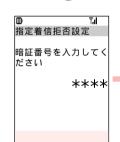
指定着信拒否の設定リストに電話番号（最大20件）を登録すると、その番号からかかってきたときには自動的に電話を切り、着信履歴に記録を残します。登録する電話番号はメモリダイヤルや着信履歴などから選択するほか、直接入力することもできます。設定リストの登録や消去には、操作用暗証番号（☞P1-20）の入力が必要です。

電話番号を設定リストに登録する

1 （ ）を押す

2 で（指定着信拒否）を選択し、（選択）を押す

3 操作用暗証番号を入力する

操作用暗証番号が正しく入力されると、設定リスト画面が表示されます。

4 で登録先を選択し、（選択）を押す

- 「メモリダイヤルから登録する」（☞P4-33）
- 「リダイヤル／着信履歴から登録する」（☞P4-33）
- 「設定リストに電話番号を直接入力する」（☞P4-34）

4 メモリダイヤル

メモリダイヤルから登録する

5 (📖)([📖TEL]) **を押す**

6 **メモリダイヤルを呼び出し、◯で登録する電話番号を表示する**

呼び出しかた：「メモリダイヤルで電話をかける」
（☞P4-17～4-21）

7 (📖)([決定]) **を押す**

設定が終わり、設定リスト画面に戻ります。

リダイヤル／着信履歴から登録する

例：着信履歴から選択する場合

5 (CLR)**を押す**

リダイヤルが表示されます。

- リダイヤルの電話番号を登録するときは、操作７に進みます。
- リダイヤルが１件もないときは、着信履歴が表示されます。操作７に進みます。

6 (着歴) を押す

着信履歴が表示されます。

7 で目的の電話番号を表示させ、(決定) を押す

設定が終わり、設定リスト画面に戻ります。

設定リストに電話番号を直接入力する

着信拒否したい電話番号を設定リストへ直接入力するには、次のように操作します。

5 電話番号（最大 24 桁）を入力する

6 (決定) を押す

設定が終わり、設定リスト画面に戻ります。

着信履歴のサブメニューを使って設定リストに登録するには

設定リストへの登録は、着信履歴のサブメニューからも行えます。

① 登録する着信履歴を表示する（☞P2-18）

② (ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ) を押す

③ で「着信拒否設定」を選択し、(選択) を押す

④ 操作用暗証番号を入力する

⑤ で登録先を選択し、(決定) を押す

すでに登録されている登録先を選択した場合には、確認画面が表示されます。変更するときは(はい) を押します。

設定リストの電話番号からの着信履歴は

指定着信拒否設定の設定リストの電話番号から電話がかかってきたときには、呼び出しを行わずに自動的に電話を切ります。この場合、着信履歴には「着信拒否」と表示され、応答時間は「0 秒間」と表示されます。

4

メモリダイヤル

電話番号を設定リストから消去する

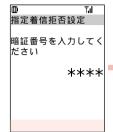
例：電話番号を1件消去する場合

1 設定リストを呼び出す

① (TEL) を押す

② で (指定着信拒否) を選択し、 (選択) を押す

2 操作用暗証番号を入力する

操作用暗証番号が正しく入力されると、設定リスト画面が表示されます。

3 で消去する電話番号を選択し、 (消去) を押す

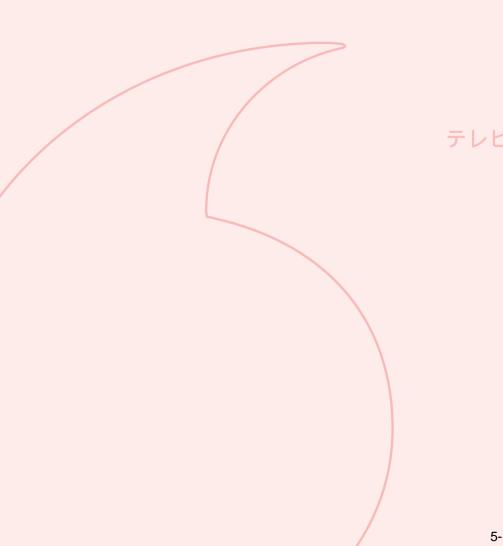
すべて消去するときは設定リストのどの番号を選択していても行うことができます。

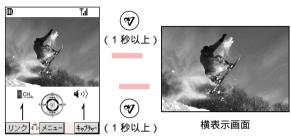
4 (1件) を押す

消去の完了をお知らせします。

設定リストの電話番号をすべて消去するときは (すべて) を押し、操作用暗証番号を入力します。

4 メモリダイヤル

テレビ

テレビをご利用になる前に

V601Nのメインディスプレイでテレビ映像が見られます。横表示に切り換えると、より大きな画面で楽しめます。音声は、スピーカーまたは付属のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクで聞くことができます。また、付属のライン入力ケーブルで映像機器を接続して、外部入力からの映像を見たり、録画したりすることもできます。テレビ映像や外部入力の映像は、静止画やアニメーションとして登録（キャプチャー）することもできます。

縦表示画面　横表示画面

テレビをご利用になるには、次のことにご注意ください。

- ●テレビをご利用になると、本体が熱くなります。肌に触れた状態で長時間ご利用し続けますと、皮膚へ影響を与えることがあります。
- ●テレビを起動するには、あらかじめ日付時刻設定（☞P2-4）をしておく必要があります。
- ●テレビの視聴は、必ずアンテナを伸ばした状態で行ってください。
- ●テレビの視聴時には、付属のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを取り付け、コードを伸ばしてご使用ください。伸ばさないとテレビの電波を十分に受信できないことがあります。または、ライン入力ケーブルを取り付け、アンテナ入力端子に外部アンテナを接続してご使用ください。

●テレビ使用時の接続とテレビ信号の入力元

接続機器	受信帯域と入力元		
	VHF	UHF	CATV
接続なし	V601Nの内部アンテナ	V601Nのアンテナ	―
TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク	TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク	V601Nのアンテナ	―
ライン入力ケーブル	アンテナ入力端子	アンテナ入力端子	アンテナ入力端子
受信状態が悪いときの処置	• TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを接続する • ライン入力ケーブルのアンテナ入力端子を外部のアンテナへ接続する	• V601Nのアンテナを伸ばしていることを確認する • ライン入力ケーブルのアンテナ入力端子を外部のアンテナへ接続する	• ライン入力ケーブルのアンテナ入力端子へCATVの信号が入力されていることを確認する

●本テレビ機能は、日本国内専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。

起動／オートオフ機能／テレビの自動終了について

● 電池残量が少ないとき（電池レベル表示が▮以下のとき）は、テレビを起動できません。また、電池残量が少ないときには充電器を接続しても電池レベルが▮▮以上に回復するまでは起動できません。

● オートオフ機能のはたらきにより、テレビは30分で自動的に終了します。オートオフまでの時間を60分に変更することもできます。

● テレビは次のような場合にも自動的に終了します。
- 電話がかかってきたとき
- スケジュール／アクションアイテム／めざましのアラームが起動したとき
- Java™タイマーが起動したとき
- ステーションの特に緊急度の高い情報を受信したとき（☞『Vodafone live!編』）
- V601Nを折り畳んだとき（クローズ終話の設定にかかわらず）
- 電池残量が少なくなったとき（電池レベル表示が▮になったとき）

充電について

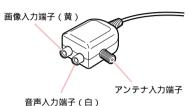
● 充電しながらテレビを見ることもできます。ただし、オートオフ機能により充電中でもテレビが30分または60分で終了します。
● 充電しながらテレビを見ていると、充電が完了しない場合があります。
● 充電中、充電ケーブルをアンテナに近づけると、画質が劣化することがありますので、ご了承ください。

ライン入力ケーブルのご使用について

- ●手動選局中、オート選局中、自動設定中にライン入力ケーブルやTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを抜き差しした場合には、電波の入力元が変わるため、抜き差しする前に選局されていたチャンネルが受信できないことがあります。
- ●外部入力端子にライン出力以外の端子を接続した場合、過大な入力を加えると故障の原因となります。
- ●ライン入力ケーブルを接続したままにしていると、待受時間が短くなります。ご使用にならないときには外しておくことをおすすめします。
- ●ライン入力ケーブルを接続した場合には、テレビ電波の受信はライン入力ケーブルからのみ行われます。
- ●ライン入力ケーブルの端子は次のようになっています。映像機器などから該当する端子を接続してください。

画像入力端子	：ビデオ／DVDなどからの画像出力端子を接続します。
音声入力端子	：ビデオ／DVDなどからの音声出力端子を接続します。モノラル音声に対応します。
アンテナ入力端子	：外部アンテナなどからの電波出力端子を接続します。

- ●外部入力からの音を再生すると、同じ音量に設定していても音が小さく聞こえることがあります。

5 テレビ

テレビ放送の電波について

- ●次のような場所では、電波の受信状況が悪く画質や音質が劣化することがあります。
  - ・放送局から遠い地域または極端に近い地域
  - ・山やビルの陰
  - ・移動中の電車や自動車の中
  - ・高圧線、ネオン、無線局の近くなど
  - ・線路や高速道路の近く、航空路の下など
  - ・地下街、トンネルや気密性の高い建物の中
  - ・その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所
- ●VHF・UHFとBS・CSが混合配線の場合や、VHF・UHFとケーブルテレビが混合配線の場合、画面が乱れることがありますので、ご了承ください。

イヤホンマイクのご使用について

- ●テレビご利用中は、付属のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクをご使用ください。
- ●TVの音声出力はモノラルです。付属のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを使用したときでも、音声の出力はモノラルになります。
- ●手動選局中、オート選局中、自動設定中に付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを抜き差しした場合には、電波の入力元が変わるため、抜き差しする前に選局されていたチャンネルが受信できないことがあります。

TV アンテナ付きステレオイヤホンマイク／ライン入力ケーブルの取り付け

1 **V601N のイヤホンマイク端子キャップを開ける**

2 **接続プラグを差し込む**

ライン入力ケーブルを取り付ける場合

TV アンテナ付きステレオイヤホンマイク、ライン入力ケーブルは V601N 専用品です。
他の機種には接続しないでください。

ライン入力ケーブルを卓上ホルダーに取り付ける

V601Nを卓上ホルダーに取り付けてテレビをご利用になるときには、ライン入力ケーブルを卓上ホルダーに取り付けて、コンパクトに扱うことができます。

① 接続プラグをプラグ格納部に合わせる
② 溝にそってコードを埋め込む

ライン入力ケーブルをV601Nに取り付けるときには、コードを切り欠きから引き出してください。

5 テレビ

テレビを見る

テレビの基本的な操作を説明します。テレビを視聴するとき、アンテナを伸ばしてください。「テレビ使用時の接続とテレビ信号の入力元」（☞P5-3）

テレビを起動する

1 「TV」を呼び出す

①（Menu）を押す

②で（TV）を選択し、（選択）を押す

「TV起動中」の表示に続いて、テレビの縦表示画面が表示されます。前回テレビを終了したときのチャンネルが選局されています。お買い上げ時には「設定１：１ CH（VHF1CH）」の画面が表示されます。

電池残量が以下のときには起動できません。

- 待受画面でを長く（1 秒以上）押してテレビを起動することもできます。
- V601N内に一時的に保護されている画像データがあるときは、メッセージでお知らせします。「前回のキャプチャー／録画が中断されたときは」（☞P5-11）

ボリュームを調節する

音声のボリュームを 1 〜 6 の 6 段階に調節できます。音声のミュート（消音）も行えます。お買い上げ時は、「 1」に設定されています。

1 映像の表示画面でまたはを押す

- ボリュームを上げるときはを、下げるときはを押します。
- 音声をミュートするときはを押します。ミュートを解除してもとの音量に戻るときはもう一度を押します。ミュート中に／を押すと、ミュート前の音量より 1 段階大きく／小さくしてミュートを解除します。
- 調節したボリュームは、電源を OFF にしても保持されます。

マナーモード設定時には、スピーカー音声は TV のボリュームの表示内容にかかわらずマナーモード設定の通常着信の設定に従います。イヤホン音声はTVのボリュームの表示に従います。

ディスプレイの明るさを調節する

ディスプレイの照明の輝度を３段階に調節することができます。お買い上げ時はもっとも明るく設定されています。

1　映像の表示画面で▲または▼を押す

- 輝度を上げるときは▲を、下げるときは▼を押します。
- 調節した輝度は、電源を OFF にしても保持されます。

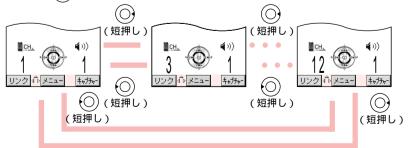
- テレビでのディスプレイの明るさの調節はメインディスプレイのパネル照明設定（☞P7-13）とは連動しません。
- LCD 表示 OFF 設定（☞P5-20）により映像表示がされていないときは、ディスプレイの照明は消灯します。

チャンネルを選択する

あらかじめ「CH1」～「CH12」に割り当てられているチャンネルを選局するには、ダイヤルボタンまたは◯／◯を使って手動選局します。また、感度の良いチャンネルを自動的に選局させるには、オート選局を行います。VHF1CH ～12CH、UHF13CH～62CH、CATV13CH～63CH の各チャンネルから選局できます。

手動選局する

特定のチャンネルを選局するには、目的のチャンネルが割り当てられたダイヤルボタンを押します。
お買い上げ時のチャンネルは、次のダイヤルボタンに割り当てられています。
- 「CH1」～「CH9」：1～9
- 「CH10」：*
- 「CH11」：0
- 「CH12」：#

ご利用になる地域のチャンネルを設定してからご使用ください。「受信チャンネルを設定する」（☞P5-14）
チャンネルを順番に切り替えるには、◯または◯を押します。◯を押すごとに次のチャンネルに、◯を押すごとに前のチャンネルに切り替わります。

オート選局する

1 映像の縦表示画面で◯または◯を長く（1秒以上）押す

「オート選局中」と表示され、受信レベルを満たすチャンネルを受信すると、チャンネルが切り替わります。

- オート選局では、次の順に選局が行われます。

現在、見ているチャンネルを基準に順番に選局します。
- オート選局したときは、受信チャンネルが英数字で表示されます。「V」はVHF、「U」はUHF、「C」はCATVを表します。
- 受信可能なチャンネルが見つかるか、オート選局を始めたチャンネルに戻るまで選局を行います。受信レベルを満たすチャンネルがなかった場合には、「受信可能なチャンネルがありません オート選局を続けますか？」と表示されます。◯（はい）を押すともう一度オート選局を行い、◯（いいえ）を押すともとのチャンネルに戻ります。

- CATV（ケーブルテレビ）をご利用になるには、CATVの放送会社とのご契約と、ライン入力ケーブルのアンテナ入力端子へのCATVの電波の入力が必要です。
- 手動選局中、オート選局中、自動設定中に付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクやライン入力ケーブルを抜き差しした場合には、電波の入力元が変わるため、抜き差しする前に選局されていたチャンネルが受信できないことがあります。
- 特定の地域や場所などでの受信可能チャンネルの組み合わせを設定しておくことができます。「受信チャンネルを設定する」（☞P5-14）

テレビを終了する

1 映像の表示画面で◯を押す

待受画面に戻ります。

映像の表示中画面以外で◯を押すと、テレビを終了するかどうか選択する画面が表示されます。◯（はい）を押すと待受画面に戻ります。

- 電池残量が▮になると、自動的に終了します。
- V601Nを折り畳んでも、テレビを終了することができます。
- 終了操作や電池残量に関わらず、テレビが終了する場合があります。「起動／オートオフ機能／テレビの自動終了について」（☞P5-3）

映像をキャプチャーする

テレビ映像（☞P5-6）や外部入力からの映像（☞P5-19）を静止画として登録（キャプチャー）することができます。お買い上げ時は1枚の静止画がキャプチャーされるように設定されています。画面キャプチャー設定（☞P5-20）を変更することにより、同じ操作で9コマの連続キャプチャーを行うことができます。
画面キャプチャー設定のモード設定が「静止画」のときは、1枚の静止画がキャプチャーされます。
画面キャプチャー設定のモード設定が「アニメーション」のときは、9枚の静止画が連続キャプチャーされます。連続キャプチャーの間隔は、画面キャプチャー設定のアニメーション間隔（☞P5-21）の設定に従います。

1 映像の縦表示画面で（キャプチャー）を押す

映像がキャプチャーされ、保存待ち画面が表示されます。

画面キャプチャー設定のモードが「アニメーション」のときには、9枚の静止画が連続キャプチャーされ保存待ち画面が表示されます。キャプチャー途中で（終了）を押してキャプチャーを終了することもできます。

例：「静止画」の場合

2 （保存）を押す

キャプチャー画像が保存されます。

- 保存しないときは（取消）を押します。
- 保存中の画面には、保存先のフォルダ名と、画像のファイル名が表示されます。「保存時のファイル名について」（☞P5-9）
- 保存先の空き容量がないときは、保存できません。不要なファイルを消去してください（☞P11-14）。
- 「画像を保存せずにCLRまたはPWR HLDを押したときは」（☞P5-11）

本製品は複製防止機能（コピーガード）に対応しています。
映像にコピーガードが設定されているときは、キャプチャーできません。

- 静止画像は、縦120×横160ドットのJPEGファイルとして、データフォルダのピクチャーフォルダに保存されます。
- 連続キャプチャー画像は、縦120×横160ドットのJPEG形式のアニメーションファイルとして、データフォルダのアニメーションフォルダに保存されます。
- キャプチャーした画像は「転送不可」となり、メールに添付して送ったりすることはできません。

保存時のファイル名について

画像には、保存した日時がファイル名として付けられます。たとえば、「040315-2100」は、2004年3月15日午後9時に保存された画像であることを示します。

映像を録画する

外部入力からの映像（☞P5-19）を最大30秒間録画することができます。
テレビ映像（☞P5-6）を録画することはできません。

1 外部入力映像の縦表示画面で（キャプチャー）を長く（1秒以上）押す

映像が録画され、30秒経過すると、保存待ち画面が表示されます。

補足
- 途中で録画を終了するときは（終了）を押します。
- 30秒経過する前に保存可能なデータサイズ（225Kバイト）を超えた場合には、自動的に録画を終了します。

2 （保存）を押す

録画した画像が保存されます。

補足
- 保存しないときは（取消）を押します。
- 保存中の画面には、保存先のフォルダ名と、画像のファイル名が表示されます。「保存時のファイル名について」（☞P5-9）
- 保存先の空き容量がないときは保存できません。不要なファイルを消去してください（☞P11-14）。
- 「画像を保存せずにCLRまたはPWR HLDを押したときは」（☞P5-11）

注意
本製品は複製防止機能（コピーガード）に対応しています。
映像にコピーガードが設定されているときは、録画できません。

補足
- 録画した画像は、縦96×横128ドットのMPEG-4ファイルとして、データフォルダのムービーフォルダに保存されます。
- 録画した画像は「転送不可」となり、メールに添付して送ったりすることはできません。

画像を保存せずにCLRまたはPWR HLDを押したときは

CLRを押したときは、右のような画面が表示されます。

- 画像を破棄するときは（はい）を押します。
- 画像の保存を行うときは（いいえ）を押して（保存）を押します。

PWR HLDを押したときは、右のような画面が表示されます。

- テレビを終了するときは（はい）を押します。
  画像は一時的に保存されます。次にテレビを起動したときに編集、保存できます。
  「前回のキャプチャー／録画が中断されたときは」（☞P5-11）
- テレビの終了を中止するときは（いいえ）を押します。

前回のキャプチャー／録画が中断されたときは

キャプチャー／録画された画像を保存する前に、テレビ機能が自動的に終了（☞P5-3）した場合やPWR HLDを押してテレビを終了した場合には、保存できなかった画像がV601N内に一時的に保護されます。この場合、次にテレビを起動したときに、右のような画面が表示されます。

- 保護されている画像を呼び出すときは（はい）を押します。
- 保護されている画像を破棄してテレビを起動するときは（いいえ）を押します。

電源をOFFにすると保護されている画像は消去されます。

5 テレビ

リンク先にアクセスする

テレビを見ている状態から、簡単な操作でリンク先にアクセスできます。縦表示、横表示いずれの画面でも操作できます。ただし、外部ライン入力時にはこの操作は行えません。

表示中のチャンネルに設定されたURLにアクセスする

各チャンネルに設定されているURLにアクセスし、情報を見ることができます。URLの設定は受信チャンネル設定で行います。「受信チャンネルを手動設定するには」(☞P5-16)

1 映像の表示画面で（リンク）を押す

URLを設定していないチャンネルを表示しているときには、アクセスできません。

2 （はい）を押す

設定されている URL が表示されます。

- ウェブの設定が「OFF」になっているときは、アクセスできません。
- 右の画面で（編集）を押すと、URL を修正できます。「文字の入力方法」（☞P3-1）

3 （送信）を押す

テレビを終了し、インターネットアクセスが開始されます。

アクセスに失敗したときの表示については『Vodafone live!編』を参照してください。

WEB アドレス設定されている URL にアクセスする

WEB アドレス設定（☞P5-22）で設定されているリンク先にアクセスします。

1 **映像の表示画面で◎（リンク）を長く（1 秒以上）押す**

2 **◎（はい）を押す**

設定されている URL が表示されます。

- ウェブの設定が「OFF」になっているときは、アクセスできません。
- 右の画面で✎（編集）を押すと、URL を修正できます。「文字の入力方法」（☞P3-1）

3 **📖（送信）を押す**

テレビを終了し、インターネットアクセスが開始されます。

アクセスに失敗したときの表示については『Vodafone live!編』を参照してください。

便利なテレビ機能

テレビメニューを表示して、さまざまな設定や操作を行うことができます。

項目	概要	参照ページ
受信チャンネル設定※	ダイヤルボタンにチャンネルを自動または手動で割り当てる。割り当ての組み合わせは5通り設定でき、どの設定を使用するかを切り替えられる	5-14
縦表示切換／横表示切換	映像の縦表示／横表示を切り換える	5-17
音声出力先切換	音声をイヤホン／スピーカーのどちらから出力するかを切り換える	5-18
入力切換	テレビ映像と外部入力の切り換えを行う	5-19
LCD表示OFF設定	映像をOFFにする	5-20
画面キャプチャー設定	画像のキャプチャー方法を設定する	5-20
WEBアドレス設定	URLを登録／編集する	5-22
表示方向設定	横表示にしたときの上下方向を設定する	5-18
オートオフ設定	オートオフまでの時間を設定する	5-23

※外部ライン入力時は表示されません。

受信チャンネルを設定する

受信チャンネルの組み合わせを、5通り設定できます。
受信チャンネルに設定できるのは、V1CH（VHF1 ch）～V12CH（VHF12 ch）、U13CH（UHF13 ch）～U62CH（UHF62 ch）、C13CH（CATV 13ch）～C63CH（CATV 63ch）のいずれかのチャンネルです。
表示チャンネルには、「1」～「63」の数字を設定できます。
また、各チャンネルを表示中にアクセスできるURLを設定できます。

お買い上げ時は「設定1」～「設定5」はすべて次のように設定されています。URLは設定されていません。

ダイヤルボタン	受信チャンネル	表示チャンネル	URL
1	V1CH（VHF1ch）	1	—
2	V2CH（VHF2ch）	2	—
3	V3CH（VHF3ch）	3	—
4	V4CH（VHF4ch）	4	—
5	V5CH（VHF5ch）	5	—
6	V6CH（VHF6ch）	6	—
7	V7CH（VHF7ch）	7	—
8	V8CH（VHF8ch）	8	—
9	V9CH（VHF9ch）	9	—
*	V10CH（VHF10ch）	10	—
0	V11CH（VHF11ch）	11	—
#	V12CH（VHF12ch）	12	—

1 「受信チャンネル設定」を呼び出す

① 映像の表示画面で(メニュー)を押す

② ◯で「受信チャンネル設定」を選択し、(選択)を押す

- 「設定を編集する」（☞P5-15）
- 「設定名を変更する」（☞P5-16）
- 「設定内容を消去する」（☞P5-16）
- 「設定を選択する」（☞P5-17）

設定を編集する

ダイヤルボタンに割り当てる受信チャンネルを、手動または自動で設定します。感度の良いチャンネルを自動的に設定させるには、自動設定を行います。感度にかかわらずお好みのチャンネルを設定したいときは、手動設定を行います。

例：自動設定で編集する場合

2 ◯で編集する設定を選択し、(CH変更)を押す

ダイヤルボタンへの割り当てが一覧表示されます。

1～9、*、0、#はダイヤルボタン、CHは受信チャンネル、CHは表示チャンネルを表します。、

3 (自動)を押す

確認画面が表示されます。

手動設定を行うときは◯で設定したい割り当てを選択し、(手動)を押します。「受信チャンネルを手動設定するには」（☞P5-16）

4 (はい)を押す

自動設定中の画面が表示され、続いて設定完了の画面が表示されます。

- 「チャンネル自動設定中」と表示されているときにCLRを押すと、自動設定が中止されます。
- 受信可能なすべてのチャンネルを検索し終わる前に設定可能なチャンネルが12個見つかったときは、自動設定が終了し、見つかった 12 のチャンネルが設定されます。
- 受信可能なすべてのチャンネルを検索し終わっても設定可能なチャンネルが12個に満たないときは、見つかったチャンネルが1から順に設定され、残りのチャンネルは設定前のままとなります。

5 テレビ

5 （決定）を押す

設定が保存されます。

補足 自動設定中に付属品のライン入力ケーブルやTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを抜き差しした場合には、電波の入力元が変わるため、抜き差しする前に選局されていたチャンネルが受信できないことがあります。

受信チャンネルを手動設定するには

「設定を編集する」の操作 3 で◯で設定したい割り当てを選択し、◯（手動）を押すと、右のような画面が表示され、受信チャンネルを手動設定したり、表示チャンネルの編集やURLの設定が行えます。お好みの受信チャンネルや表示チャンネルを設定したり、各テレビ局のホームページを設定するときなどにご利用ください。

◯で項目を選択し、◯（選択）を押してチャンネルの選択や文字の入力などの設定操作を行います。必要な設定が終わったら、◯（決定）を押します。

5 テレビ

設定名を変更する

「設定 1」などの設定名を変更できます。旅行先で感度の良いチャンネルを自動設定した場合などに、その地域の名前などを付けておくと便利です。
お買い上げ時は「設定 1」〜「設定 5」が設定されています。

2 ◯で名前を変更する設定を選択し、◯（サブメニュー）を押す

サブメニューが表示されます。

3 ◯で「名前の変更」を選択し、◯（選択）を押す

4 名前（全角最大 8 文字／半角最大 16 文字）を入力し、◯（確定）を押す

- 1 文字も入力せずに確定することはできません。
- 「文字の入力方法」（☞P3-1）

設定内容を消去する

各設定の設定名や割り当てられている受信チャンネルを、お買い上げ時の状態に戻します。

2 ◯で内容を消去する設定を選択し、◯（サブメニュー）を押す

サブメニューが表示されます。

3 ◎で「消去」を選択し、□（選択）を押す

確認画面が表示されます。

4 ◎（はい）を押す

選択した設定の内容が消去されます。

設定を選択する

使用する受信チャンネル設定を、5 つの中から選択します。

2 ◎で使用する設定を選択し、□（決定）を押す

受信チャンネル設定が設定されます。

外部ライン入力画面の表示中は、受信チャンネル設定を行えません。

縦表示／横表示を切り換える

映像を横向きに表示すると、より大きな画面で見ることができます。テレビの起動時には縦表示に設定されています。

1 「横表示切換」／「縦表示切換」を選択する

① 映像の表示画面で□（メニュー）を押す

② ◎で「横表示切換」／「縦表示切換」を選択し、□（選択）を押す

横表示の例

映像の表示向きが切り換わります。

◎を長く（1 秒以上）押して縦表示／横表示を切り換えることもできます。

横表示のときの表示と操作について

横表示のときには、画面下の選択肢リンク、キャプチャー、メニューや音量、チャンネルなどは表示されませんが、縦表示で行える大部分の操作を行うことができます。

ただし、次の操作は横表示で行うことはできません。

- ◎や◎を長く（1 秒以上）押すオート選局（☞P5-8）
- 画面のキャプチャー（☞P5-9）および録画（☞P5-10）

横表示での上下方向を設定する

横表示にしたときに、メインディスプレイの左右どちらを上にして表示するかを設定できます。
お買い上げ時は「表示方向 1（サイドボタン側が上)」に設定されています。

1 「表示方向設定」を呼び出す

① 映像の表示画面で(メニュー) を押す

② で「表示方向設定」を選択し、(選択) を押す

2 で表示方向を選択し、(決定) を押す

表示方向が設定されます。

5 テレビ

音声をイヤホン／スピーカーに切り換える

音声の出力先を設定します。
お買い上げ時は「スピーカー」に設定されています。

1 「音声出力先切換」を呼び出す

① 映像の表示画面で(メニュー) を押す

② で「音声出力先切換」を選択し、(選択) を押す

2 で出力先を選択し、(決定) を押す

設定の完了をお知らせし、映像の表示画面に戻ります。

- 音声の出力先を「イヤホン」に設定しているときは、イヤホンを取り付けないと音声を聞くことはできません。
- 音声の出力先を「スピーカー」に設定しているときは、イヤホンを取り付けてもイヤホンで音声を聞くことはできません。

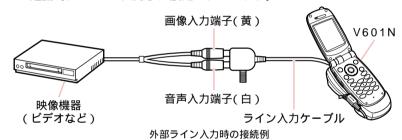
通常時またはマナーモード中の音量は次のようになります。

マナーモードの設定状況		音声の出力先	
		スピーカー	イヤホン
通常時		テレビの音量設定に従います	
マナーモード中	マナーモード設定の通常着信の音量が「ステップトーン」	レベル１※で聞こえます。	テレビの音量設定に従います。
	マナーモード設定の通常着信の音量が「サイレント」またはレベル１～６	マナーモード設定の通常着信の音量※に従います。	

※マナーモード中にスピーカーから音声出力をしているときは、テレビで音量調整しても、実際に聞こえる音量は変わりません。

ＴＶ／外部ライン入力を切り換える

V601Nに映像機器を接続して、外部入力からの映像を見ることができます。テレビの起動時には「TV入力」に設定されています。

〈外部ライン入力時の接続例〉

例：外部ライン入力に切り換える場合

1 「入力切換」を呼び出す

① 映像の表示画面で［メニュー］を押す

② で「入力切換」を選択し、［選択］を押す

2 で「外部ライン入力」を選択し、［決定］を押す

「入力切換中」と表示されたあと、切り換わった映像が表示されます。チャンネルの表示スペースには「EXT」と表示されます。

映像を表示させずに音声だけを聞く

映像を表示させずに音声だけを聞くことができます。
テレビの起動時には映像が表示されています。

1 **「LCD 表示 OFF 設定」を呼び出す**

① 映像の表示画面で(メニュー) を押す

② で「LCD 表示 OFF 設定」を選択し、(選択) を押す

2 **(はい) を押す**

映像が表示されなくなり、ディスプレイの照明が消灯します。

補足

- 映像を表示するように戻すときは(PWR HLD)以外のボタンを押します。映像の表示を OFF にする前の表示向きに関わらず映像の縦表示画面が表示されます。
- 電話がかかってきたときやアラームの設定時刻になったときなどにはテレビが自動的に終了し、画面が表示されます。
- 本体を閉じるとテレビが終了しますので、テレビの音声だけを聞くときでも、本体は開いたままでご使用ください。

キャプチャー方法を設定する

キャプチャーのモードを、1 枚のみキャプチャーする「静止画」、または 9 枚連続キャプチャーする「アニメーション」から選択できます。連続キャプチャーを行う間隔も選択できます。
お買い上げ時は「静止画」に設定されています。

例：「アニメーション」に設定する場合

1 **「画面キャプチャー設定」を呼び出す**

① 映像の表示画面で(メニュー) を押す

② で「画面キャプチャー設定」を選択し、(選択) を押す

現在の設定が表示されます。

2 で「モード設定」を選択し、（選択）を押す

3 で「アニメーション」を選択し、（決定）を押す

モード設定の完了をお知らせします。

静止画に設定するときは、「静止画」を選択します。設定が完了します。

4 で「アニメーション間隔」を選択し、（選択）を押す

アニメーション間隔はお買い上げ時は「0.7 秒」に設定されています。

5 で間隔を選択し、（決定）を押す

アニメーション間隔設定の完了をお知らせします。

テレビメニュー画面に戻るときは CLR を押します。

5 テレビ

WEBアドレスを設定する

チャンネルに設定されているURLと別に、リンク先を設定することができます。テレビを見ている状態から簡単な操作でアクセスすることができます（☞P5-12）。テレビ番組のガイドなどの情報を提供しているホームページのアドレスを設定しておくと便利です。

1 「WEBアドレス設定」を呼び出す

① 映像の表示画面で(メニュー) を押す

② で「WEBアドレス設定」を選択し、(選択) を押す

2 (編集) を押す

自動的に「http://www.」が入力されます。前回設定したWEBアドレスがあるときは、そのアドレスが表示されます。

5 テレビ

3 アドレス（半角英数字最大256文字）を入力し、(確定) を押す

入力したWEBアドレスが表示されます。

補足
- 「文字の入力方法」（☞P3-1）
- テレビメニュー画面に戻るときはを押します。

オートオフを設定する

テレビ機能が自動的に終了する（オートオフ）までの時間を設定できます。
お買い上げ時は「30分」に設定されています。

例：「60分」に設定する場合

1 「オートオフ設定」を呼び出す

① 映像の表示画面で（メニュー）を押す

② で「オートオフ設定」を選択し、（選択）を押す

現在の設定が表示されます。

2 で「60分」を選択し、（決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

補足 オートオフまでの時間を30分にするときは「30分」を選択します。

補足

- オートオフの設定に関わらずテレビが終了する場合があります。「起動／オートオフ機能／テレビの自動終了について」（☞P5-3）
- オートオフまでの時間は、テレビを起動したとき、または設定時間を変更したときから計算されます。

5 テレビ

モバイルカメラ

モバイルカメラをご利用になる前に

V601Nの内蔵カメラで静止画、アニメーション（連続撮影した画像）、動画を撮影できます。動画は音声付きで撮影することもできます。
画像の種類によっては、すぐにスーパーメールに添付して送信することができます。画像の用途などについては「データフォルダのしくみ」（☞P11-2）を参照してください。

モバイルカメラをご利用になるには、次のことにご注意ください。

- モバイルカメラを起動するには、あらかじめ日付時刻設定（☞P2-4）をしておく必要があります。
- モバイルカメラは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見える画素や暗く見える画素もありますので、ご了承ください。
- V601Nを暖かい場所に長時間置いたあとで撮影した画像は、画質が劣化する場合があります。
- モバイルカメラ部分に直射日光が長時間当たると、画像が変色することがあります。
- V601Nを暗い場所から明るい場所に移動したときは、画像がすぐに安定しない場合があります。
- シャッター音やセルフタイマーのタイマー音は、マナーモードや着信音量などの設定とは関係なく、一定の音量で鳴ります。
- ライトを人の目に近づけて点灯したり、点灯中に直視したりしないでください。視力障害の原因となることがあります。また、目がくらんだり突然の光に驚くなどして、事故の原因になることがあります。

きれいに撮影するには

- 手ぶれにご注意ください。撮影中にV601Nが動くと、画像がぶれる原因となるので、しっかり持って撮影するか、セルフタイマー（☞P6-7）を利用して撮影してください。
- レンズカバーに指紋や油脂が付くと、ピントが合わなくなります。撮影前にやわらかい布でふいてください。
- モバイルカメラに指、髪、ストラップなどがかからないようご注意ください。
- 暗いときには撮影環境を「ナイト」にしたりライト（☞P6-14）を照明として使用することができます。暗い場所で撮影すると画質が劣化します。
- 撮影環境設定を「ナイト」にして撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ぶれが起こりやすくなるのでご注意ください。
- 蛍光灯の下などで画像に縞模様が出てしまうときには、フリッカー抑制（☞P6-21）をONにして撮影してください。

・ムービー写メールのNancyモードでの音声技術には「AMR」が使われています。

撮影操作の流れ

撮影モードや状況によって、撮影手順の詳細は異なりますが、おおまかな流れは以下のとおりです。

モバイルカメラを起動し、撮影モードを選択する

前回のモバイルカメラ使用時に保存できなかった画像がある場合には、メッセージが表示され、保存または破棄の操作を行う必要があります（☞P6-23）。

↓

必要に応じて撮影前の設定を行う（☞P6-13～6-21）

きれいに撮影するために撮影環境を設定したり、ライトの点灯、セルフタイマーの設定、自分自身を撮影するのに便利なイメージウィンドウファインダーへの切り替えなどが行えます。

↓

撮影を行う

撮影開始のためのボタン操作、またはセルフタイマー（☞P6-7）によって撮影を行います。

↓

画像を確認する

動画の画像はプレビューで確認します（☞P6-12）。アニメーションの画像は、必要に応じてプレビュー切り替えを行って確認します（☞P6-9）。

↓

必要に応じて撮り直しや保存先の変更操作を行う（☞P6-22）

初期設定以外の保存先を指定することができます。

↓

画像を保存する
またはスーパーメールに添付する（同時に自動的に保存される）

保存できる件数、容量はデータフォルダ中の他のファイルの登録状況により変化します。

■ カメラの構えかた

通常はメインディスプレイをファインダーとして使用しますが、自分を写すときなどにはイメージウィンドウをファインダーに切り替えて使用します（☞P6-15）。

メインディスプレイを見ながら撮影範囲を決め、(📖)または▼を押して撮影する

イメージウィンドウを見ながら撮影範囲を決め、(📖)または▼を押して撮影する

モバイルカメラの画面

モバイルカメラの画面では、ディスプレイに次のように表示されます。

＜メインディスプレイ＞

＜イメージウィンドウ（ファインダー時）＞

No.	表示
①	動画撮影時のマイク（音声録音）の設定状態が表示される（☞P6-12） ：マイク ON ：マイク OFF
②	現在の撮影モードが表示される ：通常モード ：写メールモード ：ムービー写メール Nancy モード ：ムービー写メール MPEG モード ：ファインアニメ／メールアニメモード ：ローカルムービーモード ：デジタルカメラモード
③	セルフタイマーが設定されているときに表示される（☞P6-7）
④	ライトが ON のときに表示される（☞P6-14）
⑤	設定されている画像の明るさのレベルが数字（1 〜 5）で表示される（☞P6-14）
⑥	設定されている撮影環境が表示される（☞P6-17） ：スタンダード ：印象 ：人物 ：室内 ：ナイト
⑦	設定されている撮影サイズ（☞P6-13）が表示される ：標準 ：ズーム ：ワイド

6 モバイルカメラ

静止画を撮影する

静止画は、通常モード、写メールモード、またはデジタルカメラモードで撮影します。撮影モードや画面サイズは、用途によって使い分けてください。

撮影モード	撮影サイズ	ファイル形式（拡張子）／データフォルダでの保存先	特長および主な用途
通常モード	標準、ズーム：縦180×横160ドット ワイド：縦120×横160ドット	JPEG形式（.jpg）／ピクチャーフォルダ	壁紙やマイキャラクターなどへの使用に適している 画質や相手機種などの条件によってはメールで送信できない
写メールモード	標準、ズーム、ワイド：縦160×横120ドット（小さい壁紙用） 標準、ズーム：縦180×横160ドット ワイド：縦120×横160ドット（フルサイズ）	JPEG形式（.jpg）／ピクチャーフォルダ	メールでの送信に適している
デジタルカメラモード	縦480×横640ドット ※V601N上では縦120×横160ドットで表示	JPEG（DCF）形式（.jpg）／ピクチャーフォルダ内のデジタルカメラフォルダ	パソコンでの加工や印刷に適している メールでの送信は行えない

例：通常モードで撮影する場合

1 「通常モード」を呼び出す

①◯（Menu）を押す

②◯で📷（モバイルカメラ）を選択し、◯（選択）を押す

③◯で「通常モード」を選択し、◯（選択）を押す

「カメラ準備中」の表示に続いて、ファインダー画面が表示されます。

- ①〜②の代わりに待受画面で◯を長く（1秒以上）押して撮影モードの選択画面を表示させることもできます。この画面では、前回のモバイルカメラ終了時に使用していた撮影モードが反転表示されています。
- V601N内に保護されている画像があるときは、操作②のあとメッセージでお知らせします。「前回の撮影が中断されたときは」（☞P6-23）

2 必要に応じて撮影サイズの切り替え、ライトの点灯、カメラの設定の変更などを行う（☞「撮影前の各種操作」P6-13～6-21）

セルフタイマーを設定するときは、次のように操作します。
①[○]（[サブメニュー]）を押す
②[◎]で「セルフタイマー」を選択し、[📖]（[選択]）を押す
ファインダー画面に戻ります。

3 ファインダー画面を見ながら撮影範囲を決め、[📖]（[撮影]）または[▼]を押す

保存待ち画面

着信ランプが点灯してシャッター音が鳴り、保存待ち画面が表示されます。

デジタルカメラモードでは、細かい紋様のあるデータサイズの大きな画像は撮影できないことがあります。画質をエコノミーに切り替えたり、撮影モードを通常モードに切り替えて撮影してください。

4 保存待ち画面を確認したら、必要に応じて撮り直しや保存先の変更を行う（☞「保存前の各種操作」P6-22）

5 [📖]（[保存]）を押す

静止画が保存されます。

- 保存中の画面には保存先のフォルダ名と、画像のファイル名が表示されます。「画像のファイル名について」（☞P6-25）
- 保存先の空き容量がないときは保存できません。不要なファイルを消去してください（☞P11-14）。
- 「画像を保存せずに[CLR]または[PWR HLD]を押したときは」（☞P6-23）
- モバイルカメラを起動した状態で、撮影した画像を確認することができます（☞P6-24）。

スーパーメールで送信するときは

通常／写メール／ムービー写メール／メールアニメの各モードで撮影した画像は、すぐに送信することができます。(保存)を押す代わりに(写メール)を押すと、画像の保存完了後にスーパーメール編集画面が表示され、メッセージを作成することができます。宛先（必須）や、件名、メッセージの入力を行って送信してください（☞『Vodafone live!編』）。

- メールの設定が「OFF」になっているときは、メッセージを作成できません。「ボーダフォンライブ！の各機能を使えないようにする」（☞『Vodafone live!編』）
- 通常モードで画質を「ハイクオリティ」に設定して撮影したときには、メッセージを作成することはできません。
- 最大約12Kバイト（Nancy添付時は15Kバイト、JPEG、MPEG-4添付時は30Kバイト）まで添付できます。ファイルサイズが制限を超えた場合には、「メール添付可能サイズを超えるため添付できません」と表示されます。

セルフタイマーを設定したときは

操作３により、カウントダウンが開始されます。下図の「↓」のタイミングでタイマー音が鳴り、着信ランプが点灯、点滅します。約10秒後にシャッター音が鳴り、撮影が開始されます。

- カウントダウン開始前に撮影を中止するときは(サブメニュー)を押し、で「セルフタイマー中止」を選択して(選択)を押します。
- カウントダウン中に撮影を中止するときは(中止)を押します。
- カウントダウン中に(撮影／開始)またはを押すと、10秒経過を待たずに撮影が開始されます。

6

モバイルカメラ

アニメーションを撮影する

アニメーションは、オリジナルモードのファインアニメモード、またはメールアニメモードで撮影します。撮影モードや画面サイズは、用途によって使い分けてください。

撮影モード		撮影サイズ	ファイル形式（拡張子）／データフォルダでの保存先	特長および主な用途
オリジナルモード	ファインアニメモード	標準、ズーム：縦180×横160ドット ワイド：縦120×横160ドット	JPEG形式（拡張子は表示されない）／アニメーションフォルダ	最大9コマのアニメーション。コマ数や画質などの条件によってはメールで送信できない
	メールアニメモード	標準、ズーム：縦60×横80ドット	JPEG形式（拡張子は表示されない）／アニメーションフォルダ	最大4コマのアニメーション。メールでの送信に適している

例：メールアニメモードで撮影する場合

1 「メールアニメモード」を呼び出す

①（Menu）を押す

②で（モバイルカメラ）を選択し、（選択）を押す

③で「オリジナルモード」を選択し、（選択）を押す

④で「メールアニメモード」を選択し、（選択）を押す

「カメラ準備中」の表示に続いて、ファインダー画面が表示されます。

- ①～②の代わりに、待受画面でを長く（1秒以上）押して撮影モードの選択画面を表示させることもできます。
- V601N内に保護されている画像があるときは、操作②のあとメッセージでお知らせします。「前回の撮影が中断されたときは」（☞P6-23）

2 必要に応じて撮影サイズの切り替え、ライトの点灯、カメラの設定の変更などを行う（☞「撮影前の各種操作」P6-13～6-21）

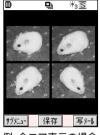
- セルフタイマーを設定するときは、次のように操作します。
  ①（ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ）を押す
  ②で「セルフタイマー」を選択し、（選択）を押す
  ファインダー画面に戻ります。
- ファインアニメの各コマの撮影間隔は、「0.4秒」「0.7秒」「1.5秒」「3.0秒」から選択することができます。お買い上げ時は「0.7秒」に設定されています。
  ①（ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ）を押す
  ②で「ファインアニメ撮影間隔」を選択し、（選択）を押す
  ③で設定を選択し、（決定）を押す
  設定の完了をお知らせし、ファインダー画面に戻ります。

3 ファインダー画面を見ながら撮影範囲を決め、(開始)または▼を押す

着信ランプが点灯してシャッター音が鳴り、撮影中の画像が撮影間隔ごとに更新されて表示されます。

「セルフタイマーを設定したときは」(☞P6-7)

4 撮影を終了するときは(終了)または▼を押す

画像を4コマ(ファインアニメのときは9コマ)撮影したときは自動的に終了します。撮影が終了したあと、保存待ち画面が一覧またはアニメーションで表示されます。

例:全コマ表示の場合

例:アニメーション表示の場合

撮影画像画面の表示を切り替えるときは、次の操作を行います。

①(サブメニュー)を押す

②で「プレビュー切替」を選択し、(選択)を押す

次に表示を切り替えるまで設定した方法で画像が表示されます。

お買い上げ時は全コマ表示に設定されています。

5 保存待ち画面を確認したら、必要に応じて撮り直しや保存先の変更を行う(☞「保存前の各種操作」P6-22)

6 (保存)を押す

アニメーションが保存されます。

- 保存中の画面には保存先のフォルダ名と、画像のファイル名が表示されます。「画像のファイル名について」(☞P6-25)
- 保存先の空き容量がないときは保存できません。不要なファイルを消去してください(☞P11-13)。
- ファインアニメおよびメールアニメはモーションアニメとして保存され、編集したりMNGファイルへの変換をすることができます(☞P10-63、11-29)。
- 「画像を保存せずにCLRまたはPWR HLDを押したときは」(☞P6-23)
- モバイルカメラを起動した状態で、撮影した画像を確認することができます(☞P6-24)。
- 「スーパーメールで送信するときは」(☞P6-7)

6 モバイルカメラ

動画を撮影する

動画は、ムービー写メールモード（NancyモードまたはMPEGモード）、またはローカルムービーモードで撮影します。撮影モードや画面サイズは、用途によって使い分けてください。

撮影モード		撮影サイズ	ファイル形式（拡張子）／データフォルダでの保存先	特長および主な用途
ムービー写メールモード	Nancyモード	標準、ズーム：縦60×横80ドット	Nancy形式（.noa）／ムービーフォルダ	最大5秒間の撮影が可能で、メールでの送信に適している
	MPEGモード	標準、ズーム、ワイド：縦96×横128ドット	MPEG-4形式（.3gp）／ムービーフォルダ	高画質で、最大10秒間または最大約30Kバイトの撮影が可能 相手機種などの条件によってはメールで送信できない
オリジナルモード	ローカルムービーモード	標準、ズーム、ワイド：縦96×横128ドット	MPEG-4形式（.3gp）／ムービーフォルダ	最大30秒間または最大約225Kバイトの撮影が可能 メールでの送信は行えない

例：Nancyモードで撮影する場合

1 「Nancyモード」を呼び出す

① ◯（Menu）を押す

② ◯で［カメラ］（モバイルカメラ）を選択し、◯（選択）を押す

③ ◯で「ムービー写メールモード」を選択し、◯（選択）を押す

④ ◯で「Nancyモード」を選択し、◯（選択）を押す

「カメラ準備中」の表示に続いて、ファインダー画面が表示されます。

サブメニュー　開始　ズーム

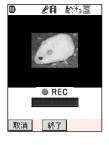
- ①〜②の代わりに、待受画面で◯を長く（1秒以上）押して撮影モードの選択画面を表示させることもできます。
- V601N内に保護されている画像があるときは、操作②のあとメッセージでお知らせします。「前回の撮影が中断されたときは」（☞P6-23）

2 必要に応じて撮影サイズの切り替え、ライトの点灯、カメラの設定の変更などを行う（☞「撮影前の各種操作」P6-13〜6-21）

- セルフタイマーを設定するときは、次のように操作します。
  ① ◯（サブメニュー）を押す
  ② ◯で「セルフタイマー」を選択し、◯（選択）を押す
  ファインダー画面に戻ります。
- 録音機能を設定できます。「録音機能のON／OFFを切り替えるには」（☞P6-12）

3 ファインダー画面を見ながら撮影範囲を決め、(開始)または▼を押す

着信ランプが点灯してシャッター音が鳴り、撮影中の画像が表示されます。

Nancyモード（マイクON）で撮影中にメールのメッセージやウェブの情報を受信したときは、撮影は中止され、操作 4 の画面が表示されます。

「セルフタイマーを設定したときは」（☞P6-7）

4 撮影を終了するときは(終了)または▼を押す

保存待ち画面

撮影が終了し、保存待ち画面が表示されます。それぞれ決められた秒数またはファイルサイズに達した時点で自動的に終了します。

5 保存待ち画面を確認したら、必要に応じて撮り直しや保存先の変更を行う（☞「保存前の各種操作」P6-22）

6 (保存)を押す

動画が保存されます。

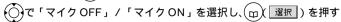
- 保存中の画面には保存先のフォルダ名と、画像のファイル名が表示されます。「画像のファイル名について」（☞P6-25）
- 保存先の空き容量がないときは保存できません。不要なファイルを消去してください（☞P11-13）。
- 「画像を保存せずにCLRまたはPWR HLDを押したときは」（☞P6-23）
- モバイルカメラを起動した状態で、撮影した画像を確認することができます（☞P6-24）。
- 「スーパーメールで送信するときは」（☞P6-7）

録音機能の ON ／ OFF を切り替えるには

動画の撮影時には、録音機能の ON ／ OFF を切り替えることができます。お買い上げ時は「マイク ON」（音声を録音する）に設定されています。設定は撮影モードごとに、再度切り替えを行うまで保存されます。

① 操作 1 の画面で（サブメニュー）を押す

② で「マイク OFF」／「マイク ON」を選択し、（選択）を押す

注意

Nancy モードでは、マイク ON のときは 1 秒間に最大 4 コマ撮影されます。マイク OFF にすると 1 秒間に最大 5 コマとなり、動きがややなめらかになります。MPEG モード、ローカルムービーモードのときは、マイクの設定による違いはありません。

保存する前にプレビューを確認する

撮影した動画を保存する前に、再生して確認することができます。

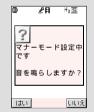
① 操作 4 の画面で（サブメニュー）を押す

② で「プレビュー」を選択し、（選択）を押す

撮影した動画が繰り返し再生されます。再生中にを押すと音量が調整できます。

③ 再生を終了するときは、（もどる）を押す

補足

- MPEG モードまたはローカルムービーモードのときは、プレビュー中に一時停止やコマ送りなどの操作が行えます。「MPEG-4形式の画像の再生操作について」（☞P6-25）
- マナーモードが設定されているときに音声付きの動画を再生する場合には、右のような画面が表示されます。（はい）を押すと最小の音量で音声が再生され、を押すと音量調整が行えます。（いいえ）を押すと、音声を鳴らさずに再生します。

モバイルカメラ撮影時の共通操作

どの撮影モードのときにも共通する、撮影前のファインダー画面での操作と、撮影後の保存待ち画面での操作について説明します。

撮影前の各種操作（ボタンでの切り替え操作）

撮影サイズを切り替える

デジタルカメラモード以外の撮影モードでは、撮影サイズの切り替えが行えます。

1 撮影前のファインダー画面で(ボタン)を繰り返し押す

(ボタン)を押すごとに撮影サイズが切り替わります。

撮影サイズを切り替えると、倍率は次のように変わります。デジタルカメラ撮影モードのときは、撮影サイズは切り替えられません。

撮影モード	倍率
通常／写メール／ファインアニメ／MPEG／ローカルムービー	標準：ズーム：ワイド＝1：2：0.5
メールアニメ／Nancy	標準：ズーム＝1：2

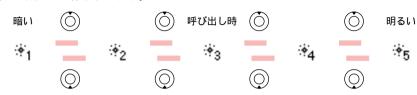
例：通常モードで「標準」→「ズーム」→「ワイド」に切り替えた場合

6 モバイルカメラ

明るさを調整する

明るさを 1 ～ 5 の 5 段階に調整できます。通常は、レベル 3 に設定されています。

1　撮影前のファインダー画面で◎を押す

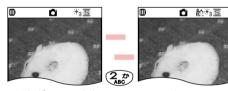
◎を押すとレベルの数値が大きくなって画面が明るくなり、◎を押すと数値が小さくなって暗くなります。

撮影中や保存していない撮影画像があるときは調整できません。

ライトを ON ／ OFF する

V601Nの背面についているライトを点灯させ、照明として利用することができます。ファインダー画面表示中のサブメニューを使ってON／OFFを切り替えることもできます（☞P6-16）。

1　撮影前のファインダー画面で

を押す

2を押すごとに ON ／ OFF が切り替わります。

ライトが OFF のとき　　ライトが ON のとき

撮影を終了あるいはモバイルカメラを終了すると、ライトは自動的にOFFになります。また、ライトを ON にしたあと、約 1 分間以内に撮影やセルフタイマーのカウントダウン開始を行わなかったときにも OFF になります。

ファインダーをメインディスプレイ／イメージウィンドウに切り替える

自分の姿を写すときなどに、撮影範囲をイメージウィンドウで確かめて撮影することができます。ファインダー画面表示中のサブメニューを使って切り替えることもできます（☞P6-16）。

1　撮影前のファインダー画面で（＊）を押す

（＊）を押すごとにファインダーがイメージウィンドウ／メインディスプレイに切り替わります。

ファインダーとして使用しない方の画面には、モバイルカメラ起動中のイメージイラストが表示されます。

メインディスプレイがファインダーのとき

イメージウィンドウがファインダーのとき

撮影前の各種操作（サブメニューを使う操作）

ファインダー画面でサブメニューを表示させて、セルフタイマーや撮影環境の設定など、さまざまな操作を行うことができます。

1 撮影前のファインダー画面で（サブメニュー）を押す

撮影のサブメニューが表示されます。表示される項目は、使用中の撮影モードや設定状況によって異なります。

項　目	項目選択時の動作	参照ページ
データフォルダ	データフォルダの内容が表示される	6-24
撮影モード	撮影モードの選択画面が表示される。で撮影モードを選択し、(選択)を押すと、モードが切り替わる	－
撮影環境	撮影環境の選択画面が表示される	6-17
フレーム選択	フレーム選択画面が表示される	6-17
セルフタイマー／セルフタイマー中止	一定の待ち時間のあとで撮影を行う機能（セルフタイマー）が設定／解除される	6-6 6-7 6-8 6-10
マイク OFF ／マイク ON	動画撮影時の音声録音機能の OFF ／ ON が切り替わり、ファインダー画面に戻る	6-12
ライト ON ／ライト OFF	ライトが点灯／消灯する	6-14
背面 LCD ファインダー／メイン LCD ファインダー	撮影範囲を決めるために画像を表示するファインダーが、イメージウィンドウ／メインディスプレイに切り替わる	6-15
シャッター音	静止画撮影時に鳴らすシャッター音の選択画面が表示される	6-19
（通常モード／写メールモード／ファインアニメモード／デジタルカメラ）画質	画質の選択画面が表示される	6-19
ファインアニメ撮影間隔	ファインアニメモードでの連続撮影を、何秒間隔で行うかを選択する画面が表示される	6-8
撮影サイズ	写メールモードでの撮影サイズを「小さい壁紙用」／「フルサイズ」に切り替える	6-20
（通常モード／写メール／Nancy モード／MPEG モード／ファインアニメ／メールアニメ／ローカルムービー／デジタルカメラ）保存先	保存先として設定されているフォルダの一覧画面が表示される。保存先の変更が行える	6-20
フリッカー抑制	フリッカー抑制機能の ON ／ OFF を選択する画面が表示される	6-21

2 で項目を選択し、（選択）を押す

撮影環境にあわせた設定にする（撮影環境）

撮影する環境にあわせて画像の特性を選択することができます。Nancyモードでは選択できません。お買い上げ時は「スタンダード」に設定されています。

例：通常モードの場合

1 「撮影環境」を呼び出す

① 撮影前のファインダー画面で (サブメニュー) を押す

② で「撮影環境」を選択し、(選択) を押す

現在の設定が表示されます。

- 「ナイト」は静止画の撮影モードでのみ設定できます。
- 各設定には次のような特徴があります。
  「スタンダード」：標準的な設定
  「印象」：色を強調して撮影する
  「人物」：肌色が美しく撮影できる
  「室内」：蛍光灯の下でも自然に近い色調で撮影できる
  「ナイト」：暗い場所での撮影に適した設定

2 で撮影環境を選択し、(決定) を押す

設定が変更されます。

フレーム付きの静止画を撮影する（フレーム選択）

通常モードおよび写メールモードでは、画像にフレームを付けて撮影することができます。10種類のオリジナルフレームのほか、ダウンロードしてデータフォルダに保存したフレームから選択することもできます。フレームは通常「OFF」に設定されています。

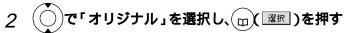
例：オリジナルフレームから選択する場合

1 「フレーム選択」を呼び出す

① 撮影前のファインダー画面で (サブメニュー) を押す

② で「フレーム選択」を選択し、(選択) を押す

現在の設定が表示されます。

2 で「オリジナル」を選択し、（選択）を押す

データフォルダから選択するときは、「データフォルダ」を選択して（選択）を押し、でフレームが保存されているフォルダを選択して（選択）を押します。

3 でフレームを選択し、（選択）を押す

4 （←）または（→）でフレームを選択し、（選択）を押す

ファインダー画面にフレームが表示されます。

を押して、フレームの大きさを画面に合わせて調整することができます。

5 （決定）を押す

フレームが設定されます。

を押し、フレームの貼り付け位置をお好みの場所に移動してから（決定）を押すこともできます。

- ファインダーをイメージウィンドウに切り替えている場合でも、フレームの選択はメインディスプレイで行います。操作 5 のあと、イメージウィンドウのファインダー画面にフレームが表示されます。
- データフォルダ中でフレームとして使用できる画像は、透過 PNG 形式のものです。ただし、画像の大きさや設定によってはフレームとして使用できないこともあります。
- フレームよりファインダーの方が大きい場合には、フレームからはみ出した部分は黒く塗りつぶされます。

シャッター音を設定する

静止画の各撮影モードのときには、撮影時に鳴るシャッター音（3 種類）を選択することができます。お買い上げ時は「シャッター音 1」に設定されています。

1 「シャッター音」を呼び出す

① 撮影前のファインダー画面で（サブメニュー）を押す

② で「シャッター音」を選択し、（選択）を押す

現在の設定が表示されます。

2 でシャッター音を選択し、（決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

選択中のシャッター音を確認したいときは（再生）を押します。

シャッター音の音量は変更できません。

設定は再度設定を行うまで保存されます。

画質を設定する

静止画とファインアニメの各撮影モードでは、画質の選択ができます。いずれのモードもお買い上げ時は「ノーマル」に設定されています。

例：通常モードの場合

1 「通常モード画質」を呼び出す

① 撮影前のファインダー画面で（サブメニュー）を押す

② で「通常モード画質」を選択し、（選択）を押す

現在の設定が表示されます。

- 画質が高いほど、保存時のファイルサイズが大きくなります。
- 通常モードで画質を「ハイクオリティ」に設定すると、撮影直後の画面からスーパーメール編集画面を表示させてメッセージを作成することはできません。

通常／ファインアニメの各モードでは、画質の高い順に「ハイクオリティ」、「ファイン」、「ノーマル」のいずれかが選択できます。写メールモードでは「ファイン」、「ノーマル」から、デジタルカメラモードでは「ノーマル」、「エコノミー」から選択します。

2 ◯で画質を選択し、(決定) を押す

設定の完了をお知らせします。

設定は再度設定を行うまで保存されます。

撮影する画像の大きさを設定する（撮影サイズ）

写メールモードでは、撮影サイズを「小さい壁紙用」（縦160×横120ドット）または「フルサイズ」（標準、ズームは縦180×横160ドット、ワイドは縦120×横160ドット）から選択できます。
お買い上げ時は「小さい壁紙用」に設定されています。

1 「撮影サイズ」を呼び出す

① 撮影前のファインダー画面で(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ) を押す
② ◯で「撮影サイズ」を選択し、(選択) を押す
現在の設定が表示されます。

2 ◯で撮影サイズを選択し、(決定) を押す

設定が変更されます。

ファイルの保存先を変更する

データフォルダ内の、どのフォルダに画像を保存するかを変更することができます。

例：通常モードの保存先を自作フォルダ「フォルダ1」に変更する場合

1 「通常モード保存先」を呼び出す

① 撮影前のファインダー画面で(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ) を押す
② ◯で「通常モード保存先」を選択し、(選択) を押す
現在保存先に設定されているフォルダ内の、フォルダとファイルの一覧が表示されます。

- 現在の保存先を変更したくないときはCLRを繰り返し押して、サブメニュー表示前の画面に戻ります。
- 撮影後に設定を変更する場合は、保存待ち画面で(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ) を押し、「通常モード保存先」を選択して(選択) を押します。

6 モバイルカメラ

2 保存先に設定するフォルダを選択する

上位階層のフォルダを表示させるときは(CLR)を押します。フォルダ内を表示させるときは◯で目的のフォルダを選択し、(📖)（選択）を押します。

注意　現在の撮影モードの画像ファイルを保存できないフォルダは、表示されません。

3 (✉)（決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

補足
- 設定は、設定操作を行った撮影モードに対して適用され、再度変更を行うまで保存されます。
- 操作1や操作2などデータフォルダ内が表示されている画面で◯（サブメニュー）を押し、「フォルダ作成」を選択して(📖)（選択）を押すと、自作のフォルダを作成することができます。フォルダの作成はデータフォルダ起動中の操作からも行えます（☞P11-9）。
- 保存のサブメニュー（☞P6-22）からも、同様の手順で設定の変更が行えます。

フリッカー抑制機能を設定する

蛍光灯の下などでの撮影時に生じるフリッカー現象（画面のちらつき）を抑える機能のON／OFFを切り替えることができます。Nancyモードでは設定できません。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 「フリッカー抑制」を呼び出す

① 撮影前のファインダー画面で◯（サブメニュー）を押す

② ◯で「フリッカー抑制」を選択し、(📖)（選択）を押す

現在の設定が表示されます。

2 ◯で設定を選択し、(📖)（決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

補足　設定は、再度変更を行うまで保存されます。

保存前の各種操作

保存する前に動画やアニメーションなどを再生して見るときや、保存先を変更したり、撮り直しを行うときには、保存のサブメニューを使います。

1 保存待ち画面で（サブメニュー）を押す

サブメニューが表示されます。

例：Nancy モードの場合

項　目	項目選択時の動作	参照ページ
プレビュー	撮影した動画が再生される	6-12
プレビュー切替	撮影したアニメーションが、全コマ表示／アニメーション表示に切り替わる	6-9
データフォルダ	データフォルダの内容が表示される	6-24
（通常モード／写メール／ Nancy モード／ MPEG モード／ファインアニメ／メールアニメ／ローカルムービー／デジタルカメラ）保存先	保存先として設定されているフォルダの一覧画面が表示される。保存先の変更が行える	6-20
撮り直し	撮影した画像が破棄され、撮影前のファインダー画面が表示される。最初から撮影し直すことができる	—

2 で項目を選択し、（選択）を押す

画像を画面の大きさに合わせて確認する

保存待ち画面でを押すと、画面に合わせてサイズ調整した画像を見ることができます。ただし、保存するときには調整前の大きさになります。

補足

アニメーションはアニメーション表示時、動画はプレビュー再生中のみサイズ調整できます。

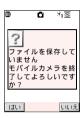
6 モバイルカメラ

画像を保存せずに(CLR)または(PWR HLD)を押したときは

(CLR)を押したときは、右のような画面が表示されます。

- 画像を破棄するときは(○)(はい) を押します。
- 画像の保存を行うときは( )(いいえ) を押して( )(保存) を押します。

(PWR HLD)を押したときは、右のような画面が表示されます。

- 画像を破棄するときは(○)(はい) を押します。
- モバイルカメラの終了を中止するときは( )(いいえ) を押します。

前回の撮影が中断されたときは

撮影した画像を保存する前に次の理由でモバイルカメラが終了した場合は、保存できなかった画像が V601N 内に一時的に保護されます。

- 電話がかかってきたとき
- スケジュール／アクションアイテム／めざまし／Java™タイマーのアラームが起動したとき
- V601N を折り畳んだとき
- 3 分以上何も操作しなかったとき
- ステーションの特に緊急度の高い情報を受信したとき（☞『Vodafone live!編』）

その場合は、モバイルカメラを起動したときに右のような画面が表示されます。

- 保護されている画像を呼び出すときは(○)(はい) を押します。
- 保護されている画像を破棄して新しく撮影するときは( )(いいえ) を押します。

電源を OFF にすると保護されている画像は消去されます。

撮影した画像を確認する

モバイルカメラ起動中に、データフォルダに保存されている画像を再生して確認することができます。操作は、ファインダー画面（撮影前）または保存待ち画面（撮影後）のサブメニューを使って行います。ファイルの再生は、メディアポッド（☞P12-1）やボーダフォンライブ！メニュー（☞『Vodafone live!編』）からも行えます。データフォルダの詳しい操作方法については、「データの管理」（☞P11-1）を参照してください。

例：ファインダー画面から操作し、動画を再生する場合

1 ファインダー画面で（サブメニュー）を押す

2 で「データフォルダ」を選択し、（選択）を押す

データフォルダのフォルダ一覧が表示されます。

3 で目的のフォルダを選択し、（選択）を押す

画像の一覧画面が表示されます。

6 モバイルカメラ

4 で目的のファイルを選択し、(選択)を押す

画像が表示されます。

- 音声付きのファイルは通常着信の音量（☞P8-3）で再生されます。ただし、通常着信の音量を「ステップトーン」や「サイレント」に設定しているとき、または「マナーモード設定中です　音を鳴らしますか？」という確認の画面で(はい)を押したときには、音声付きのファイルは最小の音量で再生され、再生中にを押すと音量調整が行えます。「…音を鳴らしますか？」という画面で(いいえ)を押すと、音声が鳴りません。
- 画像表示中のディスプレイの最下段に←または→が表示されているときはまたはを押すと、前後の画像が表示されます。

5 モバイルカメラの画面に戻るときは、CLRを押す

待受画面に戻るときはPWR HLDを押します。

MPEG-4 形式の画像の再生操作について

MPEGモードまたはローカルムービーモードで撮影したMPEG-4形式のファイル（拡張子「.3gp」）は、再生中に次の操作が行えます。

- を押すごとに一時停止／再生
- 一時停止中に(⏮)を押すと動画の先頭に戻る
- 一時停止中に(▶)を押すごとに次の1コマを表示する
- 一時停止中に(▶)を長く（1秒以上）押すとコマを飛ばす
- 再生中／一時停止中にを押すごとに画像サイズを横幅160ドット（拡大）に切り替えたり元に戻したりする

画像のファイル名について

モバイルカメラで撮影した画像を保存すると、自動的に番号が付けられます。
デジタルカメラモードで撮った画像には、「601N0001」から「601N9999」までの番号が、小さい番号から順に付けられます。
それ以外の画像には、撮影日時がファイル名として付けられます。たとえば「040315-2100」は、2004年3月15日午後9時に撮影された画像であることを示します。

表示と照明の設定

ディスプレイの背景と文字の色を変更する(画面配色)

メインディスプレイの背景と文字の配色パターンを7種類の中から選択することができます。
お買い上げ時は「スタンダード」に設定されています。

1 「画面配色設定」を呼び出す

① (Menu)を押す
② で (各種設定)を選択し、(選択)を押す
③ で (画面)を選択し、(選択)を押す
④ で「画面配色設定」を選択し、(選択)を押す
現在の設定が表示されます。

2 (変更)を押す

7
表示と照明の設定

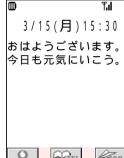
3 で配色パターンを選択し、(決定)を押す

設定の完了をお知らせします。

補足　を押すたびに、選択画面が選択したパターンの配色で表示されます。

待受画面の表示を設定する（待受画面表示）

待受画面の表示パターンを変更できます。また、背景画像をデータフォルダ内の静止画像から選択したり「OFF」にすることもできます。
お買い上げ時は、次のように設定されています。
- 表示内容：「カレンダー」
- 背景画像：「オリジナル」

「カレンダー」
日付・時刻とカレンダーが表示されます。カレンダーには、スケジュール（☞P10-2）で設定した休日や記念日なども色分けして表示されます。

「文章」
日付・時刻と、ご自分で作成したメッセージが表示されます。

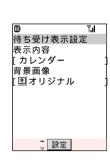
「拡大時計」
日付・時刻が大きく表示されます。

1 「待ち受け表示設定」を呼び出す

① ◯（Menu）を押す
② ◯で（各種設定）を選択し、◯（選択）を押す
③ ◯で（画面）を選択し、◯（選択）を押す
④ ◯で「待ち受け表示設定」を選択し、◯（選択）を押す
現在の設定が表示されます。

2 ◯（設定）を押す

- 「表示内容を設定する」（☞P7-4）
- 「背景画像を設定する」（☞P7-4）

7
表示と照明の設定

表示内容を設定する

3 で「表示内容」を選択し、(選択) を押す

4 で表示内容を選択し、(設定) を押す

「カレンダー」または「拡大時計」を選択したときは、設定の完了をお知らせします。

「文章」を選択したときはメッセージ（全角最大 60 文字、半角最大 120 文字）を入力します。(確定) を押すと、設定の完了をお知らせします。

- 文字の入力方法（☞P3-1）
- 「文章」設定時に入力した文章は、表示内容を「カレンダー」や「拡大時計」に変更しても消去されません。
- 背景画面だけを表示させるには、「文章」を選択して、文字を入力せずに確定します。

背景画像を設定する

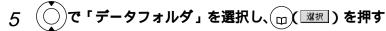
例：データフォルダから選択する場合

3 で「背景画像」を選択し、(選択) を押す

確認画面が表示されます。

4 (はい) を押す

背景画像を「OFF」に設定するときは(いいえ) を押します。

5 で「データフォルダ」を選択し、（選択）を押す

データフォルダが表示されます。

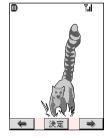
補足 内蔵のオリジナル画像を表示するときは「オリジナル」を選択して（選択）を押します。操作7に進みます。

6 目的のフォルダから目的のファイルを選択し、（表示）を押す

画像の再生画面が表示されます。

7 （決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

補足 画像再生画面で（←）または（→）を押すと、前後の画像を確認できます。また、を押すと、大きすぎる／小さすぎる画像（横幅160ドットを基準とする）のサイズを縮小／拡大することができます。再度を押すと、もとのサイズに戻ります。待受画面の背景には（決定）を押したときのサイズで表示され、背景画像の最大表示サイズ（縦180×横160ドット）を超える場合は中央部分が表示されます。

補足
- 待受画面の背景画像には、アニメーションは設定できません。
- DCF形式のJPEGファイル（☞P11-3）は設定できません。
- 設定されている画像が消去されたときは、お買い上げ時の画像（オリジナル）に戻ります。また、設定されている画像が加工されたときは、設定されたままで加工された画像が表示されます。

ディスプレイで静止画/アニメーションを楽しむ(壁紙設定)

壁紙設定の画面表示を「する」に設定すると、待受中に(PWR HLD)を押すだけで、ディスプレイに壁紙を表示させて楽しむことができます。壁紙を2枚選択して切替時間を設定しておくと、(PWR HLD)を押したときに表示される壁紙が何時間かごとに切り替わります。
お買い上げ時は、次のように設定されています。
- 画面表示:「しない」
- 切替時間:「OFF」
- 壁紙1　:「オリジナル1」
- 壁紙2　:「オリジナル2」

1 「壁紙設定」を呼び出す

① ◯(Menu)を押す
② ◯で(各種設定)を選択し、◯(選択)を押す
③ ◯で(画面)を選択し、◯(選択)を押す
④ ◯で「壁紙設定」を選択し、◯(選択)を押す
現在の設定が表示されます。

壁紙設定
画面表示
[しない　]
切替時間
[OFF　]
壁紙1
[オリジナル1　]
壁紙2
[オリジナル2　]
変更

2 ◯(変更)を押す

- 「壁紙の画面表示を設定する」(☞P7-6)
- 「壁紙を選択する」(☞P7-7)
- 「壁紙を切り替えるタイミングを設定する」(☞P7-8)

壁紙の画面表示を設定する

3 ◯で「画面表示」を選択し、◯(選択)を押す

確認画面が表示されます。

4 ◯(はい)を押す

設定の完了をお知らせします。

表示させないときは◯(いいえ)を押します。

待受設定されているJava™アプリがあるときは、待受画面が表示されていても(PWR HLD)を押して壁紙に切り替えることができません。待受設定を解除してから操作してください(☞『Vodafone live!編』)。

壁紙を選択する

壁紙を内蔵の「オリジナル 1」、「オリジナル 2」またはデータフォルダ内の静止画やアニメーションから選択します。2 枚設定すると、何時間かごとに交互に楽しめます。

例：データフォルダから選択する場合

3 ◎で「壁紙 1」または「壁紙 2」を選択し、📖（選択）を押す

確認画面が表示されます。

ピクチャーセット（☞『Vodafone live!編』）が設定されていて壁紙設定されているときは、「現在設定中の壁紙が消去されますがよろしいですか？」と表示されます。壁紙設定を行うときは◉（はい）を押します。操作を中止するときは✎（いいえ）を押します。

4 ◉（はい）を押す

壁紙を「OFF」に設定するとき（もう一方の壁紙だけを表示したい場合など）は✎（いいえ）を押します。

5 ◎で「データフォルダ」を選択し、📖（選択）を押す

データフォルダが表示されます。

内蔵の画像を設定するときは「オリジナル 1」または「オリジナル 2」を選択します。📖（選択）を押して操作 7 に進みます。

6 目的のフォルダから目的のファイルを選択し、📖（表示）を押す

画像の再生画面が表示されます。

7 （決定）を押す

設定の完了をお知らせします。もう一方の壁紙を選択する場合は、操作3～7を繰り返します。

画像再生画面で（←）または（→）を押すと、前後の画像を確認できます。また、を押すと、大きすぎる／小さすぎる画像（横幅160ドットを基準とする）のサイズを縮小／拡大することができます。再度を押すと、もとのサイズに戻ります。壁紙には（決定）を押したときのサイズで表示され、壁紙の最大表示サイズ（縦180×横160ドット）を超える場合は中央部分が表示されます。

壁紙にアニメーションを設定すると、連続待受時間が短くなります。

壁紙には、静止画像またはアニメーションを設定することができます。ただし、DCF形式のJPEGファイル（☞P11-3）は設定できません。

壁紙を切り替えるタイミングを設定する

3 で「切替時間」を選択し、（選択）を押す

確認画面が表示されます。

4 （はい）を押す

切替時間を「OFF」に設定するときは（いいえ）を押します。

5 0～9で時間（01～24）を入力し、（決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

壁紙が1つしか設定されていないときは、切替時間の設定は無効になります。

7 表示と照明の設定

表示するイラストを設定する(マイキャラクター)

電話がかかってきたとき（着信イラスト）や電源をONにしたとき（ウェイクアップイラスト）、電源をOFFにしたとき（シャットダウンイラスト）のイラストを、データフォルダ内の画像から選択することができます。また、電話を切ったとき（通話終了イラスト）にイラストを表示させることもできます。
お買い上げ時は、次のように設定されています。
- 着信イラスト：「オリジナル」
- ウェイクアップイラスト：「オリジナル」
- シャットダウンイラスト：「オリジナル」
- 通話終了イラスト：「OFF」

それぞれのイラストに設定できる画像の最大の大きさは次のとおりです。

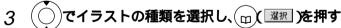
イラストの種類	設定できる大きさ
ウェイクアップイラスト シャットダウンイラスト 通話終了イラスト	縦180×横160ドット　※
着信イラスト	縦67×横160ドット　※

※それぞれのイラストに設定できる大きさを超えた画像は、カットされて中央部分が設定されます。

1 「マイキャラクター」を呼び出す

① (Menu) を押す
② で (各種設定) を選択し、(選択) を押す
③ で (画面) を選択し、(選択) を押す
④ で「マイキャラクター」を選択し、(選択) を押す
現在の設定が表示されます。

2 (設定) を押す

3 でイラストの種類を選択し、(選択)を押す

「通話終了イラスト」を選択したときは、右のような画面が表示されます。
- イラストを表示させる場合やイラストを変える場合は (はい) を押して操作4に進みます。
- イラストを表示させないようにする場合は (いいえ) を押すと設定の完了をお知らせします。

7 表示と照明の設定

4 で「データフォルダ」を選択し、(選択) を押す

データフォルダが表示されます。

初期設定のオリジナルに戻すときは「オリジナル」を選択します。(選択) を押して操作 6 に進みます。

5 目的のフォルダから目的のファイルを選択し、(表示) を押す

画像の再生画面が表示されます。

6 (決定) を押す

設定の完了をお知らせします。

画像再生画面で() または() を押すと、前後の画像を確認できます。また、を押すと、大きすぎる／小さすぎる画像（横幅 160 ドットを基準とする）のサイズを縮小／拡大して確認することができます。再度を押すともとのサイズに戻ります。また、設定後にはもとのサイズで表示されます。

メモリダイヤルでマイコールイラスト（☞P4-9）、グループコールイラスト（☞P4-15）を設定している場合は、着信イラストの設定より優先されます。

マイキャラクターには、静止画像またはアニメーションを設定することができます。ただし、DCF 形式の JPEG ファイル（☞P11-3）は設定できません。

電源をONにしたときの設定を変更する(ウェイクアップ設定)

電源をONにしたときのウェイクアップ画面にメッセージやイラストを表示させたり、表示時間を変えることができます。
お買い上げ時は、次のように設定されています。
- 表示内容：「イラスト」
- 表示時間：「2 秒」

1 「ウェイクアップ設定」を呼び出す

① (Menu) を押す
② で (各種設定) を選択し、(選択) を押す
③ で (画面) を選択し、(選択) を押す
④ で「ウェイクアップ設定」を選択し、(選択)を押す
現在の設定が表示されます。

2 (設定) を押す

- 「ウェイクアップ画面の表示内容を変更する」(☞P7-11)
- 「ウェイクアップ画面の表示時間を変更する」(☞P7-12)

ウェイクアップ画面の表示内容を変更する

例：メッセージを設定する場合

3 で「表示内容」を選択し、(選択) を押す

4 で「文章」を選択し、(選択) を押す

5 メッセージ（全角最大 70 文字、半角最大 140 文字）を入力し、(確定) を押す

設定の完了をお知らせします。

「文字の入力方法」（☞P3-1）

オフラインモード（☞P9-18）が設定されているときに電源を ON にしたときは、設定されたウェイクアップ画面は表示されず、オフラインモード設定されていることをお知らせするメッセージが表示されます。

イラストを設定するときは

マイキャラクター（☞P7-9）で選択したイラストを表示させることができます。
操作 3 の画面でで「イラスト」を選択し、(選択) を押します。

ウェイクアップ画面にイラストを設定しても、すでに登録してあるメッセージは消去されません。

ウェイクアップ画面の表示時間を変更する

3 で「表示時間」を選択し、(選択) を押す

4 〜で秒数（02 〜 99）を入力し、(決定) を押す

設定の完了をお知らせします。

表示時間に合わせてウェイクアップ音が鳴っている時間も変わります。ただし、効果音設定（☞P8-11）のウェイクアップ音を「オリジナル」に設定した場合は、変わりません。

ディスプレイやボタンの照明の設定を変更する(照明設定)

電源ON時やボタン操作を行ったとき、V601Nを開いたときなどには、ディスプレイの照明（パネル照明）とダイヤルボタンの照明（ボタン照明）が約15秒間点灯します。パネル照明は、明るさを調整したり、点灯しないように設定することができます。また、パネル照明消灯後に微灯が点灯している分数も変更できます。ボタン照明は、点灯しないようにすることができます。
お買い上げ時は、次のように設定されています。

- パネル照明設定 ：「輝度5」
- 微灯照明設定　 ：「1分」
- ボタン照明設定 ：「ON」

1 「照明設定」を呼び出す

① (Menu) を押す
② で (各種設定) を選択し、(選択) を押す
③ で (画面) を選択し、(選択) を押す
④ で「照明設定」を選択し、(選択) を押す
現在の設定が表示されます。

2 (設定) を押す

- 「ディスプレイの照明の明るさを設定する」(☞P7-13)
- 「微灯照明を点灯する時間を設定する」(☞P7-14)
- 「ダイヤルボタンの照明を設定する」(☞P7-15)

ディスプレイの照明の明るさを設定する

3 で「パネル照明設定」を選択し、(選択) を押す

4 で輝度または「OFF」を選択し、(決定) を押す

設定の完了をお知らせします。
「輝度5」が最も明るく「輝度1」が最も暗い設定になります。また、「OFF」に設定すると、ディスプレイの照明が点灯しなくなります。

- 本機能はイメージウィンドウのパネル照明設定（☞P7-21）とは別機能です。
- 待受画面で5を長く（1秒以上）押すことにより、ディスプレイの照明の点灯と消灯を切り替えることができます。輝度や微灯照明の長さは、照明設定の設定内容に従います。ただし、「パネル照明設定」が「OFF」に設定されている場合は、「OFF」に設定する直前に設定されていた輝度で点灯し、自動的に設定も変更されます。

微灯照明を点灯する時間を設定する

3 で「微灯照明設定」を選択し、（選択）を押す

確認画面が表示されます。

4 （はい）を押す

微灯照明が点灯しないようにするときは（いいえ）を押します。

5 0～9で分数（01～99）を入力し、（決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

微灯照明時間を長く設定すると、連続待受時間が短くなることがあります。

微灯照明設定が設定されていても、次のときには点灯しません。

- パネル照明が「OFF」に設定されているとき
- 待受状態で5を長く（1秒以上）押して、メインディスプレイを点灯から消灯に切り替えたとき
- Java™設定の照明が「常時OFF」に設定されているときに、Java™を起動して照明が消灯したとき

ダイヤルボタンの照明を設定する

例：「OFF」に設定する場合

3 で「ボタン照明設定」を選択し、(選択)を押す

4 (OFF)を押す

設定の完了をお知らせします。

補足　ダイヤルボタンが点灯するように設定するときは(ON)を押します。

イメージウィンドウの表示を設定する(背面LCD)

イメージウィンドウについてのさまざまな設定を変更したり、待受中にお好みの静止画やアニメーションを表示させて楽しむことができます。

表示の ON ／ OFF を設定する

お買い上げ時は、背面表示は「ON」に設定されており、待受画面に背景画像や時計などが表示されるほか、着信やアラームの表示なども行われます。設定を「OFF」に切り替えると、「ON」のときの設定内容を保存したまま、これらの表示を行わなくなります。

例：「OFF」に設定する場合

1 「背面 LCD」を呼び出す

① (Menu) を押す
② で (各種設定) を選択し、(選択) を押す
③ で (背面 LCD) を選択し、(選択) を押す

2 (設定) を押す

3 で「背面表示」を選択し、(選択) を押す

現在の設定が表示されます。

4 (OFF) を押す

設定の完了をお知らせします。

背面表示を行うように設定するときは (ON) を押します。

- 背面表示を「OFF」にすると、イメージウィンドウの照明 (☞P7-21) も点灯しません。
- 背面表示を「OFF」にしても、モバイルカメラを起動しているときは背面ファインダー表示などの背面表示が表示され、イメージウィンドウの照明も点灯します。

イメージウィンドウの待受表示を設定する

1 **「背面 LCD」を呼び出す**

① (Menu) を押す
② で (各種設定) を選択し、(選択) を押す
③ で (背面 LCD) を選択し、(選択) を押す

2 **(設定) を押す**

3 **で「待ち受け表示設定」を選択し、(選択) を押す**

- 「イメージ（背景画像）を設定する」（☞P7-17）
- 「時計を設定する」（☞P7-19）

イメージ（背景画像）を設定する

イメージウィンドウの待受表示には、用意されている画像（3 種類）やデータフォルダ内の静止画像を背景画像として設定することができます。
お買い上げ時は「パターン 1」に設定されています。

例：データフォルダの画像を設定する場合

4 **で「イメージ選択」を選択し、(選択) を押す**

確認画面が表示されます。

5 **(はい) を押す**

イメージを表示しないときは (いいえ) を押します。
イメージ選択を「OFF」にすると、待受表示の背景画像は無地（白色）の表示になります。

7 表示と照明の設定

6 で「データフォルダ」を選択し、(選択)を押す

データフォルダが表示されます。

補足　オリジナル固定画像「パターン1」～「パターン3」を選択し(選択)を押した場合には、画像が表示されます。操作8に進みます。

7 目的のフォルダから目的のファイルを選択し、(表示)を押す

画像の再生画面が表示されます。

8 (決定)を押す

設定の完了をお知らせします。

補足　画像再生画面で(⇦)または(⇨)を押すと、前後の画像を確認できます。また、を押すと、大きすぎる／小さすぎる画像（横幅120ドットを基準とする）のサイズを縮小／拡大することができます。再度を押すと、もとのサイズに戻ります。待受画面の背景には(決定)を押したときのサイズで表示され、待受画面の背景の最大表示サイズ（縦80×横120ドット）を超える場合は中央部分が表示されます。

補足
- 待ち受け表示設定のイメージには、アニメーションは設定できません。
- DCF形式のJPEGファイル（☞P11-3）は設定できません。
- 設定されている画像が消去されたときは、お買い上げ時の画像（パターン1）に戻ります。また、設定されている画像が加工されたときは、設定されたままで加工された画像が表示されます。

時計を設定する

イメージウィンドウの待受表示の時計表示をデジタル1（時刻表示大）、デジタル2（時刻表示小）、アナログ 1（時刻表示大）、アナログ 2（全体時計表示）の 4 種類から設定することができます。
お買い上げ時は「デジタル 1」に設定されています。

4 で「時計選択」を選択し、（選択）を押す

5 で時計表示を選択し、（決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

アナログ2を設定した場合の待受表示では、電池レベル表示やメール受信表示などは一切表示されません。また、表示方向設定（☞P7-21）で設定した内容は反映されません。

イメージウィンドウで静止画／アニメーションを楽しむ（壁紙設定）

イメージウィンドウの壁紙（最大８件）に静止画やアニメーションを設定しておくと、見たいときに V601N を折り畳んだまま見ることができます。
お買い上げ時は、壁紙が設定されていません。

例：「壁紙1」にデータフォルダの画像を設定する場合

1 「背面 LCD」を呼び出す

① （Menu）を押す
② で（各種設定）を選択し、（選択）を押す
③ で（背面 LCD）を選択し、（選択）を押す

2 （設定）を押す

7
表示と照明の設定

3 ◎で「壁紙設定」を選択し、📖（選択）を押す

壁紙の一覧が表示されます。

4 ◎で番号を選択し、📖（選択）を押す

確認画面が表示されます。

イメージウィンドウの壁紙を見る操作（☞P7-26）を行ったときには、設定されている壁紙が番号順に表示されます。

5 ◎（はい）を押す

壁紙設定を解除するときは✉（いいえ）を押します。

6 ◎で「データフォルダ」を選択し、📖（選択）を押す

データフォルダが表示されます。

オリジナル固定画像「パターン1」〜「パターン3」を選択して📖（選択）を押すと、その画像が表示されます。操作8に進みます。

7 目的のフォルダから目的のファイルを選択し、📖（表示）を押す

画像の再生画面が表示されます。

8 （決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

画像再生画面で（←）または（→）を押すと、前後の画像を確認できます。また、を押すと、大きすぎる／小さすぎる画像（横幅120ドットを基準とする）のサイズを縮小／拡大することができます。再度を押すと、もとのサイズに戻ります。壁紙には（決定）を押したときのサイズで表示され、壁紙の最大の表示サイズ（縦80×横120ドット）を超える場合は中央部分が表示されます。

注意

壁紙にアニメーションを設定すると、連続待受時間が短くなります。

- 壁紙には、静止画像またはアニメーションを設定することができます。ただし、DCF形式のJPEGファイル（☞P11-3）は設定できません。
- 「待受中にカレンダーや壁紙を見る」（☞P7-26）
- 壁紙を表示固定設定（☞P7-27）すると、お好みの壁紙を常に表示させることができます。

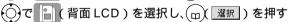
情報の表示内容やパネル照明などを設定する（画面設定）

V601Nを折り畳んだままでも、かかってきた電話の相手やメッセージのタイトルなどがわかるようにすることができます。また、イメージウィンドウの表示の方向を切り替えたり、イメージウィンドウの照明の輝度を設定したり、電池の消耗を抑える設定を変更することができます。

1 「背面LCD」を呼び出す

①（Menu）を押す

②で（各種設定）を選択し、（選択）を押す

③で（背面LCD）を選択し、（選択）を押す

2 （設定）を押す

3 で「画面設定」を選択し、（選択）を押す

- 「かかってきた電話や新着メールなどの情報を表示する」（☞P7-22）
- 「背面表示の向きを切り替える」（☞P7-23）
- 「イメージウィンドウの照明の輝度を設定する」（☞P7-24）
- 「背面表示による電池の消耗を抑える」（☞P7-25）

かかってきた電話や新着メールなどの情報を表示する（内容表示設定）

かかってきた電話の相手の電話番号や名前、メール／ウェブ／ステーションで受信したメッセージのタイトルなどの情報を、イメージウィンドウに表示させることができます。表示のON／OFFは、着信の種類ごとに設定できます。
お買い上げ時は、次のように設定されています。

- （通常着信）：「OFF」
- （メール着信）：「OFF」
- （ウェブ着信）：「OFF」
- （ステーション着信）：「OFF」

例：（通常着信）を「ON」に設定する場合

4 で「内容表示設定」を選択し、（選択）を押す

現在の設定が表示されます。

5 で の行を選択し、（ON）を押す

補足

情報を表示させない場合は（OFF）を押します。

6 （決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

注意

表示固定設定（☞P7-27）しているときは、本機能は無効になります。

7 表示と照明の設定

電話がかかってきたときの表示例

＜ 「ON」のとき＞

メモリダイヤル登録あり

メモリダイヤル登録なし

非通知設定

公衆電話

通知不可能なとき

マイキャラクターの着信イラストを設定しているときは、設定しているイラストやアニメーションが表示されます。

＜ 「OFF」のとき＞

背面表示の向きを切り替える（表示方向設定）

イメージウィンドウの表示の向きが変えられます。
お買い上げ時は「表示方向１（サイドボタン側が下）」に設定されています。

例：「表示方向2」に切り替える場合

4 **で「表示方向設定」を選択し、 （選択）を押す**

現在の設定が表示されます。

5 **（変更）を押す**

6 **で「表示方向 2」を選択し、（決定）を押す**

設定の完了をお知らせします。

待受表示の時計を「アナログ 2」（全画面表示）に設定しているとき（☞P7-19）は、待受表示での本機能の設定は無効になります。また、モバイルカメラを起動しているときのイメージイラスト、背面 LCD ファインダー（☞P6-15）なども同様です。

イメージウィンドウの照明の輝度を設定する（パネル照明設定）

V601Nを折り畳んだときや折り畳んだ状態でサイドボタンを押したときなどには、イメージウィンドウの照明（パネル照明）が約15秒間点灯し、その後約30秒間微灯が点灯したあと消灯します。パネル照明は、明るさを調整したり、点灯しないように設定することができます。
お買い上げ時は「輝度5」に設定されています。

4 で「パネル照明設定」を選択し、（選択）を押す

現在の設定が表示されます。

5 （変更）を押す

6 で輝度または「OFF」を選択し、（決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

- を押すたびに選択された輝度でイメージウィンドウの照明が点灯し、明るさを確認できます。
- パネル照明を「OFF」に設定すると、次のようなときに点灯しなくなります。
  - 着信時および通話中
  - サイドボタンを押したとき
  - スケジュール（☞P10-2）やアクションアイテム（☞P10-27）、めざまし（☞P10-42）で設定したアラームの起動時、または自動電源ON（☞P13-20）の時刻になったとき
  - メール／ウェブ／ステーションのメッセージや情報を受信した場合（☞『Vodafone live!編』）
  - Java™タイマー起動設定で設定したJava™アプリが起動したとき（☞『Vodafone live!編』）
  - 電池残量がなくなったとき

本機能はメインディスプレイのパネル照明設定（☞P7-13）とは別機能です。

背面表示による電池の消耗を抑える（省電力待ち時間設定）

イメージウィンドウの表示をこまめに消すことにより、電池の消耗を抑えることができます。省電力待ち時間を設定すると、折り畳んだ状態で一定時間何も操作を行わなかったときに、イメージウィンドウの画面表示が消えます。
お買い上げ時は「2 分」に設定されています。

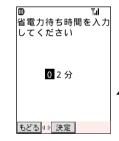
4 **で「省電力待ち時間設定」を選択し、（選択）を押す**

現在の設定が表示されます。

5 **（変更）を押す**

確認画面が表示されます。

6 **（はい）を押す**

省電力待ち時間設定を「OFF」にするときは（いいえ）を押します。

7 **〜で分数（01 〜 99）を入力し、（決定）を押す**

設定の完了をお知らせします。

省電力待ち時間が経過するとイメージウィンドウの画面表示が消えますが、電源OFFになるわけではありません。

7 表示と照明の設定

イメージウィンドウの表示を切り替える（背面表示切り替え）

待受中にカレンダーや壁紙を見る

待受中にV601Nを折り畳んでいるとき、イメージウィンドウには待受表示（時計表示）画面が表示されます。背面表示切り替えを行うと、カレンダーや壁紙設定（☞P7-19）で設定した静止画やアニメーションを見ることができます。

1 待受中にV601Nを折り畳んでいる状態で▼を押す

当月のカレンダーが表示され、現在の日付が反転表示されます。

- 日時が設定されていないとき、カレンダーは表示されません。壁紙が設定されている場合は壁紙が表示され、壁紙が未設定の場合は待受表示のままとなります。
- 当月のカレンダーのみ表示することができます。前月や次月などのカレンダーを表示することはできません。

2 ▼を押す

壁紙設定した壁紙が表示されます。

壁紙が設定されていないときは待受表示（時計表示）画面に戻ります。

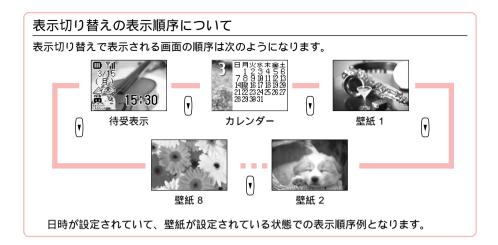
壁紙は壁紙設定（☞P7-19）の番号順に表示されます。

▼を押すたびに次の表示に切り替えることができます。
待受表示（時計表示）→カレンダー→壁紙（最大８件）の表示が終わると、待受表示（時計表示）に戻ります。

- 表示切り替えで表示されるカレンダーや壁紙は､次のようなときに表示が中止され待受表示（時計表示）に戻ります。ただし、表示固定設定されているときは表示は変わりません。
  - V601Nを開いて、折り畳んだとき
  - スケジュール（☞P10-2）やアクションアイテム（☞P10-27）、めざまし（☞P10-42）で設定したアラームが起動したあと、待受状態に戻ったとき
  - 電話がかかってきたときやメール／ウェブ／ステーションのメッセージや情報を受信したあと、待受状態に戻ったとき
  - Java™タイマー起動設定で設定したJava™アプリが起動した（☞『Vodafone live!編』）あと、待受状態に戻ったとき
- 新着不在着信の情報が表示されているときでも､▼を押して表示を切り替えることができます。
- アニメーションを壁紙に設定しているときは、１回再生したあと、最初のコマを表示したままになります。

表示切り替えの表示順序について

表示切り替えで表示される画面の順序は次のようになります。

※ 日時が設定されていて、壁紙が設定されている状態での表示順序例となります。

イメージウィンドウの表示をお気に入りの画面に固定する（表示固定設定）

待受表示（時計表示）画面を表示固定したり、カレンダーや壁紙を表示固定したりすることができます。

例：カレンダーを表示固定する場合

1 待受中にV601Nを折り畳んでいる状態で▼を押す

当月のカレンダーが表示され、現在の日付が反転表示されます。

2 ▲を長く（1 秒以上）押す

設定の完了をお知らせするメッセージが表示されたあと、カレンダーが表示されます。
表示固定を解除するには、再度▲を長く（1 秒以上）押します。

注意

カレンダーや壁紙を表示固定すると、次のときにもその情報が表示されません。

- 電話がかかってきたとき、メール／ウェブ／ステーションのメッセージや情報を受信したとき
- スケジュール（☞P10-2）やアクションアイテム（☞P10-27）、めざまし（☞P10-42）で設定したアラームが起動したとき
- Java™ タイマー起動設定で設定した Java™ アプリが起動したとき（☞『Vodafone live!編』）

- 表示固定が設定されているときは▼を押しても表示を切り替えることはできません。
- 表示固定中に背面表示（☞P7-16）を「OFF」にしたときは、イメージウィンドウは表示されません。
- イメージウィンドウを表示固定しているときに、設定されている背景画像や壁紙画像が変更された場合でも、表示固定は次のように継続されます。
  - ・設定されている画像が加工されたとき：加工された画像が表示されます
  - ・設定されている画像を変更したとき：変更後の画像が表示されます
- 待受表示を表示固定中に、設定されている背景画像を削除したときは、お買い上げ時の背景が表示され、表示固定は継続されます。
- 壁紙を表示固定中に、表示固定設定されている壁紙設定（☞P7-19）を「未登録」に変更したときや設定されている画像をデータフォルダから削除したときは、表示固定設定は自動的に解除されます。

表示する文字を切り替える（フォント切替）

ディスプレイに表示される文字（フォント）の種類を 2 種類のうちから、文字の太さを 3 種類のうちから選択して、切り替えることができます。
お買い上げ時は、次のように設定されています。
• 書体：「フォント 1」　　• 太さ：「中太字」

「フォント切替」で選択できる文字の種類と太さは次のとおりです。

文字の種類		文字の太さ		
フォント 1	フォント 2	細字	中太字	太字
あ※1	あ※1	あ※2	あ※2	あ※2

※ 1：文字の太さを「中太字」に設定した場合
※ 2：文字の種類を「フォント 1」に設定した場合

• この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LC FONTおよびLCロゴマークは、シャープ株式会社の登録商標です。

1 「フォント切替」を呼び出す

① (Menu) を押す
② で (各種設定) を選択し、 (選択) を押す
③ で (画面) を選択し、 (選択) を押す
④ で「フォント切替」を選択し、 (選択) を押す
現在の設定が表示されます。

2 (設定) を押す

• 「文字の書体を切り替える」（☞P7-30）
• 「文字の太さを切り替える」（☞P7-30）

7 表示と照明の設定

文字の書体を切り替える

3 で「書体」を選択し、（選択）を押す

4 で文字の書体を選択し、（決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

「書体」を変更したときに表示が切り替わるのは、ひらがな、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、記号（全角／半角、一部を除く）のみです。電話番号入力時の表示、一部のメニュー画面のタイトルやアイコンなどの書体を切り替えることはできません。

文字の太さを切り替える

3 で「太さ」を選択し、（選択）を押す

4 で文字の太さを選択し、（決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

ウェブ／ステーションの情報画面やJava™動作中の一部の画面で表示される文字、電話番号入力時の表示、サブメニューやガイド表示、一部のメニュー画面のタイトルやアイコンなどの文字の太さを切り替えることはできません。また、イメージウィンドウに表示される文字の太さも切り替えることはできません。

英語表示にする(Language)

ディスプレイの表示を、英語または日本語に切り替えられます。
お買い上げ時は「日本語」に設定されています。

例：「日本語」に設定されているときに操作する場合

1 「Language」を呼び出す

Language
日本語
変更

① (Menu) を押す
② で (各種設定) を選択し、(選択) を押す
③ で (画面) を選択し、(選択) を押す
④ で「Language」を選択し、(選択) を押す
現在の設定が表示されます。

「English」に設定されているときは、④で「言語選択」を選択します。

2 (変更) を押す

3 で言語を選択し、(設定) を押す

設定の完了をお知らせします。

7 表示と照明の設定

音と着信ランプの設定

相手の声の大きさを調節する（受話音量）

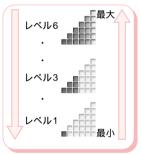
レシーバー（受話口）やラウドスピーカー（スピーカー）（☞P2-7）から聞こえる相手の声の大きさを6段階に調節することができます。通話中でも待受中でも調節できます。
お買い上げ時は「レベル6」（最大）に設定されています。

1 ◎または◎を押す

現在の設定が表示されます。

2 ◎を押して、設定したい音量を表示させる

音量を大きくするときは◎を、小さくするときは◎を押します。

3 約10秒間そのままにしておくか☎PWR HLDを押す

受話音量が設定され、待受画面に戻ります。

通話中は約10秒間そのままにしておくかCLRを押して通話中画面に戻してください。☎PWR HLDを押すと通話が切れてしまいます。

- 音声メモ／マイボイスメモの録音中および簡易留守録、音声メモ／マイボイスメモの再生中でも、◎または◎を押すと受話音量が調節できます。ただし、音量はディスプレイに表示されません。
- 受話音量を調節すると、警告音や通話中のボタン確認音の音量も変わります。
- 調節した音量は、電源をOFFにしても保持されます。
- 通話中に▲を押すと受話音量が上がり、▼を押すと受話音量が下がります。

着信音の大きさを調節する(着信音量)

電話がかかってきたときやメッセージを受信したときなどに鳴らす着信音の音量をそれぞれ6段階に調節したり、だんだん大きくなる「ｽﾃｯﾌﾟﾄｰﾝ(ｱｯﾌﾟ)」やだんだん小さくなる「ｽﾃｯﾌﾟﾄｰﾝ(ﾀﾞｳﾝ)」に設定することができます。また、着信音を「サイレント」（無音）にすることもできます。
お買い上げ時は、次のように設定されています。

- （通常着信）:「レベル4」
- （メール着信）:「レベル4」
- （ウェブ着信）:「レベル4」
- （ステーション着信）:「レベル4」

1 「着信音量設定」を呼び出す

① (Menu) を押す
② で (各種設定) を選択し、 (選択) を押す
③ で (音／バイブ／ランプ)を選択し、 (選択) を押す
④ で「着信音量設定」を選択し、 (選択) を押す
現在の設定が表示されます。

2 (変更) を押す

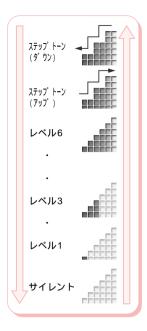
3 で着信の種類を選択し、 (選択) を押す

（通常着信）を選択した場合

8
音と着信ランプの設定

4 （小）または（大）を押して、設定したい音量を表示させる

選択中は「サイレント」を表示させたときを除き、（小）または（大）を押すごとに表示された音量で着信音パターン（☞P8-5）が鳴ります。

マナーモードが設定されているときは、マナーモード設定（☞P8-13）で設定された着信音量で鳴ります。

5 （決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

- 「サイレント」に設定すると、着信ランプとメインディスプレイとイメージウィンドウの表示でお知らせします。また、通常着信の音量を「サイレント」にするとメインディスプレイには「S」、イメージウィンドウには「S」が表示され、ウェイクアップ音やシャットダウン音も鳴りません。
- 「ステップトーン（アップ）」に設定すると、約3秒ごとに「サイレント」、「レベル1」～「レベル6」の順で1段階ずつ音量が大きくなります。
- 「ステップトーン（ダウン）」に設定すると、約3秒ごとに「レベル6」～「レベル1」、「サイレント」の順で1段階ずつ音量が小さくなります。
- バイブレータ（☞P8-9）が設定されているときは、着信音とともに本体が振動します。
- マナーモードが設定されているときは、マナーモード設定（☞P8-13）で設定された着信音量で鳴ります。
- ボーダフォンライブ！のON／OFF設定（☞『Vodafone live!編』）でメール、ウェブ、ステーションの設定をOFFにしているときは、各着信音量の調節をすることはできません。
- メール､ウェブ､ステーションの各機能でサウンドファイルなどを演奏するときの音量は､各機能の着信音の音量設定に従います。ただし、着信音量を「ステップトーン（アップ）」「ステップトーン（ダウン）」に設定しているときは、最小の音量（レベル1）で演奏されます。
- イヤホンマイク（付属品／別売）を接続したときは、イヤホンとスピーカーの両方から着信音が鳴ります。着信音量が「サイレント」に設定されているときや、マナーモード中でマナーモード設定（☞P8-13）の着信音量が「サイレント」に設定されている場合には、最小の音量（レベル1）でイヤホンから着信音が鳴ります。

着信音のパターンを変更する（着信音パターン）

電話がかかってきたときやメッセージを受信したときなどに鳴らす音を、それぞれ20種類の着信音やデータフォルダに登録されているメロディ（ご自分で作ったメロディ、スカイメロディなど）の中から選択することができます。音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。
お買い上げ時は、次のように設定されています。

- （通常着信）：「着信音 1」
- （メール着信）：「着信音 2」
- （ウェブ着信）：「着信音 2」
- （ステーション着信）：「着信音 2」

例：データフォルダのメロディを着信音パターンに設定する場合

1 「着信音パターン選択」を呼び出す

① （Menu）を押す
② で（各種設定）を選択し、（選択）を押す
③ で（音／バイブ／ランプ）を選択し、（選択）を押す
④ で「着信音パターン選択」を選択し、（選択）を押す
現在の設定が表示されます。

2 （変更）を押す

3 で着信の種類を選択し、（選択）を押す

4 で「データフォルダ」を選択し、（選択）を押す

データフォルダが表示されます。

V601Nにあらかじめ用意されている固定メロディを設定するときは「内蔵メロディ」を選択して（選択）を押し、お好みの着信音パターンを選択します。続いて操作6に進みます。

8 音と着信ランプの設定

5 目的のフォルダから目的のファイルを選択する

6 （決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

（演奏）を押してメロディを再生し、再生中に（決定）を押すこともできます。再生音量は各着信音量の設定（☞P8-3）に従います。ただし、ステップトーンに設定されている場合は最小の音量（レベル1）で鳴ります。また、マナーモード時はマナーモード設定（☞P8-13）の各着信音量に従います。

メモリダイヤルでマイコール着信音、マイメール着信音（☞P4-9）、グループコール着信音、グループメール着信音（☞P4-15）を設定している場合は、それらの設定が優先されます。

補足

- ボーダフォンライブ！のON／OFF設定（☞『Vodafone live!編』）でメール、ウェブ、ステーションの設定をOFFにしているときは、着信パターンを設定することはできません。
- 「OFF」を選択すると、着信時に着信音は鳴らず、メインディスプレイとイメージウィンドウの表示だけでお知らせします。
- ウェブなどから入手したサウンドファイルなどの中には、選択しても 決定 や 演奏 が表示されないものがあります。これらのファイルは、メディアポッド（☞P12-2）で演奏することができます。

用意されている内蔵メロディ

V601Nにはあらかじめ20曲のメロディが用意されています。操作4で「内蔵メロディ」を選択すると次の曲が番号順に表示され、着信パターンに設定することができます。

	曲　名	備　考
1	着信音1	—
2	着信音2	—
3	Isn't She Lovely	作詞・作曲：STEVIE WONDER
4	Carnival	作詞・作曲：ELISABET PERSSON NINA/ MAGNUS JOHAN SVENINGSSON/ PETER ANDERS SVENSSON
5	The Telephone Call	作詞・作曲：KARL BARTOS/RALF HUTTER/ ESLEBEN FLORIAN SCHNEIDER
6	ブランデンブルグ第3番	作曲：JOHANN SEBASTIAN BACH
7	カンタータ	作曲：JOHANN SEBASTIAN BACH
8	ガヴォット	作曲：JOHANN SEBASTIAN BACH
9	Tera	—
10	Nano-Funk	—
11	ヴァレンシア	—
12	HardBeat'n MyHeart	—
13	Blue Noise	—
14	Long Long Ago	—
15	アルペジオ	効果音
16	大宇宙	効果音
17	Oxygen	効果音
18	Pop'n Warp	効果音
19	クラビー	効果音
20	Afternoon	効果音

JASRAC 許諾番号：T-0380405

着信音を鳴らす時間を設定する(着信時間設定)

メールやウェブ、ステーションのメッセージを受信したときの着信音を鳴らす時間を設定できます。
お買い上げ時は、次のように設定されています。

- (メール):「5 秒」
- (ウェブ):「5 秒」
- (ステーション):「5 秒」

1 「着信時間設定」を呼び出す

① (Menu)を押す
② で(各種設定)を選択し、(選択)を押す
③ で(音/バイブ/ランプ)を選択し、(選択)を押す
④ で「着信時間設定」を選択し、(選択)を押す
現在の設定が表示されます。

2 (変更)を押す

3 で着信の種類を選択し、(選択)を押す

ボーダフォンライブ!の ON / OFF 設定
(☞『Vodafone live!編』)でメール、ウェブ、ステーションの設定をOFFにしているときは、着信時間を設定することはできません。

4 0わをん〜9らWXYZで秒数(01 〜 60)を入力し、(決定)を押す

設定の完了をお知らせします。

着信を振動で知らせる(バイブレータ設定)

電話がかかってきたときやメッセージを受信したときなどに、本体の振動でお知らせするようにするには、バイブレータを「ON」または「SMAF 連動」に設定します。
お買い上げ時は、次のように設定されています。

- (通常着信):「OFF」
- (メール着信):「OFF」
- (ウェブ着信):「OFF」
- (ステーション着信):「OFF」

例:「ON」に設定する場合

1 「バイブレータ設定」を呼び出す

① (Menu) を押す

② で (各種設定) を選択し、(選択) を押す

③ で (音/バイブ/ランプ) を選択し、(選択) を押す

④ で「バイブレータ設定」を選択し、(選択) を押す

現在の設定が表示されます。

2 (変更) を押す

3 で着信の種類を選択し、(選択) を押す

ボーダフォンライブ!の ON / OFF 設定
(☞『Vodafone live!編』) でメール、ウェブ、ステーションの設定をOFFにしているときは、OFFに設定されている機能のバイブレータは設定変更できません。

4 で「ON」を選択し、(決定) を押す

設定の完了をお知らせします。

「SMAF連動」を設定すると、バイブレータが設定されているSMAFファイルを着信音パターンに設定した場合に、メロディに合わせてバイブレータが振動します。
それ以外の着信音パターンの場合には、固定パターンで振動します。

- バイブレータを「ON」または「SMAF連動」に設定していると、着信時などの振動でV601Nが火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちる場合があるので注意してください。
- 充電中は、バイブレータは振動しません。ただし、Java™の動作中にバイブレータが振動する場合があります。Java™の動作中のバイブレータを振動させないためには、「Java™アプリ動作中のバイブレータの動作方法を設定する」（☞『Vodafone live!編』）の操作を行ってください。
- 通話中に電話がかかってきた場合（割込通話）は、バイブレータは振動しません。

- 通常着信のバイブレータを「ON」または「SMAF連動」に設定するとメインディスプレイには「V」、イメージウィンドウには「V」が表示されます。
- マナーモードが設定されているときは、本機能でのバイブレータの設定よりマナーモードの設定（☞P8-13）が優先されます。

ボタン操作や電源ON/OFFしたときの音を変更する(効果音設定)

電源をONにしたとき(ウェイクアップ音)と電源をOFFにしたとき(シャットダウン音)の操作音や0～9/*/#を押したときに鳴るボタン確認音を、着信音パターン(☞P8-5)と同様に内蔵メロディやデータフォルダ内のメロディの中からも選択することができます。音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。
お買い上げ時は、次のように設定されています。
- ウェイクアップ音:「オリジナル」
- シャットダウン音:「オリジナル」
- ボタン確認音:「オリジナル」

例:「内蔵メロディ」を効果音に設定する場合

1 「効果音設定」を呼び出す

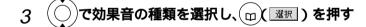
効果音設定
ウェイクアップ音
[オリジナル]
シャットダウン音
[オリジナル]
ボタン確認音
[オリジナル]
設定

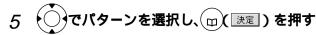
① ◎(Menu)を押す
② ◎で(各種設定)を選択し、◎(選択)を押す
③ ◎で(音/バイブ/ランプ)を選択し、◎(選択)を押す
④ ◎で「効果音設定」を選択し、◎(選択)を押す
現在の設定が表示されます。

2 ◎(設定)を押す

3 ◎で効果音の種類を選択し、◎(選択)を押す

4 ◎で「内蔵メロディ」を選択し、◎(選択)を押す

補足

- データフォルダに登録されているメロディを設定するときは、「データフォルダ」を選択し、◎(選択)を押します。「着信音のパターンを変更する」の操作5～6(☞P8-6)を行ってください。
- 初期設定のオリジナルに戻すときは「オリジナル」を選択して◎(選択)を押します。

5 でパターンを選択し、（決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

（演奏）を押してメロディを再生し、再生中に（決定）を押すこともできます。再生音量は通常着信の設定（☞P8-3）に従います。ただし、ステップトーンに設定されている場合は最小の音量（レベル1）で鳴ります。また、マナーモード時はマナーモード設定（☞P8-13）の通常着信の音量に従います。

ボタン確認音を「OFF」に設定すると、警告音も鳴らなくなります。

- 選択したパターンによって、シャットダウン音は2秒、ボタン確認音は1秒の長さまで鳴ります。また、ウェイクアップ音は「オリジナル」に設定したときを除いてウェイクアップ設定（☞P7-11）で設定した表示時間に合わせて鳴ります。
- ウェブなどから入手したサウンドファイルなどの中には、選択しても決定や演奏が表示されないものがあります。これらのファイルは、メディアポッド（☞P12-2）で演奏することができます。

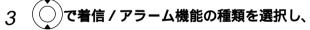
マナーモードの設定を変更する(マナーモード設定)

マナーモード中の音やバイブレータ、簡易留守録の設定を、使い勝手に合わせて変更できます。音やバイブレータの設定は、着信の種類やアラーム機能の種類ごとに行えます。
お買い上げ時は、次のように設定されています。

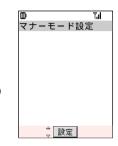
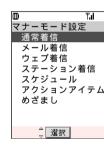
- 着信音量（すべての着信）:「サイレント」
- アラーム音量（すべてのアラーム機能）:「サイレント」
- バイブレータ（すべての着信、すべてのアラーム機能）:「ON」
- 簡易留守録（通常着信）:「ON」

1 「マナーモード設定」を呼び出す

① ◯（Menu）を押す
② ◯で（各種設定）を選択し、（選択）を押す
③ ◯で（音／バイブ／ランプ）を選択し、（選択）を押す
④ ◯で「マナーモード設定」を選択し、（選択）を押す

2 （設定）を押す

3 ◯で着信／アラーム機能の種類を選択し、（選択）を押す

- 着信やアラームの音量を設定する（☞P8-14）
- バイブレータのON/OFFを設定する（☞P8-14）
- 簡易留守録のON/OFFを設定する（☞P8-15）

ボーダフォンライブ！のON／OFF設定（☞『Vodafone live!編』）でメール、ウェブ、ステーションの設定をOFFにしているときに、これらの着信のマナーモードを設定することはできません。

例：「通常着信」を選択した場合

着信やアラームの音量を設定する

4 ◎で「着信音量」または「アラーム音量」を選択し、◉(選択) を押す

例：「通常着信」で「着信音量」を選択した場合

5 ◉(小) または◉(大) で音量を調節し、◉(決定) を押す

設定の完了をお知らせします。

音量を調節するとき、マナーモードが設定されている場合は設定開始時の音量で鳴ります。

バイブレータのON ／ OFFを設定する

例：「OFF」に設定する場合

4 ◎で「バイブレータ」を選択し、◉(選択)を押す

5 ◎で「OFF」を選択し、◉(決定) を押す

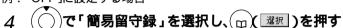
設定の完了をお知らせします。

- バイブレータを「ON」／「SMAF連動」にするときは「ON」／「SMAF連動」を選択し、◉(決定) を押します。
- 「SMAF連動」を設定すると、バイブレータが設定されているSMAFファイルを着信音パターンに設定した場合に、メロディに合わせてバイブレータが振動します。それ以外の着信音パターンの場合には固定パターンで振動します。

- バイブレータを「ON」または「SMAF連動」に設定していると、着信時などの振動でV601Nが火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちる場合がありますのでご注意ください。
- 充電中は、バイブレータは振動しません。ただし、バイブレータを「ON」または「SMAF連動」に設定していると、Java™の動作中にバイブレータが振動する場合があります。Java™の動作中のバイブレータを振動させないためには、「Java™アプリ動作中のバイブレータの動作方法を設定する」（☞『Vodafone live!編』）の操作を行ってください。

簡易留守録の ON ／ OFF を設定する

例：「OFF」に設定する場合

4 で「簡易留守録」を選択し、（選択）を押す

5 （OFF）を押す

設定の完了をお知らせします。

「ON」に設定するときは（ON）を押します。

着信から簡易留守録への移行時間は簡易留守録設定での設定に従います。「着信から簡易留守録応答を開始するまでの時間を設定する」（☞P13-3）

マナーモード中の効果音や警告音は

各種の効果音や警告音はマナーモードの設定内容に関係なく、次のように動作します。

音の種類	マナーモード設定時のバイブレータ設定	
	ON ／ SMAF 連動	OFF
ウェイクアップ音	音：鳴らない バイブレータ：振動する	音：鳴らない バイブレータ：振動しない
シャットダウン音		
電池アラーム	音：鳴らない バイブレータ：振動しない	
警告音		
ボタン確認音		

マナーモード中でも、応答保留音、モバイルカメラのシャッター音およびセルフタイマー音は、一定の音量で鳴ります。

着信ランプの色を変更する(着信イルミネーション)

電話がかかってきたときやメッセージを受信したときなどに点滅する着信ランプの色を、8種類（7色と「イルミネーション」）のうちから選択し、着信の種類ごとに色分けすることができます。
お買い上げ時は、次のように設定されています。

- (通常着信)：「エメラルド」
- (メール着信)：「サファイア」
- (ウェブ着信)：「サファイア」
- (ステーション着信)：「サファイア」

1 「着信イルミネーション設定」を呼び出す

① (Menu) を押す
② で (各種設定) を選択し、(選択) を押す
③ で (音／バイブ／ランプ) を選択し、(選択) を押す
④ で「着信イルミネーション設定」を選択し、(選択) を押す
現在の設定が表示されます。

2 (変更) を押す

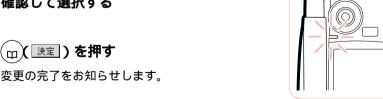
3 で着信の種類を選択し、(選択) を押す

ボーダフォンライブ！の ON ／ OFF 設定
（☞『Vodafone live!編』）でメール、ウェブ、ステーションの設定をOFFにしているときには、OFFに設定されている機能の着信イルミネーションは設定変更できません。

着信ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝ設定
ルビー
アメジスト
サファイア
アクアマリン
エメラルド
トパーズ
パール
イルミネーション
決定

4 を押して、お好みの色を着信ランプで確認して選択する

5 (決定) を押す

変更の完了をお知らせします。

メモリダイヤルでマイコール着信色、マイメール着信色（☞P4-9）、グループコール着信色、グループメール着信色（☞P4-15）を設定している場合は、それらの設定が優先されます。

「イルミネーション」に設定すると、ルビー→アメジスト→サファイア→アクアマリン→エメラルド→トパーズ→パールの順に点滅します。

未確認のメッセージがあるときに着信ランプで知らせる(未確認通知)

V601Nを折り畳んでいるときに簡易留守録が録音されたり新しいメッセージを受信したりすると、V601Nを開くまで着信ランプが点滅してそれをお知らせするように設定できます。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

例：「ON」に設定する場合

1 「未確認通知」を呼び出す

① (Menu) を押す

② で （各種設定）を選択し、(選択) を押す

③ で （音／バイブ／ランプ）を選択し、(選択) を押す

④ で「未確認通知」を選択し、(選択) を押す

現在の設定が表示されます。

2 (ON) を押す

設定の完了をお知らせします。

補足 未確認通知を利用しないときは (OFF) を押します。

注意 着信ランプが長時間点滅したままになっていると、連続待受時間が短くなります。

補足

- 未確認通知を「ON」に設定していても、充電中やV601Nを開いている状態のときには着信ランプは点滅しません。
- 着信ランプは、着信イルミネーション（☞P8-16）で設定されている色で点滅します。2件以上の着信があったときは、最新の着信の種類に対応する色で点滅します。
- 未確認通知を「ON」に設定していると、着信音が鳴り終わったあと、あるいは簡易留守録が録音されると着信ランプの点滅がはじまり、V601Nを開くまで点滅が続きます。ただし、次の場合には点滅が止まります。
  - ・充電を始めたとき
  - ・電池パックを外したとき
  - ・電池がなくなったとき

ワン切りの電話の着信音を鳴らさないようにする(ワン切り設定)

メモリダイヤルに未登録の番号から電話がかかってきたときに限り、最初の何秒間かは着信音を鳴らさないように設定することができます。すぐ切れてしまう迷惑電話（ワン切り電話）が多いときなどに便利です。
お買い上げ時は、次のように設定されています。
- ワン切り無音：「無効」
- 無音時間：「3 秒」

1 「ワン切り設定」を呼び出す

①（Menu）を押す
②で（各種設定）を選択し、（選択）を押す
③で（音／バイブ／ランプ）を選択し、（選択）を押す
④で「ワン切り設定」を選択し、（選択）を押す
現在の設定が表示されます。

ワン切り設定
ワン切り無音
［無効　］
無音時間
［３秒　］
設定

2 （設定）を押す

- 「ワン切り設定の有効／無効を切り替える」（☞P8-18）
- 「着信音を鳴らすまでの秒数を設定する」（☞P8-19）

ワン切り設定の有効／無効を切り替える

例：「有効」にする場合

3 で「ワン切り無音」を選択し、（選択）を押す

4 （有効）を押す

設定の完了をお知らせします。

ワン切り設定機能を無効にするときは（無効）を押します。

着信音を鳴らすまでの秒数を設定する

3 で「無音時間」を選択し、（選択）を押す

4 で秒数を選択し、（決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

電話番号を通知してこない相手や公衆電話から電話がかかってきたときは、ワン切り設定が「有効」の場合でも、すぐに着信音が鳴ります。

セキュリティ機能

秘密の登録内容を操作する(シークレットモード)

秘密にしたいメモリダイヤルを登録したり呼び出したりするとき（☞P4-13)、シークレット設定したスケジュール（☞P10-2）やアクションアイテム（☞P10-27）を表示させたいときなどには、シークレットモードに切り替える必要があります。シークレットモードの設定には、操作用暗証番号（☞P1-20）の入力が必要です。

1 「シークレットモード」を呼び出す

① (Menu）を押す

② で (各種設定）を選択し、(選択）を押す

③ で (禁止）を選択し、(選択）を押す

④ で「シークレットモード」を選択し、(選択）を押す

2 (変更）を押し、操作用暗証番号を入力する

操作用暗証番号が正しく入力されると、確認画面が表示されます。

3 (はい）を押す

設定の完了をお知らせします。シークレットモードが設定されているときはディスプレイに「 」が表示されます。

シークレットモードを解除するには

待受画面表示中に を押します。「 」が消え、シークレットモードが解除されます。

無断で使われたくないとき(ダイヤルロック)

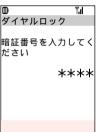
他の人に使われたくないときには、ダイヤルロックを設定します。ダイヤルロックが設定されていると、電話を受けることはできますが、各種機能操作や電話をかけることはできません。ダイヤルロックを設定/解除するには、操作用暗証番号(☞P1-20)の入力が必要です。

ダイヤルロックを設定する

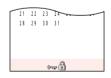
1 「ダイヤルロック」を呼び出す

①◯(Menu)を押す
②◯で(各種設定)を選択し、◯(選択)を押す
③◯で(禁止)を選択し、◯(選択)を押す
④◯で「ダイヤルロック」を選択し、◯(選択)を押す

2 ◯(変更)を押し、操作用暗証番号を入力する

操作用暗証番号が正しく入力されると、確認画面が表示されます。

3 ◯(はい)を押す

ダイヤルロックが設定され、待受画面に戻ります。ダイヤルロックが設定されているときはメインディスプレイに「」が表示されます。

補足

#記号を使ってダイヤルロックを設定することもできます。
①◯(Menu)を押す
②#記号を長く(1秒以上)押す
③操作用暗証番号を入力する
④◯(はい)を押す

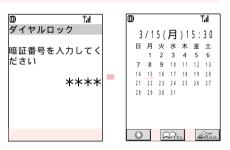
ダイヤルロックが設定されているときにできる操作は

電源の ON ／ OFF（☞P2-2）や、緊急ダイヤル（110、119）、海上保安庁への緊急通報（118）へは電話をかけることができます。また、次の操作は行えます。

- ／＊／＃記号／CLR／▲／▼を押して電話を受け、PWR HLDを押して電話を切る
- 通話中に◯または▲／▼を押して受話音量を調節する
- 着信中にPWR HLDを押して、応答保留にする
- 着信中に◯→（簡易留守）を押すか、▲／▼を長く（1 秒以上）押して簡易留守録応答する
- 着信中に◯→（転送）を押して着信留守電転送する
- 着信中に◯→（拒否）を押して着信拒否する
- 着信中に◯（）を長く（1 秒以上）押してマナーモードを設定する
- 着信中に◯を押して着信音を消す
- 割込通話サービスを受ける（☞P14-15）

ダイヤルロックを解除する

1 操作用暗証番号を入力する

操作用暗証番号が正しく入力されると、ダイヤルロックが解除されます。

ダイヤルロックは電源を切っても解除されません。

キー操作無効を設定／解除するには

キー操作無効は、操作用暗証番号を使わずに設定／解除できる手軽なセキュリティ機能です。小さなお子様のいたずら防止などに便利です。

待受画面で＃記号を長く（1 秒以上）押してキー操作無効を設定すると、メインディスプレイに「 」が表示されます。この状態でも、次の操作は行えます。

- を押して電話を受け、PWR HLDを押して電話を切る
- 通話中に◯で受話音量を調節する
- 着信中にPWR HLDを押して応答保留にする
- 着信中に◯（）を長く（1 秒以上）押してマナーモードを設定する
- 着信中に◯を押して着信音を消す
- 割込通話サービスを受ける（☞P14-15）

キー操作無効を解除するときは、もう一度＃記号を長く（1秒以上）押します。また、自動電源OFF（☞P13-24）の時刻になったり、電池がなくなったりして電源が切れたときにも解除されます。

電源をONにするたびにダイヤルロックをかける(オートロック)

電源を ON にしたときに、自動的にダイヤルロックが設定されるようにすることができます。他の人に無断で操作されたくない場合にはオートロックを設定してください。オートロックを設定／解除するには、操作用暗証番号（☞P1-20）の入力が必要です。お買い上げ時は「しない」に設定されています。

例：「する」に設定する場合

1 「オートロック」を呼び出す

① ◯（Menu）を押す
② ◯で（各種設定）を選択し、◯（選択）を押す
③ ◯で（禁止）を選択し、◯（選択）を押す
④ ◯で「オートロック」を選択し、◯（選択）を押す
現在の設定が表示されます。

2 ◯（変更）を押し、操作用暗証番号を入力する

操作用暗証番号が正しく入力されると、確認画面が表示されます。

3 ◯（はい）を押す

設定の完了をお知らせします。

補足　オートロックを解除するときは◯（いいえ）を押します。

電源を ON にすると

（ダイヤルロック）が表示され、ダイヤルロックがかかります。一時的に解除するときは、「ダイヤルロックを解除する」（☞P9-4）の操作を行います。
一時的に解除しても、オートロックを解除するまでは、電源を OFF ／ON するたびにダイヤルロックがかかります。

電話がかけられないようにする(発信禁止)

発信禁止を設定すると、電話がかけられなくなります。また、メールの送信、ウェブへのアクセスもできなくなります。発信禁止を設定／解除するには、操作用暗証番号（☞P1-20）の入力が必要です。
お買い上げ時は「しない」に設定されています。

例：「する」に設定する場合

1 「発信禁止」を呼び出す

①（Menu）を押す
②で（各種設定）を選択し、（選択）を押す
③で（禁止）を選択し、（選択）を押す
④で「発信禁止」を選択し、（選択）を押す
現在の設定が表示されます。

2 （変更）を押し、操作用暗証番号を入力する

操作用暗証番号が正しく入力されると、確認画面が表示されます。

3 （はい）を押す

設定の完了をお知らせします。

発信禁止を解除するときは（いいえ）を押します。

発信禁止が設定されているときでもかけられる電話は

発信禁止が設定されているときでも、緊急ダイヤル（110、119）、海上保安庁への緊急通報（118）へは電話をかけることができます。

番号通知のない着信を拒否する(非通知着信拒否)

電話をかけてきた相手が電話番号を通知してこなかったときに、電話を受けずにアナウンスで自動応答するように設定できます。非通知の理由には次の2種類があります。
非通知設定：電話番号を通知しない設定をして電話をかけている
公衆電話：公衆電話からかけている
非通知着信拒否の設定には、操作用暗証番号（☞P1-20）の入力が必要です。
お買い上げ時は、すべて「許可」に設定されています。

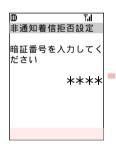
例：「拒否」に設定する場合

1 「非通知着信拒否設定」を呼び出す

①◯（Menu）を押す
②◯で（各種設定）を選択し、◯（選択）を押す
③◯で（禁止）を選択し、◯（選択）を押す
④◯で「非通知着信拒否設定」を選択し、◯（選択）を押す
現在の設定が表示されます。

非通知着信拒否設定
非通知設定
[許可]
公衆電話
[許可]
設定

2 ◯（設定）を押し、操作用暗証番号を入力する

操作用暗証番号が正しく入力されると、現在の設定が表示されます。

3 ◯で非通知理由を選択し、◯（拒否）を押す

設定の完了をお知らせします。

電話番号を通知してこない着信を受けるときは◯（許可）を押します。

拒否を設定している相手から電話がかかってくると

呼び出さず自動的に応答し、相手には「発信者番号が確認できないため、お取り次ぎできません。発信者番号を通知しておかけ直しください」というアナウンスが流れます。このとき右のような画面が表示されます。
アナウンスが終わると、自動的に電話が切れます。
着信拒否した場合も、着信履歴（☞P2-18）には記録されます。

メモリダイヤルの登録内容をすべて消去する(メモリオールクリア)

登録してあるメモリダイヤル（シークレットメモリを含む）をすべて消去します。メモリオールクリアを行うには、操作用暗証番号（☞P1-20）の入力が必要です。

1 「メモリオールクリア」を呼び出す

① (Menu) を押す
② で (各種設定) を選択し、(選択) を押す
③ で (初期化) を選択し、(選択) を押す
④ で「メモリオールクリア」を選択し、(選択)を押す

2 (実行) を押し、操作用暗証番号を入力する

メモリオールクリア

暗証番号を入力してください

****

操作用暗証番号が正しく入力されると、確認画面が表示されます。

3 (はい) を押す

消去の完了をお知らせします。

補足

メモリオールクリアを行うと、グループ登録（☞P4-15）やグループアドレス（☞『Vodafone live!編』）の設定内容もお買い上げ時の状態に戻ります。

各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す（設定リセット）

各機能の設定を初期状態に戻すことができます。設定リセットを行うには、操作用暗証番号（☞P1-20）の入力が必要です。設定リセットの実行後も日付・時刻やメモリダイヤルなど、一部の設定や登録内容は保存されています（☞P9-11～9-15）。

1 「設定リセット」を呼び出す

① (Menu）を押す
② で（各種設定）を選択し、（選択）を押す
③ で（初期化）を選択し、（選択）を押す
④ で「設定リセット」を選択し、（選択）を押す

2 （実行）を押し、操作用暗証番号を入力する

操作用暗証番号が正しく入力されると、確認画面が表示されます。

3 （はい）を押す

リセットの完了をお知らせします。

各機能の設定や登録内容をすべてお買い上げ時の状態に戻す(オールリセット)

操作用暗証番号を除くすべての設定や登録内容を、お買い上げ時の初期状態に戻すことができます。オールリセットを行うには、操作用暗証番号（☞P1-20）の入力が必要です。

1 「オールリセット」を呼び出す

① ◎（Menu）を押す
② ◎で（各種設定）を選択し、◎（選択）を押す
③ ◎で（初期化）を選択し、◎（選択）を押す
④ ◎で「オールリセット」を選択し、◎（選択）を押す

2 ◎（実行）を押し、操作用暗証番号を入力する

操作用暗証番号が正しく入力されると、確認画面が表示されます。

一時停止中のJava™アプリがあるときは、オールリセットが行えません。Java™アプリを終了させてから再度操作してください（☞『Vodafone live!編』）。

3 ◎（はい）を押す

処理中の画面が表示されたあと、リセットの完了をお知らせします。

●リセットされる項目および初期状態

機能名		初期状態
メニュー 0	オーナー情報	（自局電話番号のみ残ります）
メニュー 10	着信音パターン選択	: 着信音 1　: 着信音 2　: 着信音 2　: 着信音 2
メニュー 11	着信音量設定	: レベル 4　: レベル 4　: レベル 4　: レベル 4
メニュー 12	バイブレータ設定	: OFF　: OFF　: OFF　: OFF
メニュー 13	効果音設定	ウェイクアップ音：オリジナル　シャットダウン音：オリジナル ボタン確認音：オリジナル
メニュー 15	着信時間設定	: 5 秒　: 5 秒　: 5 秒
メニュー 16	メロディ作成	（未登録）
メニュー 18	着信イルミネーション設定	: エメラルド　: サファイア　: サファイア　: サファイア
メニュー 19	ワン切り設定	ワン切り無音：無効　無音時間：3 秒
メニュー 21	オートロック	しない
メニュー 22	シークレットモード	解除
メニュー 23	サイドボタン設定	閉じたとき有効
メニュー 24	発信禁止	しない
メニュー 25	非通知着信拒否設定	非通知設定：許可　公衆電話：許可
メニュー 33	バッテリーセーブ	ON
メニュー 34	照明設定	パネル照明設定：ON（輝度5）微灯照明設定（ON／OFF）：ON 微灯照明設定（時間）：1 分　ボタン照明設定：ON
メニュー 35	Language	日本語
メニュー 36	ウェイクアップ設定	表示内容：イラスト※　表示時間：2 秒
メニュー 38	通話品質アラーム	OFF
メニュー 40	画面配色設定	スタンダード
メニュー 41	クローズ終話	OFF
メニュー 42	アシスト登録	（未登録）
メニュー 43	マナーモード設定	（通常着信／メール着信／ウェブ着信／ステーション着信／スケジュール／アクションアイテム／めざましともに） 音量：サイレント　バイブレータ：ON 簡易留守録：ON（通常着信のみ）
メニュー 44	待ち受け表示設定	表示内容：カレンダー　背景画像：オリジナル※
メニュー 45	ユーザ辞書登録	（未登録）
メニュー 46	フォント切替	書体：フォント 1　太さ：中太字
メニュー 47	背面 LCD	背面表示：ON 待ち受け表示設定：イメージ選択：パターン 1 時計選択：デジタル 1 壁紙設定（01 ～ 08）：OFF 画面設定：内容表示設定：全着信時 OFF 表示方向設定：表示方向 1 パネル照明設定：輝度 5 省電力待ち時間設定：ON（2 分）
メニュー 48	文字入力方式	入力モード：モード 1（かな方式）　ワード予測：ON
メニュー 49	壁紙設定	画面表示：しない　切替時間：OFF 壁紙 1：オリジナル 1　壁紙 2：オリジナル 2

※登録されていた文章は消去されます。

- □ の項目は、設定リセットでは初期状態に戻りません。
- 操作用暗証番号は、オールリセット後も保存されます。

機能名		初期状態
メニュー51	自動電源ON	自動電源ON：無効　時刻設定：_ _:_ _ 繰り返し設定：OFF　アラーム音設定：着信音2
メニュー52	自動電源OFF	自動電源OFF:無効　時刻設定:_ _:_ _　繰り返し設定:OFF
メニュー53	スケジュール	スケジュール：(未登録)　オリジナル休日：(未登録) カレンダー表示：1ヶ月表示　記念日：(未登録) 祝祭日表示：すべて表示させる アラーム鳴動設定：アラーム鳴動時間30秒 アラーム鳴動音量レベル4 バイブレータOFF
メニュー54	アクションアイテム	アクションアイテム：(未登録) アラーム鳴動設定：アラーム鳴動時間30秒 アラーム鳴動音量レベル4 バイブレータOFF
メニュー57	めざまし	(めざまし1〜5) すべてON／OFF設定：OFF 起動時間:(未設定)　繰り返し設定:毎日 スヌーズ設定:OFF アラーム音設定：着信音2 アラーム鳴動設定：アラーム鳴動時間30秒 アラーム鳴動音量レベル4 バイブレータOFF
メニュー59	日付時刻設定	_ _ _ _/_ _/_ _　_ _:_ _
メニュー60	通話時間／料金表示	(直前、累積ともに) ¥ー　0s
メニュー90	簡易留守録設定	簡易留守録：OFF　移行時間：12秒
メニュー91	簡易留守録再生	(データなし)
メニュー92	メモ選択	(データなし)
メニュー93	未確認通知	OFF
メニュー94	オフラインモード	設定しない
メニュー95	ライブラリ	(未登録)
メニュー97	マイキャラクター	着信イラスト：オリジナル ウェイクアップイラスト：オリジナル シャットダウンイラスト：オリジナル 通話終了イラスト：OFF
データフォルダ	各ファイル、フォルダ	お買い上げ時に登録されていたフォルダのみ残ります
	音楽ファイル　タイトル／ファイル名	タイトル表示
	並び替え	日時の新しい順
	シークレットフォルダ	(シークレットフォルダなし)
	データ保護	(保護データなし)
	文字サイズ変更	標準
	画面スクロール設定	1行
	リサイズ／標準	標準
モバイルカメラ	シャッター音	シャッター音1
	画質	通常モード：ノーマル　写メールモード：ノーマル ファインアニメモード：ノーマル デジタルカメラモード：ノーマル
	ファインアニメ撮影間隔	0.7秒
	プレビュー切替	全コマ表示
	マイク	Nancyモード：ON　MPEGモード：ON ローカルムービーモード：ON

- ▢の項目は、設定リセットでは初期状態に戻りません。
- 操作用暗証番号は、オールリセット後も保存されます。

機能名		初期状態
モバイルカメラ	保存先	通常モード：ピクチャーフォルダ 写メールモード：ピクチャーフォルダ ファインアニメ：アニメーションフォルダ メールアニメ：アニメーションフォルダ Nancy モード：ムービーフォルダ MPEG モード：ムービーフォルダ ローカルムービー：ムービーフォルダ デジタルカメラ：ピクチャーフォルダ内のデジタルカメラフォルダ
	フリッカー抑制	OFF
	起動時のモード選択	通常モード
	デジタルカメラファイルNo	0001
バーコード	認識データ画面でのリサイズ／標準切り替え	標準
テレビ	ボリューム	1
	ディスプレイの照明	3 段階のうちでもっとも明るい
	受信チャンネル設定	（設定 1 ～ 5 すべて）設定の名前：設定 1 ～ 5 受信チャンネル：V1 ～ V12　表示チャンネル：1 ～ 12 URL：（未登録）
	音声出力先切換	スピーカー
	画面キャプチャー設定	モード設定：静止画　アニメーション間隔：0.7 秒
	WEB アドレス設定	（未登録）
	表示方向設定	表示方向 1
	オートオフ設定	30 分
リモコン	起動時のリモコン	TV リモコン
	リモコンファイル	各リモコン初期設定ファイル（12 種類）のみ残ります
	リモコンお気に入りリスト	（未登録）
その他	ショートカット	「Java™ ライブラリ」のみ残ります
	ダイレクト設定	Java™ ライブラリ
	受話音量設定	レベル 6
	リダイヤル	（データなし）
	着信履歴	（データなし）
	メモリダイヤル	（未登録）
	グループ登録	（未登録）
	指定着信拒否設定	（未登録）
	マナーモード	（解除）
	新着あり表示※1	（データなし）
	ワード予測　学習データ	（データなし）
	T9　学習データ	（データなし）
	辞書　学習データ	（データなし）

- [網掛け] の項目は、設定リセットでは初期状態に戻りません。
- 操作用暗証番号は、オールリセット後も保存されます。

※ 1　メール／ウェブ／ステーションの着信をお知らせする新着あり表示は設定リセットでは初期状態に戻りません。

機能名		初期状態
メール	メールボックス	（データなし）
	メールリダイヤル	（データなし）
	文字サイズ変更	標準
	画面スクロール設定	1 行
	並び替え	日時の新しい順
	リサイズ／標準切り替え	標準
	ユーザ名称	（未登録）
	スーパーメール通信設定	配信確認：なし　重要度：中
	スーパーメール設定	返信先アドレス：無効（未登録） 署名：無効（未登録） 自動取得：手動 受信拒否ファイル設定：許可（設定できるファイル種別すべてについて） 自動表示・鳴音設定：ピクチャー自動　サウンド手動 発信者名設定：無効（未登録） 宛先名称設定：無効
	グループアドレス	（未登録）
	セキュリティ設定	アドレスフィルター：OFF（未登録） PIN コード：OFF（未登録）
	定型メッセージ設定	定型文作成：ユーザ定型文未登録　メロディ：未登録
	スカイメール通信設定	優先度：普通　配信確認：なし　プライバシー：レベル 1
	掲示板設定	掲示板選択：メッセージ　掲示板の公開：禁止 メッセージ：掲示板データなし 掲示板の位置情報：位置情報なし
	センター番号設定	ショートメッセージ回線：＊7033 データ回線：＊7233000 スーパーメール回線：＊7043
	スカイメロディ	センター番号：＊1790
ウェブ	メッセージフォルダ	（未登録）
	インターネットアクセス履歴	（データなし）
	お気に入り	（未登録）
	ブックマーク	（未登録）
	画面スクロール設定	1 行
	テキストブラウズ	ピクチャーダウンロード：ON　サウンドダウンロード：ON
	センター番号設定	データ回線：＊7223000
	ホーム設定	NEC SUPER TOWN
	インターネットアクセス規制	OFF
	位置情報送出設定	ON
	セキュリティ設定	ユーザ ID 通知設定：OFF
Java™	Java™ ライブラリ	お買い上げ時に登録されている削除不可能な Java™ アプリのみ残ります
	Java™ タイマー起動設定	（未登録）

- ☐ の項目は、設定リセットでは初期状態に戻りません。
- 操作用暗証番号は、オールリセット後も保存されます。

機能名		初期状態
Java™	Java™待受設定	待受設定：しない Java™アプリ選択：未選択 再開時間設定：3 秒 スリープ時間設定：1 分後 ネットワーク接続：する
	着信優先設定	着信優先
	再生音量	レベル 4
	パネル照明設定	照明設定：通常動作　点滅設定：ON
	バイブレータ設定	OFF
	センター番号設定	＊7263000
	ネットワーク接続確認	起動毎に確認する
ステーション	メインリスト	（データなし）
	画面スクロール設定	1 行
	マイリスト	緊急情報のみ
	お天気アイコン	正面待ち受け：OFF　背面待ち受け：OFF 天気予報：（データなし） 情報ナンバー設定：57451
	保存情報	（データなし）
	位置情報表示	位置情報なし
	センター番号設定	＊7053
	更新時間設定	6 時間毎
	ピクチャーセット	OFF
ネットワーク設定	割込み着信設定	着信時選択

- □ の項目は、設定リセットでは初期状態に戻りません。
- 操作用暗証番号は、オールリセット後も保存されます。

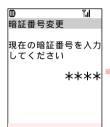
操作用暗証番号を変更する(暗証番号変更)

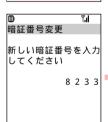
「9999」またはご契約時にお決めいただいた操作用暗証番号（☞P1-20）を、V601Nの操作で変更することができます。
操作用暗証番号は、お忘れにならないように注意してください。

1 「暗証番号変更」を呼び出す

① (Menu) を押す
② で (各種設定) を選択し、(選択) を押す
③ で etc. (その他) を選択し、(選択) を押す
④ で「暗証番号変更」を選択し、(選択) を押す

2 (変更) を押し、操作用暗証番号を入力する

入力した番号は「*」で表示されます。

3 新しい操作用暗証番号を入力する

入力を間違えたときは CLR を短く押して1桁ずつ消し、入力し直します。番号をすべて消すときは CLR を長く（1秒以上）押します。

4 (はい) を押す

変更の完了をお知らせします。

この操作を行っても、交換機用暗証番号（☞P1-20）は変更できません。

V601Nを折り畳んでいるときの誤動作を防止する(サイドボタン設定)

サイドボタンロックをかけることにより、V601Nを折り畳んだ状態でサイドボタンを押しても操作無効になり、誤動作を防ぎます。
お買い上げ時は「閉じたとき有効」に設定されています。

例：「閉じたとき無効」に設定する場合

1 「サイドボタン設定」を呼び出す

① (Menu) を押す
② で (各種設定) を選択し、(選択) を押す
③ で (禁止) を選択し、(選択) を押す
④ で「サイドボタン設定」を選択し、(選択) を押す
現在の設定が表示されます。

2 (無効) を押す

設定の完了をお知らせします。

補足 閉じたときのサイドボタン操作を有効にするときは (有効) を押します。

3 を押す

待受画面に戻り「」が表示されます。

補足
- サイドボタンロックをかけてもV601Nを開いた状態でのサイドボタン操作は有効です。
- サイドボタン有効時の操作の詳細については「サイドボタンの使いかたについて」(☞P1-9) をご覧ください。

メニュー94

電波を送受信しないようにする(オフラインモード)

電源が入っていても電波を送受信しないように設定できます。
お買い上げ時は「設定しない」に設定されています。

9 セキュリティ機能

例：オフラインモードを設定する場合

1 「オフラインモード」を呼び出す

① ◎(Menu) を押す
② ◎で (各種設定) を選択し、◎(選択) を押す
③ ◎で (禁止) を選択し、◎(選択) を押す
④ ◎で「オフラインモード」を選択し、◎(選択) を押す
現在の設定が表示されます。

2 ◎(する) を押す

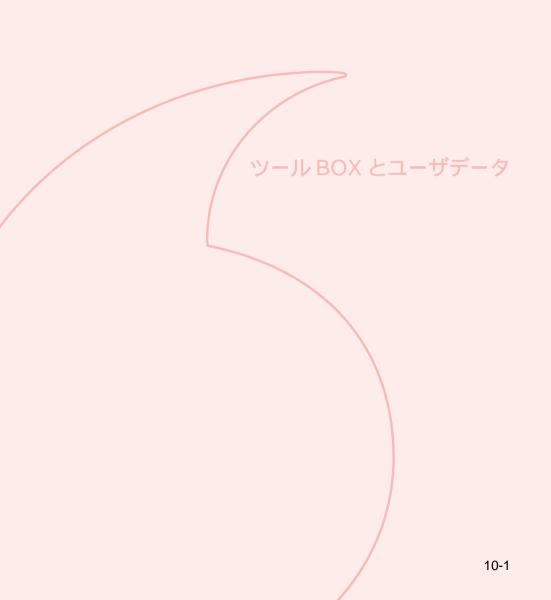
設定の完了をお知らせします。オフラインモードが設定されているときにはディスプレイに「 」が表示されます。

オフラインモードを解除するときは◎(しない) を押します。

〈イメージウィンドウ〉

- オフラインモードが設定されているときには電話をかけたり、ボーダフォンライブ！に接続できません。
- オフラインモードが設定されているときに電源をONにしたときは、ウェイクアップ画面は表示されずオフラインモード設定中をお知らせするメッセージが表示されます。

V601Nを開いた状態で、待受画面のときに▲を長く（1秒以上）押しても、オフラインモードの設定／解除の切り替えをすることができます。

ツールBOXとユーザデータ

スケジュールを管理する(スケジュール)

V601Nにご自分のスケジュールや記念日などを登録して、アラーム機能付きのスケジュール帳として利用することができます。
登録したスケジュールは、次のように確認できます。

スケジュールが登録されている日やオリジナル休日、記念日が登録されている日は、スケジュールカレンダー画面上で他の日と区別して表示されます。

記念日には赤い丸が付きます。
スケジュールが登録されている日は、他と異なる色で表示されます。◎でカーソルを移動して◎(内容)を押すと、当日リストを確認できます。

スケジュールにアラームを設定しておくと、アラームやメッセージでお知らせします(☞P10-11)。
また、登録されている内容の詳細はいつでも確認できるので、スケジュール帳のように使えます。

スケジュール登録状況画面

スケジュールカレンダー画面

当日リスト画面

スケジュール詳細画面

スケジュールカレンダー画面や当日リスト画面には、「 」(記念日)、「 」(オリジナル休日)、スケジュールのカテゴリ別のアイコン(☞P10-10)が表示されます。また、「 」が表示されているスケジュールは、シークレットモード(☞P9-2)に切り替えないと内容が表示されません。
当日リスト画面の「♪」や「 」は、それぞれアラーム通知／繰り返しが設定されていることを示します。

スケジュール機能で登録できる項目

スケジュール機能からはスケジュール、オリジナル休日、記念日の 3 種別に対して、次の項目の登録が行えます。

項目		登録内容	参照ページ
スケジュール	件名	全角最大 8 文字／半角最大 16 文字	10-4
	日時設定	開始日時と終了日時を設定する	
	繰り返し設定	繰り返しなし／毎日／毎週／毎月／毎年の設定が行える	
	アラーム通知設定	アラームを起動する時刻、アラーム音、アラームイラストを設定する	
	状態	「予定」／「完了」を切り替えられる	
	内容	全角最大 64 文字／半角最大 128 文字	
	オプション	シークレット、カテゴリ、優先度を設定できる	
		※以下の内容は、オプション項目として自動的に設定される 作成者　：V601Nのオーナー情報から引用 管理番号：作成順（1 ～ 150）を示す番号。vCalendar から取り込んだ場合は、vCalendar に設定されている番号のうち半角英数字17桁までが設定される	
オリジナル休日／記念日	日付設定	独自の休日を設定する日付を設定	10-12
	繰り返し設定	繰り返しなし／毎週／毎月／毎年の設定が行える	
	内容	全角最大 10 文字／半角最大 20 文字	

スケジュールを登録する

スケジュールは150件まで登録できます。STEP2の設定項目のうち、日時設定と件名、または日時設定と内容を設定しておけば、STEP4に進めます。登録内容は、あとから追加したり変更したりすることができます。

STEP1　スケジュール編集画面を呼び出す（☞P10-4）

STEP2　各項目を設定する（☞P10-5）

STEP3　オプションを設定する（☞P10-9）

STEP4　登録を完了する（☞P10-10）

STEP1　スケジュール編集画面を呼び出す

1 「スケジュール」を呼び出す

①◯(Menu) を押す
②◯で(ツールBOX) を選択し、(選択) を押す
③◯で(スケジュール) を選択し、(選択) を押す
登録状況が表示されます。

スケジュール
登録件数： 25件
空き件数：125件
本日の予定
AM:2　PM:2
記念日
登録件数： 15件
休日
登録件数： 9件
設定

スケジュール
登録状況画面

2 (設定) を押す

スケジュールカレンダー画面が表示されます。

補足

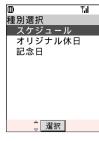
待受画面で◯を長く（1秒以上）押しても、スケジュールカレンダー画面を呼び出すことができます。

スケジュール
カレンダー画面

3 （新規）を押す

補足 当日リスト画面（☞P10-2）やカテゴリ別リスト（☞P10-19）、状態別リスト（☞P10-20）、オリジナル休日リスト（☞P10-21）などからも、（新規）を押して同じ画面を表示させることができます。

4 で「スケジュール」を選択し、（選択）を押す

スケジュール編集画面が表示されます。

スケジュール編集画面

STEP2　各項目を設定する

■件名を入力／編集する

1 スケジュール編集画面で「(件名)」を選択し、（選択）を押す

2 件名（全角最大８文字／半角最大１６文字）を入力し、（確定）を押す

補足 「文字の入力方法」（☞P3-1）

■日時を設定／編集する

1 スケジュール編集画面で「(日時設定)」を選択し、（選択）を押す

開始日時には、選択した年月日および現在の時刻が表示されています。

2 **0～9で開始日時と終了日時を入力し、(決定) を押す**

日時が設定されます。

- 年月日は西暦、時刻は 24 時間制で入力してください。
- 設定可能な日付・時刻は 2003 年 1 月 1 日 00 時 00 分～ 2098 年 12 月 31 日 23 時 59 分です。

■繰り返しを設定／編集する

「毎日」／「毎週」／「毎月」に設定すると、日時設定（開始日時）の日付とアラーム通知の時刻の内容に応じたスケジュールの起動が毎日／毎週／毎月繰り返されます。この繰り返しを行う回数を設定してください。「毎年」に設定すると、日時設定の日付とアラーム通知の時刻で毎年スケジュールが起動します。繰り返しの回数は設定できません。
新規登録時は「繰り返しなし」に設定されています。

例：毎週同じ曜日に繰り返しを設定する場合

1 **スケジュール編集画面で「(繰り返し設定)」を選択し、(選択) を押す**

2 **で「毎週」を選択し、(選択) を押す**

「繰り返しなし」または「毎年」を選択したときは、設定が完了します。

3 **0～9で回数（00 ～ 99）を入力し、(決定) を押す**

繰り返しが設定されます。

「00 回」に設定すると、無制限に繰り返されます。

■ アラーム通知を設定／編集する

アラームを鳴らすように設定するときは、アラームを「ON」にし、起動する時刻を設定します。
新規登録時は次のように設定されています。

- アラーム通知　　：ON
- アラーム音　　　：着信音 2
- アラームイラスト：オリジナル

必要に応じて設定を変更できます。

1 スケジュール編集画面で「♪（アラーム通知設定）」を選択し、(選択) を押す

2 (ON) を押す

アラーム通知メニューが表示されます。

アラーム通知
時刻設定
[10：00]
アラーム音
[着信音 2]
イラスト
[オリジナル]
決定　選択

- アラーム通知しないように設定するときは(OFF)を押します。
- 繰り返し設定で「繰り返しなし」を設定したときは、「時刻設定」に年月日時分が表示されます。

3 アラーム通知の各項目を設定する

- 起動時刻の設定
  ① で「時刻設定」を選択し、(選択) を押す
  ② 0～9でアラーム起動時刻を入力し、(決定) を押す
- アラーム音の設定
  ① で「アラーム音」を選択し、(選択) を押す
  ②「内蔵メロディ」または「データフォルダ」を選択し、(選択) を押す
  ③ 設定したいメロディを選択して(決定) を押す
- アラームイラストの設定
  ① で「イラスト」を選択し、(選択) を押す
  ②「オリジナル」または「データフォルダ」を選択し、(選択) を押す
  ③ 設定したいイラストを選択して(決定) を押す

- 年月日は西暦、時刻は 24 時間制で入力してください。
- アラーム音の設定で「OFF」を選択すると、アラーム音は鳴りません。
- データフォルダ参照時は各項目に設定できるファイルが保存できるフォルダ以外は表示されません。

4 **(決定) を押す**

アラーム通知が設定されます。

■ 状態を確認／編集する

新規登録時は「予定」に設定されています。予定のスケジュールを完了したときには、「完了」に切り替えておくとスケジュールの管理に便利です。

1 **スケジュール編集画面で「(状態)」を選択し、(選択) を押す**

2 **で「予定」または「完了」を選択し、(決定) を押す**

■ 内容を入力／編集する

1 **スケジュール編集画面で「(内容)」を選択し、(選択) を押す**

2 **内容（全角最大６４文字／半角最大１２８文字）を入力し、(確定) を押す**

補足

「文字の入力方法」（☞P3-1）

STEP3　オプションを設定する

必要に応じて、スケジュールのオプションを設定します。

1　スケジュール編集画面で（オプション）を押す

オプション項目画面が表示されます。

オプション項目画面

項目	概要	初期値	参照ページ
シークレット	シークレットモードに切り替えないと内容が表示されないシークレット設定をON／OFFする	OFF	10-9
カテゴリ	スケジュールの分類を、未設定／プライベート／休日／旅行／仕事・授業／会議／クラブ・サークルの中から選択する	未設定	10-10
優先度	優先度を高／普通／低の3段階から選択する	普通	10-10

2　で項目を選択し、（選択）を押す

3　設定操作を行う

4　設定操作後オプション項目画面に戻ったら、必要に応じてほかの項目を設定したあと、CLRを押す

スケジュール編集画面に戻ります。

■ シークレットの ON ／ OFF を設定する

例：「ON」に設定する場合

1　オプション項目画面で「シークレット」を選択し、を押す

2　（ON）を押す

補足

シークレットを解除するときは（OFF）を押します。

■ カテゴリを設定する

1 オプション項目画面で「カテゴリ」を選択し、(選択) を押す

2 でカテゴリを選択し、(決定) を押す

■ 優先度を設定する

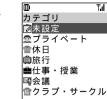
1 オプション項目画面で「優先度」を選択し、(選択) を押す

2 で優先度を選択し、(決定) を押す

STEP4　登録を完了する

1 (登録) を押す

確認画面が表示されます。

2 (はい) を押す

登録の完了をお知らせします。

スケジュールは、アクションアイテムやめざましなどと同時刻にも設定できますが、同時刻に複数設定されている場合、アラームは次の優先順位で起動します。
めざまし→自動電源 ON →スケジュール→アクションアイテム→ Java™ タイマー→めざまし（スヌーズ）→自動電源 OFF
ただし、自動電源ON は電源が OFF のときのみ有効です。また、スケジュール、アクションアイテム、Java™ タイマー、自動電源 OFF は、電源が ON のときのみ有効です。

スケジュールアラームを設定した日時になると

アラームを「ON」に設定した場合、登録した日付になると、待受画面に「」（イメージウィンドウには「」）が表示されます。また、登録した時刻になると登録内容に応じてアラームが起動します。

● アラーム音を止めるには
どのボタンを押してもアラーム音は止まりますが、イラストや内容は表示されたままです。再度、いずれかのボタンを押すと表示を消すことができます。ただし、ダイヤルロックまたはキー操作無効が設定されているときは、(PWR HLD)または(CLR)を押してください。

● アラーム音を止めなかったときは
設定されている鳴動時間が経過すると、自動的にアラーム音が停止します。ただし、アラームイラストは、いずれかのボタンを押すまで表示されています。

● アラーム音の音量、鳴動時間およびバイブレータの設定は
お買い上げ時は、鳴動時間は「30秒」、音量は「レベル4」、バイブレータは「OFF」に設定されています。設定を変更することもできます（☞P10-22）。

● アラームが起動しなかったときは
スケジュール、アクションアイテム、またはめざましが設定されている時刻になったときに、通話中、録音中、通信中などの理由によりアラームが起動しなかった場合には、待受画面に「New」が表示されます。()を長く（1秒以上）押すと、次の画面が表示され、()で「アラームあり」を選択して()（選択）を押すと、発生したアラームの件数が確認できます。

- 電源がOFFになっていたときは、アラームは起動しません。
- アラーム通知設定を「OFF」にしているスケジュールは通知されません。

- マナーモードが設定されているときの音量／バイブレータは、マナーモードのスケジュールの設定に従います。
- シークレットスケジュールのアラームが起動したときは、スケジュールの内容は表示されません。ただし、シークレットモード（☞P9-2）を設定しているときには内容も表示されます。

オリジナル休日／記念日を登録する

オリジナル休日／記念日は、それぞれ100件まで登録できます。STEP2の設定項目のうち、日付を設定しておけば、STEP3に進めます。登録内容は、あとから追加したり変更したりすることができます。

STEP1 オリジナル休日／記念日編集画面を呼び出す（☞P10-12）

STEP2 各項目を設定する（☞P10-13）

STEP3 登録を完了する（☞P10-15）

STEP1　オリジナル休日／記念日編集画面を呼び出す

例：オリジナル休日を登録する場合

1 「スケジュール」を呼び出す

①〇(Menu) を押す
②〇で［ツールBOXアイコン］(ツールBOX) を選択し、［ボタン］(選択) を押す
③〇で［スケジュールアイコン］(スケジュール) を選択し、［ボタン］(選択) を押す
登録状況が表示されます。

スケジュール
登録件数：　２５件
空き件数：１２５件
本日の予定
AM:2　PM:2
記念日
登録件数：　１５件
休日
登録件数：　９件
設定

スケジュール
登録状況画面

2 ［ボタン］(設定) を押す

スケジュールカレンダー画面が表示されます。

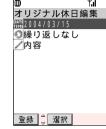
スケジュール
カレンダー画面

3 を押す

当日リスト画面（☞P10-2）やカテゴリ別リスト（☞P10-19）、状態別リスト（☞P10-20）、オリジナル休日リスト（☞P10-21）などからも、✍（新規）を押して同じ画面を表示させることができます。

4 ◯で「オリジナル休日」を選択し、📖（選択）を押す

オリジナル休日編集画面が表示されます。

記念日を登録するときは、「記念日」を選択します。記念日編集画面が表示されます。

オリジナル休日編集画面

STEP2　各項目を設定する

■日付を設定／編集する

1 オリジナル休日編集画面で「DATE TIME（日付設定）」を選択し、📖（選択）を押す

選択した日付が表示されています。

2 0～9で日付を入力し、📖（決定）を押す

日付が設定されます。

- 年月日は西暦で入力してください。
- 設定可能な日付は2003年1月1日～2098年12月31日です。

■繰り返しを設定／編集する

繰り返しを「毎週」／「毎月」／「毎年」に設定すると、日付設定の内容に応じてオリジナル休日が毎週／毎月／毎年繰り返されます。「毎週」に設定するときは、日付設定の日にち以外の曜日もオリジナル休日に設定できます。
新規登録時は「繰り返しなし」に設定されています。

例：毎週同じ曜日に繰り返しを設定する場合

1 オリジナル休日編集画面で「（繰り返し設定）」を選択し、（選択）を押す

2 で「毎週」を選択し、（選択）を押す

「繰り返しなし」／「毎月」／「毎年」を選択したときは、設定が完了します。

3 で繰り返しを設定する曜日を選択し、（設定）を押す

操作 3 を繰り返して、繰り返しの曜日を設定します。

- 繰り返しを解除するときは（解除）を押します。
- 日付設定で設定した日付に対応する曜日は「設定あり」となり、解除できません。

4 （決定）を押す

繰り返しが設定されます。

日付も繰り返し設定も同じオリジナル休日／記念日を複数設定することはできません。

■ 内容を入力／編集する

1　オリジナル休日編集画面で「(内容)」を選択し、(選択) を押す

2　内容（全角最大 10 文字／半角最大 20 文字）を入力し、(確定)を押す

- 「文字の入力方法」（☞P3-1）
- 内容を登録しなかった場合、オリジナル休日／記念日編集画面などには、「内容」と表示されます。

STEP3　登録を完了する

1　(登録) を押す

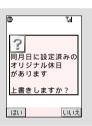
確認画面が表示されます。

2　(はい) を押す

登録の完了をお知らせします。

日付も繰り返し設定も同じオリジナル休日、記念日を複数設定することはできません。すでに重なる条件のオリジナル休日、記念日が設定されているときには右のような画面が表示されます。

・上書きする場合は(はい) を押します。

・上書きしない場合は(いいえ) を押して、オリジナル休日編集画面に戻ります。

編集を中断したスケジュール／アクションアイテムがあるときは

スケジュール／アクションアイテムの登録中や編集中に電話がかかってくるなどして編集が中断されたときのスケジュール／アクションアイテムデータは、一時的に保護されます。この場合、次にスケジュール／アクションアイテムの設定を始めたときに、右のような画面が表示されます。

- 編集を続ける場合は(はい) を押します。
- 保護されているデータを破棄するときは(いいえ) を押します。

電源を OFF にすると保護されているデータは消去されます。

スケジュール／オリジナル休日／記念日を確認する

登録したスケジュール／オリジナル休日／記念日を確認できます。

例：当日リスト画面からスケジュールを確認する場合

1 「スケジュール」を呼び出す

①（Menu）を押す
②で（ツールBOX）を選択し、（選択）を押す
③で（スケジュール）を選択し、（選択）を押す
登録状況が表示されます。

2 （設定）を押す

スケジュールカレンダー画面が表示されます。

3 で登録状況を確認したい日付を選択して（内容）を押す

当日リスト画面が表示されます。

4 で確認したいスケジュールを選択し、（詳細）を押す

詳細画面が表示されます。

- 操作4の画面でを押すと、詳細画面のページをスクロールさせることができます。
- 操作4の画面でを押すと、前後のスケジュールの詳細画面を表示できます。

スケジュールデータをサブメニューから操作する

不要になったスケジュールのデータを消去するときは、スケジュール機能のサブメニューを使います。サブメニューからは、赤外線通信対応機器にデータを送信したり、スケジュールのデータからvシリーズのファイルを作成する操作も行えます。また、カレンダー画面や当日リスト画面などの表示をさまざまに切り替えたり、スケジュールアラームを鳴らす秒数や音量などを変更することもできます。

スケジュールカレンダーでデータを操作する

1 「スケジュール」を呼び出す

①(Menu) を押す
②で(ツールBOX)を選択し、(選択) を押す
③で(スケジュール)を選択し、(選択)を押す
登録状況が表示されます。

2 (設定) を押す

スケジュールカレンダー画面が表示されます。

3 ○(サブメニュー) を押す

サブメニューが表示されます。表示される項目は登録状況によって異なります。

項目	概要	参照ページ
1ヶ月／1週間表示	スケジュールカレンダー画面を、カーソル位置の日を含む1ヶ月、または1週間に切り替える	10-18
祝祭日表示	個々の祝祭日について、休日であることを示す赤文字表示をする／しないように設定する	10-19
カテゴリ別表示	カテゴリ別のスケジュールリストを表示する	10-19
状態別表示	スケジュールリストを予定／完了の状態別に表示する	10-20
オリジナル休日表示	登録されているオリジナル休日のリストを表示する	10-21
記念日表示	登録されている記念日のリストを表示する	10-21
選択日全消去	選択中の日付に登録されているスケジュールやオリジナル休日などを消去する	10-21
選択日より前消去	選択中の日付より前の日に登録されているスケジュールやオリジナル休日などを消去する	10-21
全消去	スケジュールやオリジナル休日などの登録をまとめて消去する	10-22
アラーム鳴動設定	スケジュールアラームを鳴らす秒数や音量、バイブレータを設定する	10-22

4 ◎で項目を選択し、□(選択) を押す

■ 1ヶ月／1週間表示に切り替える

1 サブメニューから「1ヶ月表示」／「1週間表示」を選択し、□(選択) を押す

選択した方法で表示されます。

10 ツールBOXとユーザデータ

■ 祝祭日の表示を設定する

年間 13 日の祝日・祭日に対してあらかじめ設定されている祝祭日表示（毎年繰り返し赤文字表示される）を解除して、平日と同じように表示されるようにすることができます。
お買い上げ時は、春分の日と秋分の日をのぞくすべての祝祭日が祝祭日表示されるように設定されています。

例：「成人の日」の祝祭日表示を解除する場合

1 **サブメニューから「祝祭日表示」を選択し、**
を押す

2 **で祝祭日を選択し、（ﾁｪｯｸ）を押す**

ここでは「成人の日」を選択します。
（ﾁｪｯｸ）を押すごとにチェックのオン／オフが切り替わります。必要に応じて操作 2 を繰り返します。

3 **（決定）を押す**

祝祭日の表示が設定されます。

祝日や祭日は、法律改正などにより、変わる場合があります。

■ カテゴリ別のスケジュールリストを表示する

例：カテゴリ「仕事・授業」のスケジュールリストを表示する場合

1 **サブメニューから「カテゴリ別表示」を選択し、（選択）を押す**

2 ◎でカテゴリを選択し、📖(選択)を押す

ここでは「仕事・授業」を選択します。
カテゴリ別リストが表示されます。

カテゴリ別
リスト画面

■ 状態別のスケジュールリストを表示する

例：「予定」のスケジュールリストを表示する場合

1 サブメニューから「状態別表示」を選択し、📖(選択)を押す

2 ◎で状態を選択し、📖(選択)を押す

ここでは「予定」を選択します。
状態別リストが表示されます。

状態別リスト画面

■ オリジナル休日／記念日リストを表示する

例：オリジナル休日リストを表示する場合

1 サブメニューから「オリジナル休日表示」を選択し、(選択) を押す

オリジナル休日
リスト画面

オリジナル休日リストが表示されます。

記念日リストを表示するときは「記念日表示」を選択します。

■ 選択中の日付／選択中の日付より前のスケジュールを消去する

カレンダー画面上で選択されている日付、またはその日より前のスケジュールデータをまとめて消去します。消去には、操作用暗証番号（☞P1-20）の入力が必要です。また、シークレット設定されているスケジュールデータを消去するときは、あらかじめシークレットモード（☞P9-2）に切り替えておく必要があります。

例：選択中の日付のスケジュールを消去する場合

1 サブメニューから「選択日全消去」を選択し、(選択) を押す

選択中の日より前のスケジュールを消去するときは「選択日より前消去」を選択します。

2 で消去する対象を選択し、(選択) を押す

確認画面が表示されます。

3 (はい) を押す

暗証番号の入力画面が表示されます。

4 操作用暗証番号を入力する

操作用暗証番号が正しく入力されると、消去の完了をお知らせします。

「選択日全消去」／「選択日より前消去」を行ったときには、指定された消去範囲以外にまたがる繰り返し設定がされているスケジュールデータでも、繰り返しを含めてすべて消去されます。

■ スケジュール／オリジナル休日／記念日をすべて消去する

スケジュール／オリジナル休日／記念日をまとめて消去、あるいはスケジュール機能に登録されているすべてのデータを消去します。シークレット設定されているスケジュールデータも消去されます。

1 **サブメニューから「全消去」を選択し、(選択) を押す**

2 **で消去する対象を選択し、(選択) を押す**

確認画面が表示されます。

3 **(はい) を押す**

4 **操作用暗証番号を入力する**

操作用暗証番号が正しく入力されると、消去の完了をお知らせします。

■ スケジュールアラームの鳴動を設定する

スケジュールアラームを鳴らす秒数、アラーム音量、およびアラーム鳴動時のバイブレータの設定を変更できます。

お買い上げ時は、次のように設定されています。

- アラーム鳴動時間：30 秒（1 ～ 300 秒で設定）
- アラーム鳴動音量：レベル 4（レベル 1 ～ 6、サイレント、ステップトーン（アップ）／（ダウン）から選択）
- バイブレータ　　：OFF（ON、OFF、SMAF 連動から選択）

例：アラームの鳴動時間を設定する場合

1 **サブメニューから「アラーム鳴動設定」を選択し、(選択) を押す**

2 **で項目を選択し、（選択）を押す**

ここでは「アラーム鳴動時間」を選択します。

補足

- 音量を設定するときは「アラーム鳴動音量」を選択します。設定方法については「着信音の大きさを調節する」（☞P8-3）を参照してください。
- バイブレータを設定するときは「バイブレータ」を選択します。設定方法については「着信を振動で知らせる」（☞P8-9）を参照してください。

3 0～9で秒数（001～300）を入力し、（決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

この設定は、すべてのスケジュールのアラーム起動に適用されます。

当日リスト画面／カテゴリ別表示／状態別表示でデータを操作する

目的のスケジュールデータが登録されている日付の当日リストや、カテゴリ別リスト（☞P10-19）、状態別リスト（☞P10-20）のサブメニューを使って操作を行います。

例：当日リストから操作する場合

1 「スケジュール」を呼び出す

① (Menu) を押す

② で (ツールBOX) を選択し、(選択) を押す

③ で (スケジュール) を選択し、(選択) を押す

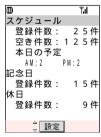
登録状況が表示されます。

2 （設定）を押す

スケジュールカレンダー画面が表示されます。

3 で目的の日付を選択し、(内容) を押す

当日リスト画面が表示されます。

4 (ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ) を押す

サブメニューが表示されます。表示される項目は登録状況によって異なります。

項目	概要	参照ページ
赤外線送信※1	選択中のスケジュールデータを赤外線通信で転送する	11-50
vCalendarで保存※1	選択中のスケジュールデータをvCalendarファイルとして保存する	11-49
カテゴリ別表示	カテゴリ別のスケジュールリストを表示する	10-19
状態別表示	スケジュールリストを予定／完了の状態別に表示する	10-20
並び替え	一覧を表示する順番を切り替える	10-24
消去	スケジュールを1件／複数選択して／すべてまとめて消去する	10-25

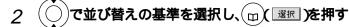
※1：オリジナル休日または記念日を選択中には表示されません。

5 で項目を選択し、(選択) を押す

■ リストを並べ替える

例：優先度を基準に並べ替える場合

1 サブメニューから「並び替え」を選択し、(選択) を押す

2 で並び替えの基準を選択し、（選択）を押す

ここでは「優先度」を選択します。
並び順の選択項目が表示されます。

日付を基準にするときは「日時」を選択します。日時の並び順「新しい順」／「古い順」が表示されます。

3 で並び順を選択し、（選択）を押す

選択した順番で並べたリストが表示されます。

■ リスト上のスケジュールを 1 件／複数／すべて消去する

選択中の1件、指定した複数、またはリスト上のすべてのスケジュールを消去します。複数またはすべてのスケジュールを消去するとき、およびシークレット設定されているスケジュールデータを消去するときには、操作用暗証番号（☞P1-20）の入力が必要です。

例：複数のスケジュールを選択して消去する場合

1 サブメニューから「消去」を選択し、（選択）を押す

2 で消去する対象を選択し、（選択）を押す

ここでは「複数」を選択します。

- 選択中の 1 件を消去するときは「1 件」を選択して（選択）を押します。確認画面で（はい）を押すと、消去が完了します。
- リスト上のすべてのスケジュールを消去するときは「すべて」を選択して（選択）を押します。操作 5 に進みます。

10
ツールBOXとユーザデータ

3 で消去するスケジュールを選択し、（チェック）を押す

選択したスケジュールには☑が表示されます。

補足
☑を付けたスケジュールを選択して（チェック）を押すと、☑が外れてもとのアイコンに戻ります。

4 （決定）を押す

確認画面が表示されます。

5 （はい）を押す

暗証番号の入力画面が表示されます。

6 操作用暗証番号を入力する

操作用暗証番号が正しく入力されると、消去の完了をお知らせします。

スケジュール詳細画面／オリジナル休日表示／記念日表示でデータを操作するには

当日リストで（詳細）を押して表示するスケジュール詳細画面（☞P10-2）や、オリジナル休日／記念日リスト（☞P10-21）のサブメニューからも各種の操作が行えます。操作についてはそれぞれのページを参照してください。

スケジュール詳細画面のサブメニュー

項目	概要	参照ページ
赤外線送信※1	選択中のスケジュールデータを赤外線通信で転送する	11-50
vCalendarで保存※1	選択中のスケジュールデータをvCalendarファイルとして保存する	11-49
消去	表示中のスケジュールを消去する	10-25

※1：オリジナル休日または記念日を選択中には表示されません。

オリジナル休日表示／記念日表示のサブメニュー

項目	概要	参照ページ
並び替え	一覧を表示する順番を切り替える	10-24
消去	オリジナル休日／記念日を1件／複数選択して／すべてまとめて消去する	10-25

仕事を管理する（アクションアイテム）

V601Nにご自分の仕事の予定などを登録して、アラーム機能付きの仕事管理ノートとして利用することができます。
登録したアクションアイテムは、次のように確認できます。

アクションアイテムリスト画面

確認する項目を選択して

アクションアイテム詳細画面

アクションアイテムリスト画面には、カテゴリ別のアイコン（☞P10-35）が表示されます。また、「 」が表示されているアクションアイテムは、シークレットモード（☞P9-2）に切り替えないと内容が表示されません。「 」や「 」は、それぞれアラーム通知／繰り返しが設定されていることを示します。
アクションアイテムにアラームを設定しておくと、アラームやメッセージでお知らせします（☞P10-36）。
また、登録されている内容の詳細はいつでも確認できるので、仕事の管理や旅行日程の記録などに使えます。

アクションアイテムに登録できる項目

アクションアイテムには、次の項目が登録できます。

項目	登録内容	参照ページ
件名	全角最大 8 文字／半角最大 16 文字	10-30
日時設定	仕事の期限日時を設定し、完了後に完了日時を設定する	
繰り返し設定	繰り返しなし／毎日／毎週／毎月／毎年の設定が行える	
アラーム通知設定	アラームを起動する時刻、アラーム音、アラームイラストを設定する	
状態	「予定」／「完了」を切り替えられる	
内容	全角最大 64 文字／半角最大 128 文字	
オプション	シークレット、カテゴリ、優先度を設定できる	10-34

アクションアイテムを登録する

アクションアイテムは150件まで登録できます。STEP2の設定項目のうち、日時設定と件名、または日時設定と内容を設定しておけば、STEP4 に進めます。登録内容は、あとから追加したり変更したりすることができます。

STEP1　**アクションアイテム編集画面を呼び出す（☞P10-29）**

STEP2　**各項目を設定する（☞P10-30）**

STEP3　**オプションを設定する（☞P10-34）**

STEP4　**登録を完了する（☞P10-35）**

STEP1　アクションアイテム編集画面を呼び出す

1 「アクションアイテム」を呼び出す

① (Menu) を押す
② で (ツールBOX) を選択し、(選択) を押す
③ で (アクションアイテム) を選択し、(選択) を押す

登録状況が表示されます。

アクションアイテム登録状況画面

2 (設定) を押す

アクションアイテムリスト画面が表示されます。

アクションアイテムリスト画面

3 (新規) を押す

アクションアイテム編集画面が表示されます。

アクションアイテム編集画面

STEP2　各項目を設定する

■ 件名を入力／編集する

1 **アクションアイテム編集画面で「(件名)」を選択し、(選択) を押す**

2 **件名（全角最大 8 文字／半角最大 16 文字）を入力し、(確定) を押す**

「文字の入力方法」（☞P3-1）

■ 日時を設定／編集する

アクションアイテム登録時に仕事の期限日時を設定しておきます。仕事が完了したら、項目の「状態」（☞P10-33）を「完了」に切り替え、完了日時を設定します。

1 **アクションアイテム編集画面で「(日時設定)」を選択し、(選択) を押す**

期限日時には、現在の日時が表示されています。

2 **0～9 で期限日時／完了日時を入力し、(決定) を押す**

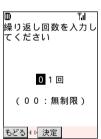
期限日時／完了日時が設定されます。

- 「状態」が「予定」に設定されていると、完了日時を設定できません。
- 年月日は西暦、時刻は 24 時間制で入力してください。
- 設定可能な日付・時刻は 2003 年 1 月 1 日 00 時 00 分～ 2098 年 12 月 31 日 23 時 59 分です。

■ 繰り返しを設定／編集する

「毎日」／「毎週」／「毎月」に設定すると、日時設定（期限日時）とアラーム通知の時刻の内容に応じたアクションアイテムの起動が毎日／毎週／毎月繰り返されます。この繰り返しを行う回数を設定してください。「毎年」に設定すると、日時設定の日付とアラーム通知時刻で毎年アクションアイテムが起動します。繰り返しの回数は設定できません。
新規登録時は「繰り返しなし」に設定されています。

例：毎週同じ曜日に繰り返しを設定する場合

1　アクションアイテム編集画面で「(繰り返し設定)」を選択し、(選択) を押す

2　で「毎週」を選択し、(選択) を押す

「繰り返しなし」または「毎年」を選択したときは、設定が完了します。

3　0～9で回数（００～９９）を入力し、(決定) を押す

繰り返しが設定されます。

「００回」に設定すると、無制限に繰り返されます。

■ アラーム通知を設定／編集する

アラームを鳴らすように設定するときは、アラームを「ON」にし、起動する時刻を設定します。
新規登録時は次のように設定されています。

- アラーム通知　　：ON
- アラーム音　　　：着信音 2
- アラームイラスト：オリジナル

必要に応じて設定を変更できます。

1 アクションアイテム編集画面で「♪（アラーム通知設定）」を選択し、(選択) を押す

2 (ON) を押す

アラーム通知メニューが表示されます。

- アラーム通知しないように設定するときは(OFF)を押します。
- 繰り返し設定で「繰り返しなし」を設定したときは、「時刻設定」に年月日時分が表示されます。

3 アラーム通知の各項目を設定する

- 起動時刻の設定
  ① で「時刻設定」を選択し、(選択) を押す
  ② 0〜9でアラーム起動時刻を入力し、(決定) を押す
- アラーム音の設定
  ① で「アラーム音」を選択し、(選択) を押す
  ②「内蔵メロディ」または「データフォルダ」を選択し、(選択) を押す
  ③ 設定したいメロディを選択して(決定) を押す
- アラームイラストの設定
  ① で「イラスト」を選択し、(選択) を押す
  ②「オリジナル」または「データフォルダ」を選択し、(選択) を押す
  ③ 設定したいイラストを選択して(決定) を押す

- 年月日は西暦、時刻は 24 時間制で入力してください。
- アラーム音の設定で「OFF」を選択すると、アラーム音は鳴りません。
- データフォルダ参照時は各項目に設定できるファイルが保存できるフォルダ以外は表示されません。

4 ◎（決定）を押す

アラーム通知が設定されます。

■ 状態を確認／編集する

新規登録時は「予定」に設定されています。予定のアクションアイテムを完了したときに、「完了」に切り替えておくと、アクションアイテムの管理に便利です。

1 アクションアイテム編集画面で「NOW（状態）」を選択し、□（選択）を押す

2 で「予定」または「完了」を選択し、□（決定）を押す

■ 内容を入力／編集する

1 アクションアイテム編集画面で「（内容）」を選択し、□（選択）を押す

2 内容（全角最大64文字／半角最大128文字）を入力し、□（確定）を押す

補足　「文字の入力方法」（☞P3-1）

STEP3　オプションを設定する

必要に応じて、アクションアイテムのオプションを設定します。

オプション項目画面

1　アクションアイテム編集画面で（オプション）を押す

オプション項目画面が表示されます。

項目	概要	初期値	参照ページ
シークレット	シークレットモードに切り替えないと内容が表示されないシークレット設定をON／OFFする	OFF	10-34
カテゴリ	アクションアイテムの分類を、未設定／プライベート／休日／旅行／仕事・授業／会議／クラブ・サークルの中から選択する	未設定	10-35
優先度	優先度を高／普通／低の3段階から選択する	普通	10-35

2　で項目を選択し、（選択）を押す

3　設定操作を行う

4　設定操作後オプション項目画面に戻ったら、必要に応じてほかの項目を設定したあと、CLRを押す

アクションアイテム編集画面に戻ります。

■ シークレットの ON ／ OFF を設定する

例：「ON」に設定する場合

1　オプション項目画面で「シークレット」を選択し、（選択）を押す

2　（ON）を押す

シークレットを解除するときは（OFF）を押します。

■カテゴリを設定する

1　オプション項目画面で「カテゴリ」を選択し、(選択) を押す

2　でカテゴリを選択し、(決定) を押す

■優先度を設定する

1　オプション項目画面で「優先度」を選択し、(選択) を押す

2　で優先度を選択し、(決定) を押す

STEP4　登録を完了する

1　(登録) を押す

確認画面が表示されます。

2　(はい) を押す

登録の完了をお知らせします。

- アクションアイテムは、スケジュールやめざましなどと同時刻にも設定できますが、同時刻に複数設定されている場合、アラームは次の優先順位で起動します。
  めざまし→自動電源ON→スケジュール→アクションアイテム→Java™タイマー→めざまし（スヌーズ）→自動電源OFF
  ただし、自動電源ONは電源がOFFのときのみ有効です。また、スケジュール、アクションアイテム、Java™タイマー、自動電源OFFは、電源がONのときのみ有効です。
- 「編集を中断したスケジュール／アクションアイテムがあるときは」（☞P10-15）

アクションアイテムアラームを設定した日時になると

アラームを「ON」に設定した場合、登録した日付になると、待受画面に「🔔」(イメージウィンドウには「■」)が表示されます。また、登録した時刻になると登録内容に応じてアラームが起動します。

● アラーム音を止めるには

どのボタンを押してもアラーム音は止まりますが、イラストや内容は表示されたままです。再度、いずれかのボタンを押すと表示を消すことができます。ただし、ダイヤルロックまたはキー操作無効が設定されているときは、(PWR HLD)または(CLR)を押してください。

● アラーム音を止めなかったときは

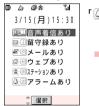
設定されている鳴動時間が経過すると、自動的にアラーム音が停止します。ただし、アラームイラストは、いずれかのボタンを押すまで表示されています。

● アラーム音の音量、鳴動時間およびバイブレータの設定は

お買い上げ時は、鳴動時間は「30秒」、音量は「レベル4」、バイブレータは「OFF」に設定されています。設定を変更することもできます（☞P10-39）。

● アラームが起動しなかったときは

スケジュール、アクションアイテム、またはめざましが設定されている時刻になったときに、通話中、録音中、通信中などの理由によりアラームが起動しなかった場合には、待受画面に「(!NEW)」が表示されます。(📖)を長く（1秒以上）押すと、次の画面が表示され、(○)で「(🔔)アラームあり」を選択して(📖)(選択)を押すと、発生したアラームの件数が確認できます。

「(🔔)」を選択して(📖)(選択)

- 電源がOFFになっていたときは、アラームは起動しません。
- アラーム通知設定を「OFF」にしているアクションアイテムは通知されません。

- マナーモードが設定されているときの音量／バイブレータは、マナーモードのアクションアイテムの設定に従います。
- シークレットアクションアイテムのアラームが起動したときは、アクションアイテムの内容は表示されません。ただし、シークレットモード（☞P9-2）を設定しているときには内容も表示されます。

アクションアイテムを確認する

登録したアクションアイテムを確認できます。

1 **「アクションアイテム」を呼び出す**

① ◯（Menu）を押す

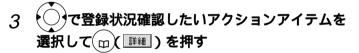
② ◯で［ツールBOX］（ツールBOX）を選択し、◯（選択）を押す

③ ◯で［アクションアイテム］（アクションアイテム）を選択し、◯（選択）を押す

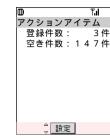
登録状況が表示されます。

2 **◯（設定）を押す**

アクションアイテムリスト画面が表示されます。

3 **◯で登録状況確認したいアクションアイテムを選択して◯（詳細）を押す**

アクションアイテム詳細画面が表示されます。

補足

- 操作３の画面で◯を押すと、詳細画面のページをスクロールさせることができます。
- 操作３の画面で◯を押すと、前後のアクションアイテムの詳細画面を表示できます。

アクションアイテムデータを操作する

不要になったアクションアイテムのデータを消去するときは、アクションアイテム機能のサブメニューを使います。サブメニューからは、赤外線通信対応機器にデータを送信したり、アクションアイテムのデータからvシリーズのファイルを作成する操作も行えます。また、アクションアイテムアラームを鳴らす秒数や音量などを変更することもできます。

アクションアイテムリストでデータを操作する

1 「アクションアイテム」を呼び出す

① (Menu) を押す
② で (ツールBOX) を選択し、(選択) を押す
③ で (アクションアイテム) を選択し、(選択) を押す

登録状況が表示されます。

2 (設定) を押す

アクションアイテムリスト画面が表示されます。

3 (ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ) を押す

サブメニューが表示されます。表示される項目は登録状況によって異なります。

項目	概要	参照ページ
赤外線送信	選択中のアクションアイテムデータを赤外線通信で転送する	11-50
vCalendarで保存	選択中のアクションアイテムデータをvCalendarファイルとして保存する	11-49
アラーム鳴動設定	アクションアイテムアラームを鳴らす秒数や音量、バイブレータを設定する	10-39
消去	アクションアイテムを1件／複数選択して／すべてまとめて消去する	10-40

4 で項目を選択し、(選択) を押す

■アクションアイテムアラームの鳴動を設定する

アクションアイテムのアラームを鳴らす秒数、アラーム音量、およびアラーム鳴動時のバイブレータの設定を変更できます。
お買い上げ時は、次のように設定されています。

- アラーム鳴動時間　：30 秒（1 ～ 300 秒で設定）
- アラーム鳴動音量　：レベル 4（レベル 1 ～ 6、サイレント、ステップトーン（アップ）／（ダウン）から選択）
- バイブレータ　　　：OFF(ON、OFF、SMAF 連動から選択）

例：アラームの鳴動時間を設定する場合

1　サブメニューから「アラーム鳴動設定」を選択し、（選択）を押す

2 **で項目を選択し、（選択）を押す**

ここでは「アラーム鳴動時間」を選択します。

補足

- 音量を設定するときは「アラーム鳴動音量」を選択します。設定方法については「着信音の大きさを調節する」（☞P8-3）を参照してください。
- バイブレータを設定するときは「バイブレータ」を選択します。設定方法については「着信を振動で知らせる」（☞P8-9）を参照してください。

3　（0 わをんー）～（9 WXYZ ら）で秒数（001 ～ 300）を入力し、（決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

この設定は、すべてのアクションアイテムのアラーム起動に適用されます。

■ リスト上のアクションアイテムを1件／複数／すべて消去する

選択中の1件、指定した複数、またはリスト上のすべてのアクションアイテムを消去します。複数またはすべてのアクションアイテムを消去するとき、およびシークレット設定されているアクションアイテムデータを消去するときには、操作用暗証番号(☞P1-20)の入力が必要です。

例：複数のアクションアイテムを選択して消去する場合

10

ツールBOXとユーザデータ

1 **サブメニューから「消去」を選択し、(選択)を押す**

2 **で消去する対象を選択し、(選択)を押す**

ここでは「複数」を選択します。

- 選択中の1件を消去するときは「1件」を選択して(選択)を押します。確認画面で(はい)を押すと、消去が完了します。
- リスト上のすべてのアクションアイテムを消去するときは「すべて」を選択して(選択)を押します。操作5に進みます。
  すべてのアクションアイテムを消去するとき、シークレット設定されているアクションアイテムデータが含まれている場合は、あらかじめ、シークレットモード(☞P9-2)を設定しておく必要があります。

3 **で消去するアクションアイテムを選択し、(ﾁｪｯｸ)を押す**

選択したアクションアイテムには☑が表示されます。

☑を付けたアクションアイテムを選択して、(ﾁｪｯｸ)を押すと☑が外れてもとのアイコンに戻ります。

4 **(決定)を押す**

確認画面が表示されます。

5 ◎（はい）を押す

暗証番号の入力画面が表示されます。

6 操作用暗証番号を入力する

操作用暗証番号が正しく入力されると、消去の完了をお知らせします。

アクションアイテム詳細画面でデータを操作するには

アクションアイテムリスト画面で（詳細）を押して表示するアクションアイテム詳細画面（☞P10-27）のサブメニューからも各種の操作が行えます。操作についてはそれぞれのページを参照してください。

項目	概要	参照ページ
赤外線送信	選択中のアクションアイテムデータを赤外線通信で転送する	11-50
vCalendarで保存	選択中のアクションアイテムデータをvCalendarファイルとして保存する	11-49
消去	表示中のアクションアイテムを消去する	10-40

めざましを利用する

めざましは、決まった時刻にアラームを鳴らす機能です。時刻や曜日、アラーム音などの組み合わせを登録し（最大５パターン)、各パターンのON／OFFを切り替えて使用します。平日用、休日用などをあらかじめ登録しておくと便利です。

めざましを登録する

「めざまし１」～「めざまし５」のいずれかを選択して編集画面を呼び出し、時刻や繰り返し、アラーム音などを登録します。

STEP1　めざまし編集画面を呼び出す（☞P10-42）

STEP2　各項目を設定する（☞P10-43）

STEP3　登録を完了する（☞P10-46）

STEP1　めざまし編集画面を呼び出す

1 「めざまし」を呼び出す

①（Menu）を押す
②で（ツールBOX）を選択し、（選択）を押す
③で（めざまし）を選択し、（選択）を押す
「めざまし1」～「めざまし5」の登録状況が表示されます。

2 （設定） を押す

3 でめざましの登録先を選択し、（選択） を押す

4 （変更） を押す

めざまし編集画面が表示されます。

操作3で（選択） を押したあと、で前後のめざましの登録先を選択することもできます。

めざまし編集画面

STEP2　各項目を設定する

■ ON ／ OFF を切り替える

編集中のめざましを起動させるかどうかを設定します。ON／OFFを切り替えるだけで、登録内容はそのままでめざましを設定／解除することができます。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

例：めざましの起動を設定する場合

1 めざまし編集画面で「（ON ／ OFF 設定)」を選択し、（選択） を押す

2 （ON） を押す

ON ／ OFF が設定されます。

めざましの起動を解除するときは（OFF） を押します。

■ 起動時刻を設定する

1 **めざまし編集画面で「DATE TIME(時刻設定)」を選択し、(選択)を押す**

2 **で起動時刻を入力し、(決定)を押す**

時刻が設定されます。

補足　時刻は24時間制で入力してください。

■ 繰り返しを設定する

めざましを毎週起動させる曜日のみを「設定あり」にし、起動させない曜日を「設定なし」にします。
お買い上げ時は「毎日」に設定されています。

例：毎週月〜金曜日に繰り返しを設定する場合

1 **めざまし編集画面で「(繰り返し設定)」を選択し、(選択)を押す**

2 **で「毎週(曜日指定)」を選択し、(選択)を押す**

補足　繰り返しを設定しないとき／毎日繰り返すように設定するときは「繰り返しなし」／「毎日」を選択して(選択)を押します。繰り返し設定が完了します。

3 で曜日を選択し、(解除) を押す

「設定あり」が「設定なし」に変わります。
ここでは、日曜日と土曜日を「設定なし」にします。

- 「設定なし」を「設定あり」にするときは (設定) を押します。
- すべての曜日を「設定なし」にすることはできません。

4 (決定) を押す

繰り返しが設定されます。

■ スヌーズ機能を設定する

アラームを一度鳴らすだけでめざましを終了せず、5 分間隔で最大 5 回鳴らすスヌーズ機能を設定します。
お買い上げ時は「スヌーズ OFF」に設定されています。

例：スヌーズ機能を利用する場合

1 めざまし編集画面で「（スヌーズ設定）」を選択し、(選択) を押す

2 (ON) を押す

ON ／ OFF が設定されます。

アラームを一度だけ鳴らすように設定するときは (OFF) を押します。

■アラーム音を設定する

お買い上げ時は「着信音 2」に設定されています。

例：アラーム音を内蔵メロディから選択する場合

1 めざまし編集画面で「♪（アラーム音設定）」を選択し、（選択）を押す

2 で「内蔵メロディ」を選択し、（選択）を押す

内蔵メロディの一覧が表示されます。

- データフォルダから選択するときは「データフォルダ」を選択します。目的のフォルダから目的のファイルを選択し、（決定）を押します。
- アラーム音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。

3 でメロディを選択し、（決定）を押す

アラーム音が設定されます。

メロディを選択して（演奏）を押してメロディを再生し、再生中に、（決定）を押すこともできます。再生音量は通常着信音量（☞P8-3）に従います。ただし、マナーモード時はマナーモード設定（☞P8-13）の音量に従います。

STEP3　登録を完了する

1 （登録）を押す

登録の完了をお知らせします。

起動時刻が設定されていないと、登録を行えません。

めざましが ON に設定されていると、電源を OFF にしていても起動時刻になると自動的に電源が ON になります。高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くや、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入る場合には、あらかじめすべてのめざましを解除（OFF）してから電源を OFF にしてください。

めざましは、スケジュールやアクションアイテムなどと同時刻にも設定できますが、同時刻に複数設定されている場合、アラームは次の優先順位で起動します。
めざまし→自動電源 ON →スケジュール→アクションアイテム→ Java™ タイマー→めざまし（スヌーズ）→自動電源 OFF
ただし、自動電源 ON は電源が OFF のときのみ有効です。また、スケジュール、アクションアイテム、Java™ タイマー、自動電源 OFF は、電源が ON のときのみ有効です。

めざましを設定した時刻になると

めざましを「ON」に設定した場合、登録した日付になると、待受画面に「」（イメージウィンドウには「」）が表示されます。また、めざましを設定した時刻になると、アラームが起動します。

● アラーム音を止めるには

スヌーズ設定「OFF」の場合

どのボタンを押してもアラーム音は止まりますが、イラストは表示されたままです。再度、いずれかのボタンを押すと表示を消すことができます。ただし、ダイヤルロックまたはキー操作無効が設定されているときは、(PWR HLD)または(CLR)を押してください。

スヌーズ設定「ON」の場合

どのボタンを押してもアラーム音が止まり、再度いずれかのボタンを押すとイラストも消えますが、5 分経過すると、アラームが再び起動します。スヌーズを解除するときは、◯(Menu) を押したあと続けて(CLR)を押してください。

● アラーム音を止めなかったときは

スヌーズ設定「OFF」の場合

設定されている鳴動時間が経過すると、自動的にアラーム音が停止します。ただし、アラームイラストは、いずれかのボタンを押すまで表示されています。

スヌーズ設定「ON」の場合

5 分ごとに 1 分間アラームが鳴ります。5 回起動したあとは、いずれかのボタンを押すと待受画面に戻ります。

● アラーム音の音量、鳴動時間およびバイブレータの設定は

お買い上げ時は、鳴動時間は「30秒」、音量は「レベル4」、バイブレータの設定は「OFF」に設定されています。設定を変更することもできます（☞P10-48)。

● アラームが起動しなかったときは

スケジュール、アクションアイテム、またはめざましが設定されている時刻になったときに、通話中、録音中、通信中などの理由によりアラームが起動しなかった場合には、待受画面に「」が表示されます。(📖)を長く（1 秒以上）押すと、次の画面が表示され、◯で「アラームあり」を選択して(📖)(選択)を押すと、発生したアラームの件数が確認できます。

補足

- スヌーズが設定されているときにめざましのアラームが起動すると、スヌーズ動作が終了するか解除されるまで待受画面に「」（イメージウィンドウには「」）が表示されます。
- マナーモードが設定されているときの音量／バイブレータは、マナーモードのめざましの設定に従います。

めざましアラームの鳴動を設定する

めざましアラームを鳴らす秒数、アラーム音量、およびアラーム鳴動時のバイブレータの設定を変更できます。
お買い上げ時は、次のように設定されています。

- アラーム鳴動時間 ：30 秒（1 ～ 300 秒で設定）
- アラーム鳴動音量 ：レベル 4（レベル 1 ～ 6、サイレント、ステップトーン（アップ）／(ダウン）から選択）
- バイブレータ ：OFF（ON、OFF、SMAF 連動から選択）

例：アラームの鳴動時間を設定する場合

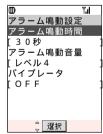
1 「めざまし」を呼び出す

① (Menu) を押す
② で (ツールBOX) を選択し、(選択) を押す
③ で (めざまし) を選択し、(選択) を押す
「めざまし 1」～「めざまし 5」の登録状況が表示されます。

2 (設定) を押す

3 (サブメニュー) を押す

4 「アラーム鳴動設定」を選択し、(選択) を押す

5

ここでは「アラーム鳴動時間」を選択します。

- 音量を設定するときは「アラーム鳴動音量」を選択します。設定方法については「着信音の大きさを調節する」（☞P8-3）を参照してください。
- バイブレータを設定するときは「バイブレータ」を選択します。設定方法については「着信を振動で知らせる」（☞P8-9）を参照してください。

6 ～ で秒数（００１～３００）を入力し、（決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

この設定は、すべてのめざましのアラーム起動に適用されます。

めざましを確認する

登録しためざましの設定内容を確認できます。

1 「STEP1　めざまし編集画面を呼び出す」の操作１～３（☞P10-42～10-43）を行う

選択しためざましの設定が表示されます。

電卓を利用する

Java™アプリを起動して、足し算、引き算、かけ算、割り算ができます。計算結果は10桁まで表示されます。「(　)」を使った計算もできます。

1 「電卓」を呼び出す

①◯(Menu)を押す

②◯で(ツールBOX)を選択し、◯(選択)を押す

③◯で(電卓)を選択し、◯(選択)を押す

Java™アプリの電卓が起動します。

2 ボタン操作で計算式を入力する

補足　計算式は「( )」なども含めて128桁まで入力できます。計算式スペースに表示しきれないときは＊でモードを切り替えると「←」／「→」が表示され、◯／◯を押すと表示されていない桁を確認できます。

3 ◯を押す

計算結果が表示されます。

補足　計算結果が10桁を超えた場合、または計算式に誤りがあった場合には、計算結果スペースに表示されるメッセージでお知らせします。

電卓操作でのボタンの機能は次の通りです。

ボタン	機能	
	モード 1	モード 2
0わをん ～ 9WXYZら	数字を入力	
(上)	「×」（かけ算）を入力	「(」を入力
(下)	「／」（割り算）を入力	「)」を入力
(左)	「－」（引き算）を入力	カーソルを左へ移動
(右)	「＋」（足し算）を入力	カーソルを右へ移動
(中央)	入力された式を計算し、結果を表示する	
＊ ﾞﾟ	モードを切り替え	
＃ 記号	メモリ（表示されている計算結果を記憶する）※	MR（記憶した計算結果を呼び出す）※
(V)	C（1 文字クリア）	「.」（小数点）を入力
(メール)	AC（オールクリア）	MC（記憶した計算結果を記憶から消去する）
PWR HLD	Java™ アプリ終了操作へ（☞『Vodafone live!編』）	

※ メモリ、MR の操作を行うには、(＃記号)を押したあと、メモリの番号（(0わをん)～(9WXYZら)）を入力します。

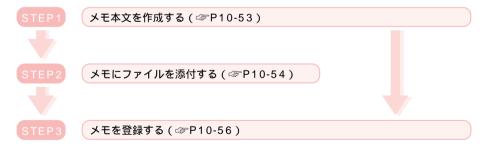
簡単なメモをとったり、メモにファイルを添付したりして使う

メモ作成機能では、簡単なメモをとったり、メモにファイルを添付（最大20件）したりして登録することができます。登録したメモは内容を表示して確認したり、メールに添付したりして活用できます。
作成できるメモは、ファイルを添付しているメモ（マルチメディアメモ）、メモ本文だけのメモ（テキストメモ）、vNote形式（「vシリーズのファイルとは」（☞P11-47））のメモの3種類に分けられます。

形　式	拡張子	ファイル内容	入力可能サイズ	スーパーメールに添付可能なメモサイズ
マルチメディアメモ	.mmm	メモ本文と添付ファイル※1	最大20Kバイト※2（JPEG／MPEG-4ファイルを添付する場合は、添付ファイルとの合計で最大30Kバイトの添付が可能）	最大12Kバイト※2
テキスト	.txt	メモ本文	最大20Kバイト	最大12Kバイト
vNote	.vnt	メモ本文	最大128バイト※3	最大12Kバイト

※1：メモ本文が何も入力されておらず、添付ファイルだけの状態でもマルチメディアメモとして作成することができます。
※2：マルチメディアメモは送信する相手によっては対応していないことがあります。対応していない相手が受信したときには不明ファイルとなります。
※3：マルチメディアメモ、vNoteは入力したサイズより、保存後のファイルサイズが大きくなります。

メモを作成する

メモを作成するには、メモ本文を作成し、必要に応じてファイルを添付したあと、登録を行います。

STEP1　メモ本文を作成する

1 「メモ作成」を呼び出す

①（Menu）を押す

②で（ツールBOX）を選択し、（選択）を押す

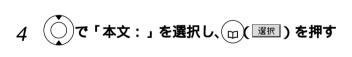
③で（メモ作成）を選択し、（選択）を押す

2 （実行）を押す

3 で「新規作成」を選択し、（選択）を押す

メモの登録項目画面が表示されます。

メモの登録項目画面

4 で「本文：」を選択し、（選択）を押す

5　メモ本文を入力し、□（確定）を押す

メモの登録項目画面が表示されます。

- 「STEP2　メモにファイルを添付する」（☞P10-54）
- 「STEP3　メモを登録する」（☞P10-56）

「文字の入力方法」（☞P3-1）

メモ本文は最大20Kバイト（全角最大約10,000文字）まで入力できます。ファイルを添付する場合も、メモ本文と添付ファイルの合計で20Kバイトまでです。ただし、添付ファイルがJPEGまたはMPEG-4の場合は、メモ本文との合計で最大30Kバイトのファイルを添付することが可能です。

STEP2　メモにファイルを添付する（マルチメディアメモ）

メモにファイルを最大20件まで添付することができます。アクションビューおよびJPEG（DCF）（☞P11-3）を除くすべてのファイルを添付することができます。

例：データフォルダに登録された画像ファイルを添付する場合

1　メモの登録項目画面で「添付ファイル：」を選択し、□（選択）を押す

2　○で［　］の行を選択し、□（選択）を押す

3 で「データフォルダ」を選択し、(選択)を押す

補足　データフォルダなどからコピーしたファイル（☞P11-15）を添付するときは「コピーしたファイル」を選択し、(選択)を押します。操作5に進みます。

4 目的のフォルダから目的のファイルを選択し、(決定)を押す

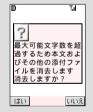
1件のファイル添付が完了します。

5 (決定)を押す

メモの登録項目画面が表示されます。

- 「STEP3　メモを登録する」（☞P10-56）

補足

- 添付できるファイルサイズは、メモ本文と添付ファイルの合計で20Kバイトまで（JPEGまたはMPEG-4を添付する場合は合計30Kバイトまで）です。ファイルを添付するとこのサイズを超えるときは、ファイルを添付できません。
- マルチメディアメモからすべてのJPEG、MPEG-4を消去したときに20Kバイトを超えていると、右のような画面が表示されます。(はい)を押すと超過分の添付ファイル、メモ本文を破棄します。(いいえ)を押すと消去を中止し、操作4の画面に戻ります。

メモに複数のファイルを添付するには

メモには最大20件まで（メモ本文と合わせて合計20Kバイトまで。JPEGまたはMPEG-4を添付する場合は合計30Kバイトまで）ファイルを添付することができます。1度の操作で添付できるファイルは1件なので複数のファイルを添付したいときは、操作4の画面で［　］の行を選択して(選択)を押し、操作3～4を行います。この操作を繰り返し行って、複数のファイルを添付することができます。

STEP3　メモを登録する

作成したメモを登録します。登録したメモはデータフォルダ内の「メモ」フォルダに保存されます。
メモにファイルを添付しているときは「マルチメディアメモ」で登録します。メモ本文のみを登録するときは「テキスト」「vNote」「マルチメディアメモ」のいずれかで登録することができます。ただし、vNote形式の登録可能サイズは最大128バイト（全角最大64文字）となるので注意が必要です。

例：「マルチメディアメモ」で登録する場合

1 メモの登録項目画面で、（登録）を押す

2 で「マルチメディアメモ」を選択し、（選択）を押す

ファイル名入力画面が表示され、年月日と2桁の英数字が入力されています。

テキストで登録するときは「テキスト」を、vNote形式で登録するときは「vNote」を選択して（選択）を押します。

3 ファイル名（全角最大17文字、半角最大35文字）を入力し、（確定）を押す

保存の完了をお知らせします。

- 「文字の入力方法」（☞P3-1）
- ファイル名には絵文字および半角記号「\ / : ; ＊ ? " 〈 〉 | .」は使用できません。
- 「メモ」フォルダ内に同じ名前のファイルがあるときに登録すると、登録するファイル名に自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）が付加されます。

「テキスト」、「vNote」、「マルチメディアメモ」の詳細については「データの管理」（☞P11-1）を参照してください。

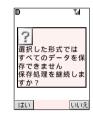
ファイル内容と登録できるメモの形式について

作成したメモは、その内容によって合った形式を選んで登録する必要があります。メモの内容によって登録時には次の表のように動作します。

○：保存可能　△：一部保存可能　×：保存不可

ファイル内容	マルチメディアメモ	テキスト		vNote	
	20Kバイト以下（JPEG／MPEG-4ファイル添付時は30Kバイト以下）	20Kバイト以下	20Kバイト超	128バイト以下	128バイト超
メモ本文と添付ファイル	○	△※1	△※1※2	△※1	△※1※2
メモ本文のみ	○	○	—	○	△※2
添付ファイルのみ	○	×※3	×※3	×※3	×※3

※1　添付ファイルは削除され、メモ本文のみ保存されます。
※2　保存可能な範囲で保存します。
※3　警告音とメッセージで保存できないことをお知らせし、操作1の画面に戻ります。

作成したメモを「テキスト」や「vNote」で登録するときに、登録できるサイズ（「テキスト」は20Kバイト、「vNote」は128バイト）を超えている状態で操作3を行うと、右のような画面が表示されます。○（はい）を押すと超過分の添付ファイル、メモ本文を破棄して保存します。
（いいえ）を押すと保存処理を中止し、操作1の画面に戻ります。

編集を中断したメモがあるときは

メモの作成中や編集中に電話がかかってきたときなど編集が中断されたときのメモデータは、一時的に保護されます。編集を再開するときには、右のような画面が表示されます。

- 編集を続けるときは○（はい）を押します。
- 保護されているデータを消去して、新たに編集するときは（いいえ）を押します。

電源をOFFにしたときは保護されたメモデータは消去されます。

メモの内容を編集する

登録したメモの内容を確認したり、メモ本文を修正したり、ファイルを添付／消去したりすることができます。編集したもとのメモに編集内容を上書きしたり、編集したもとのメモとは別に新しいファイルとして登録したりすることができます。

例：マルチメディアメモの添付ファイルを消去して上書き登録する場合

1 「メモ作成」を呼び出す

① (Menu) を押す
② で (ツールBOX) を選択し、(選択) を押す
③ で (メモ作成) を選択し、(選択) を押す

2 (実行) を押す

3 で「データフォルダ」を選択し、(選択) を押す

4 で「メモ」を選択し、(選択) を押す

5 で目的のファイルを選択し、(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ) を押す

6 ◎で「編集」を選択し、📖（選択）を押す

7 ◎で「添付ファイル：」を選択し、📖（選択）を押す

メモ本文を修正するときは「本文：」を選択して📖（選択）を押して修正します。修正が終わったら📖（確定）を押します。操作11に進みます。

8 ◎で消去するファイルを選択し、✉（消去）を押す

確認画面が表示されます。

- ファイルを追加する場合は［　］の行を選択し📖（選択）を押します。「STEP2 メモにファイルを添付する」の操作３～４（☞P10-55）を行います。操作10へ進みます。
- 添付されているファイルを選択して📖（選択）を押すとファイルの内容を確認できます。ファイルの内容確認中に📖（メニュー）を押し、「プロパティ」を選択して📖（選択）を押してファイルの情報を確認することもできます。

9 ⓞ（はい）を押す

ファイルが消去されます。

消去を中止するときは✉（いいえ）を押します。

10 ⓞ（決定）を押す

11 （登録）を押す

12 で登録する形式を選択し、（選択）を押す

13 で「上書き」を選択し、（選択）を押す

保存の完了をお知らせします。

- 編集したもとのメモに編集内容を上書き登録するときは「上書き」を、編集したもとのメモとは別に新しいファイルとして登録するときは「別名登録」を選択します。
- 「別名登録」を選択して（選択）を押すと、ファイル名入力画面が表示されます。ファイル名（全角最大17文字、半角最大35文字）を入力して（確定）を押します。

データフォルダを起動して目的のメモを選択して（サブメニュー）を押し、サブメニューから編集することもできます。「メモファイルを編集する」（☞P11-36）

メモを活用するには

操作5で表示されるメモのサブメニューからは、メールへの添付をはじめ、さまざまな操作が行えます。メモのサブメニューには次のような項目があります。

・メール添付　　・メール送信
・編集　　・保護／保護解除
・プロパティ　　・消去
・並び替え

メモデータの活用方法の詳細は「データの管理」（☞P11-1）を参照してください。

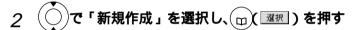
モーションアニメを作成する（アニメーション作成）

データフォルダに保存されている JPEG（DCF 形式の JPEG 除く）／PNG 形式の静止画（最大 9 件）を組み合わせ、指定した間隔で連続表示させるモーションアニメとして保存することができます。

アニメーションを作成する

1 「アニメーション作成」を呼び出す

① (Menu) を押す
② で (ツール BOX) を選択し、(選択) を押す
③ で (アニメ作成) を選択し、(選択) を押す

2 で「新規作成」を選択し、(選択) を押す

3 でリスト番号を選択し、(選択) を押す

データフォルダが表示されます。アニメーションに不要なフォルダは表示されません。

4 使用する画像をデータフォルダ内から選択し、(表示) を押す

選択した画像が表示されます。

補足

画像再生画面で ( ) または ( ) を押すと、前後の画像を確認できます。また、を押すと、大きすぎる／小さすぎる画像（横幅160ドットを基準とする）のサイズを縮小／拡大することができます。再度を押すと、もとのサイズに戻ります。

5 (決定) を押す

ファイルがリストに追加されます。

6 操作 3 〜 5 を繰り返し、必要な画像を指定する

- アニメーションとして登録する前に、再生して確認することができます。
  ①(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ) を押す
  ②で「プレビュー」を選択し、(選択) を押す
  ③確認が終了したら(もどる) を押す
- 連続表示の間隔を変更することができます(☞P10-64)。
- 画像の指定を解除することができます（☞P10-64)。

7 (登録) を押す

ファイル名の入力画面が表示されます。1 枚目の画像ファイルの名称が入力されています。

8 ファイル名(全角最大17文字、半角最大35文字)を入力し、(確定) を押す

保存の完了をお知らせします。

- 「文字の入力方法」(☞P3-1)
- ファイル名には絵文字および半角記号「\ / : ; ＊ ? "〈 〉｜.」は使用できません。

アニメーションを編集する

アニメーションを編集するには、次のように操作します。

STEP1 編集するアニメーションを呼び出す（☞P10-63）

STEP2 アニメーションを編集する（☞P10-64）

STEP3 編集したアニメーションを保存する（☞P10-65）

STEP1　編集するアニメーションを呼び出す

1 「アニメーション作成」を呼び出す

① ◎（Menu）を押す
② ◎で（ツールBOX）を選択し、◎（選択）を押す
③ ◎で（アニメ作成）を選択し、◎（選択）を押す

2 ◎で「データフォルダ」を選択し、◎（選択）を押す

3 データフォルダから編集するアニメーションを選択し、◎（サブメニュー）を押す

4 ◎で「編集」を選択し、◎（選択）を押す

STEP2　アニメーションを編集する

■画像を解除する

1 で解除するファイルを選択し、（選択）を押す

2 （解除）を押す

確認画面が表示されます。

3 （はい）を押す

解除を中止するときは（いいえ）を押します。

■連続表示の間隔を変更する

静止画像を連続表示する間隔を変更できます。
初めて編集するときは、「0.7 秒」に設定されています。

1 （サブメニュー）を押す

サブメニューが表示されます。

2 で「画面更新間隔」を選択し、（選択）を押す

3 で間隔を選択し、（決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

STEP3　編集したアニメーションを保存する

例：上書きする場合

1 (登録) を押す

2 で「上書き」を選択し、(選択) を押す

保存の完了をお知らせします。

別名で保存するときはで「別名登録」を選択し、(選択) を押します。入力画面が表示されるので、ファイル名（全角最大 17 文字、半角最大 35 文字）を入力し、(確定) を押します。

- 保護が設定されているファイルは編集できません。
- 保存先にすでに同じ名前のファイルがあるときは、保存したファイルの名前にチルダと 2 桁の数字または英字が自動的に付加されます。

編集を中断したファイルがあるときは

アニメーションの作成／編集中に電話がかかってきたときなど、作業が中断されたときのファイルデータは、一時的に保護されます。
アニメーションの作成を再開するときには、右のような画面が表示されます。

- 編集を続ける場合は(はい) を押します。
- 保護されているファイルデータを消去して、新たに編集する場合は(いいえ) を押します。

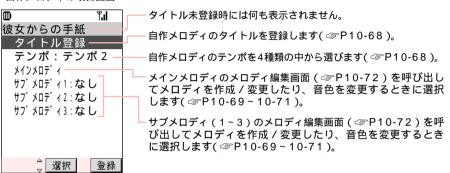
電源を OFF にしたときは保護されたファイルデータは消去されます。

10　ツールBOXとユーザデータ

オリジナルのメロディを作る（メロディ作成）

新しくメロディを作成したり、データフォルダに登録されているメロディを編集したりして、ご自分だけのオリジナルのメロディを作ることができます。1曲につき4パート、1つのパートに最大354音のメロディが登録できます。テンポや音色を変えることもできます。作成できるメロディの曲数はデータフォルダのファイルの登録状況により変わります（☞P13-28）。

自作メロディには次の項目が設定できます。

〈自作メロディの項目画面〉

メロディを作成する

自作メロディを作成するには、次のように操作します。

STEP1 **自作メロディの項目画面を呼び出す（☞P10-67）**

STEP2 **各項目を登録／設定する（☞P10-68）**

STEP3 **自作メロディを登録する（☞P10-71）**

STEP1　自作メロディの項目画面を呼び出す

1 **「メロディ作成」を呼び出す**

①（Menu）を押す

②で（ツールBOX）を選択し、（選択）を押す

③で（メロディ作成）を選択し、（選択）を押す

2 **（編集）を押す**

3 **で「新規作成」を選択し、（選択）を押す**

自作メロディの項目画面が表示されます。

自作メロディの
項目画面

STEP2　各項目を登録／設定する

■タイトルを登録する

1 自作メロディの項目画面で「タイトル登録」を選択し、(選択) を押す

2 タイトル（全角最大１２文字、半角最大２４文字）を入力し、(確定) を押す

- 「文字の入力方法」（☞P3-1）
- 全く文字が入力されない状態で(確定) を押すことはできません。

■テンポを変える

1 自作メロディの項目画面で「テンポ」を選択し、(選択) を押す

2 でお好みのテンポを選択し、(決定) を押す

(演奏) を押してメロディを再生し、再生中に(決定) を押すこともできます。再生中にを押して別のテンポを選択すると、選択したテンポでメロディがはじめから再生されます。再生を停止するときは(停止) を押します。ただし、メインメロディまたはサブメロディが登録されていないときは、演奏が表示されず再生が行えません。

■メロディを登録する

メインメロディやサブメロディ（1 ～ 3）にお好みのメロディを登録できます。

例：メインメロディを登録する場合

1 **自作メロディの項目画面で「メインメロディ」を選択し、(選択) を押す**

サブメロディ（1～3）を登録する場合は、「サブメロディ1」～「サブメロディ3」を選択し、(選択) を押します。

2 **で「音符の編集」を選択し、(選択) を押す**

3 **楽譜データ（最大 354 音）を入力する**

- 「メロディの作りかた」（☞P10-72）
- 楽譜データを新たに作り直すときは、登録されているデータを消去してから入力します。「楽譜データの消去」（☞P10-76）

4 **(登録) を押す**

操作 1 の画面に戻ります。

5 **CLRを押す**

■音色を変える

メインメロディやサブメロディ（1～3）の音色は16ジャンル128種類の中から選択して、お好みの音色に変えることができます。

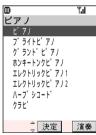
例：メインメロディの音色を変える場合

1 自作メロディの項目画面で「メインメロディ」を選択し、(選択）を押す

- サブメロディ（1～3）の音色を変える場合は、「サブメロディ1」～「サブメロディ3」を選択し、(選択）を押します。
- スカイメロディの音色を変えるときは「音符の編集」は表示されません。

2 で「音色」を選択し、(選択）を押す

3 でジャンルを選択し、(選択）を押す

「メロディ作成／編集で設定できる音色一覧」(☞P16-5)

4 で音色を選択し、(決定）を押す

操作1の画面に戻ります。

メロディが登録されているときには(演奏）を押してメロディを再生し、再生中に(決定）を押すこともできます。

5 CLRを押す

- 実際の楽器の音色とは異なる場合があります。
- 音色によっては、メロディの音階が聞きとりにくいものがあります。
- 音色によって再生できる音域が異なります。メロディに再生できない音域の音が含まれている場合、その音は自動的に代わりの音色で演奏されます。

メロディの編集を中断するときは

楽譜データの入力中やタイトル、音色の編集中にPWR HLDを押すか、自作メロディの項目画面（☞P10-66）でPWR HLDまたはCLRを押すと、右のような画面が表示されます。

- 保護されている楽譜データを破棄して編集を中止する場合は◎（はい）を押します。
- 編集を続ける場合は（いいえ）を押します。

- メロディの編集中に電話がかかってきたときは、自動的に編集を中断し、着信中の画面に切り替わります。
- 編集を再開できます。「編集を中断したメロディがあるときは」（☞P10-79）

STEP3　自作メロディを登録する

1 （登録）を押す

登録されているタイトルが表示されます。

タイトルおよびメインメロディが登録されていないと、登録することはできません。

2 必要に応じてファイル名（全角最大17文字、半角最大35文字）を入力し、（確定）を押す

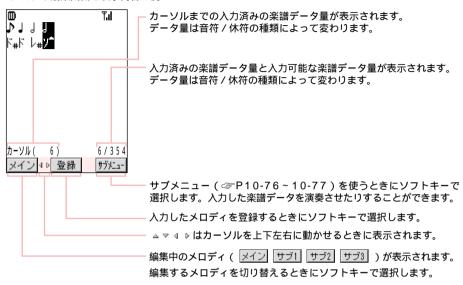
登録の完了をお知らせします。

- 「文字の入力方法」（☞P3-1）
- ファイル名には絵文字および半角記号「\ / : ; * ? " 〈 〉 | .」は使用できません。

- 新規登録で作成したメロディは、自動的にデータフォルダのメロディフォルダ内に登録されます。
- 登録したメロディを消去するときは、データフォルダのメロディフォルダからファイルを消去（☞P11-14）します。

メロディの作りかた

楽譜データの入力は、メロディ編集画面で行います。
メロディ編集画面には、次のようなものが表示されています。

〈メロディ編集画面と表示内容の例〉

入力できる音域と使用する各ボタンの割り当ては次のとおりです。

●入力できる音域（約 4 オクターブ）

●入力できる音階と入力に使用するボタン

ボタン＼押す回数	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回	7 回	8 回
1 あ @	ド	ド#	ド▲	ド#▲	ド▲▲	ド#▲▲	ド▼	ド#▼
2 か ABC	レ	レ#	レ▲	レ#▲	レ▲▲	レ#▲▲	レ▼	レ#▼
3 さ DEF	ミ	ミ▲	ミ▲▲	ミ▼	――	――	――	――
4 た GHI	ファ	ファ#	ファ▲	ファ#▲	ファ▲▲	ファ#▲▲	ファ▼	ファ#▼
5 な JKL	ソ	ソ#	ソ▲	ソ#▲	ソ▼	ソ#▼	――	――
6 は MNO	ラ	ラ#	ラ▲	ラ#▲	ラ▼▼	ラ#▼▼	ラ▼	ラ#▼
7 ま PQRS	シ	シ▲	シ▼▼	シ▼	――	――	――	――

●入力できる音符／休符と入力に使用するボタン

ボタン＼押す回数	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回
8 や TUV	付点 2 分休符	付点 4 分休符	付点 8 分休符	3 連 2 分休符	3 連 4 分休符	3 連 8 分休符
9 ら WXYZ	付点 2 分音符	付点 4 分音符	付点 8 分音符	3 連 2 分音符	3 連 4 分音符	3 連 8 分音符
0 わを ん ー	全休符	2 分休符	4 分休符	8 分休符	16 分休符	――
* ゛゜	タイ	タイの解除	――	――	――	――
# 記号	全音符	2 分音符	4 分音符	8 分音符	16 分音符	――

楽譜データの入力方法

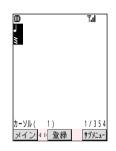
音の高さを表す音階（ド～シ）と音の長さを表す音符の種類を指定して、1音ずつ入力します。同じ音階の音をなめらかにつなぐタイを付けることもできます。
音を空けたいところには休符を入力します。これらを組み合わせてメロディを作ります。

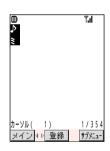
すべての楽譜データを消去してから作り直すときは

サブメニューから「編集データクリア」を選択します（☞P10-76）。表示されているパートに入力されているすべての楽譜データが一度に消去されます。

■ 音階・音符の入力

1 音階が割り当てられたボタン（1～7）を繰り返し押して、入力したい音階を表示させる

カーソル上に音階と「♩」（4分音符）が挿入されます。

2 音符が割り当てられたボタン（9、#）を繰り返し押して、音符の種類を指定する

上段カーソル上の音符が上書きされます。

3 次の音階を入力する

続けて同じボタンの音階を入力するときは、◎を押してカーソルを右に移動させます。違うボタンの音階のときは、次の音階のボタンを押すと自動的にカーソルが右に移動します。

■ タイの付加／解除

1 **[方向キー]を押してタイを付加／解除したい音の上にカーソルを移動させ、[＊]を押す**

■ 休符の入力

1 **休符が割り当てられたボタン（[8]、[0]）を繰り返し押して、入力したい休符を表示させる**

カーソル上に休符が挿入されます。

注意

タイは次の音が同じ音階の音（3 連符を除く）のときのみ有効です。タイを付ける音の次に有効な音がない場合は、警告音でお知らせし、付加することができません。また、後ろに音を挿入したり、後ろの音を消去したときは自動的に解除されます。

補足

- メロディ編集中は、ボタン入力した音階が鳴ります。
- 入力可能な楽譜データ量を超えると、それ以上、楽譜データを入力することができません。
- カーソルが1音目にあるときに[◀]を押すと入力した楽譜データの末尾にカーソルを移動させることができます。

編集するメロディを切り替えるには

メロディ編集画面が表示されているときに[●]を押すと、1 回押すごとに編集するメロディをメインメロディ、サブメロディ 1〜3 の順に切り替えることができます。[●]を押す前にメロディ編集を行っていた内容は、一時的に保護されます。

楽譜データの編集方法（クリアボタン／サブメニューの使いかた）

楽譜データの消去や修正は、CLRを使って行います。また、長い楽譜データを編集するときは、サブメニューを表示させ、メニュー項目を利用すると便利です。

■ 楽譜データの修正

間違えた楽譜データを修正するときは◯を押してカーソルを修正したい音（音階、音符、記号、休符）の上に移動します。CLRを押すと、カーソル位置の音が消去され、カーソルから右側の音が左へ詰まっていきます。音階や休符、記号などを入力するとカーソル位置に挿入されていきます。

■ 楽譜データの消去

編集中の楽譜データをすべて消去するときは、サブメニューから「編集データタクリア」を選択します。

■ 楽譜データの演奏

サブメニューから「編集データ演奏」または「和音演奏」を選択します。先頭からカーソル位置までの楽譜データが1回演奏されます。「和音演奏」を選択したときは、和音で演奏されます。

例：編集中のメロディの楽譜データだけを演奏させる場合

- 演奏を中止するときは（停止）を押します。
- 音量は通常着信の設定（☞P8-3）に従います。ただし、ステップトーンに設定されている場合は最小の音量（レベル 1）で鳴ります。また、マナーモード時はマナーモード設定（☞P8-13）の通常着信の音量に従います。

■ 楽譜データの入力中止

楽譜データの入力を中止するときは、サブメニューから「編集中止」を選択します。編集した内容は破棄され、編集前の楽譜データのまま、メロディ編集前の画面に戻ります。

メロディを編集する

編集したいメロディをデータフォルダから呼び出して、各項目を設定します。

例：既存のメロディを編集して上書き登録する場合

1 「メロディ作成」を呼び出す

①◯(Menu) を押す

②◯で(ツールBOX) を選択し、◯(選択) を押す

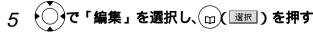
③◯で(メロディ作成)を選択し、◯(選択)を押す

2 ◯(編集) を押す

3 ◯で「データフォルダ」を選択し、◯(選択) を押す

データフォルダが表示されます。

4 目的のフォルダから目的のファイルを選択し、◯(サブメニュー) を押す

サブメニューが表示されます。

5 で「編集」を選択し、(選択)を押す

自作メロディの項目画面が表示されます。

6 変更したい項目を設定する

- 「タイトルを登録する」(☞P10-68)
- 「テンポを変える」(☞P10-68)
- 「メロディを登録する」(☞P10-69)
- 「音色を変える」(☞P10-70)

7 (登録)を押す

8 で「上書き」を選択し、(選択)を押す

登録の完了をお知らせします。

- 編集したもとのメロディファイルに編集内容を上書き登録するときは「上書き」を、編集したもとのメロディファイルとは別に新しいメロディファイルとして登録するときは「別名登録」を選択します。
- 「別名登録」を選択して(選択)を押すと、ファイル名入力画面が表示されます。必要に応じてファイル名を入力します。
- ファイル名を変更せずに保存した場合、または保存先にすでに同じ名前のファイルがある場合には、ファイルの名前にチルダと2桁の数字または英字が自動的に付加されます(例：「music1.nom」→「music1~00.nom」)。

- SMDファイルを編集して登録すると、自作メロディファイルとなります。
- 着信音や効果音などに設定されているSMDファイルを上書き登録して自作メロディにしたときには、そのファイルを設定していた機能はお買い上げ時の設定に戻ります。

ウェブやステーションから入手したメロディやメールに添付されていたメロディも、自作メロディ同様に編集することができます。ただし、SMAFファイルは編集できません。転送可のSMDファイルは音色とタイトルのみ編集できます。転送不可のSMDファイルは音色のみ編集することができます。また、保護されているメロディは、種類を問わず編集できません。

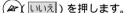
・自作メロディファイルの拡張子　.nom
・SMDファイルの拡張子　.smd、.smz、.smx
・SMAFファイルの拡張子　.mmf

10

ツールBOXとユーザデータ

編集を中断したメロディがあるときは

メロディの作成中や編集中に電話がかかってきたときなど編集が中断されたときの楽譜データは、一時的に保護されます。編集を再開するときには、右のような画面が表示されます。

- 編集を続ける場合はを押します。
- 保護されている楽譜データを消去して、新たに編集する場合は（いいえ）を押します。

電源をOFFにしたときは保護された楽譜データは消去されます。

ご自分の電話番号やメールアドレスなどを登録/編集する(オーナー情報)

オーナー情報には、お使いのV601Nの電話番号を含む最大3件の電話番号、名前、フリガナ、最大3件のE-mailアドレス、郵便番号、住所が登録できます。オーナー情報は待受中、通話中に確認できるだけでなく、さまざまに活用できます。オーナー情報を登録するときおよび初期化するときには、操作用暗証番号(☞P1-20)の入力が必要です。お買い上げ時は、V601Nの電話番号のみ登録されています。

オーナー情報を登録する

例:名前とフリガナを登録する

1 「オーナー情報」を呼び出す

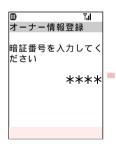
① ◯(Menu)を押す

② ◎で(ユーザデータ)を選択し、(選択)を押す

③ ◎で(オーナー情報)を選択し、(選択)を押す

お使いのV601Nの電話番号が登録されているオーナー情報の内容画面が表示されます。

2 (編集)を押し、操作用暗証番号を入力する

操作用暗証番号が正しく入力されると、オーナー情報登録画面が表示されます。

3 (選択)を押し、名前(全角最大10文字、半角最大20文字)を入力する

「文字の入力方法」(☞P3-1)

4 (確定) を押す

名前入力の画面で入力した文字列が、そのままフリガナとして半角文字で表示されます。

- フリガナを変更するときは◯で変更する文字の上にカーソルを移動し、CLRを押して消去してから入力し直します。
- 最大20文字まで表示されます。

5 (確定) を押す

V601Nの電話番号の行が反転表示されます。

6 (登録) を押す

確認画面が表示されます。

- ◯で登録項目を選択し (選択) を押すと、他の項目の登録を続けて行うことができます。操作の方法については「メモリダイヤルに登録する」の操作8～15（☞P4-6～4-7）を参照してください。
- 郵便番号を入力するときは7桁の数字を連続して入力してください。「-」は入力できませんが、確定後自動的に表示されます。

7 (はい) を押す

登録の完了をお知らせします。

オーナー情報編集中にCLRまたはPWR HLDを押して編集を終了しようとした場合、右のような確認画面が表示されます。(はい) を押すとオーナー情報の編集を終了し、編集中のデータは削除されます。(いいえ) を押すともとの編集画面に戻ります。

オーナー情報を活用／編集する

オーナー情報に登録したデータを赤外線送信したり、vCardファイルとして保存したり、電話番号を送出して活用することができます。また、登録されている電話番号やアドレスを消去したり、オーナー情報をお買い上げ時の状態に戻すこともできます。

1 「オーナー情報」を呼び出す

① ◎(Menu) を押す
② ◎で (ユーザデータ) を選択し、◎(選択) を押す
③ ◎で (オーナー情報) を選択し、◎(選択) を押す
オーナー情報の内容画面が表示されます。

2 ◎で目的の項目を表示し、◎(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ) を押す

オーナー情報のサブメニューが表示されます。

項　目	概　要	参照ページ
送出	表示中の電話番号を一括送出する（通話中で、電話番号が表示されているときだけ表示される）	13-10
赤外線送信	オーナー情報を赤外線送信で送信する（通話中は表示されない）	11-50
vCard で保存	オーナー情報を vCard ファイルとして保存する（通話中は表示されない）	11-49
電話番号消去／アドレス消去	表示中の電話番号／メールアドレスを削除する	10-83
オーナー情報初期化※	登録された情報をすべてお買い上げ時の状態に戻す	10-84

※操作には、操作用暗証番号（☞P1-20）の入力が必要です。

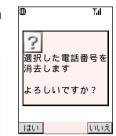
3 ◎で項目を選択し、◎(選択) を押す

登録した電話番号／メールアドレスを消去する

例：電話番号を消去する

1　オーナー情報のサブメニューから「電話番号消去」を選択し、（選択）を押す

「電話番号1」は自局電話番号固定となっているので削除できません。「オーナー情報を活用／編集する」の操作2（☞P10-82）で「電話番号1」を表示して（サブメニュー）を押しても、サブメニューに「電話番号消去」は表示されません。

メールアドレスを消去するときは、「オーナー情報を活用／編集する」の操作2（☞P10-82）で目的のメールアドレスを表示して（サブメニュー）を押します。サブメニューには「アドレス消去」という項目が表示されます。

2　（はい）を押す

消去の完了をお知らせします。

「電話番号3」が登録されている状態で「電話番号2」を消去すると、「電話番号3」の内容が「電話番号2」に移動します。メールアドレスを消去した場合も同様です。

オーナー情報をお買い上げ時の状態に戻す（オーナー情報初期化）

1 **オーナー情報のサブメニューから「オーナー情報初期化」を選択し、（選択）を押す**

2 **操作用暗証番号を入力する**

操作用暗証番号が正しく入力されると、確認画面が表示されます。

3 **（はい）を押す**

初期化の完了をお知らせします。

オーナー情報を初期化すると、「電話番号 1」（自局電話番号）以外の項目がすべて未設定の状態になります。

よく使う電話番号を登録する(アシストダイヤル)

メモリダイヤルに登録しなくても、特によくかける電話番号（3件まで）をアシストダイヤルとして登録しておくと、◯と☎を押すだけで電話がかけられます（クイックダイヤル ☞P10-87）。
また、よくかける市外局番や「184（イヤヨ）」「186」（☞P14-23、14-24）などを登録しておき、電話をかけるときにこれらの電話番号を呼び出して、以降の電話番号だけを入力するという補助的な使いかたや、プッシュトーンの送出にも利用できます（セット発信 ☞P10-88、プッシュトーン送出 ☞P13-10）。

アシストダイヤルに登録する

1 「アシスト登録」を呼び出す

① ◯（Menu）を押す
② ◯で （ユーザデータ）を選択し、📖（選択）を押す
③ ◯で （アシスト）を選択し、📖（選択）を押す
現在の登録内容が表示されます。

2 📖（登録）を押す

補足　名称がすでに登録されているときは、その名称が表示されます。

3 ◯で登録先を選択し、📖（選択）を押す

名称の行が反転表示されます。

補足
- 名称を登録する必要がない場合は、操作6に進みます。
- ◯（消去）を押すと、アシストダイヤルの登録を消去できます。選択中のアシストダイヤルを消去するときは◯（1件）を押します。すべて消去するときは✍（すべて）を押します。

4 **（選択）を押し、名称（全角最大10文字、半角最大20文字）を入力する**

「文字の入力方法」（☞P3-1）

5 **（確定）を押す**

6 **でアシスト番号の行を選択し、（選択）を押す**

7 **電話番号（最大12桁）を入力する**

「文字の入力方法」（☞P3-1）

8 **（決定）を押す**

9 **（登録）を押す**

登録の完了をお知らせします。

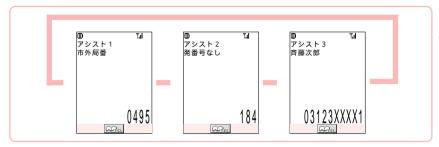
アシストダイヤルで電話をかける

アシストダイヤルとして登録した電話番号は、ワンタッチで発信することができます（クイックダイヤル）。

1 ◯を繰り返し押して、呼び出したいアシストダイヤルを表示させる

2 を押す

相手につながると通話できます。

注意

発信禁止（☞P9-6）やオフラインモード（☞P9-18）が設定されているときは、電話をかけることはできません。

局番や「184（イヤヨ）」などを電話番号の前に付けてかける

アシストダイヤルとして登録した局番などを電話番号の前に付けて、すばやく発信することができます（セット発信）。

例：アシスト2に登録しておいた「発番号なし・184」と電話番号「03123XXXX2」を合わせてかける場合

1 ◯を繰り返し押して、呼び出したいアシストダイヤルを表示させる

ここでは「発番号なし・184」を呼び出します。

2 電話番号を入力する

ここでは「03123XXXX2」と入力します。

- セット発信でダイヤルできる電話番号は、「アシスト登録した番号」＋「入力した番号」の合計で24桁までです。
- メモリダイヤル、スピードダイヤル、リダイヤル、着信履歴からそれぞれ電話番号を呼び出すこともできます。

3 ☎を押す

「184」＋「03123XXXX2」がダイヤルされます。相手につながると通話できます。

発信禁止（☞P9-6）やオフラインモード（☞P9-18）が設定されているときは、電話をかけることはできません。

よく使う単語を登録する(ユーザ辞書登録)

よく使う単語をあらかじめユーザ辞書に100語まで登録して、ひらがな/漢字入力モードで入力した文字を変換したとき、候補としてすばやく呼び出すことができます。

ユーザ辞書に登録する

例:「えぬいーしー」と入力すると「日本電気株式会社」に変換できるように登録する場合

1 「ユーザ辞書登録」を呼び出す

① (Menu) を押す
② で (ユーザデータ) を選択し、 (選択) を押す
③ で (ユーザ辞書) を選択し、 (選択) を押す
現在の登録状況が表示されます。

2 (登録) を押す

登録リスト画面が表示されます。

単語がすでに登録されているときは、その一覧が表示されます。

登録リスト画面

3 (新規) を押し、変換後の単語(全角最大10文字)を入力する

ここでは「にっぽんでんきかぶしきがいしゃ」と入力して変換します。

- 「文字の入力方法」(☞P3-1)
- ひらがなや全角カタカナ、全角英数字が登録できます。

4 (確定)を押し、変換前の読み（全角最大10文字）を入力する

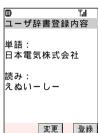
ここでは「えぬいーしー」と入力します。

- 「文字の入力方法」（☞P3-1）
- ひらがなのみ入力できます。
- T9入力、ワード予測は使用できません。

10

ツールBOXとユーザデータ

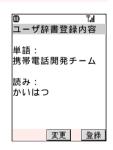
5 (確定)を押す

6 (登録)を押す

登録の完了をお知らせします。

ユーザ辞書の登録内容を確認／変更する

登録内容を確認する

1 登録リスト画面で確認する単語を選択し、(詳細)を押す

読みが確認できます。

登録内容を変更する

例：単語と読みを変更する場合

1 **登録リスト画面で変更する単語を選択し、（詳細）を押す**

ユーザ辞書登録内容
単語：
携帯電話開発チーム
読み：
かいはつ
変更　登録

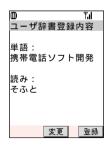
2 **（変更）を押し、単語を変更する**

「文字の入力方法」（☞P3-1）

3 **（確定）を押し、読みを変更する**

「文字の入力方法」（☞P3-1）

4 **（確定）を押す**

5 **（登録）を押す**

登録の完了をお知らせします。

ユーザ辞書の登録内容を消去する

例：単語を1語消去する場合

1 登録リスト画面で消去する単語を選択し、(消去) を押す

すべて消去する場合は、どの単語を選択しても行うことができます。

2 (1件) を押す

消去の完了をお知らせします。

単語をすべて消去する場合は(すべて) を押します。

よく使うメッセージを登録する(ライブラリ)

よく使うメッセージをライブラリに30件まで登録して、メッセージ作成などに利用することができます。1件につき全角最大61文字、半角最大128文字まで登録することができるので、入力の手間が省けます。

ライブラリに登録する

メニューから「ライブラリ」を呼び出して登録する方法です。メッセージなどの入力中に、サブメニューを利用して登録する方法もあります（☞P3-21）。

1 「ライブラリ」を呼び出す

① (Menu) を押す

② で (ユーザデータ)を選択し、(選択)を押す

③ で (ライブラリ) を選択し、(選択) を押す

現在の登録状況が表示されます。

2 (設定) を押す

ライブラリリスト画面が表示されます。

メッセージがすでに登録されているときは、その内容が表示されます。

ライブラリリスト画面

3 でメッセージを登録する番号（01～30）を選択し、(内容) を押す

選択した番号にすでにメッセージが登録されているときは、その内容が表示されます。

4 **メッセージ（全角最大６１文字、半角最大１２８文字）を入力する**

「文字の入力方法」（☞P3-1）

5 **（確定）を押す**

登録の完了をお知らせします。

ライブラリの登録内容を確認／変更する

登録内容を確認する

1 **ライブラリリスト画面で登録内容を確認するメッセージを選択し、（内容）を押す**

全文が表示されます。

登録内容を変更する

1 **ライブラリリスト画面で変更するメッセージを選択し、（内容）を押す**

全文が表示されます。

2 メッセージを変更する

「文字の入力方法」（☞P3-1）

3 （確定）を押す

登録の完了をお知らせします。

ライブラリの登録内容を消去する

例：ライブラリを1件消去する場合

1 ライブラリリスト画面で消去するメッセージを選択し、（消去）を押す

すべて消去する場合は、どのメッセージを選択しても行うことができます。

2 （1件）を押す

消去の完了をお知らせします。

メッセージをすべて消去する場合は（すべて）を押します。

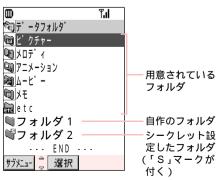
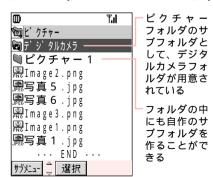
データの管理

データフォルダのしくみ

V601Nの各種の機能を使って作成･入手したさまざまなデータを一括管理するのがデータフォルダです。データフォルダには、あらかじめいくつかのフォルダが用意されており、作成・入手したデータは、ファイル形式に応じたフォルダに自動的に振り分けて保存されます。保存されたデータは、そのまま内容を再生するだけでなく、いろいろな機能に利用することができます。また、データの種類によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンと相互にやりとりして利用することも可能です。データフォルダにはJava™ ライブラリと共有で、最大約 7 メガバイトまたは 2000 件まで保存可能です。

データフォルダ内にはあらかじめ6つのフォルダと1つのサブフォルダが用意されており、次のような 3 つの階層構造になっています。

＜第 1 階層＞	＜第 2 階層：フォルダ＞	＜第 3 階層：サブフォルダ＞
データフォルダ	ピクチャー	デジタルカメラ
		（自作フォルダ）
	メロディ	（自作フォルダ）
	アニメーション	（自作フォルダ）
	ムービー	（自作フォルダ）
	メモ	（自作フォルダ）
	etc	（自作フォルダ）
	（自作フォルダ）	（自作フォルダ）

- ピクチャーフォルダの中には、デジタルカメラモードで撮影した画像を保存するサブフォルダが用意されています。
- 自作のフォルダを追加したり、フォルダの中にサブフォルダを作成することも可能です（☞P11-9）。
- 秘密にしたいフォルダには、シークレット設定を行うことができます（☞P11-10）。
- 登録件数がいっぱいになった場合やメモリに空きがない場合はそれ以上保存できません。データフォルダかJava™ライブラリから不要なフォルダ、ファイルやJava™アプリを消去してください。「フォルダを消去する」（☞P11-13）、「ファイルを消去する」（☞P11-14）、「Java™ アプリを消去する」（☞『Vodafone live!編』）

データフォルダの一覧画面

ピクチャーフォルダの一覧画面

各フォルダに振り分け、保存されるファイルの種類と、それぞれのファイルを利用できる機能は、次のとおりです。etcフォルダ以外の既存のフォルダには、表に示すファイル形式のファイルしか保存できません。

フォルダ	自動的に振り分けられる／保存できるファイルの形式（「拡張子」）	対応する主な機能※ 3
ﾋﾟｸﾁｬｰ	PNG「.png、.pnz」	編集、アニメーション作成、メール添付、赤外線送信、壁紙設定、待ち受け設定、背面壁紙設定、背面待ち受け設定、マイキャラクター
	JPEG「.jpg、.jpeg、.jpe、.jpz」	編集、アニメーション作成、メール添付、赤外線送信、壁紙設定、待ち受け設定、背面壁紙設定、背面待ち受け設定、マイキャラクター
ﾃﾞｼﾞﾀﾙｶﾒﾗ	JPEG（DCF）「.jpg」	赤外線送信、サムネイルの登録
ﾒﾛﾃﾞｨ	SMD「.smd、.smz、.smx」	編集、メール添付、着信音パターン、効果音設定
	SMAF「.mmf」	メール添付、着信音パターン、効果音設定
	自作メロディ「.nom」	編集、メール添付、着信音パターン、効果音設定
ｱﾆﾒｰｼｮﾝ	モーションアニメ（※拡張子は表示されない）	編集、メール添付、壁紙設定、背面壁紙設定、マイキャラクター
	MNG「.mng」	メール添付、赤外線送信、壁紙設定、背面壁紙設定、マイキャラクター
ﾑｰﾋﾞｰ	Nancy「.noa」	メール添付、赤外線送信
	MPEG-4「.3gp」	テロップ編集、メール添付、赤外線送信
	アクションビュー「.acv」	V601Nでの再生（J-N51から取り込み）
ﾒﾓ	テキスト「.txt」	メール添付、編集
	vシリーズのファイル※2　vNote「.vnt」	メール添付、編集
	マルチメディアメモ「.mmm」	メール添付、メール送信、編集
etc ※ 1	vシリーズのファイル※2　vCard「.vcf」	メール添付、メモリダイヤルへ登録、赤外線送信
	vBookmark「.vbm、.url」	メール添付、ブックマークへ登録
	vMessage「.vmg」	メール添付、メールへ登録
	vCalendar「.vcs」	メール添付、赤外線送信 、スケジュール／アクションアイテムへ登録
	EML(RFC822)「.eml」	メール添付
	HTML「.htm、.html」	メール添付、アドレス登録
	MML「.mml」	メール添付、アドレス登録
	非対応ファイル	メール添付（V601Nではご利用になれません）

※ 1：etc フォルダおよび自作のフォルダには、保存可能な全てのファイル形式のファイルが保存できます。
※ 2：「vシリーズのファイルとは」（☞P11-47）
※ 3：ファイルサイズ・種類・設定などの条件によっては、ご利用になれない機能があります。

注）1. 保護が設定されているファイル（☞P11-10）は保護が設定されていることを示すアイコンが表示されます。
例：（保護未設定の JPEG）→（保護設定した JPEG）
2. 転送できないファイルは、転送できないことを示すアイコンが表示されます。
例：（転送できる JPEG）→（転送できない JPEG）

ファイルを確認する

データフォルダに保存されている各種ファイルを再生して、内容を確認します。一覧画面や再生画面からは、ファイル情報の確認や編集、他の機能で使用するための設定など、さまざまな操作が行えます（☞P11-7）。

1 「データフォルダ」を呼び出す

① 待受画面で◎（[ ]）を押す

② ◎で［DATA］（データフォルダ）を選択し、◎（［選択］）を押す

データフォルダの一覧画面が表示されます。

メインメニュー画面からも呼び出せます。

①◎（Menu）を押す

②◎で［DATA］（データフォルダショートカット）を選択し、◎（［選択］）を押す

2 ◎でフォルダを選択し、◎（［選択］）を押す

- サブフォルダ内のファイルを確認するときは、操作2を繰り返します。
- 上位階層のフォルダに戻るときは◎を押します。
- シークレット設定されているフォルダを選択して◎（［選択］）を押すと、操作用暗証番号（☞P1-20）の入力画面が表示されます。操作用暗証番号を入力すると、フォルダの一覧画面が表示されます。

一覧画面

3 ◎でファイルを選択し、◎（［選択］）を押す

再生画面が表示されます。選択したファイルがファイル形式に応じて再生されます。

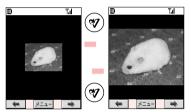
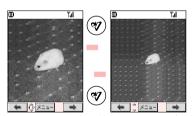
- 再生中のディスプレイの最下段に［⬅］または［➡］が表示されているときは、◎または◎を押すと、前後のファイルが再生されます。
- 音声付きのファイルは通常着信の音量（☞P8-3）で再生されます。ただし通常着信の音量を「ステップトーン」や「サイレント」に設定しているとき、または「マナーモード設定中です　音を鳴らしますか？」という確認の画面で◎（［はい］）を押したときには、音声付きのファイルは最小の音量で再生され、再生中に◎を押すと音量調整が行えます。調整した音量は、データフォルダ機能を終了するまで保持されます。「…音を鳴らしますか？」という画面で◎（［いいえ］）を押すと、音声は鳴りません。
- vシリーズのデータやメモなどの内容がディスプレイに表示しきれていないときは◎で画面をスクロールします。

再生画面

4 一覧画面に戻るときは(CLR)を押す

- データフォルダ内の画像ファイルは、モバイルカメラ（☞P6-1）やメディアポッド（☞P12-1）からでも確認できます。また、メロディファイルは、着信音パターン選択（☞P8-5）やメディアポッドからも聞くことができます。
- ウェブの設定がOFFのときはHTMLファイル、MMLファイルを表示させることができません。「ボーダフォンライブ！の各機能を使えないようにする」（☞『Vodafone live!編』）

画像のリサイズ操作について

静止画／アニメーション／動画ファイル再生中に､画像の表示サイズ変更が行えます。(V)を押すと､縦横比率を維持したまま横幅160ドットになるようにサイズ調整され､拡大表示されます。横幅160ドットを超える静止画／アニメーション画像の場合、縮小表示されます。再度(V)を押すと、もとのサイズに戻ります。
再生中のリサイズ操作は、vMessageやEML、マルチメディアメモファイルに添付されている画像ファイルに対しても行えます。

横幅160ドット未満の静止画のリサイズ（拡大）

横幅160ドットを超える静止画のリサイズ（縮小）

- 画像によってはリサイズできないものもあります。
- サイズの異なる静止画から作成されたモーションアニメは、各コマが横幅160ドットにリサイズされます。
- データフォルダでのリサイズの設定は、メディアポッドでも適用されます。

MPEG-4 ファイル再生中の操作について

MPEG-4 形式のファイル（拡張子「.3gp」）は、再生中に次の操作が行えます。

- ◯を押すごとに一時停止／再生
- 一時停止中に（⏮）を押すと動画の先頭に戻る
- 一時停止中に（⏵）を押すごとに次の 1 コマを表示する
- 一時停止中に（⏵）を長く（1 秒以上）押すとコマを飛ばす
- 再生中／一時停止中にを押すごとにサイズが変更される（☞P11-5）

MPEG-4 の再生画面

テロップ付きの MPEG-4
の再生画面

11
データの管理

一覧／再生画面のサブメニュー／メニュー

データフォルダの一覧画面や再生画面からは、サブメニューやメニューを利用して、フォルダやファイルに関するさまざまな操作が行えます。

例：再生画面のメニューから操作する場合

1 ファイルの再生画面で（メニュー）を押す

メニューが表示されます。表示される項目は、操作時の状況やファイルの種類によって異なります。

一覧画面のサブメニューから操作するときは、目的の一覧画面を表示し、で フォルダ／ファイルを選択して（サブメニュー）を押します。表示される項目は、操作時の状況やフォルダ／ファイルの種類によって異なります。

項　目	概　要	参照ページ
メール添付	選択／再生中のファイルをスーパーメールに添付する	11-37
メール送信	選択／再生中のマルチメディアメモをスーパーメールとして送信する	11-37
赤外線送信※1	選択中のファイルを赤外線転送対応機種に送信する	11-37
コピー※1	ファイルをコピーする	11-15
ペースト※1	コピーしたファイルを他のデータフォルダ／サブフォルダまたはメールやメモなどにペーストする	11-15
移動※1	選択中のファイルを他のデータフォルダ／サブフォルダに移動する	11-16
編集	選択／再生中のファイルを編集する	11-19 11-27 11-36
サムネイルの登録	JPEG（DCF）ファイルのサムネイル部分をJPEGファイルとして保存する	11-31
アニメーション作成	複数の静止画を利用してアニメーションを作成する	11-29
テロップ編集	MPEG-4 ファイルにテロップを付ける	11-31
壁紙設定	選択／再生中の静止画／アニメーションファイルをメインディスプレイの壁紙に設定する	11-38
待ち受け設定	選択／再生中の静止画ファイルをメインディスプレイの待受画面の背景に設定する	11-38
背面壁紙設定	選択／再生中の静止画／アニメーションファイルをイメージウィンドウの壁紙に設定する	11-39
背面待ち受け設定	選択／再生中の静止画ファイルをイメージウィンドウの待受画面に設定する	11-39
マイキャラクター	選択／再生中の静止画／アニメーションファイルをマイキャラクターに設定する	11-40
着信音パターン	選択／再生中のメロディファイルを着信音パターンに設定する	11-40
効果音設定	選択／再生中のメロディファイルを効果音に設定する	11-41
メモリダイヤルへ登録	選択／再生中の vCard データをメモリダイヤルに取り込む	11-47
ブックマークへ登録	選択／再生中の vBookmark データをブックマークに取り込む	11-47
メールへ登録	選択／再生中の vMessage データをメールに取り込む	11-47

※１：再生画面では表示されません。
※２：一覧画面では表示されません。

<table>
<tr><th>項　目</th><th colspan="2">概　要</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td>スケジュール／AIへ登録</td><td colspan="2">選択／再生中のvCalendarデータをスケジュール／アクションアイテム（AI）に取り込む</td><td>11-47</td></tr>
<tr><td>アドレス登録※1</td><td colspan="2">選択中のHTML／MMLファイルを「お気に入り」／「メッセージフォルダ」／「ブックマーク」／「ホーム」に保存する</td><td>11-41</td></tr>
<tr><td>JPEGファイル変換</td><td colspan="2">選択／再生中のPNGファイルをJPEG形式に変換する</td><td>11-29</td></tr>
<tr><td>PNGファイル変換</td><td colspan="2">選択／再生中のJPEGファイルをPNG形式に変換する</td><td>11-29</td></tr>
<tr><td>MNGファイル変換</td><td colspan="2">選択／再生中のモーションアニメファイルをMNG形式に変換する</td><td>11-29</td></tr>
<tr><td>ムービー写メール変換</td><td colspan="2">選択／再生中のMPEG-4（ローカルムービー）ファイルをメール添付が確実に可能なMPEG-4ファイルに変換する</td><td>11-34</td></tr>
<tr><td>シークレット設定※1／シークレット解除※1</td><td colspan="2">選択中のフォルダにシークレットを設定／解除する</td><td>11-10</td></tr>
<tr><td>保護／保護解除</td><td colspan="2">選択／再生中のファイルを保護／保護解除する</td><td>11-10</td></tr>
<tr><td>全件保護解除※1</td><td colspan="2">選択中のファイルが含まれるフォルダのファイルをすべて保護解除する</td><td>11-11</td></tr>
<tr><td>プロパティ</td><td colspan="2">サイズや保存日時、保存されているフォルダなどの情報を表示する</td><td>11-11</td></tr>
<tr><td>名前の変更※1</td><td colspan="2">選択中の自作フォルダ／ファイルの名前を変更する</td><td>11-12</td></tr>
<tr><td>消去</td><td colspan="2">フォルダ／ファイルを消去する</td><td>11-13～11-15</td></tr>
<tr><td>フォルダ作成※1</td><td colspan="2">自作フォルダを作成する</td><td>11-9</td></tr>
<tr><td>並び替え※1</td><td colspan="2">一覧のファイルを並べ替える</td><td>11-17</td></tr>
<tr><td>ファイル名表示※1／タイトル表示※1</td><td colspan="2">SMDファイル／自作メロディ／SMAFファイルの一覧表示内容を切り替える</td><td>11-18</td></tr>
<tr><td>BGM演奏※2</td><td rowspan="2">vMessage／EML／マルチメディアメモファイルの再生画面で選択中の添付SMDファイル／SMAFファイル／自作メロディファイルについての操作</td><td>演奏する</td><td>11-42</td></tr>
<tr><td>BGM停止※2</td><td>演奏を停止する</td><td>11-42</td></tr>
<tr><td>リンク※2</td><td colspan="2">再生画面で選択中のURLのサイトに接続したり、電話番号に発信したりする</td><td>11-43</td></tr>
<tr><td>表示※2</td><td rowspan="4">vMessage／EML／マルチメディアメモファイルの再生画面で選択中の添付ファイルについての操作</td><td>再生する</td><td>11-42</td></tr>
<tr><td>添付ファイルプロパティ※2</td><td>ファイル情報を表示する</td><td>11-42</td></tr>
<tr><td>添付ファイルコピー※2</td><td>コピーする</td><td>11-43</td></tr>
<tr><td>添付ファイル登録※2</td><td>1つのファイルとして保存する</td><td>11-43</td></tr>
<tr><td>文字コピー※2</td><td colspan="2">再生画面上の文字をコピーする</td><td>11-44</td></tr>
<tr><td>ライブラリ登録※2</td><td colspan="2">再生画面上の文字をライブラリに登録する</td><td>11-44</td></tr>
<tr><td>メール情報※2</td><td colspan="2">再生中のvMessage／EMLファイルの情報を表示する</td><td>11-45</td></tr>
<tr><td>文字タイプ変更※2</td><td colspan="2">再生画面の文字タイプを変更する</td><td>11-45</td></tr>
<tr><td>文字サイズ変更※2</td><td colspan="2">再生画面の文字サイズを変更する</td><td>11-46</td></tr>
<tr><td>画面スクロール設定※2</td><td colspan="2">再生画面のスクロール方法を変更する</td><td>11-46</td></tr>
</table>

※1：再生画面では表示されません。
※2：一覧画面では表示されません。

ファイルやフォルダを管理する

フォルダを作成する

データフォルダの中には、自作フォルダを作ることができます。また、フォルダの中にサブフォルダを作ることもできます。フォルダとサブフォルダは最大500件（既存のフォルダを除く）まで作成できます。作成できる階層の深さはデータフォルダそのものを含めて最大3階層までで、サブフォルダの中にサブフォルダを作ることはできません。

例：ピクチャーフォルダの中に「永久保存版」フォルダを作成する場合

1 フォルダの一覧画面で（サブメニュー）を押す

ここではピクチャーフォルダの一覧画面で操作します。
サブメニューが表示されます。

ピクチャーフォルダやメロディフォルダなどと同じ階層にフォルダを作成するときは、データフォルダの一覧画面を表示させます。

2 で「フォルダ作成」を選択し、（選択）を押す

3 フォルダ名（全角最大１７文字、半角最大３５文字）を入力し、（確定）を押す

フォルダ作成の完了をお知らせします。

- 「文字の入力方法」（☞P3-1）
- フォルダ名には絵文字および半角記号「＼ ／ ： ； ＊ ？ "〈 〉 ｜ .」は使用できません。

フォルダにシークレットを設定する

フォルダにシークレットを設定すると、そのフォルダ内を表示させるためには操作用暗証番号（☞P1-20）の入力が必要になります。

1 **設定するフォルダを選択して、一覧画面のサブメニューから「シークレット設定」を選択し、（📖）（選択）を押す**

シークレット設定を解除するときは、「シークレット解除」を選択します。

2 **操作用暗証番号を入力する**

操作用暗証番号が正しく入力されると、設定の完了をお知らせします。

ファイルの保護を設定する

ファイルごとに保護を設定することができます。保護を設定したファイルに対しては、編集、消去、フォーマット変換が行えなくなります。

1 **設定するファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニューから「保護」を選択し、（📖）（選択）を押す**

設定の完了をお知らせします。

保護を解除するときは、「保護解除」を選択します。

保護が設定されているファイルには、フォルダの一覧画面で保護されていることを示すアイコンが表示されます。
例：（保護未設定の JPEG）→（保護設定した JPEG）

フォルダ内のファイルの保護を一括解除する

一覧表示しているフォルダ内のファイルを、まとめて保護解除することができます。

1 ファイルを選択し、一覧画面のサブメニューから「全件保護解除」を選択し、(選択) を押す

確認画面が表示されます。

ファイルを選択していないとサブメニューに「全件保護解除」が表示されません。

2 (はい) を押す

暗証番号の入力画面が表示されます。

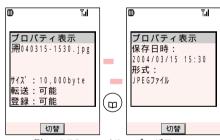
3 操作用暗証番号を入力する

操作用暗証番号が正しく入力されると、保護解除の完了をお知らせします。

フォルダ／ファイルの情報を確認する

フォルダ／ファイルの保存日時やファイルのサイズなどの情報を確認することができます。

1 確認するフォルダ／ファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニューから「プロパティ」を選択し、(選択) を押す

プロパティが表示されます。

例：JPEG ファイルのプロパティ

フォルダ／ファイルの名前を変更する

名前を変更したいフォルダまたはファイルを一覧画面で選択し、サブメニューを使って変更の操作を行います。

例：フォルダ1の名前を変更する場合

1 **名前を変えるフォルダ／ファイルを選択して、一覧画面のサブメニューから「名前の変更」を選択し、（[選択]）を押す**

2 **フォルダ／ファイルの名前（全角最大１７文字、半角最大３５文字）を入力し、（[確定]）を押す**

変更の完了をお知らせします。

- 「文字の入力方法」（☞P3-1）
- フォルダ／ファイル名には絵文字および半角記号「\ / : ; ＊ ? "〈 〉｜ .」は使用できません。

フォルダを消去する

フォルダ内のサブフォルダやファイルをまとめて消去することができます。また、自作のフォルダはフォルダごと消去できます。一覧画面でフォルダを選択し、サブメニューから「消去」を選択すると、次のような消去メニューが表示されます。

項　目	概　要
フォルダ内消去	選択中のフォルダ内の自作サブフォルダとファイルをまとめて消去する（保護ファイルは残る）
フォルダごと消去 （自作フォルダ選択時のみ）	選択中の自作フォルダと、そこに含まれるサブフォルダおよびファイルをまとめて消去する（保護ファイルが含まれる場合はフォルダごと消去は行えない）
データフォルダオールクリア	データフォルダ内の自作フォルダとファイルをすべて消去する（保護ファイルも消去） ※データフォルダの一覧画面表示時のみ表示されます。

例：自作フォルダをフォルダごと消去する場合

1　消去するフォルダを選択して、一覧画面のサブメニューから「消去」を選択し、（選択）を押す

2

で「フォルダごと消去」を選択し、（選択）を押す

確認画面が表示されます。

補足　フォルダ内消去を行うときは「フォルダ内消去」、データフォルダオールクリアを行うときは「データフォルダオールクリア」を選択し（選択）を押します。

3　（はい）を押す

暗証番号の入力画面が表示されます。

4　操作用暗証番号を入力する

操作用暗証番号が正しく入力されると、消去の完了をお知らせします。

着信音や壁紙などに設定されているファイルを含むフォルダを消去したときには、消去したファイルを設定していた機能はお買い上げ時の設定に戻ります。

ファイルを消去する

一覧画面でファイルを選択し、サブメニューから「消去」を選択すると、次のような消去メニューが表示されます。

項　目	概　要
1 件消去	選択中のファイルを消去する
複数消去	フォルダ内の一覧から、ファイルを複数選択して消去する

例：複数のファイルを消去する場合

1 消去するファイルを選択して、一覧画面のサブメニューから「消去」を選択し、（選択）を押す

2 で「複数消去」を選択し、（選択）を押す

一覧画面が表示されます。

ファイルを 1 件消去したい場合は「1 件消去」を選択して（選択）を押し、確認画面で（はい）を押します。

3 で消去するファイルを選択し、（ﾁｪｯｸ）を押す

選択したファイルには☑が表示されます。

- 保護が設定されているファイルを選択したときには☑が付けられません。
- ☑を付けたファイルを選択して（ﾁｪｯｸ）を押すと、☑が外れて元のアイコンに戻ります。

4 操作 3 を繰り返し、消去するすべてのファイルに☑を付け、（決定）を押す

確認画面が表示されます。

5 （はい）を押す

暗証番号の入力画面が表示されます。

6 操作用暗証番号を入力する

操作用暗証番号が正しく入力されると、消去の完了をお知らせします。

着信音や壁紙などに設定されていたファイルを消去したときには、消去されたファイルが設定されていた機能はお買い上げ時の設定に戻ります。

再生中のファイルを消去するには

再生中のファイルを消去するときは、次のように操作します。
① 再生画面のメニューから「消去」を選択し、(選択) を押す
② (はい) を押す

ファイルをコピー／ペーストする

選択したファイルをコピーして、他のフォルダの中やメール、マルチメディアメモなどにペーストすることができます。

1 コピーするファイルを選択して、一覧画面のサブメニューから「コピー」を選択し、(選択) を押す

コピーの完了をお知らせします。

2 ペースト先のフォルダを選択する

- (選択) を押すと、選択したフォルダ内を確認することができます。
- ファイルを選択して操作３に進むこともできます。フォルダを選択したときは選択したフォルダ内にペーストされ、ファイルを選択したときは表示されているフォルダ内にペーストされます。
- 上の階層のフォルダを表示させるときはCLRを押します。

3 (ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ) を押す

一覧画面のサブメニューが表示されます。

4 で「ペースト」を選択し、(選択) を押す

ペーストの完了をお知らせします。

- コピーしたファイルは、他のファイルをコピーするか、電源を切るか、オールリセット（☞P9-10）を行うまで繰り返しペーストできます。
- 転送不可ファイルはコピーできません。
- コピーしたファイルの形式や、指定したフォルダの種類によっては、ペーストできない場合があります（☞P11-3）。

ファイルを移動する

選択したファイルを別のフォルダの中に移動させることができます。

1 **移動するファイルを選択して、一覧画面のサブメニューから「移動」を選択し、(選択)を押す**

移動可能なフォルダのみを表示した、データフォルダの一覧画面が表示されます。

11

データの管理

2 **移動先のフォルダを選択する**

- (選択)を押すと、選択したフォルダ内を確認することができます。
- ファイルを選択して操作3に進むこともできます。フォルダを選択したときは選択したフォルダ内に移動し、ファイルを選択したときは表示されているフォルダ内に移動します。

3 **(決定)を押す**

移動の完了をお知らせします。

移動先にすでに同じ名前のファイルがあるときは、移動したファイルの名前にチルダと2桁の数字または英字が自動的に付加されます（例：「Image5.png」→「Image5~00.png」）。

一覧を並べ替える

一覧画面の項目は、お買い上げ時には保存日時の新しい順に表示されています。項目の並べ替えを行うと、変更はデータフォルダ全体に反映され、次に並べ替えを行うまで保持されます。一覧画面のサブメニューから「並び替え」を選択すると、次のような並び替えメニューが表示されます。

項　目	項目選択時に表示される並び順
日時※	新しい順：保存日時の新しい順に表示する
	古い順：保存日時の古い順に表示する
ファイルタイプ	昇順:ファイル拡張子を基準に昇順に並べ、同一拡張子ごとにファイル名を基準に昇順に表示する
	降順:ファイル拡張子を基準に降順に並べ、同一拡張子ごとにファイル名を基準に降順に表示する

※ 日時は分単位で管理されるため、保存日時の順番通りにならないことがあります。

1 **一覧画面のサブメニューから「並び替え」を選択し、(選択)を押す**

2 **で並び替えの基準を選択し、(選択)を押す**

例：「日時」を選択した場合

3 **で並び順を選択し、(選択)を押す**

選択した順番で並べた一覧画面が表示されます。

11 データの管理

メロディファイルの一覧表示を切り替える

メロディファイルはタイトル表示にすることもファイル名表示にすることもできます。
表示内容の切り替えを行うと、次に切り替えを行うまで設定は保持されます。
お買い上げ時は「タイトル表示」に設定されています。

例：ファイル名表示に切り替える場合

1 メロディフォルダ（またはそのサブフォルダ）の一覧画面のサブメニューから「ファイル名表示」を選択し、（選択）を押す

表示内容が切り替わった一覧画面が表示されます。

補足 ファイル名表示されているときは「タイトル表示」を選択します。

タイトル表示の一覧画面

ファイル名表示の一覧画面

画像を編集する

静止画を編集して保存する

例：上書き保存する場合

1 編集するファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニューから「編集」を選択し、(選択) を押す

静止画編集メニューが表示されます。表示される項目はファイルの種類やサイズによって異なります。

項　目	項目選択時の動作	参照ページ
追加	画像にスタンプ／文字／フレームを追加する	11-20
回転	画像を回転する	11-23
切り取り	画像を用意されたサイズまたはオリジナルのサイズに切り取る	11-23
拡大	画像を用意されたサイズに拡大する	11-24
縮小	画像を用意されたサイズに縮小する	11-25
色調	画像の色調を変える	11-26
4 分割	大きな JPEG ファイルをスーパーメールで送るために、4 つの JPEG ファイルに分割する	11-27
結合	縦 160 ×横 120 ドットの 4 つの JPEG ファイルを結合し、圧縮して 1 つの JPEG ファイルを作成する	11-27

2 で項目を選択し、(選択) を押す

それぞれの操作を行ってください。

再生中にリサイズ操作（☞P11-5）を行って横幅 160 ドットにしていた場合でも、編集中の静止画は常に標準サイズで表示されます。また静止画のリサイズ操作は、編集中には行えません。

3 編集が終了したら、(登録) を押す

JPEGファイル以外の静止画を編集して保存するときは、画質を選択できません。操作 5 に進みます。

4 で画質を選択し、(選択)を押す

補足

(サイズ)を押すとファイルサイズの目安を確認することができます。確認後、CLRを押すと操作3の画面に戻ります。

5 で「上書き」を選択し、(選択)を押す

保存の完了をお知らせします。

補足

別名で保存するときはで「別名登録」を選択し、(選択)を押します。入力画面が表示されるのでファイルの名前(全角最大17文字、半角最大35文字)を入力し、(確定)を押します。

補足

- 保存先にすでに同名のファイルがあるときは、保存したファイルの名前にチルダと2桁の数字または英字が自動的に付加されます(例:「Image5.png」→「Image5~00.png」)。
- 同じ画像を繰り返し保存すると、画質が低下する場合があります。

静止画にスタンプ/文字/フレームを追加する

■ スタンプを付ける

1 静止画の編集メニューから「追加」を選択し、(選択)を押す

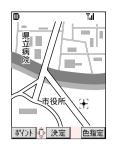
2 で「スタンプ」を選択し、(選択)を押す

画像の左上隅にスタンプが表示されます。

補足

画像のサイズが小さすぎる場合には、スタンプを追加できない場合があります。

3 で付けたい位置にスタンプを移動し、(ポイント) を押す

補足
- スタンプを追加するときは、操作 3 を繰り返します。
- スタンプの色を変更するときは(色指定)を押し、で 8 色の中から色を選択して(決定) を押します。

4 (決定) を押す

■ 文字を追加する

1 静止画の編集メニューから「追加」を選択し、(選択) を押す

2 で「文字」を選択し、(選択) を押す

補足
画像のサイズが小さすぎる場合には、文字を追加できない場合があります。

3 文字（全角最大 10 文字、半角最大 20 文字）を入力し、(確定) を押す

補足
- 「文字の入力方法」（☞P3-1）
- 入力可能文字数は画像のサイズによって変わります。

4 で文字を付けたい位置に移動し、(ポイント) を押す

補足
文字の色を変更するときは(色指定)を押し、で8色の中から色を選択して(決定) を押します。

5 (決定) を押す

■ フレームを追加する

10種類のオリジナルフレームのほか、ダウンロードしてデータフォルダに保存したフレームから選択することもできます。

例：オリジナルフレームから選択する場合

1　静止画の編集メニューから「追加」を選択し、(選択) を押す

2　で「フレーム」を選択し、(選択) を押す

3　で「オリジナル」を選択し、(選択) を押す

補足　データフォルダから選択するときは「データフォルダ」を選択して(選択) を押し、でフレームが保存されているフォルダを選択して(選択)を押します。

4　でフレームを選択し、(選択) を押す

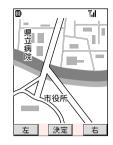
5　() または() でフレームを選択し、(選択) を押す

- を押して、フレームの大きさを画面に合わせて調整することができます。「画像のリサイズ操作について」(☞P11-5)
- 画像のサイズがフレームより大きいときはを押してフレームの位置を調整します。操作 6 でフレームの外側が切り取られます。

6　(決定) を押す

データフォルダ中で、フレームとして使用できる画像は透過ＰＮＧ形式です。画像の大きさや設定によってはフレームとして使用できないことがあります。

静止画を回転する

1 静止画の編集メニューから「回転」を選択し、(選択)を押す

2 (左)または(右)で画像を回転し、(決定)を押す

(左)または(右)を押すごとに、左（反時計回り）または右（時計回り）に 90 度ずつ回転します。

回転によって画像の縦サイズが保存可能な最大サイズ（480ドット）を超えたときには、メッセージでお知らせします。(はい)を押すと上下が均等に切り取られます。(いいえ)を押すと操作 1 の画面に戻ります。

静止画を切り取ってサイズを編集する

静止画の画像サイズを用途に応じて変更することができます。あらかじめ設定されている 5 種類のサイズを選択するほかに、切り取る部分を指定してオリジナルサイズにすることもできます。

項目	変更後の画像サイズ
フルサイズ	V601Nのメインディスプレイの壁紙サイズ（縦180×横160ドット）
写メールサイズ	写メールで送信するのに最適なサイズ（縦 160 ×横 120 ドット）
着信用	V601N のマイキャラクター（☞P7-9）の着信イラストサイズ（縦 67 ×横 160 ドット）
小さい壁紙用	J-N04／J-N03II／J-N03の壁紙サイズ（縦126×横120ドット）
背面 LCD 用	V601Nのイメージウィンドウの壁紙サイズ（縦80×横120ドット）
オリジナルサイズ	開始位置と終了位置を指定して、必要な部分を切り取る

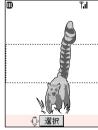
1 **静止画の編集メニューから「切り取り」を選択し、(選択)を押す**

2 **でサイズを選択し、(選択)を押す**

切り取り枠が表示されます。

「オリジナルサイズ」を選択したときは、画像の左上隅にマーカーが表示されるので、次の操作をしてから操作 4 に進みます。

①で切り取り開始位置をマーカーの位置まで移動し、(開始)を押す

②で切り取り終了位置をマーカーの位置まで移動し、(終了)を押す

例：「着信用」を選択した場合

3 **で画像の切り取り位置を移動し、(選択)を押す**

切り取られた画像が表示されます。

4 **(決定)を押す**

静止画を拡大する

次の中から拡大率を選択できます。もとの画像のサイズによっては表示されない項目もあります。

項　目	効　果
フルサイズ	横幅 160 ドットになる拡大率で拡大する
写メールサイズ	横幅 120 ドットになる拡大率で拡大する
125%	125%に拡大する
150%	150%に拡大する

1 **静止画の編集メニューから「拡大」を選択し、(選択) を押す**

2 **で拡大率を選択し、(選択) を押す**

3 **(決定) を押す**

拡大したことにより、縦幅が480ドットを超えたときは、「表示可能サイズを超えているため、画像の上下を均等に切り取ります　よろしいですか？」と表示されます。(はい) を押すと、上下が切り取られます。

静止画を縮小する

次の中から縮小率を選択できます。ただし、もとの画像のサイズによっては表示されない項目もあります。

項　目	効　果
フルサイズ	横幅 160 ドットになる縮小率で縮小する
写メールサイズ	横幅 120 ドットになる縮小率で縮小する
75%	75%に縮小する
50%	50%に縮小する

1 **静止画の編集メニューから「縮小」を選択し、(選択) を押す**

2 **で縮小率を選択し、(選択) を押す**

3 **(決定) を押す**

静止画の色調を変更する

静止画の色調を白黒やセピア調に変換したり、明るさやコントラストを調整したりすることができます。

項　目	効　果
モノクロ	白黒画像に変換する
セピア	古ぼけた色調の画像に変換する
明るさ	画像の明るさを 7 段階に調整する
コントラスト	画像のコントラストを 7 段階に調整する

例：明るさを調整する場合

1 静止画の編集メニューから「色調」を選択し、(選択) を押す

2 で「明るさ」を選択し、(選択) を押す

3 (＋) または (－) を押して明るさを調整し、(決定) を押す

(＋) を押すと明るくなり、(－) を押すと暗くなります。

- 操作 2 で「明るさ」または「コントラスト」を選択した場合は、操作 2 を行った直後を基準に、(＋) および (－) で 3 段階ずつ調整することができます。
- 操作 2 で「コントラスト」を選択した場合は (＋) を押すと色調にめりはりがつき、(－) を押すと滑らかになります。
- 操作 2 で「モノクロ」または「セピア」を選択した場合は、色調が変換された状態で表示されます。(決定) を押して設定操作を完了します。

JPEG ファイルを分割／結合して利用する

縦 320 ×横 240 ドット（QVGA サイズ）の JPEG ファイルを 4 つに分割して 4 つのファイルとして保存しメール送信したり、4 分割されていた JPEG ファイルを結合して 1 つの QVGA サイズの JPEG ファイルとして保存することができます。

1 JPEGファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニューから「編集」を選択し、(📖)（選択）を押す

静止画の編集メニューが表示されます。

- 「JPEG ファイルを 4 分割してメール送信する」（☞P11-27）
- 「4 つの JPEG ファイルを 1 つに結合する」（☞P11-28）

11

データの管理

JPEG ファイルを 4 分割してメール送信する

JPEG ファイルを 4 つに分割して保存します。分割が正常に完了したときには、各画像を添付した 4 通のスーパーメールを作成して送信することができます。分割できる JPEG ファイルは、縦 320 ×横 240 ドットのものに限ります。

例：4分割完了後、画像を添付したメールを作成する場合

2 静止画の編集メニューから「4 分割」を選択し、(📖)（選択）を押す

確認画面が表示されます。

3 (O)（はい）を押す

4分割して保存されると保存の完了をお知らせし、メール添付の確認画面が表示されます。

4 (O)（はい）を押す

スーパーメール作成画面が表示されます。
分割したファイルが添付され、件名に「画像分割メール＋画像の位置」（画像位置には右上、左下などと表示されます。）が入力されます。

メールの設定が「OFF」になっているときには、スーパーメール作成画面が表示されません。「ボーダフォンライブ！の各機能を使えないようにする」（☞『Vodafone live!編』）

メールでの送信を行わないときは(✍)（いいえ）を押します。

5 宛先など他の項目を入力し、送信する

- 詳細については『Vodafone live!編』を参照してください。
- 1件目のメールのみ編集できます。
- 1件目のメールの宛先、件名、オプションを変更すると他の3件にも反映されます。

「追加」／「回転」／「切り取り」／「拡大」／「縮小」／「色調」の編集に続けて「4 分割」できません。

4 つの JPEG ファイルを 1 つに結合する

4 分割されていた JPEG ファイルを結合し、1 つの QVGA サイズの JPEG ファイルとして保存することができます。

2 静止画の編集メニューから「結合」を選択し、(選択) を押す

確認画面が表示されます。

3 (はい) を押す

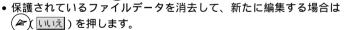
結合して保存されると、保存の完了をお知らせします。

- 4 分割されている画像のうちの 1 つを選択して結合の操作を行うと、データフォルダ全体から結合対象の画像が検索され、結合されます。
- 分割された画像を編集したり、ファイル名を変更した場合、結合ができないことがあります。

編集を中断したファイルがあるときは

静止画ファイル、動画ファイルの編集中やアニメーションの作成／編集中に電話がかかってきたときなど、作業が中断されたときのファイルデータは、一時的に保護されます。
編集やアニメーションの作成を再開するときには、右のような画面が表示されます。

- 編集を続ける場合は (はい) を押します。

- 保護されているファイルデータを消去して、新たに編集する場合は (いいえ) を押します。

電源を OFF にしたときは保護されたファイルデータは消去されます。

静止画を使ってモーションアニメを作成する(アニメーション作成)

JPEG ／ PNG 形式の静止画（最大 9 件）を組み合わせ、指定した間隔で連続表示させるモーションアニメとして保存することができます。

1 使用するファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニューから「アニメーション作成」を選択し、(選択) を押す

選択／再生していたファイルが、リストの「01」に表示されます。
以降の操作については「アニメーションを作成する」(☞P10-61）を参照してください。

「編集を中断したファイルがあるときは」(☞P11-28)

モーションアニメを編集するには

① データフォルダから編集したいモーションアニメファイルを選択する
② 一覧／再生画面のサブメニュー／メニューから「編集」を選択し、(選択) を押す
以降の操作については「アニメーションを編集する」(☞P10-63）を参照してください。

編集時に解除された画像はピクチャーフォルダに保存されます。保存先にすでに同じ名前のファイルがあるときは、保存したファイルの名前にチルダと2桁の数字または英字が自動的に付加されます（例：「Image5.png」→「Image5~00.png」)。

画像のファイル形式を変換する

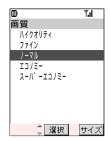
一覧／再生画面のサブメニュー／メニューを使って、画像のファイル形式を次のように変換することができます。
「JPEG ファイル変換」： PNG ファイル→ JPEG ファイル
「PNG ファイル変換」 ： JPEG ファイル→ PNG ファイル
「MNG ファイル変換」 ： モーションアニメファイル→ MNG ファイル
このほかに、MPEG-4（ローカルムービー）ファイルをメール添付可能な MPEG-4 ファイルに変換する「ムービー写メール変換」(☞P11-34）も行えます。
変換したファイルは上書きまたは別名を付けて保存します。

例：PNGファイルをJPEGファイルに変換し、上書き保存する場合

1 変換するファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニューから「JPEG ファイル変換」を選択し、(選択) を押す

確認画面が表示されます。

11 データの管理

2 ○（はい）を押す

3 ○で画質を選択し、○（選択）を押す

- ○（サイズ）を押すとファイルサイズの目安を確認することができます。確認後○を押すと操作 2 の画面に戻ります。
- 「PNG ファイル変換」、「MNG ファイル変換」の場合は画質の変更はできません。

11 データの管理

4 ○で「上書き」を選択し、○（選択）を押す

保存の完了をお知らせします。

別名で保存するときは○で「別名登録」を選択し、○（選択）を押します。入力画面が表示されるのでファイルの名前（全角最大 17 文字、半角最大 35 文字）を入力し、○（確定）を押します。

壁紙やマイキャラクターなどに設定されている画像のファイル形式を変換して上書きしたときは、その画像が設定されていた機能はお買い上げ時の設定に戻ります。

- 保護が設定されているファイルは、ファイル形式の変換ができません。
- 保存形式を変換すると画質が変わることがあります。
- MNG ファイル変換を行うと画面の更新間隔が変わることがあります。
- 保存先にすでに同名のファイルがあるときは、保存したファイルの名前にチルダと 2 桁の数字または英字が自動的に付加されます（例：「Image5.png」→「Image5~00.png」）。

JPEG(DCF)のサムネイルを保存する(サムネイルの登録)

JPEG(DCF)形式の静止画のサムネイルを、JPEGファイルとして保存することができます。JPEGファイルの画像は、編集したり壁紙などに設定することもできます。

1　サムネイルを登録するファイルを選択/再生して、一覧/再生画面のサブメニュー/メニューから「サムネイルの登録」を選択し、(選択)を押す

ファイル名の入力画面が表示されます。元のJPEG(DCF)ファイルの名称が入力されています。

2　必要に応じてファイル名(全角最大17文字、半角最大35文字)を変更し、(確定)を押す

保存の完了をお知らせします。

「文字の入力方法」(☞P3-1)

サムネイルとは、デジタルカメラモードで撮影した画像(縦480×横640ドット)を保存すると同時に保存される小さなサイズの画像(縦120×横160ドット)です。デジタルカメラモードで撮影した画像はサイズが大きいため、V601Nのディスプレイには表示できません。V601Nでは、代わりにサムネイルを表示させることによって画像の確認を行えるようになっています。

MPEG-4形式のムービーにテロップを付ける

MPEG-4形式のムービーファイルにテロップを表示させることができます。テロップの表示を開始するタイミング(ポイント)を指定し、テロップ文字入力画面でテロップを入力します。テロップは、1つのムービーファイルに最大10箇所付けられます。

例:テロップを追加して上書き保存する場合

1　MPEG-4ファイルを選択/再生して、一覧/再生画面のサブメニュー/メニューから「テロップ編集」を選択し、(選択)を押す

「編集を中断したファイルがあるときは」(☞P11-28)

2 で「追加」を選択し、(選択) を押す

ムービーの先頭の画面で一時停止した状態のテロップポイント指定画面が表示されます。テロップを先頭から表示させる場合は、操作 4 に進みます。

補足

ファイルに付けられているテロップを消去することもできます。「消去」を選択して(選択) を押し、確認画面で(はい) を押します。

3 テロップポイント指定画面を操作してテロップ表示を開始するタイミングを決める

各ボタンでムービーファイルを操作しながらタイミングを決めます。

- を押すごとに一時停止／再生
- 一時停止中に() を押すと動画の先頭に戻る
- 一時停止中に() を押すごとに次の 1 コマを表示する
- 一時停止中に() を長く（1 秒以上）押すと 5 コマ進む
- 再生中／一時停止中にを押すごとにリサイズ（横幅160ドットに調整）する

4 (ポイント) を押す

テロップ文字入力画面が表示されます。

補足

再生中でも一時停止中でも、(ポイント) を押してテロップ文字入力画面を表示させることができます。

5 テロップ（全角最大 24 文字、半角最大 48 文字）を入力し、(確定) を押す

テロップが設定され、ムービーの先頭の画面で一時停止した状態の再生画面が表示されます。

補足

- テロップには改行も入力できます。「文字の入力方法」（☞P3-1）
- を押すとテロップ付きのムービーを再生して確認することができます。
- テロップを編集するときは(メニュー) を押し、で「テロップ編集」を選択して(選択) を押します。操作 2 からの操作を繰り返してテロップを編集します。
- (メニュー) を押し、で「プロパティ」を選択して(選択) を押すと、ファイルサイズの目安や転送、登録が可能かどうかの情報を確認できます。（☞P11-11）

6 (登録) を押す

7 で「上書き」を選択し、(選択) を押す

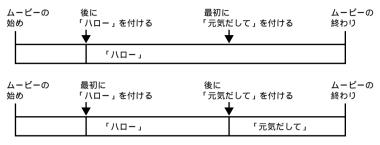
保存の完了をお知らせします。

補足

別名で保存するときはで「別名登録」を選択し、(選択) を押します。入力画面が表示されるので、ファイル名（全角最大 17 文字、半角最大 35 文字）を入力し、(確定) を押します。保存先にすでに同名のファイルがあるときは、保存したファイルの名前にチルダと2桁の数字または英字が自動的に付加されます（例：「movie5.3gp」→「movie5～00.3gp」）。

複数のテロップを付けるときは

設定したテロップは、ポイント位置から再生終了まで表示されます。1つのムービーにテロップを２つ以上設定する場合には、先頭に近い位置に表示させるテロップから順に設定してください。
たとえば、再生開始から５秒の位置をポイントにして「元気出して！」を設定したあとで、ムービーの先頭をポイントにして「ハロー」を設定すると、始めから終わりまで「ハロー」だけが表示されるように上書きされてしまい、「元気出して！」は表示されません。

11 データの管理

ローカルムービーをメール添付可能サイズに変換する（ムービー写メール変換）

メールに添付できないMPEG-4形式のローカルムービーファイルを、添付可能なサイズ（約30Kバイトまたは10秒）のMPEG-4ファイルに変換できます。変換を行うときには、開始ポイントを選択します。開始ポイントから添付可能サイズに収まるところまでがムービー写メールモードに変換され、あとの部分は切り捨てられます。テロップ付きのファイルの場合も、添付可能サイズに収まるところまでが変換され、収まらない部分はテロップも含めて切り捨てられます。

例：ムービー写メール変換したファイルを上書き保存する場合

1 変換するファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニューから「ムービー写メール変換」を選択し、📖（選択）を押す

開始ポイントの選択画面が表示されます。動画の先頭が一時停止状態で表示されています。先頭部分から変換するときは、操作３に進みます。

- 開始ポイントの選択画面では、テロップ付きのファイルの場合もテロップは表示されません。
- 「編集を中断したファイルがあるときは」(☞P11-28)

2 （［⏮］）または（［⏵］）を押して、開始ポイントにするコマを表示させる

- 1コマずつ進めたり、先頭に戻したり、リサイズしたりできます。「MPEG-4ファイル再生中の操作について」（☞P11-6）
- ◯を押して再生しながら開始ポイントにする位置を決めることもできます。◯を押すたびに動画が再生／一時停止されます。

3 （［ポイント］）を押す

ムービー写メールモードに変換された動画の先頭が一時停止状態で表示されます。

- ◯を押すと、再生して確認することができます。
- （［メニュー］）を押し、「プロパティ」を選択して（［選択］）を押すと、ファイルサイズの目安や転送登録が可能かどうかの情報を確認できます（☞P11-11）。

4 （［登録］）を押す

5 ◯で「上書き」を選択し、（［選択］）を押す

保存の完了をお知らせします。

別名で保存するときは◯で「別名登録」を選択し、（［選択］）を押します。入力画面が表示されるので、ファイル名（全角最大17文字、半角最大35文字）を入力し、（［確定］）を押します。保存先にすでに同名のファイルがあるときは、保存したファイルの名前にチルダと2桁の数字または英字が自動的に付加されます（例：「liveclip.3gp」→「liveclip~00.3gp」）。

11

データの管理

各種のファイル操作

メロディファイルを編集する

SMD ファイルや自作メロディは、編集することができます。

1 **編集するファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニューから「編集」を選択し、（選択）を押す**

メロディファイルの項目画面が表示されます。

2 **で編集する項目を選択し、（選択）を押す**

補足

以降の操作については「メロディを編集する」の操作６～８（☞P10-78）を参照してください。

注意

- SMD ファイルを編集して登録すると、自作メロディファイルとなります。
- 着信音や効果音などに設定されているSMDファイルを上書き登録して自作メロディにしたときには、そのファイルを設定していた機能はお買い上げ時の設定に戻ります。

メモファイルを編集する

テキスト、vNote、マルチメディアメモを編集することができます。

1 **編集するファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニューから「編集」を選択し、（選択）を押す**

2 **で編集する項目を選択し、（選択）を押す**

補足

以降の操作については「メモの内容を編集する」の操作７～13（☞P10-59～10-60）を参照してください。

ファイルを他の機器に送信する

ファイルをスーパーメールで送信する（メール添付）

データフォルダで選択したファイルを、スーパーメールに添付して送信することができます。ただし、アクションビューファイルとJPEG（DCF）ファイルおよび転送不可のファイルは添付できません。

1 添付するファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニューから「メール添付」を選択し、(選択) を押す

スーパーメールの編集画面が表示されます。

11
データの管理

2 宛先など他の項目を入力し、送信する

詳細については「Vodafone live!編」を参照してください。

マルチメディアメモをスーパーメールで送信するには（メール送信）

選択／再生中のマルチメディアメモ（☞P10-52、11-3）を、スーパーメールに変換して送信することができます。本文はそのままメールのメッセージになり、メモのファイル名は件名となります。添付ファイルはスーパーメールの添付ファイルとなります。ただし、転送不可ファイルが添付されている場合は送信できません。

① 一覧／再生画面のサブメニュー／メニューから「メール送信」を選択し、(選択) を押す
② スーパーメールの編集画面で必要な項目を入力し、送信する

ファイルを赤外線送信する（赤外線送信）

vCard、vCalendarおよび画像（JPEG、JPEG（DCF）、PNG、MNG、Nancy、MPEG-4）のファイルを、赤外線通信対応機種のボーダフォン携帯電話に送信することができます。ただし、転送不可のファイルは赤外線送信はできません。受信側では、ファイルが該当するフォルダに自動的に保存されます。赤外線ポートどうしを近づけて操作してください（☞P11-50）。

1 赤外線送信するファイルを選択して、一覧画面のサブメニューから「赤外線送信」を選択し、(選択) を押す

確認画面が表示されます。

2 **O（はい）を押す**

通信が開始され、送信が完了すると待受画面が表示されます。

- 相手側のボーダフォン携帯電話を赤外線受信状態にしておいてください。「データを受信して保存する」（☞P11-52）
- 赤外線通信時はオフライン状態になり、通話やボーダフォンライブ！の利用はできません。

ファイルを他の機能で利用する

画像を壁紙に設定する（壁紙設定）

JPEG／PNG形式の静止画ファイルや、モーションアニメおよびMNG形式のアニメーションは、メインディスプレイの壁紙に設定することができます。

1 **設定するファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニューから「壁紙設定」を選択し、📖（選択）を押す**

2 **◎で設定する壁紙を選択し、📖（決定）を押す**

設定の完了をお知らせします。

ピクチャーセット（☞『Vodafone live!編』）が設定されていて壁紙設定されているときは、「（画像のファイル名）に設定しますか？　現在設定中の壁紙は消去されます」と表示されます。O（はい）または✎（いいえ）を押して壁紙設定するかどうかを選択します。

- 壁紙を2種類設定していた場合、壁紙設定（☞P7-6）で切替時間を設定し、一定時間ごとに切り替えることができます。
- 壁紙設定を行うと、壁紙設定の画面表示（☞P7-6）が「しない」に設定されていた場合でも自動的に「する」に切り替わります。

画像を待受画面の背景に設定する（待ち受け設定）

JPEG／PNG形式の静止画ファイルを、メインディスプレイの待受画面の背景に設定することができます。

1 **設定するファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニューから「待ち受け設定」を選択し、📖（選択）を押す**

確認画面が表示されます。

2 ◎（はい）を押す

設定の完了をお知らせします。

待ち受け設定を行うと、待ち受け表示（☞P7-3）の背景画像が「OFF」になっている場合でも自動的に「ON」に切り替わります。

画像をイメージウィンドウの壁紙に設定する（背面壁紙設定）

JPEG／PNG形式の静止画ファイルや、モーションアニメおよびMNG形式のアニメーションは、イメージウィンドウの壁紙（最大8件）に設定することができます。

1 設定するファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニューから「背面壁紙設定」を選択し、📖（選択）を押す

2 ◎で番号を選択し、📖（決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

イメージウィンドウの壁紙を見る操作（☞P7-26）を行ったときには、設定した壁紙が番号順に表示されます。

背面壁紙設定を行うと、背面表示（☞P7-16）が「OFF」に設定されていた場合でも自動的に「ON」に切り替わります。

画像を待受中のイメージウィンドウに表示する（背面待ち受け設定）

JPEG／PNG形式の静止画は、待受中のイメージウィンドウのイメージ（背景画像）に設定することができます。

1 設定するファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニューから「背面待ち受け設定」を選択し、📖（選択）を押す

確認画面が表示されます。

2 ◎（はい）を押す

設定の完了をお知らせします。

背面待ち受け設定を行うと、背面表示（☞P7-16）が「OFF」に設定されていた場合でも自動的に「ON」に切り替わります。

画像をマイキャラクターに設定する（マイキャラクター）

JPEG／PNG形式の静止画ファイルや、モーションアニメおよびMNG形式のアニメーションは、マイキャラクターに設定することができます。着信／ウェイクアップ／シャットダウン／通話終了のいずれのイラストとして表示させるかを選択して設定します。

1 **設定するファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニューから「マイキャラクター」を選択し、(選択) を押す**

2 **で項目を選択し、(決定) を押す**

設定の完了をお知らせします。

通話終了イラストに画像ファイルを設定すると、マイキャラクター（☞P7-9）で「OFF」に設定されていた場合でも自動的に設定が「ON」に変わります。

メロディを着信音パターンに設定する（着信音パターン）

自作メロディ／SMD／SMAF形式のファイルを着信音パターンに設定することができます。通常着信やメール着信などのうち、どの項目の着信音パターンにするかを選択して設定します。

1 **設定するファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニューから「着信音パターン」を選択し、(選択) を押す**

2 **で項目を選択し、(決定) を押す**

設定の完了をお知らせします。

ファイルによっては着信音パターンに設定できない場合があります。

メロディを効果音に設定する（効果音設定）

自作メロディ／SMD／SMAF形式のメロディファイルを効果音に設定することができます。ウェイクアップ音やシャットダウン音などのうち、どの項目の効果音にするかを選択して設定します。

1 設定するファイルを選択／再生して、一覧／再生画面のサブメニュー／メニューから「効果音設定」を選択し、（選択）を押す

2 で項目を選択し、（決定）を押す

設定の完了をお知らせします。

ファイルによっては効果音に設定できない場合があります。

アドレスを登録する

選択中のHTML／MMLファイルのアドレスを登録できます。登録先には、お気に入り／メッセージフォルダ／ブックマーク／ホームが指定できます。

例：お気に入りに登録する場合

1 HTML／MMLファイルを選択して、一覧画面のサブメニューから「アドレス登録」を選択し、（選択）を押す

2 で「お気に入り」を選択し、（選択）を押す

お気に入りの登録画面が表示されます。

以降の操作については『Vodafone live!編』を参照してください。

添付ファイルを操作する

vMessage／EML／マルチメディアメモファイルの再生画面で添付ファイルを選択し、メニューを使って再生や保存などの操作が行えます。

添付されているメロディファイルを再生する

1　再生画面で自作メロディ（マルチメディアメモの場合のみ）／SMD／SMAF ファイルを選択し、メニューから「BGM 演奏」を選択して（選択）を押す

メロディが再生されます。

- マナーモードが設定されているときには音は鳴りません。
- 添付ファイルの再生画面にさらに添付されたファイルの再生はできません。

2　再生を終了するときは、メニューから「BGM 停止」を選択して（選択）を押す

添付ファイルを表示する

1　再生画面で添付ファイルを選択し、メニューから「表示」を選択して（選択）を押す

添付ファイルが表示されます。

例：vMessageの場合

添付ファイルの情報を表示する（添付ファイルプロパティ）

1　再生画面で添付ファイルを選択し、メニューから「添付ファイルプロパティ」を選択して（選択）を押す

ファイル情報が表示されます。

（切替）を押すと、ファイル形式などの表示に切り替わります。

添付ファイルをコピーする（添付ファイルコピー）

選択した添付ファイルをコピーして、フォルダの中やメール、マルチメディアメモなどにペーストすることができます。

1 **再生画面で添付ファイルを選択し、メニューから「添付ファイルコピー」を選択して（選択）を押す**

コピーの完了をお知らせします。

コピーしたファイルは、他のファイルをコピーするか、電源を切るか、オールリセット（☞P9-10）を行うまで繰り返しペーストできます。

データフォルダに保存する（添付ファイル登録）

選択した添付ファイルを独立したファイルとしてデータフォルダに保存することができます。ファイルは、自動的に該当するフォルダに保存されます（☞P11-3）。

1 **再生画面で添付ファイルを選択し、メニューから「添付ファイル登録」を選択して（選択）を押す**

保存の完了をお知らせします。

再生画面を操作する

リンク先に接続する

再生画面上のリンク文字（破線のアンダーラインが引かれた項目）を使ってリンク先のサイトへ接続したり、電話をかけたり、メールを送ったりすることができます。リンク文字になる条件はメールのメッセージ内の電話番号やアドレスと同じです（「メッセージ内の電話番号やE-mailアドレスを利用する」（☞『Vodafone live!編』））。

1 **再生画面でリンク文字を選択し、メニューから「リンク」を選択して**
（選択）を押す

リンク先への接続確認画面が表示されます。
以降の操作は「メッセージ内の電話番号やE-mailアドレスを利用する」の操作3以降（☞『Vodafone live!編』）を参照してください。

添付ファイルの再生画面上のリンク文字からはリンク先へ接続できません。

再生画面の文字をコピーする（文字コピー）

再生画面の文字をコピーすることができます。コピーした文字は、文字入力画面に繰り返しペーストすることができます。

1 **再生画面のメニューから「文字コピー」を選択して（選択）を押す**

コピー範囲の始点を指定する画面が表示されます。

2 **コピー範囲を指定する**

指定された範囲がコピーされます。

- ここでのコピー範囲指定は 1 行単位になります。
- 「範囲を指定するには」（☞P3-19）

入力画面でのペースト操作については、「文字を複写／移動する」（☞P3-20）を参照してください。

再生画面の文字をライブラリに登録する（ライブラリ登録）

繰り返し使えそうな再生画面の文字を、ライブラリに登録することができます。

1 **再生画面のメニューから「ライブラリ登録」を選択して（選択）を押す**

登録範囲の始点を指定する画面が表示されます。

2 **範囲を指定し、ライブラリに登録する**

登録の完了をお知らせします。

- ここでの登録範囲は 1 行単位になります。
- 「範囲を指定するには」（☞P3-19）
- 「文字をライブラリに登録する」（☞P3-21）

再生中のvMessage／EMLファイルの情報を確認する（メール情報）

再生中のvMessage／EMLファイルのメール情報を確認することができます。

1 再生画面のメニューから「メール情報」を選択し、 **（選択）を押す**

情報が表示されます。

補足
- vMessage／EMLファイルは、E-mailなどを保存するときに使用するファイル形式です。
- 「vシリーズのファイルとは」（☞P11-47）

再生画面の文字タイプを変更する（文字タイプ変更）

vMessage／EMLの再生画面の表示中に文字タイプを変えることができます。お買い上げ時は「自動」に設定されています。

1 再生画面のメニューから「文字タイプ変更」を選択し、（選択）を押す

2 **で文字タイプを選択し、（選択）を押す**

文字タイプの変更をお知らせします。

補足
文字タイプは、再生画面を終了するとお買い上げ時の設定に戻ります。

再生画面の文字サイズを変更する（文字サイズ変更）

再生画面の文字サイズを変えることができます。お買い上げ時は「標準」に設定されています。

1 **再生画面のメニューから「文字サイズ変更」を選択し、(選択) を押す**

2 **でサイズを選択し、(選択) を押す**

文字サイズが変更されます。

画面のスクロール方法を変更する（画面スクロール設定）

再生画面でを押したときの画面のスクロール量を変えることができます。お買い上げ時は、を押すごとに 1 行ずつスクロールする「1 行」に設定されています。

1 **再生画面のメニューから「画面スクロール設定」を選択し、(選択) を押す**

2 **でスクロール量を選択し、(選択) を押す**

スクロール量が変更されます。

11 データの管理

vシリーズのファイルを利用する

受信してデータフォルダに保存したvシリーズのファイルを、V601Nの各種機能のデータに取り込むことができます。また、V601Nの各種機能のデータをvシリーズのファイルに変換することができます。変換したファイルは、スーパーメールや赤外線通信で転送することにより、他のボーダフォン携帯電話やパソコン、PDAなどで利用できます。

vシリーズのファイルとは

「vシリーズのファイル」とは、V601Nのデータをスーパーメール対応機種や赤外線転送対応機種、パソコンなどとの間でやりとりし、相互で利用できるようにしたファイル（vCard、vCalendar、vMessage、vBookmark、vNote※）の総称です。vシリーズのファイルを利用すると、他のボーダフォン携帯電話やパソコンで作成したメモリダイヤルなどのデータをV601Nに取り込んだり、V601Nのメモリダイヤルをパソコンで管理することができます。

※ vNoteは、テキストメモ、マルチメディアメモと同様にメモ作成（☞P10-52）で操作できます。他のvシリーズのファイルのような取り込み、作成の操作とは異なります。

- パソコンなどでvシリーズのファイルを利用するには、vシリーズのファイルに対応したソフトウェアが必要です。また、データの内容によっては、ボーダフォン携帯電話に取り込めない場合や、パソコンなどで利用できない場合があります。
- 他の機器から入手、あるいは受信したvシリーズのファイルは、内容によってはV601Nで使用できない場合があります。

vシリーズのファイルを取り込む

データフォルダで選択中または再生中のvシリーズのファイルを、メモリダイヤルやブックマーク、メール、スケジュール、アクションアイテム（AI）に取り込みます。

例：vCardファイルをメモリダイヤルに取り込む場合

1 データフォルダを呼び出す

① 待受画面で◎（　）を押す

② ◎で DATA 5（データフォルダ）を選択し、

◎（選択）を押す

データフォルダの一覧画面が表示されます。

2 目的のフォルダから目的のファイルを選択し、(選択)を押す

選択したファイルが再生されます。

名前：
山田太郎
フリガナ：
ヤマダタロウ
電話：
TEL:03123XXXX1
電話：
TEL:090392XXXX1
メールアドレス：
taro-yamada@abcde
メニュー

3 (メニュー)を押し、再生画面のメニューから「メモリダイヤルへ登録」を選択して(選択)を押す

- vBookmarkを取り込むときは「ブックマークへ登録」、vMessageは「メールへ登録」、vCalendarを取り込むときは「スケジュール／AIへ登録」を選択します。
- 一覧画面から操作するときは◎でファイルを選択して(サブメニュー)を押し、一覧画面のサブメニューから「メモリダイヤルへ登録」を選択して(選択)を押します。

4 (はい)を押す

登録の完了をお知らせします。

- vCard、vBookmark、vMessage、vCalendarのファイルに複数のデータが含まれていたときには、別々で複数件に登録されます。
- 登録を中止するときは(いいえ)を押します。

登録件数の空きがないときには登録できません。ウェブ／メールの各設定がOFFのときにはvBookmark／vMessageを登録できません。「ボーダフォンライブ！の各機能を使えないようにする」（☞『Vodafone live!編』）

データから v シリーズのファイルを作成する

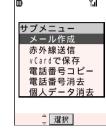
メモリダイヤルやスケジュール、アクションアイテム、メールから、vシリーズのファイルを作成することができます。vシリーズの形式に変換したデータは、データフォルダ内の etc フォルダに保存されます。

例：メモリダイヤルをvCard形式で保存する場合

1 データを呼び出し、◎（サブメニュー）を押す

サブメニューが表示されます。

呼び出しかたは各操作ページを参照してください。メモリダイヤル（☞P4-17～4-21）、スケジュール（☞P10-23）、アクションアイテム（☞Ｐ１０-３８）、オーナー情報（☞P10-82）、メール（☞『Vodafone live!編』）。

2 ◎で「vCard で保存」を選択し、📖（選択）を押す

確認画面が表示されます。

スケジュール／アクションアイテム一覧画面では「vCalendarで保存」、メールの一覧／内容画面では「vMessage で保存」を選択します。

3 ◎（はい）を押す

保存の完了をお知らせします。

変換したデータのファイル名について

v シリーズの形式に変換したデータは、自動的に番号を付けて保存されます。番号（ファイル名）は次のような規則で付けられます。
下記規則以外にもデータフォルダのファイル管理上「~ UU」（UU は 0 0 ～ 9 9、aa ～ zz の英数字）がファイル名に付加されることがあります。

V シリーズの形式	ファイル名形式
vCard （メモリダイヤル／オーナー情報から変換）	［名前］~ UU.vcf、または名前なし~ UU.vcf（例：山田太郎 .vcf） ・［名前］：メモリダイヤル／オーナー情報に登録されている名前 ・UU　：0 0 ～ 9 9、aa ～ zz の数字、英字（同名のファイルがあるときのみ付加）
vCalendar （スケジュール／アクションアイテムから変換）	［件名］~ UU.vcs、またはタイトルなし~ UU.vcs（例：４月役員会議 .vcs） ・［件名］：スケジュール／アクションアイテムの件名（全角最大 8 文字／半角最大 16 文字） ・UU　：0 0 ～ 9 9、aa ～ zz の数字、英字（同名のファイルがあるときのみ付加）
vMessage （メールから変換）	YYMMDD~ UU.vmg、または日時なし~ UU.vmg（例：040315.vmg） ・YYMMDD ：メール送信／受信／保存年月日 ・UU　：0 0 ～ 9 9、aa ～ zz の数字、英字（同名のファイルがあるときのみ付加）

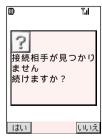
画像やメモリダイヤルを赤外線通信でやりとりする

V601Nどうしなど赤外線通信対応機器との間で、メモリダイヤルやオーナー情報のほか、静止画／アニメーション／ムービー／スケジュール／アクションアイテム／vCard／vCalendarのデータを1件ずつ送受信することができます。ただし、モーションアニメ、アクションビューは赤外線送信できません。

赤外線通信を行うときには

画像やメモリダイヤルを赤外線通信でやりとりするときや、赤外線全件転送（☞P11-53）を行うときには、次のことに注意してください。

- 赤外線ポートが平行に向き合うようにし、20cm以内に近づけてください。
- 安定した場所に置き、データの送受信が終わるまで動かさないでください。
- 赤外線装置の近くや直射日光があたる場所、蛍光灯の真下などでは正常に通信できないことがあります。
- 赤外線通信中はオフライン状態になるため、通話やボーダフォンライブ！などの利用はできません。

- 通信異常／通信中断のメッセージが表示されたときは
  正常に通信できなかったり中断したときには、「接続相手が見つかりません　続けますか？」「認証できませんでした　続けますか？」「中断されました　続けますか？」のいずれかのメッセージが表示されます。
  ・通信をやり直すときは◎（はい）を押します。
  ・通信を中止するときは✉（いいえ）を押します。

- 通信失敗のメッセージが表示されたときは
  通信が失敗したときには、「通信できませんでした」というメッセージが表示されます。ボーダフォン携帯電話同士を近づけて、もう一度通信してください。
  また、受信側に問題がある場合は「送信先にデータを登録できません」「送信先のデータがいっぱいです」「メモリダイヤルがいっぱいです　通信終了しました」というメッセージが表示されます。
- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。
- V601Nの赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手機器がIrMC1.1に準拠していてもアプリケーションによっては送受信できないデータがあります。

11 データの管理

データを赤外線送信する

例：メモリダイヤルを赤外線送信する場合

1 送信するデータを呼び出し、(サブメニュー) を押す

サブメニューが表示されます。

呼び出しかたは各操作ページを参照してください。
静止画／アニメーション／ムービー（☞P11-4）、メモリダイヤル（☞P4-17～4-21）、スケジュール（☞P10-23）、アクションアイテム（☞P10-38）、オーナー情報（☞P10-82）、vCard／vCalendar（☞P11-4）。

2 で「赤外線送信」を選択し、(選択) を押す

確認画面が表示されます。

3 (はい) を押す

送信の完了をお知らせします。

- シークレット設定されたスケジュール、アクションアイテムをシークレットモードを設定していないときに送信する場合には、操作用暗証番号の入力が必要です。
- 相手側のボーダフォン携帯電話を赤外線受信状態にしておいてください。「データを受信して保存する」（☞P11-52）

データを受信して保存する

赤外線受信操作画面を表示させ、データが送信されてくるのを待ちます。静止画／アニメーション／ムービーのデータは、受信後、自動的に保存が行われます。メモリダイヤル／オーナー情報／スケジュール／アクションアイテム／vCard／vCalendarのデータを受信したときは、受信後の操作が必要です。

例：送信されてくるデータをメモリダイヤルに取り込む場合

1 「赤外線受信」を呼び出す

① (Menu) を押す

② で (ツールBOX) を選択し、(選択) を押す

③ で (赤外線受信) を選択し、(選択) を押す

赤外線受信操作画面が表示されます。

2 データを受信すると、データ保存中の画面が表示されたあと、確認メッセージが表示される

静止画／アニメーション／ムービーのデータを受信したときは、データ保存中の画面が表示されたあと、保存の完了をお知らせします。

3 (はい) を押す

登録の完了をお知らせします。

- メモリダイヤルへの取り込みを行わないときは (いいえ) を押します。
- データはvCardファイルとしてデータフォルダのetcフォルダに保存されます。

- メモリダイヤル／オーナー情報／vCardのデータは、空いている最も小さいメモリNo.に登録されます。
- 静止画／アニメーション／ムービー／vCalendarのデータは、データフォルダ内の該当のフォルダに保存されます。

メモリダイヤルやスケジュールをまとめて赤外線転送する（赤外線全件転送）

V601Nどうしで、メモリダイヤル／スケジュール／アクションアイテム／オーナー情報のデータをまとめて送受信することができます。赤外線全件転送を行うには、送受信する双方のV601Nでそれぞれの操作用暗証番号（☞P1-20）と、共通の認証パスワードを入力する必要があります。

1 「赤外線全件転送」を呼び出す

① ◎（Menu）を押す
② ◎で（各種設定）を選択し、📖（選択）を押す
③ ◎でetc.（その他）を選択し、📖（選択）を押す
④ ◎で「赤外線全件転送」を選択し、📖（選択）を押す

2 📖（実行）を押す

3 操作用暗証番号を入力する

入力した番号は「*」で表示されます。

- 「送信する」（☞P11-54）
- 「受信する」（☞P11-55）

送信する

メモリダイヤル、スケジュール、アクションアイテムのいずれかを選択して、全件まとめて送信します。

4 で「送信」を選択し、(選択)を押す

5 **認証パスワードを入力する**

受信側と同じ 4 桁の数字を入力します。
入力したパスワードは「*」で表示されます。

認証パスワードとは赤外線全件転送を行うときに受信側との認証を行うための 4 桁の数字です。送信側、受信側で同じ数字を入力してください。

6 で全件転送するデータを選択し、(選択)を押す

確認画面が表示されます。

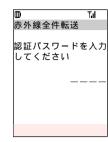
7 (はい)を押す

送信の完了をお知らせします。

相手側のボーダフォン携帯電話を赤外線受信状態にしておいてください。「受信する」(☞P11-55)

受信する

メモリダイヤル／スケジュール／アクションアイテム／オーナー情報を全件受信すると、受信側のメモリダイヤル／スケジュール／アクションアイテム／オーナー情報のデータはすべて消去され、上書きされます。ただし、オーナー情報の自局電話番号は消去、上書きされません。

4 **で「受信」を選択し、****（選択）を押す**

5 認証パスワードを入力する

送信側と同じ 4 桁の数字を入力します。
入力したパスワードは「＊」で表示されます。
確認画面が表示されます。

認証パスワードとは赤外線全件転送を行うときに送信側との認証を行うための4桁の数字です。送信側、受信側で同じ数字を入力してください。

6 **（はい）を押す**

登録の完了をお知らせします。

スケジュールやアクションアイテムを受信するには、あらかじめ日付時刻設定（☞P2-4）をしておく必要があります。

受信したデータはメモリダイヤル／スケジュール／アクションアイテム／オーナー情報の機能に取り込まれ、データフォルダには保存されません。

メディアポッド

メロディを聞く

メディアポッドを使って、内蔵メロディやデータフォルダに保存されているメロディファイルを聞くことができます。ただし、メディアポッドではサウンドの編集は行えません。

1 「メディアポッド」を呼び出す

① (Menu) を押す

② で (メディアポッド) を選択し、 (選択) を押す

2 (実行) を押す

- 「内蔵メロディを聞く」(☞P12-2)
- 「自作メロディやダウンロードしたメロディを聞く」(☞P12-3)

内蔵メロディを聞く

着信音パターンに使用できる内蔵メロディのうち、「着信音 1」および「着信音 2」をのぞく 18 件のメロディ演奏を聞くことができます。

3 で「内蔵メロディ演奏」を選択し、 (選択) を押す

内蔵メロディ一覧が表示されます。

4 **でメロディを選択し、(選択)を押す**

メロディ演奏中のアニメーションが表示され、メロディが繰り返し演奏されます。

補足
- 演奏中に( )または( )を押すと、前後の内蔵メロディが演奏されます。
- メロディは通常着信の音量（☞P8-3）で再生されます。ただし通常着信の音量を「ステップトーン」や「サイレント」に設定しているとき、または「マナーモード設定中です　音を鳴らしますか？」という確認の画面で(はい)を押したときは、最小の音量で演奏され、演奏中にを押すと音量調整が行えます。調整した音量は、メディアポッドを終了するまで保持されます。「…音を鳴らしますか？」という画面で(いいえ)を押すと、メロディ演奏中のアニメーションは表示されますが、音は鳴りません。
- メロディの演奏中には、着信イルミネーション（☞P8-16）の通常着信の設定に合わせて、着信ランプが点滅します。また、バイブレータ設定（☞P8-9）の通常着信の設定が「SMAF連動」になっているときにはバイブレータ連動のSMAF演奏中にバイブレータが振動します。

5 **一覧画面に戻るときは、CLRを押す**

内蔵メロディの演奏は、着信音パターン選択（☞P8-5）から聞くこともできます。

自作メロディやダウンロードしたメロディを聞く

メディアポッドのメニューから「ユーザメロディ演奏」を選択すると、データフォルダに保存されているファイルの中からSMD、SMAF、自作メロディのファイルが検出され、一覧表示されます。画像データ付きメロディの演奏中には、画像も表示されます。

3 **で「ユーザメロディ演奏」を選択し、(選択)を押す**

ユーザメロディ一覧画面

ユーザメロディ一覧が表示されます。

補足

「一覧画面での各種操作」（☞P12-8）

12 メディアポッド

4 でメロディを選択し、（選択）を押す

メロディ演奏中のアニメーションまたはメロディに付いている画像が表示され、メロディが繰り返し演奏されます。

例：画像なしのメロディ演奏中の場合

例：画像付きのメロディ演奏中の場合

- 演奏中のディスプレイの最下段にまたはが表示されているときはまたはを押すと、前後のメロディが演奏されます。
- メロディは通常着信の音量（☞P8-3）で再生されます。ただし、通常着信の音量を「ステップトーン」や「サイレント」に設定しているとき、または「マナーモード設定中です　音を鳴らしますか？」という確認の画面で（はい）を押したときは、最小の音量で演奏され、演奏中にを押すと音量調整が行えます。調整した音量は、メディアポッドを終了するまで保持されます。「…音を鳴らしますか？」という画面で（いいえ）を押すと、メロディ演奏中のアニメーションは表示されますが、音は鳴りません。
- メロディの演奏中には、着信イルミネーション（☞P8-16）の通常着信の設定に合わせて、着信ランプが点滅します。また、バイブレータ設定（☞P8-9）の通常着信の設定が「SMAF連動」になっているときにはバイブレータ連動のSMAF演奏中にバイブレータが振動します。

5 一覧画面に戻るときは、を押す

自作メロディやSMDは、メロディ作成（☞P10-66）からでも演奏できます。また、データフォルダ内のメロディファイルは、着信音パターン選択（☞P8-5）やデータフォルダ（☞P11-4）からでも演奏が聞けます。データフォルダから操作する場合は、名前の変更や編集など、さまざまな操作が行えます。

画像を見る

メディアポッドを使って、データフォルダに保存されている静止画や動画、アニメーションを見ることができます。

1 「メディアポッド」を呼び出す

① ◯（Menu）を押す

② ◯で（メディアポッド）を選択し、（選択）を押す

2 （実行）を押す

3 ◯で「画像表示」を選択し、（選択）を押す

画像一覧が表示されます。

「一覧画面での各種操作」（☞P12-8）

画像一覧画面

4 ◯で画像を選択し、（選択）を押す

画像が表示されます。動画やアニメーションは繰り返し再生されます。

- 画像表示中のディスプレイの最下段に［←］または［→］が表示されているときは◯または◯を押すと、前後の画像が表示されます。
- 音声付きの画像は通常着信の音量（☞P8-3）で再生されます。ただし、通常着信の音量を「ステップトーン」や「サイレント」に設定しているとき、または「マナーモード設定中です　音を鳴らしますか？」という確認の画面で◯（はい）を押したときには、音声付きの画像は最小の音量で再生され、再生中に◯を押すと音量調整が行えます。調整した音量は、メディアポッドを終了するまで保持されます。「…音を鳴らしますか？」という画面で◯（いいえ）を押すと、音声は鳴りません。

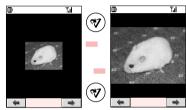
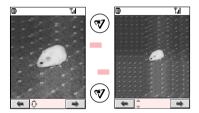
例：Nancy形式の動画再生中の場合

12　メディアポッド

5　一覧画面に戻るときは、CLRを押す

データフォルダ内の画像ファイルは、モバイルカメラ（☞P6-24）やデータフォルダ（☞P11-4）からでも表示できます。データフォルダから操作する場合は、名前の変更や編集など、さまざまな操作が行えます。

画像のリサイズ操作について

静止画／アニメーション／動画ファイル再生中に、画像の表示サイズ変更が行えます。を押すと、縦横比率を維持したまま横幅160ドットになるようにサイズ調整され、拡大表示されます。横幅160ドットを超える静止画／アニメーション画像の場合、縮小表示されます。再度を押すと、もとのサイズに戻ります。切り替えた表示サイズは、メディアポッドを終了しても保持されます。

横幅／ 160 ドット未満の画像のリサイズ（拡大）

横幅／ 160 ドットを超える画像のリサイズ（縮小）

- 画像によってはリサイズできないものもあります。
- サイズの異なる静止画から作成されたモーションアニメは、各コマが横幅160ドットにリサイズされます。
- メディアポッドでのリサイズの設定は、データフォルダでも適用されます。

MPEG-4 ファイル再生中の操作について

MPEG-4 形式のファイル（拡張子「.3gp」）は、再生中に次の操作が行えます。

- ◯を押すごとに一時停止／再生
- 一時停止中に◯（⏮）を押すと動画の先頭に戻る
- 一時停止中に◯（▶）を押すごとに次の 1 コマを表示する
- 一時停止中に◯（▶）を長く（1 秒以上）押すとコマを飛ばす
- 再生中／一時停止中に◯を押すごとにサイズが変更される（☞P12-6）

MPEG-4 の再生画面

テロップ付きの MPEG-4 の再生画面

12

メディアアポッド

一覧画面での各種操作

ユーザメロディと画像の一覧画面からは、ファイル情報（プロパティ）の確認や、一覧の並べ替えが行えます。また、ユーザメロディ一覧をファイル名表示／タイトル表示に切り替えたり、画像をスライドショーで表示させることができます。

1 **ユーザメロディ一覧画面／画像一覧画面で◎（サブメニュー）を押す**

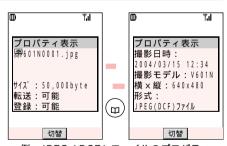
一覧のサブメニューが表示されます。

項　目	概　要	参照ページ
プロパティ	ファイルサイズや保存日時、形式などの情報を表示する	12-8
並び替え	一覧のファイルを、保存日時の新しい順／古い順に並べて表示する。またはファイル拡張子のアルファベットを基準に、昇順／降順に並べて表示する	12-9
ファイル名表示※1／タイトル表示※1	一覧の表示内容を切り替える	12-10
スライドショー開始※2	画像一覧の画像を次々に表示する	12-10

※1：ユーザメロディ一覧でのみ表示されます。
※2：画像一覧でのみ表示されます。

2 **◎で項目を選択し、📖（選択）を押す**

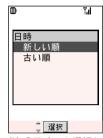
プロパティを確認する

1 **一覧のサブメニューから「プロパティ」を選択し、📖（選択）を押す**

プロパティが表示されます。

例：JPEG（DCF）ファイルのプロパティ

ファイルを並べ替える

1 **一覧のサブメニューから「並び替え」を選択し、(選択) を押す**

2 **で並び替えの基準を選択し、(選択)を押す**

例：「日時」を選択した場合

3 **で並べる順を選択し、(選択) を押す**

選択した順番で並べた一覧画面が表示されます。

「日時」で並べ替えた場合には、日時が分単位で管理されているため、保存日時の順番通りにならないことがあります。

メロディー一覧の表示内容を切り替える

1 **一覧のサブメニューから「ファイル名表示」／「タイトル表示」を選択し、(選択) を押す**

表示内容が切り替わった一覧画面が表示されます。

タイトル表示の一覧画面

ファイル名表示の一覧画面

画像をスライドショーで見る

1 **一覧のサブメニューから「スライドショー開始」を選択し、(選択) を押す**

画像一覧で選択されていたファイルから順に、画像の表示が開始されます。

- 静止画は、3秒間表示して次の画像に切り替わります。動画とアニメーションは、再生したあと最後の画像を 3 秒間表示して、次の画像に切り替わります。
- ディスプレイの最下段に ⬅ または ➡ が表示されているときは または を押すと、前後の画像に切り替わります。
- スライドショー中は音量調整、画像のリサイズ、MPEG-4の一時停止が行えません。

2 **スライドショーを終了するときは、(終了) または CLR を押す**

一覧画面に戻ります。

その他の機能

電話に出られないときに相手からのメッセージを録音する(簡易留守録)

電話に出られないときは簡易留守録を設定しておくと、相手のメッセージを１件につき約20秒間（5件まで）録音することができます。また、着信から簡易留守録が起動するまでの時間を設定することもできます。
簡易留守録を転送電話サービスまたは留守番電話サービスと同時にご利用になる場合は、設定されている呼び出し時間の短い機能が優先されます。
お買い上げ時は、次のように設定されています。

- 簡易留守録：「OFF」
- 移行時間：「12秒」

簡易留守録を設定する

例：「ON」に設定する場合

1 「簡易留守録設定」を呼び出す

①（Menu）を押す
②で（各種設定）を選択し、（選択）を押す
③で（録音／再生）を選択し、（選択）を押す
④で「簡易留守録設定」を選択し、（選択）を押す
現在の設定が表示されます。

2 （設定）を押す

- 「簡易留守録のON／OFFを設定する」（☞P13-2）
- 「着信から簡易留守録応答を開始するまでの時間を設定する」（☞P13-3）

簡易留守録のON／OFFを設定する

3 で「簡易留守録」を選択し、（選択）を押す

確認画面が表示されます。

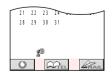
4 （はい）を押す

設定の完了をお知らせします。

簡易留守録を解除するときは（いいえ）を押します。

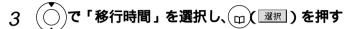
5 を押す

待受画面に戻ります。簡易留守録が設定されているときは、録音件数が表示されます。

13 その他の機能

5件とも録音メッセージが消去されずに残っていると、簡易留守録を設定していても通常の着信動作となり、録音されません。録音メッセージを消去してください（☞P13-7）。

- かかってきた電話にその場の操作で簡易留守録応答することができます（☞P2-13）。
- マナーモードが設定されているときは、マナーモード設定での簡易留守録の設定（☞P8-13）が優先されます。

着信から簡易留守録応答を開始するまでの時間を設定する（移行時間）

3 で「移行時間」を選択し、（選択）を押す

4 秒数（00～60）を入力し、（決定）を押す

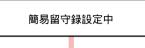
設定の完了をお知らせします。

入力を間違えたときはでカーソルを訂正したい数字の上に移動し、もう一度入力し直してください。

13 その他の機能

簡易留守録が設定されているときに電話がかかってくると

簡易留守録が設定されているときに電話がかかってくると、次の手順でV601Nが自動的に応答し、相手のメッセージを録音します。また、録音後の画面で（PWR/HLD）を押すと、録音件数を確認することができます。

簡易留守録設定中

着信

移行時間で設定した時間が経過すると自動的に応答する

相手には「ただいま電話に出られません。ピー音のあとにご伝言を約20秒以内でお預かりします」というアナウンスが流れます。

相手のメッセージの録音を開始する

約20秒後に「ピッ、ピッ」と鳴って録音を終了し、不在着信の画面が表示される

（▲）を押す

〈折り畳んでいるとき〉

を押す

待受画面に戻り、右のように表示されます。この画面から簡単な操作で録音状況を確認することができます（☞P1-10）。

録音件数

着信中や応答メッセージ再生中、相手のメッセージ録音中でも、（☎）を押すと電話を受けることができます。

簡易留守録を再生する

録音メッセージを再生後、すぐに消去の操作を行うことができます（簡易留守録再生）。

例：留守録を再生後に1件消去する場合

1 「簡易留守録再生」を呼び出す

①（Menu）を押す
②で（各種設定）を選択し、（選択）を押す
③で（録音／再生）を選択し、（選択）を押す
④で「簡易留守録再生」を選択し、（選択）を押す
現在の録音状況が表示されます。

録音状況を確認していない未再生の簡易留守録のメッセージは、待受画面からすぐに呼び出すことができます（☞P1-10）。

2 （実行）を押す

簡易留守録選択画面が表示されます。

簡易留守録選択画面

3 ◯で再生する留守録を選択し、📖（再生）を押す

留守録が再生されます。再生が終了すると再生終了音が鳴ります。

- 再生を中止するときは📖（停止）を押します。
- 再生中に✍（消去）を押して、消去の操作に移ることもできます。

4 ◎（１件）を押す

消去の完了をお知らせします。

留守録をすべて消去するときは✍（すべて）を押します。

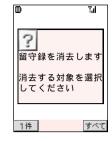
５件とも録音メッセージが消去されずに残っていると、簡易留守録を設定していても通常の着信動作となり、録音されません。録音メッセージを再生したあとは、なるべく早めに消去してください。

V601Nを開いているときの待受画面で▼を押して再生することもできます。その場合、再生中に▼を押すと、録音内容を先頭から再生し、録音が複数件ある場合は、留守録１→２→３→４→５の順に再生画面が切り替わります。また、音声メモまたはマイボイスメモも録音されている場合、▼を押すたびに簡易留守録（１→２→３→４→５）→音声メモまたはマイボイスメモの順に切り替わります。

簡易留守録を消去する

例：留守録を1件消去する場合

1　簡易留守録選択画面で消去する留守録を選択し、を押す

すべて消去するときは、どの留守録を選択しても行うことができます。

2　（1件）を押す

消去の完了をお知らせします。

留守録をすべて消去するときは（すべて）を押します。

電波が弱いときにアラームで知らせる(通話品質アラーム)

通話中、電波の状態が悪く、途中で電話が切れてしまう恐れのあるときに、アラーム音でお知らせするようにすることができます。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

例:「ON」に設定する場合

1 「通話品質アラーム」を呼び出す

① (Menu)を押す
② で (各種設定)を選択し、(選択)を押す
③ で (その他)を選択し、(選択)を押す

④ で「通話品質アラーム」を選択し、(選択)を押す
現在の設定が表示されます。

2 (ON)を押す

設定の完了をお知らせします。

補足 通話品質アラームを鳴らさないようにするときは(OFF)を押します。

注意 急に電波の状態が悪くなった場合は、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

補足 通話品質アラームの音は通話中の相手には聞こえません。

V601Nを折り畳んだときの動作を設定する(クローズ終話)

V601Nを折り畳むことによって、PWR HLDを押したときと同じ動作をさせることができます。「ON」のときは、通話中にV601Nを折り畳むと、通話を切ることができます。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

例：「ON」に設定する場合

1 「クローズ終話」を呼び出す

① (Menu) を押す
② で (各種設定) を選択し、(選択) を押す
③ で (その他) を選択し、(選択) を押す
④ で「クローズ終話」を選択し、(選択) を押す
現在の設定が表示されます。

2 (ON) を押す

設定の完了をお知らせします。

補足 クローズ終話を無効にするときは (OFF) を押します。

補足 「OFF」に設定しているときは、通話中にV601Nを折り畳むと、保留の状態になり、こちらの声が相手に聞こえなくなります。もう一度開くと通話できます。また、イヤホンマイク（付属品／別売）接続時はV601Nを折り畳んだままでも通話できます。

プッシュトーンを送る(プッシュトーン送出)

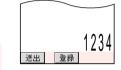
ポケットベルにメッセージを送ったり、ご自宅の留守番電話の遠隔操作や、各種プッシュホンサービスを利用するときなどに、V601Nからプッシュトーンを送ることができます。

通話中にダイヤルボタンを押して送る

例：「1234」を送る場合

1　通話中に、送りたい番号のダイヤルボタンを押す

押した番号に対応したプッシュトーンが送られます。

(送出)を押すと、送ったプッシュトーンがもう一度一括して送られてしまいますのでご注意ください。

送ることができるプッシュトーンは「0」〜「9」「＊」「＃」です。

メモリダイヤルに登録したプッシュトーンを送る

通話中に、送りたい内容をディスプレイに表示させ、送ることができます。送りたいプッシュトーンはあらかじめメモリダイヤルに登録しておくと便利です。

メモリダイヤルにプッシュトーンを登録する

あらかじめ送りたいプッシュトーンをメモリダイヤルに登録（☞P4-4）します。相手のアナウンスなどに従って指定されたタイミングでプッシュトーンを送る必要がある場合は、「P」（ポーズ）を入れて登録しておくと便利です。番号入力中に◯を押すと「P」が入ります。この「P」までが一区切りとして送られます。

例：銀行の残高照会のために、以下の内容を登録する場合
銀行のIDナンバー：5555　口座番号：8888

1　メモリダイヤルの電話番号を以下のように登録する

「5555P8888」

通話中にプッシュトーンを呼び出して送る

メモリダイヤルに登録したプッシュトーンのほか、ご自分の電話番号やアシストダイヤルを呼び出して送ることもできます。

1 通話中に、送りたい内容を呼び出す

呼び出しかた：「メモリダイヤルで電話をかける」（☞P4-17～4-21）
「ご自分の電話番号やメールアドレスを確認する」（☞P2-22）
「アシストダイヤルで電話をかける」（☞P10-87）

例：メモリダイヤルを呼び出したとき

2 ◎（サブメニュー）を押す

サブメニューが表示されます。

アシストダイヤルの内容を送るときは◎（送出）を押します。

3 ◎で「送出」を選択し、◎（選択）を押す

登録されている内容がまとめて送られます。

プッシュトーンに「P」（ポーズ）が含まれているときは、最初の「P」までが一区切りとして送出されます。次のプッシュトーンを送るときはもう一度◎（送出）を押します。

電波状態の悪い場所では、プッシュトーンをうまく送れない場合があります。

通話内容やご自分の声を録音する(音声メモ/マイボイスメモ)

通話中に相手の声を録音（音声メモ）したり、待受中にご自分の声を録音（マイボイスメモ）するなど、V601Nをメモ代わりに利用することができます。録音できるのはどちらか１件のみ、約20秒間です。

音声メモを録音する

1 通話中に(録音)を押す

録音開始音が鳴り、録音が開始されます。

録音中に(録音)を押すと、そこから新たに録音が開始されます。

2 録音を停止するときは(停止)またはCLRを押す

PWR HLDを押すと通話が切れてしまいます。

録音を停止しなかったときは、録音終了5秒前を知らせる終了予告音のあと、録音開始後約20秒で録音終了音が鳴って録音が終了します。

3 通話が終わったら、PWR HLDを押す

音声メモのイラストが表示されます。
さらにPWR HLDを押すと、イラストは消えますが、録音された音声メモは保存されています。

- 録音を開始すると、前回録音された音声メモまたはマイボイスメモは消去されます。
- 音声メモは、電源をOFFにしても消去されません。

マイボイスメモを録音する

1 「メモ選択」を呼び出す

① (Menu) を押す

② で (各種設定) を選択し、(選択) を押す

③ で (録音／再生) を選択し、(選択) を押す

④ で「メモ選択」を選択し、(選択) を押す

現在の録音状況が表示されます。

2
(録音) を押す

録音開始音が鳴り、録音が開始されます。

補足

録音中に(録音) を押すと、そこから新たに録音が開始されます。

3 録音を停止するときは(停止)または CLR を押す

マイボイスメモのイラストが表示されます。
さらに PWR HLD を押すと、イラストは消えますが、録音されたマイボイスメモは保存されています。

補足

録音を停止しなかったときは、録音終了５秒前を知らせる終了予告音のあと、録音開始後約２０秒で録音終了音が鳴って録音が終了します。

注意

- 録音を開始すると、前回録音されたマイボイスメモまたは音声メモは消去されます。
- マイボイスメモは、電源を OFF にしても消去されません。

音声メモ／マイボイスメモを再生する

例：音声メモ／マイボイスメモを再生後、消去をしない場合

1 「メモ選択」を呼び出す

① ◯(Menu) を押す
② ◯で (各種設定) を選択し、(選択) を押す
③ ◯で (録音／再生) を選択し、(選択) を押す
④ ◯で「メモ選択」を選択し、(選択) を押す
現在の録音状況が表示されます。

メモ選択画面

2 (再生) を押す

音声メモ／マイボイスメモが再生されます。再生が終了すると再生終了音が鳴り、確認画面が表示されます。

- 再生を中止するときは(停止) を押します。
- 再生中に(消去) を押して、消去の操作に移ることもできます。

音声メモが録音されている場合

3 (いいえ) を押す

操作 1 の画面に戻ります。

- 消去するときは(はい) を押します。
- 再生後に消去しなくても、次に音声メモまたはマイボイスメモの録音を開始すると同時に、前回の録音内容は消去されます。

V601Nを開いているときの待受画面でを押して再生することもできます。その場合、再生中にを押すと、録音内容を先頭から再生します。また、簡易留守録も録音されている場合、を押すたびに簡易留守録（1→2→3→4→5）→音声メモまたはマイボイスメモの順に切り替わります。

音声メモ／マイボイスメモを消去するには

音声メモ／マイボイスメモをメモ選択画面から消去することもできます。
① メモ選択画面で(消去) を押す
② (はい) を押す

よく使う機能をショートカットに登録する

よく使う機能をショートカットに登録しておくと、簡単な操作で呼び出すことができます（☞P1-17）。ショートカットには最大10件まで登録でき、特によく使う機能（1件）をダイレクト設定（☞P13-17）すると、Ⓥを長く（1秒以上）押すだけで、その機能を呼び出すことができます。

ショートカットに登録する

例：「着信音量設定」を登録する場合

1 Ⓥを押す

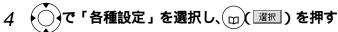
現在の登録内容が表示されます。

お買い上げ時はショートカットには「Java™ライブラリ」が登録されており、設定リセット（☞P9-9、13-19）を行っても消去されません。また、インストールJava™アプリが一時停止状態のときにショートカット画面を表示すると「Java™アプリ再開」「Java™アプリ終了」が、常駐Java™アプリが一時停止状態のときには「Java™アプリ再開」が表示されます（☞『Vodafone live!編』）。

2 ◎で機能を登録する番号を選択し、Ⓞ（ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ）を押す

サブメニューが表示されます。

3 ◎で「登録」を選択し、Ⓜ（選択）を押す

4 で「各種設定」を選択し、(選択) を押す

機能項目については、「メニューの流れ」（☞P1-18）を参照してください。

5 で「音／バイブ／ランプ」を選択し、(選択) を押す

6 で「着信音量設定」を選択し、(決定) を押す

確認画面が表示されます。

7 (はい) を押す

登録の完了をお知らせします。

すでに登録されている番号を選択したときは

操作 3 を行うと右の画面が表示されます。

- すでに登録されている機能に上書きするときは(はい)を押します。
- 登録を中止するときは(いいえ) を押します。

13 その他の機能

- ショートカットに登録できる機能は次のとおりです。

・各種設定	・モバイルカメラ
・TV	・リモコン
・メディアポッド	・ツール BOX
・ユーザデータ	・データフォルダショートカット
・バーコード	・メモリダイヤル
・ウェブ	・メール
・ステーション	・Java™
・データフォルダ	・ネットワーク設定

ただし、ウェブ、メール、ステーション、Java™ の各機能は、機能の設定が OFF のときには登録できません。「ボーダフォンライブ！の各機能を使えないようにする」(☞『Vodafone live!編』)
- ウェブ、メール、ステーション、Java™ の各設定が OFF のときにはショートカットで呼び出そうとしても呼び出せません。

特によく使う機能をダイレクト設定する

ダイレクト設定を行うと、(V)を長く（1 秒以上）押すだけで、その機能を呼び出すことができます。ダイレクト設定できるのは、登録されているショートカットのうちの 1 件だけです。
お買い上げ時は「Java™ ライブラリ」がダイレクト設定されています。

1 (V)を押す

現在の登録内容が表示されます。

2 (◯)でダイレクト設定する機能を選択し、(◯)（サブメニュー）を押す

サブメニューが表示されます。

3 (◯)で「ダイレクト設定」を選択し、(□)（選択）を押す

設定の完了をお知らせします。
ダイレクト設定された機能には1〜9、0が表示されます。

例：「着信音量設定」がダイレクト設定された場合

13 その他の機能

- ダイレクト設定できるのは1件だけです。新たにダイレクト設定する場合は、前に設定されていた機能のダイレクト設定は解除されます。
- ダイレクト設定をした機能は を長く（1秒以上）押す（または を2回押す）と呼び出すことができます。また、ショートカット画面からその機能を呼び出すことができます。

ショートカットを解除する

不要になったショートカットの項目を解除することができます。また、ショートカットの設定リセット（☞P13-19）を行うとお買い上げ時に登録されている「Java™ライブラリ」以外のすべての項目を解除できます。設定リセットを行うには、操作用暗証番号（☞P1-20）の入力が必要です。

例：登録されている機能を1件解除する場合

1 を押す

現在の登録内容が表示されます。

2 で登録を解除する機能を選択し、（サブメニュー）を押す

サブメニューが表示されます。

3 で「1件解除」を選択し、（選択）を押す

確認画面が表示されます。

4 （はい）を押す

登録解除の完了をお知らせします。

登録解除した項目にダイレクト設定がされていた場合は、「Java™ライブラリ」がダイレクト設定されます。

13 その他の機能

ショートカットをお買い上げ時の状態に戻すには

操作3で「設定リセット」を選択して(選択)を押したあと操作用暗証番号を入力すると、確認画面が表示されます。ショートカットの登録内容をすべて解除するときは(はい)を押します。

設定リセットを行っても、「Java™ライブラリ」は解除されません。

指定した時刻に電源を入れる(自動電源ON)

あらかじめ設定した時刻に自動的に電源を ON させることができます。

自動電源ON編集画面を呼び出す（☞P13-20）

各項目を設定する（☞P13-21）

STEP3

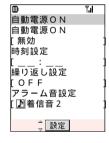
登録を完了する（☞P13-23）

STEP1　自動電源 ON 編集画面を呼び出す

1 「自動電源 ON」を呼び出す

① (Menu) を押す
② で (各種設定) を選択し、(選択) を押す
③ で (時計) を選択し、(選択) を押す
④ で「自動電源 ON」を選択し、(選択) を押す
「自動電源 ON」の設定状況が表示されます。

2 (設定) を押す

自動電源 ON 編集画面が表示されます。

自動電源 ON 編集画面

STEP2　各項目を設定する

有効／無効を切り替える

自動電源ONを有効にするかどうかを設定します。有効／無効を切り替えるだけで、登録内容はそのままで自動電源 ON を設定／解除することができます。
お買い上げ時は「無効」に設定されています。

例：「有効」にする場合

1　自動電源 ON 編集画面で「自動電源 ON」を選択し、(選択) を押す

2　(有効) を押す

有効／無効が設定されます。

「無効」にするときは (無効) を押します。

時刻を設定する

1　自動電源 ON 編集画面で「時刻設定」を選択し、

2　0～9で起動時刻を入力し、(決定) を押す

時刻が設定されます。

時刻は 24 時間制で入力してください。

13
その他の機能

繰り返しを設定する

毎日同じ時刻に電源を ON にするには、繰り返し設定を「ON」にします。
お買い上げ時には「OFF」に設定されています。

例：「ON」に設定する場合

1 **自動電源 ON 編集画面で「繰り返し設定」を選択し、(選択) を押す**

2 **(ON) を押す**

繰り返しが設定されます。

繰り返さないようにするときは(OFF) を押します。

アラーム音を設定する

お買い上げ時は「着信音 2」に設定されています。

例：アラーム音を内蔵メロディから選択する場合

1 **自動電源 ON 編集画面で「アラーム音設定」を選択し、(選択) を押す**

2 **で「内蔵メロディ」を選択し、(選択) を押す**

内蔵メロディの一覧が表示されます。

- データフォルダから選択するときは「データフォルダ」を選択します。目的のフォルダから目的のファイルを選択し、(決定) を押します。
- アラーム音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。

3 でメロディを選択し、(決定) を押す

アラーム音が設定されます。

補足　メロディを選択して(演奏)を押してメロディを再生し、再生中に(決定)を押すこともできます。再生音量は通常着信の音量（☞P8-3）に従います。ただし、マナーモード時はマナーモード設定の通常着信音量に従います。

STEP3　登録を完了する

1 (登録) を押す

登録の完了をお知らせします。

補足　起動時刻が設定されていないと、登録を行えません。

注意　高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くや、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入る場合には、あらかじめ自動電源ONを「無効」にしてください。

自動電源ONの時刻になると

電源OFF状態のときに自動電源ONを設定した時刻になると、電源がONになり、ウェイクアップ設定（☞P7-11）の設定内容に従ってウェイクアップ画面が表示されます。また、自動電源ONのアラーム音が鳴ります。

補足
- 自動電源ONのアラーム音は、通常着信の音量（☞P8-3）に従います。ただし、サイレントまたはマナーモード時には音は鳴りません。
- 自動電源ONのアラーム音設定は、効果音設定のウェイクアップ音の設定よりも優先されます。

指定した時刻に電源を切る（自動電源OFF）

あらかじめ設定した時刻に自動的に電源をOFFさせることができます。時刻や毎日繰り返すかどうかなどを登録し、有効／無効を切り替えて使用します。

STEP1 自動電源OFF編集画面を呼び出す（☞P13-24）

STEP2 各項目を設定する（☞P13-25）

STEP3 登録を完了する（☞P13-26）

STEP1　自動電源 OFF 編集画面を呼び出す

1 「自動電源 OFF」を呼び出す

① （Menu）を押す
② で（各種設定）を選択し、（選択）を押す
③ で（時計）を選択し、（選択）を押す
④ で「自動電源 OFF」を選択し、（選択）を押す

「自動電源 OFF」の設定状況が表示されます。

2 （設定）を押す

自動電源 OFF 編集画面が表示されます。

自動電源 OFF
編集画面

STEP2　各項目を設定する

有効／無効を切り替える

自動電源 OFF を有効にするかどうかを設定します。有効／無効を切り替えるだけで、登録内容はそのままで自動電源 OFF を設定／解除することができます。
お買い上げ時は「無効」に設定されています。

例：「有効」にする場合

1　自動電源 OFF 編集画面で「自動電源 OFF」を選択し、（選択）を押す

2　（有効）を押す

有効／無効が設定されます。

「無効」にするときは（無効）を押します。

時刻を設定する

1　自動電源 OFF 編集画面で「時刻設定」を選択し、（選択）を押す

2　0～9で起動時刻を入力し、（決定）を押す

時刻が設定されます。

時刻は 24 時間制で入力してください。

繰り返しを設定する

毎日同じ時刻に電源を OFF にするには、繰り返し設定を「ON」にします。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

例：「ON」に設定する場合

1 自動電源OFF編集画面で「繰り返し設定」を選択し、(選択) を押す

2 (ON) を押す

繰り返しが設定されます。

繰り返さないようにするときは (OFF) を押します。

STEP3 登録を完了する

1 (登録) を押す

登録の完了をお知らせします。

起動時刻が設定されていないと、登録を行えません。

自動電源 OFF の時刻になると

指定された時刻になると自動的に電源がOFFされますが、待受状態でなかった場合は、待受画面に戻ってから電源が OFF されます。

電池の消耗を抑える機能を解除する(バッテリーセーブ)

通話中、ご自分が話をしていないときに発信する電波の出力を小さくして、電池の消耗を抑えています。
お買い上げ時は「ON」に設定されています。

例：「OFF」に設定する場合

1 「バッテリーセーブ」を呼び出す

①（Menu）を押す
② で （各種設定）を選択し、（選択）を押す
③ で （その他）を選択し、（選択）を押す
④ で「バッテリーセーブ」を選択し、（選択）を押す
現在の設定が表示されます。

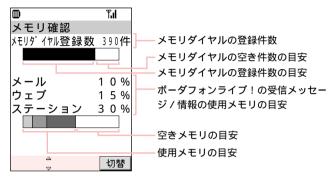
2 （OFF）を押す

設定の完了をお知らせします。

補足 バッテリーセーブを行うように設定するときは（ON）を押します。

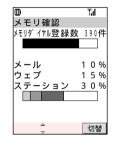
注意
- バッテリーセーブを「ON」に設定していると、こちらの話しはじめの声が聞こえにくくなる場合があります。
- マナーモードを設定していると、バッテリーセーブが「ON」になっていても、通話時にバッテリーセーブは働きません。

メモリの使用状況を確認する(メモリ確認)

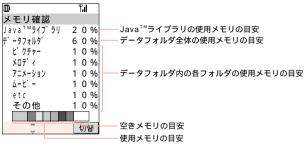
メモリダイヤルの登録状況と受信メッセージ／情報のメモリ使用状況を確認することができます。また、Java™ライブラリやデータフォルダに登録されたファイルのメモリ使用状況を表示して確認することもできます。

使用メモリの表示内容

表示色	表示内容
赤	メモリダイヤル
青	メール
緑	ウェブ
オレンジ	ステーション

1 「メモリ確認」を呼び出す

① ◎(Menu) を押す
② ◎で (各種設定) を選択し、📖(選択) を押す
③ ◎で etc.(その他) を選択し、📖(選択) を押す
④ ◎で「メモリ確認」を選択し、📖(選択) を押す
メモリの使用状況が表示されます。

注意 受信したメッセージ／情報の種類によって保存できる件数は異なります。

データフォルダやJava™ライブラリのメモリ使用状況を確認するには

操作1の画面で(切替)を押すと、データフォルダやJava™ライブラリのメモリ使用状況画面を切り替えて表示することができます。

使用メモリの表示内容

表示色	表示内容
赤	Java™ライブラリ
オレンジ	ピクチャー
黄	メロディ
緑	アニメーション
青	ムービー
藍色	etc
紫	その他

13 その他の機能

スイッチ付きイヤホンマイク(平型プラグ)を使う

付属品の TV アンテナ付きステレオイヤホンマイクや別売のスイッチ付きイヤホンマイク（平型プラグ）をイヤホンマイク端子に接続しておくと、着信時にスイッチを押すだけで電話を受けたり、または電話をかけたりすることができます。付属品、別売品のどちらを使用しても、電話をかけたり受けたりする操作は同じです。

ワンタッチで電話を受ける

1 **スイッチ付きイヤホンマイクを接続する**

イヤホンマイク端子に、スイッチ付きイヤホンマイクの接続プラグを差し込みます。

着信中にスイッチ付きイヤホンマイクを接続すると、電話を受けてしまうことがありますのでご注意ください。

2 **着信中にスイッチ付きイヤホンマイクのスイッチを長く（1秒以上）押す**

電話がつながります。

を押しても電話を受けることができます。

3 **通話が終わったら、スイッチ付きイヤホンマイクのスイッチを長く（1秒以上）押す**

通話が切れます。

- 付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクのクリップを衣類のポケットなどに止めた状態で無理に引っ張ると、ポケットなどが破損することがありますのでご注意ください。
- スイッチ付きのイヤホンマイクをV601Nに接続したまま、バックやポケットに詰めて持ち運ぶと、イヤホンマイクのスイッチが押されてV601Nが誤動作することがあります。V601N の収納方法、収納場所には十分ご注意ください。

- 付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクには、クリップが付いています。
  衣類のポケットなどにクリップを止めて使用できます。
- 付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクは、V601N以外の機種ではご利用になれません。
- スイッチ付きイヤホンマイク接続時の着信音は、スピーカーとスイッチ付きイヤホンマイクの両方から鳴ります。
- 割込通話サービス（☞P14-15）、三者通話サービス（☞P14-18）をお申し込みになっている場合、スイッチ付きイヤホンマイクのスイッチを次のように使うことができます。
  ①通話中に着信があった場合にスイッチを長く（1秒以上）押すと、切り替え通話の状態になります。
  ②切り替え通話中にスイッチを長く（1秒以上）押すと、通話相手が切り替わります。
  ③切り替え通話の片方の相手との通話を終えたあとにスイッチを長く（1秒以上）押すと、もう片方の保留になっていた相手との通話になります。
- 応答保留中にスイッチを長く（1秒以上）押すと、通話状態になります。
- 呼び出し中にスイッチを長く（1秒以上）押すと、発信が中止になり、待受画面に戻ります。

ワンタッチでメモリNo.「000」のメモリダイヤルに電話をかける

メモリNo.「000」に登録したメモリダイヤルへは、スイッチ付きイヤホンマイクのスイッチを使って電話をかけることができます。

1 **スイッチ付きイヤホンマイクを接続する**

2 **待受中にスイッチ付きイヤホンマイクのスイッチを長く（1秒以上）押す**

相手につながると通話できます。

3 **通話が終わったら、スイッチ付きイヤホンマイクのスイッチを長く（1秒以上）押す**

V601Nをテレビ、ビデオ、カラオケなどのリモコンとして使う

V601Nをテレビ、ビデオ／DVD、カラオケのリモコンと同じように使うことができます。また、オーディオ機器やエアコンなどのリモコンデータファイルをダウンロードして使用することも可能です。カラオケのリモコンとして使うときは、お気に入りの曲の曲リストファイルをダウンロード（☞『Vodafone live!編』）して簡単に選曲することもできます。
V601Nの赤外線ポートを、操作する機器のリモコン受信部に向けて操作してください。
操作できる範囲はリモコン受信部正面で約3mです。ただし、操作する機器や、周囲の明るさなどにより、距離が変わります。

TV リモコンの表示例

ビデオ／ DVD リモコンの表示例

カラオケリモコンの表示例

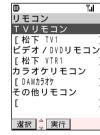
注意 内蔵されているリモコンファイルあるいはダウンロードしたリモコンファイルに該当するメーカー製の機器であっても、一部、または全部の操作に対応していない場合があります。

リモコンファイルを選択する

V601Nをリモコンとして使うには、お使いの機器に対応するリモコンファイルを設定する必要があります。リモコンファイルは、内蔵ファイルやNECの専用サイトからダウンロードしたファイルから選択します。リモコンファイルのダウンロード方法については『Vodafone live!編』を参照してください。
各リモコンファイルは、お買い上げ時には次のように設定されています。
- TV リモコン：「松下 TV1」
- ビデオ／ DVD リモコン：「松下 VTR1」
- カラオケリモコン：「DAM カラオケ」
- その他リモコン：（未登録）

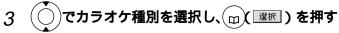
例：「カラオケリモコン」のリモコンファイルを設定する場合

1 「リモコン」を呼び出す

① （Menu）を押す
② で （リモコン）を選択し、（選択）を押す

2 で「カラオケリモコン」を選択し、（選択）を押す

カラオケ種別の選択画面が表示されます。

- 「TV リモコン」、「ビデオ／ DVD リモコン」または「その他リモコン」を選択した場合は、リモコンファイルの選択画面が表示されます。操作 4 に進みます。
- カラオケリモコン種別の「その他カラオケ」には「カラオケ 1」「カラオケ 2」「カラオケ 3」のいずれにも該当しないカラオケリモコンファイルが登録されます。お買い上げ時には表示されず、対応するカラオケリモコンファイルをダウンロードすると表示されます。

3 でカラオケ種別を選択し、(選択)を押す

リモコンファイルの選択画面が表示されます。

4 でリモコンファイルを選択し、(選択)を押す

カラオケリモコンファイルが設定され、カラオケリモコン画面が表示されます。リモコン操作が行えます。

選択したリモコンファイルの情報を確認したいときは、(ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ)を押し、で、「プロパティ」を選択し、(選択)を押します。ファイルの情報を表示中に(切替)を押すと情報の表示内容を切り替えることができます。

用意されている内蔵リモコンファイル

V601Nにはあらかじめ次のリモコンファイルが用意されています（※はお買い上げ時の設定）。「その他リモコン」のリモコンファイルは内蔵されていません。

TVリモコン	松下 TV1※　松下 TV2　ソニー TV　シャープ TV1　シャープ TV2	
ビデオ／DVDリモコン	松下 VTR1※　ビクター VTR1　三菱 VTR1　ソニー VTR1	
カラオケリモコン	カラオケ1：DAMカラオケ※ (曲名／歌手名／リクエストNo.) 世界に一つだけの花／SMAP／6518-35 地上の星／中島みゆき／2463-57 涙そうそう／夏川りみ／6351-02 大切なもの／ロードオブメジャー／4114-01 明日への扉／I WiSH／4442-01 亜麻色の髪の乙女／島谷ひとみ／6096-09 VALENTI／BoA／6911-14 小さな恋のうた／MONGOL 800／6878-04 さくら（独唱）／森山直太朗／4630-01 fragile／Every Little Thing／4716-40 桜坂／福山雅治／2685-52 涙の海で抱かれたい／サザンオールスターズ／6763-25	カラオケ2：LAVCAプリインストール、カラオケ3：X2000プリインストール (曲名／歌手名／リクエストNo.) 勝手にシンドバッド／サザンオールスターズ／01011 タッチ／岩崎良美／01405 卒業写真／松任谷由実／01545 となりのトトロ／井上あずみ／03697 島唄／THE BOOM／04673 抱きしめたい／Mr. Children／04695 地上の星／中島みゆき／34641 亜麻色の髪の乙女／島谷ひとみ／36143 One Night Carnival／氣志團／36163 COLORS／宇多田ヒカル／36819 世界に一つだけの花（シングル・ヴァージョン）／SMAP／36984 小さな恋のうた／MONGOL 800／80975

DAMは株式会社第一興商の登録商標です。
LAVCA、X2000は株式会社タイトーの登録商標です。

テレビ、ビデオ／DVD、その他の機器をリモコン操作する

お使いのテレビやビデオ／DVDに対応したリモコンファイルや、カラオケ以外の機器のリモコンファイル（ダウンロードした「その他リモコン」）をすでに設定してあるときは、次のようにリモコンを起動します。カラオケのリモコン操作については「カラオケをリモコン操作する」（☞P13-37）を参照してください。

例：TVリモコンを使う場合

1 「リモコン」を呼び出す

①（Menu）を押す

② で（リモコン）を選択し、（選択）を押す

2 で「TVリモコン」を選択し、（実行）を押す

TV リモコン画面が表示されます。

補足

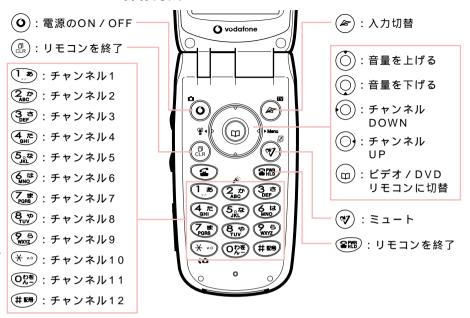
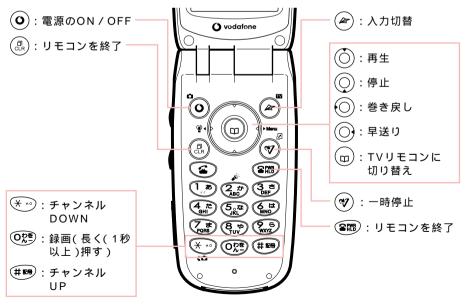
ビデオまたは DVD のリモコンを使うときは「ビデオ／DVD リモコン」を、その他の機器のリモコンを使うときは「その他リモコン」を選択します。

注意

- ボタンの機能は、選択したリモコンデータによって変わります。
- ダウンロードしたリモコンデータのファイルによっては、この取扱説明書で記載している操作と異なる場合があります。

13 その他の機能

次の表に従ってリモコン操作することができます。

■ TV リモコンの操作方法

■ ビデオ／DVD リモコンの操作方法

カラオケをリモコン操作する

すでに設定済みのリモコンファイルを使う場合は、簡単にリモコン操作を実行できます。リモコンファイルを選択し直す場合は、操作１～２の代わりに「リモコンファイルを選択する」（☞P13-33）の操作を行ってください。テレビ、ビデオ／DVD、その他の機器のリモコン操作については「テレビ、ビデオ／DVD、その他の機器をリモコン操作する」（☞P13-35）を参照してください。

選曲する

1 **「リモコン」を呼び出す**

① ◎（Menu）を押す

② ◎で（リモコン）を選択し、📖（選択）を押す

前回使用したリモコンの行が自動的に選択されます。

2 **◎で「カラオケリモコン」を選択し、📖（実行）を押す**

カラオケリモコン画面が表示されます。

- 「リストから選曲する」（☞P13-38）
- 「選曲番号で選曲する」（☞P13-38）

リモコンファイルにお気に入りリストが選択されているときは✍（登録）を押して、曲リストの新規作成を行うことができます。「曲リストを新規作成する」(☞P13-41)

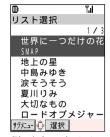
13

その他の機能

■ リストから選曲する

3 (リスト) を押す

例：お気に入りリスト以外のリスト選択画面

リスト選択画面が表示されます。カラオケリモコンファイルに含まれる曲が表示されます。

4 で曲を選択し、(選択) を押す

カラオケリモコン画面に戻ります。選択した曲の選曲番号が入力されています。

曲の詳細情報を確認することができます。ただし、お気に入りリストファイルの曲の詳細情報は表示されません。

- ・カラオケ種別1～3では、(サブメニュー) を押し、で「詳細情報」を選択し、(選択) を押します。
- ・その他カラオケでは、(詳細) を押します。

5 (転送) を押す

選曲番号が転送されます。

■ 選曲番号で選曲する

3 0わをんー～9らWXYZを押して選曲番号を入力する

入力した番号が表示されます。

入力を間違えたときはCLRを繰り返し押して最後の桁から 1 桁ずつ消去するか、CLRを長く（1 秒以上）押して全桁消去してから入力し直してください。

4 (転送) を押す

選曲番号が転送されます。

- ボタンの機能は、選択したリモコンデータによって変わります。
- ダウンロードしたリモコンデータのファイルによっては、この取扱説明書で記載している操作と異なる場合があります。

13 その他の機能

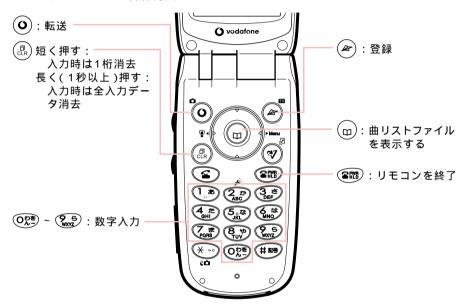
曲をお気に入りリストに登録するには

カラオケ種別１～３では、カラオケリモコンファイルに含まれる曲をお気に入りリスト（☞P13-40）に登録（カラオケ種別１～３の合計で最大50件）できます。

① リスト選択画面（「リストから選曲する」の操作３の画面）で（サブメニュー）を押す

② で「お気に入り登録」を選択し、（選択）を押す

すでに50件登録されている場合は登録できません。不要な曲を消去してください。（☞P13-43）

■カラオケリモコンの操作方法

カラオケのお気に入りリストを管理する

お気に入りリストを使うと、気に入った曲のデータを登録して簡単に選曲することができます。お気に入りリストは、カラオケ種別１～３にそれぞれ１つずつ用意されており、合計50件まで登録できます。カラオケリモコンファイルからお気に入りリストへ登録することもできます。「曲をお気に入りリストに登録するには」(☞P13-39)
その他カラオケ（☞P13-33）では、お気に入りリストはご利用になれません。

1 「リモコン」を呼び出す

① (Menu) を押す
② で (リモコン) を選択し、(選択) を押す

2 で「カラオケリモコン」を選択し、(選択) を押す

3 でカラオケ種別を選択し、(選択) を押す

リモコンファイルの選択画面が表示されます。

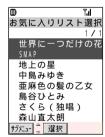
4 でお気に入りリストを選択し、(選択) を押す

カラオケリモコン画面が表示されます。

それぞれのカラオケ種別で、お気に入りリストの名前は次のようになっています。
カラオケ 1：お気に入りリスト 1
カラオケ 2：お気に入りリスト 2
カラオケ 3：お気に入りリスト 3

5 (リスト) を押す

お気に入りリストのリスト選択画面が表示されます。

お気に入りリストに曲が登録されていないときは、お気に入りリストの登録確認画面が表示されます。(はい) を押すとお気に入りリストに曲を登録できます。「曲リストを新規作成する」(☞P13-41)

お気に入りリストのリスト選択画面

6 (サブメニュー) を押す

お気に入りリストのサブメニューが表示されます。

項目	概要	参照ページ
新規作成	曲番号を指定して、お気に入りリストに曲を登録する	13-41
編集	曲名／アーティスト名／曲番号を編集する	13-42
内容表示	曲名／アーティスト名／曲番号を確認する	13-42
リスト移動	選択中の曲の表示順を変更する	13-43
1件消去	選択中の曲をお気に入りリストから消去する	13-43
全件消去	表示中のお気に入りリストの曲をすべて消去する	13-43

7 で項目を選択し、(選択) を押す

■ 曲リストを新規作成する

お気に入りリストに曲（最大50件）を登録します。曲番号（必須）のほかに曲名／アーティスト名が設定できます。

1 お気に入りリストのサブメニューから「新規作成」を選択し、(選択) を押す

- すでに50件登録されている場合は登録できません。不要な曲を消去してください（☞P13-43）。
- お気に入りリストのカラオケリモコン画面で(登録)を押して右の画面を表示させることもできます。

2 で項目を選択し、(選択) を押す

文字入力画面が表示されます。

3 曲名／アーティスト名／曲番号を入力し、(確定) を押す

操作2～3を繰り返し、必要な項目を設定します。

曲名、アーティスト名は、全角最大9文字、半角最大18文字まで入力できます。

4 （登録）を押す

登録の完了をお知らせします。

補足　曲番号を入力しなかったり、桁数が足りないと登録できません。

■ 登録内容を編集する

曲の登録内容（曲名／アーティスト名／曲番号）を編集します。

1 **お気に入りリストのサブメニューから「編集」を選択し、（選択）を押す**

2 **で項目を選択し、（選択）を押す**

文字入力画面が表示されます。

3 **曲名／アーティスト名／曲番号を編集し、（確定）を押す**

補足　曲名、アーティスト名は、全角最大 9 文字、半角最大 18 文字まで入力できます。

4 （登録）を押す

登録の完了をお知らせします。

■ 登録内容を確認する

曲の登録内容（曲名／アーティスト名／曲番号）を確認します。

1 **お気に入りリストのサブメニューから「内容表示」を選択し、（選択）を押す**

登録されている内容が表示されます。

■ リストの表示順を変更する

お気に入りリストのリスト選択画面で現在選択している曲の表示位置を変更します。

1 **お気に入りリストのサブメニューから「リスト移動」を選択し、(選択) を押す**

2 **で位置を変更し、(決定) を押す**

曲の表示順が変更されます。

■ 選択中の曲をリストから消去する

現在選択している曲を、お気に入りリストから消去します。

1 **お気に入りリストのサブメニューから「1 件消去」を選択し、(選択) を押す**

確認画面が表示されます。

2 **(はい) を押す**

消去の完了をお知らせします。

■ お気に入りリストの曲をすべて消去する

現在表示しているお気に入りリストの曲をすべて消去します。消去には、操作用暗証番号（☞P1-20）の入力が必要です。

1 **お気に入りリストのサブメニューから「全件消去」を選択し、(選択) を押す**

確認画面が表示されます。

2 **(はい) を押す**

暗証番号の入力画面が表示されます。

3 **操作用暗証番号を入力する**

操作用暗証番号が正しく入力されると、消去の完了をお知らせします。

リモコンファイルを消去する

ダウンロードできるリモコンファイルは最大20件です。ダウンロードしたリモコンファイルのうち、不要になったファイルを消去することができます。

例：「TVリモコン」のリモコンファイルを消去する場合

1 「リモコン」を呼び出す

① (Menu）を押す

② で（リモコン）を選択し、（選択）を押す

2 で「TVリモコン」を選択し、（選択）を押す

- 「1件消去する」（☞P13-44）
- 「リモコンファイルをまとめて消去する」（☞P13-45）

カラオケリモコンファイルを選択するには、操作2のあとでカラオケ種別を選択し、（選択）を押します。

13

その他の機能

1件消去する

不要になったリモコンファイルを1件ずつ消去することができます。ただし、お買い上げ時に内蔵されていたリモコンファイルは消去できません。

3 で消去するリモコンファイルを選択し、（サブメニュー）を押す

サブメニューが表示されます。

4 で「1件消去」を選択し、（選択）を押す

確認画面が表示されます。

5 （はい）を押す

消去の完了をお知らせします。

お買い上げ時に内蔵されていたリモコンファイルは消去できません。

リモコンファイルをまとめて消去する

リモコンファイルをTV、ビデオ／DVD、カラオケ、その他の各種類ごとに全件消去することができます。ただし、お買い上げ時に内蔵されていたリモコンファイルは消去できません。全件消去には操作用暗証番号（☞P1-20）の入力が必要です。

3 **（サブメニュー）を押す**

サブメニューが表示されます。

4 **で「全件消去」を選択し、（選択）を押す**

確認画面が表示されます。

5 **（はい）を押す**

暗証番号の入力画面が表示されます。

6 **操作用暗証番号を入力する**

操作用暗証番号が正しく入力されると、消去の完了をお知らせします。

バーコードを読み取って利用する（バーコード機能）

V601Nのモバイルカメラを利用して、商品に印刷されたバーコードに含まれる文字や画像などの情報を読み取ることができます。情報の種類によっては、インターネットアクセスやメールの送信、電話の発信などが行えます。また、読み取った情報をメモリダイヤルに登録したり、データフォルダに保存することもできます。

バーコードを読み取る

V601Nで読み取れるバーコードは2次元コードの「QR コード」です。V601Nのカメラに付属の接写deレンズを取り付け、バーコード撮影カメラを起動します。
認識したバーコードが分割データ（画像／メロディ／長いテキストなどのデータを分割したもの）だった場合は、表示されるメッセージに従って次々に読み込みを行ってください。

バーコード撮影画面

：バーコード機能起動中表示
1〜5：明るさ表示

※ QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

1 付属の接写deレンズをカメラ部に取り付ける

接写deレンズには磁石が付いているので、カメラ部に近づけるだけで取り付けることができます。
接写deレンズの切り欠きがアンテナ側になるように取り付けてください。

- 接写deレンズを送話口に近づけないように注意してください。接写deレンズの磁石を感知して、ディスプレイの表示が消えて、折り畳んだときの状態となります。クローズ終話（☞P13-9）を「ON」に設定している場合には（PWR/HLD）を押したときと同じ動作となります。
- 位置がずれないように注意してください。ピントが正しく合わなくなったり、撮影範囲が制限されることがあります。
- 接写deレンズに指紋や油脂が付着すると、ピントが正しく合わなくなったり不鮮明な画像になり、バーコードを正しく認識できないことがあります。取り付ける前に柔かい布で汚れをふいてください。

接写deレンズを取り付けると、読み取りたいバーコードにカメラを近づけてもぼやけにくくなります。近づけて大きく写る分、認識が容易になります。ただし、極端に大きく表示されているバーコードは接写deレンズを付けずに認識できる場合もあります。

2 「バーコード」を呼び出す

① ◯（Menu）を押す

② ◯で [バーコード]（バーコード）を選択し、◯（選択）を押す

バーコード撮影カメラが起動します。

V601N内に一時的に保護されているデータがあるときは、操作②のあと、メッセージでお知らせします。「前回のバーコード操作が中断されたときは」（☞P13-54）

3 読み取りたいバーコードをメインディスプレイの枠内に収まるように表示させる

ライトを人の目に近づけて点灯したり、点灯中に直視したりしないでください。視力障害の原因となることがあります。また、目がくらんだり突然の光に驚くなどして、事故の原因になることがあります。

- 暗いときには◯（サブメニュー）を押して「ライトON」を選択し、◯（選択）を押すと、ライトをONにすることができます。また、2を押してライトのON／OFFを切り替えることもできます。

- ◯、◯を押すとバーコード撮影画面の明るさを調整できます。明るさは5段階で調節でき、通常は「3」に設定されています。
- バーコードは枠にぴったり収める必要はありません。枠内に収まり、かつバーコードがくっきり見えるように表示させてください。

13 その他の機能

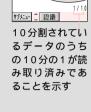
4 ［認識］を押す

バーコードが認識されると認識完了音が鳴り、認識データ画面が表示されます。

認識データ画面

バーコードが汚れていたり、かすれたり、薄い場合などには、認識できないことがあります。

- 認識したバーコードが分割データだった場合は、「分割データです　次のシンボルを読み込みますか？」というメッセージが表示されます。(はい) を押すと、右のような画面が表示されます。操作３～４を繰り返し、すべての分割データを読み取らせてください。読み込みが終了すると、情報が表示されます。
- 分割データを読み込み中に、既に読み取った分割データを読み込んだ時には、既に読み込み済みであることをお知らせし、次のバーコードの認識をうながすメッセージが表示されます。

10分割されているデータのうちの10分の1が読み取り済みであることを示す

5 接写 de レンズを取り外す

認識した情報をそのまま使うときは「認識データを利用する」（☞P13-49）の操作に進みます。

認識した情報を登録するときは「認識データをデータフォルダに保存する」（☞P13-52）の操作に進みます。

接写 de レンズを使用しないときには必ずレンズカバーを取り付けておいてください。

バーコードが認識されないとき

読み取るときのバーコードの表示状態によって、バーコードを正常に認識できなかったときは、警告音とメッセージでお知らせします。操作 3 ～ 4 をやりなおしてください。
また、読み取りに対応していないバーコードや分割バーコードを認識しようとしたときにも警告音とメッセージでお知らせします。このような場合はバーコードの情報を認識することはできません。

- 周囲の照明などの状況によっては、正しく認識できない場合があります。
- バーコード表示部に、汚れやかすれ、折れ目やしわなどがないときには比較的容易に認識できます。

認識データを利用する

リンクやメモリダイヤル情報の利用

認識データに含まれるメールアドレスリンク／URL リンク（URL が表示されていない場合もある）／電話番号のリンク／メモリダイヤル情報／ MAIL TO 情報を利用して、メール送信や URL へのアクセスなどが行えます。

例：URLリンク選択中の場合

例：URLリンク（URL非表示）選択中の場合

1 **認識データ画面でリンクまたはメモリダイヤル情報を選択し、（選択）を押す**

選択したデータを利用するかどうかを確認する画面が表示されます。

例：URLを選択した場合

2 ◎（はい）を押す

選択されたデータを使って行う操作に移ります。

選択されていたデータを使わないときには✉（いいえ）を押します。

認識データの電話番号やアドレスなどを利用する

認識データがメールアドレス／ウェブ／電話番号のリンクまたはメモリダイヤル情報、MAIL TO情報（破線のアンダーラインが表示されている文字列）を含んでいるときは、その文字列が選択された状態で📖（選択）を押すと、操作１のような画面が表示されます。操作２で◎（はい）を押したときの動作は次のようになります。

項　目	操作２を行った後の操作
メールアドレスのリンク／MAIL TO 情報	メール送信方法の選択画面が表示される。◎で送信方法を選択し、📖（選択）を押すと、メール作成画面が表示される（☞『Vodafone live!編』） 次のような条件のとき認識される。 メールアドレスのリンク：＊＠＊（＊は１文字以上の英数字） MAIL TO 情報：MAILTO:＊（E-mail の場合、＊は半角英数字。電話番号の場合は、＊は全半角数字、＊、＃で最大 19 桁）、BODY:＊（＊は文字）、SUBJECT:＊（＊は文字） ※ MAILTO:、BODY:、SUBJECT:は半角。大文字／小文字を問わない。
ウェブのリンク	ウェブアドレスの入力画面が表示される。📖（送信）を押すと、ウェブのホームページへアクセスする（☞『Vodafone live!編』） 次のような条件のとき認識される。 http://＊またはhttps://＊（http://、https://は半角英字、＊は１文字以上の英数字）
電話番号のリンク	☎を押すとダイヤル発信画面が表示され、電話がかけられる。（☞P2-6） 📖（登録）を押すとメモリダイヤルへ登録できる。（☞P4-25） 次のような条件のとき認識される。 TEL:＊（TEL:は半角英字、＊は全半角数字、#、＊の１文字以上とする。最大 24 桁）
メモリダイヤル情報	メモリダイヤル登録画面が表示される。 名前、フリガナ、電話番号（最大３件）、E-mail アドレス（最大３件）、メモ入力データが、メモリダイヤルの各項目に自動的に割り当てられる。 ※情報によっては、自動的に割り当てて登録されない場合もある。 認識データは、それぞれメモリダイヤルの次の項目に該当する。 「NAME1：」……………… 名前 「NAME2：」……………… フリガナ 「TEL1：」「TEL2：」「TEL3：」……… 電話番号 「MAIL1：」「MAIL 2：」「MAIL 3：」… メールアドレス 「MEMORY：」……………… メモ 次のような条件のとき認識される。 MEMORY:＊（＊は文字） NAME1:＊（＊は文字。最大半角 20 文字） NAME2:＊（＊は全角／半角カナ英数字。最大 20 文字） MAIL1:＊＠＊、MAIL2:＊＠＊、MAIL3:＊＠＊（＊は半角英数字） TEL1:＊、TEL2:＊、TEL3:＊（＊は全半角数字、#、＊、最大 24 桁） ※MEMORY:、NAME1:、NAME2:、MAIL1:、MAIL2:、MAIL3:、TEL1:、TEL2:、TEL3:は半角、大文字／小文字を問わない。

メディアデータの利用

認識データに含まれるメディアデータ（JPEG／PNG／SMD／SMAFファイル）の画像やメロディが楽しめます。

例：画像付きSMAFファイル選択中の場合

1 **認識データ画面でファイルを選択し、（📖）（選択）を押す**

メディアデータのファイルメニューが表示されます。表示される項目は、選択中の認識データによって異なります。

項目	概要	参照ページ
BGM演奏	メロディを再生する	—
BGM停止	メロディの再生を停止する	—
プロパティ	サイズや転送の可／不可、登録の可／不可などの情報が表示される	—
ファイルコピー	ファイルをコピーする。コピーしたファイルはデータフォルダの中やメール、マルチメディアメモなどにペーストできる	—
ファイル登録	ファイルとしてデータフォルダに保存する	13-52

2 **◯で項目を選択し、（📖）（選択）を押す**

補足

- 認識データ画面の画像は、表示サイズを変更できます。（✓）を押すと、縦横比率を維持したまま横幅160ドットになるようにリサイズ（サイズ調整）して表示されます。（☞P11-5）
- マナーモード時に「BGM演奏」を選択したときは、音は鳴りません。
- ファイルの種類によってはファイルコピー／ファイル登録できません。

13 その他の機能

認識データをデータフォルダに保存する

テキスト形式で保存する（テキスト登録）

認識データをテキストファイルとしてデータフォルダに保存します。

1 認識データ画面で〇（サブメニュー）を押す

認識データのサブメニューが表示されます。

項目	概要
テキスト登録	認識データをデータフォルダにテキスト形式で保存する
文字コピー	認識データの文字をコピーする。コピーした文字は、文字入力画面に繰り返しペーストすることができる
メール作成	認識データを本文とするメッセージを作成する

2 〇で「テキスト登録」を選択し、〇（選択）を押す

保存の完了をお知らせします。

- データはデータフォルダ内のメモフォルダにテキスト（.txt）ファイルとして保存されます。
  ファイル名形式は「YYMMDD.txt」
  （例：040315.txt）
  ・YYMMDD　：年月日
  登録先に同じ名前のファイル名があるときは、ファイルの名前にチルダと2桁の数字または英字が自動的に付加されます（例：040315~00.txt ）。
- 認識データにメディアデータが含まれる場合は、確認画面が表示されます。
  〇（はい）を押すとテキストとして保存できるデータのみが保存されます。
  〇（いいえ）を押すと保存が中止されます。

メディアデータを保存する（ファイル登録）

認識データのメディアファイルをデータフォルダに保存します。

1 認識データ画面でファイルを選択し、〇（選択）を押す

メディアデータのファイルメニュー（☞P13-51）が表示されます。

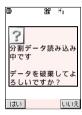
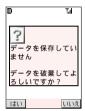
2 〇で「ファイル登録」を選択し、〇（選択）を押す

保存の完了をお知らせします。

- ファイルの種類によってはファイル登録できません。
- 画像はデータフォルダ内のピクチャーフォルダに保存されます。
  JPEG／PNG ファイルのファイル名形式は「YYMMDD-HHMM ＋拡張子」（例：040315-1530.jpg）
- メロディはデータフォルダ内のメロディフォルダに保存されます。
  SMD／SMAFファイルのファイル名は「タイトル名＋拡張子」（例：マイソング.mmf）、タイトル名のないときは「タイトルなし＋拡張子」となります。

読み込みの途中／データの保存前に(CLR)または(PWR HLD)を押したときは

(CLR)を押したときは、次のような画面が表示されます。

- データを破棄するときは(O)（はい）を押します。
- データを破棄せずに元の操作に戻るときは(✉)（いいえ）を押します。

分割バーコードを読み込み途中だったとき

データの保存前だったとき

(PWR HLD)を押したときは、次のような画面が表示されます。

- データを破棄するときは(O)（はい）を押します。
- データを破棄せずに元の操作に戻るときは(✉)（いいえ）を押します。

分割バーコードを読み込み途中だったとき

データの保存前だったとき

前回のバーコード操作が中断されたときは

読み取った情報を保存する前や分割データの読み込み途中に次の理由でバーコード撮影カメラが終了した場合は、保存できなかった情報が V601N 内に一時的に保護されます。

- 電話がかかってきたとき
- スケジュール／アクションアイテム／めざまし／Java™タイマーのアラームが起動したとき
- ステーションの特に緊急度の高い情報を受信したとき（☞『Vodafone live!編』）
- 分割データ読み込み中に 3 分間以上何も操作しなかったとき
- 分割データ読み込み中に V601N を折り畳んだとき

その場合は、バーコード撮影カメラを起動したときに右のような画面が表示されます。

- 保護されている情報を呼び出して情報の利用や保存を行うときや分割データの読み込み続けるときは◎（はい）を押します。
- 保護されている情報を破棄して新しく読み取りを行うときは✉（いいえ）を押します。

補足

電源を OFF にすると保護されている情報は消去されます。

ライトを利用する

待受中にライトを点灯させることができます。暗い場所で手元を照らすライトとして利用できます。

ライト点灯中の表示

1 [2 か ABC]を長く（1 秒以上）押す

ライトが点灯します。

2 消灯するときはいずれかのボタンを押すか、V601N を折り畳む

電話がかかってきたときやメッセージを受信したとき、スケジュールやめざましで設定したアラームが起動したときなどには、自動的に消灯します。

ライトを人の目に近づけて点灯したり、点灯中に直視したりしないでください。視力障害の原因となることがあります。また、目がくらんだり、突然の光に驚くなどして、事故の原因になることがあります。

FAX／パソコン通信をする

別売のデータ／FAX通信カードなどを使ってV601NにFAXやパソコンを接続すると、サービスエリア内のどこからでもFAX通信やパソコン通信を行うことができます。

1 データ／FAX通信カードなどを接続する

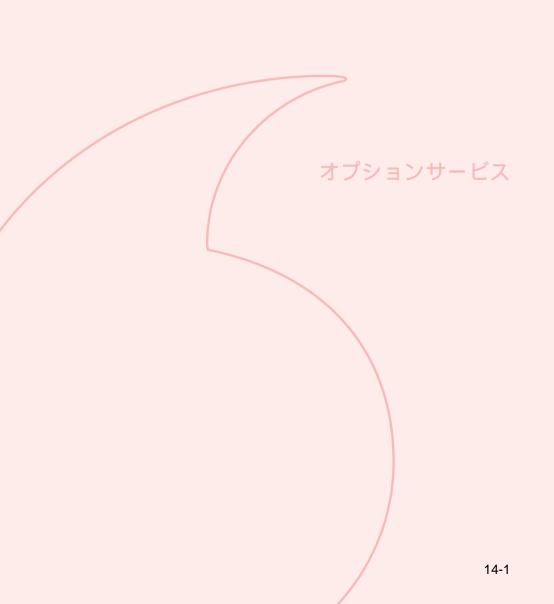
FAX／パソコン通信中は、次のように表示されます。

FAX通信中　パソコン通信中（2400bpsの場合）　パソコン通信中（9600bpsの場合）

折り畳んでいるとき（共通）

その他の機能

注意

- FAX／パソコン通信は、電波の強い場所で行ってください。
- 移動しながらの通信は、データが正しく送れない、または受けられないことがありますので、なるべく止まった状態で行ってください。
- FAX／パソコン通信用モデムカードなどの操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

オプションサービス

ご契約地域によるサービスの違いについて

オプションサービスには、次のサービスがあります。
ご契約いただいた地域によって、ご利用になれるサービス内容が異なります。

サービス内容	関東・甲信／東海／関西地域	北海道／北陸／九州・沖縄地域	東北・新潟／中国／四国地域
転送電話サービス	◎	◎	◎
留守番電話サービス	◎※	○	○
運転中モード	×	◎	◎
割込通話サービス	○	○	○
三者通話サービス	○	○	○
発信者番号通知サービス	○	○	○

◎お申し込みなしでご利用いただけるサービス
○お申し込みが必要なサービス
×ご利用いただけないサービス
※お申し込みによりサービス内容を変えることができます。詳細はガイドブックを参照してください。

これらのサービスについて、本書では次のように記載しています。

●お申し込みが必要なサービスの場合
「**別途お申し込みが必要です。**」と記載しています。

●一部の地域ではお申し込みが必要なサービスの場合
お申し込みが必要な地域名を記載しています。
(例)**関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様は、別途お申し込みが必要です。**

●一部の地域ではご利用になれないサービスの場合
ご利用になれる地域名を記載しています。
(例)**関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様にご利用いただけます。**

●ご契約いただいた地域によって、サービス内容が異なる場合
- 地域によって操作手順が異なる場合は「○○地域でご契約のお客様へのサービス」であることを明記して、地域別に説明しています。
- 地域特有のサービスについては「○○地域でご契約のお客様のみご利用になれるサービス」であることを明記して、個別に説明しています。

また、地域によって注意していただきたいことがらがある場合は、ご注意または補足説明の中で、地域名をあげて記載しています。

転送電話サービスを利用する

V601Nの電源を切っているときや電波の届かないところにいるときでも、かかってきた電話を指定したオフィスやご家庭などの電話に転送させることができます。
転送電話サービスを設定すると、留守番電話サービスはご利用になれません。
※地域によっては機能メニューからの操作ができない場合があります。その場合は、サービスコード（☞P14-25）または一般電話からの操作（☞P14-27）を行ってください。
※地域によっては画面表示が異なる場合があります。
●転送される条件は、次の3通りです。
- V601Nの電源がOFFのとき
- 「圏外」が表示されているとき
- 応答しないで着信音が停止したあと

●V601Nでお話し中のときは、転送されません。
（ただし、割込通話サービスをお申し込みいただいている場合は転送されます）

電波の届かない（「圏外」が表示される）場所では

転送電話サービスの登録／開始／停止／確認を行う際には、V601Nと無線基地局の間で電波のやりとりをします。したがって、ディスプレイに「圏外」が表示される場所では転送電話の登録や開始ができません。また、電波状態の悪い場所でもできない場合があります。なお、プッシュトーンの出せる一般電話や公衆電話からは転送電話サービスの登録／開始／停止／確認が行えます（☞P14-27）。

転送先の電話番号を登録（変更）する

初めて転送電話サービスをご利用になるときは、必ず最初にこの操作を行ってください。一般電話を登録する場合は市外局番から、携帯電話やPHSなどの場合は電話番号全桁を登録してください。転送先を変更するときも同じ操作をします（転送先電話番号登録）。

1 「転送先番号登録」を呼び出す

① (Menu) を押す
② で (各種設定) を選択し、(選択) を押す
③ で (サービス) を選択し、(選択) を押す
④ で「転送先番号登録」を選択し、(選択) を押す

2 (登録)を押し、転送先の電話番号を入力する

転送先番号登録

転送先電話番号を入力してください

03123XXXX1

送出

3 (送出)を押す

転送先が登録されたことをお知らせします。

登録できなかったときはメッセージでお知らせします。

- 次の電話番号は転送先として登録できません。
  - ・「1」から始まる電話番号（例：「110」「118」「119」など）
  - ・「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
  - ・「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ2など）
- 登録した転送先電話番号は、変更するまで有効です。

転送先をメモリダイヤルから選ぶときは

① 操作2の画面で()を押してメモリダイヤルを呼び出す
② (決定)を押す
③ 操作3を行う

呼び出しかた：「メモリダイヤルで電話をかける」
（☞P4-17～4-21）

14 オプションサービス　全地域共通

転送電話サービスを開始する

V601Nの電源をOFFにしているときや、電波の届かないところにいるときにかかってきた電話を転送できる状態にします。ただし、呼び出されている間ならばV601Nで電話を受けることができます。また、**関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様**は、V601Nを呼び出さずに転送することもできます。
転送先の電話番号はあらかじめ登録しておいてください（☞P14-3）。

1 「転送呼出」を呼び出す

① (Menu)を押す
② で (各種設定)を選択し、(選択)を押す
③ で (サービス)を選択し、(選択)を押す
④ で「転送呼出」を選択し、(選択)を押す

2 (あり)を押す

転送電話サービスが開始(ON)されたことをお知らせします。

補足
- 開始できなかったときはメッセージでお知らせします。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様
- 呼び出さずに転送する（転送呼出「なし」）ときには (なし)を押します。
- 呼び出し時間を変更することができます(☞P14-10)。

北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様
- 現在「なし」をご利用いただけません。
- 呼び出し時間を変更することができます(☞P14-10)。

東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様
- 現在「なし」をご利用いただけません。
- 呼び出し時間は20秒です。変更はできません。

注意
- 転送電話サービスをONにすると、留守番電話サービス（☞P14-6）は自動的にOFFになります。
- 割込通話サービス（☞P14-15）をお申し込みになっている場合には、通話中にかかってきた次の電話が、呼び出し後に設定してある転送先に転送されます。
- 簡易留守録が設定されているときでも転送電話サービスは開始できます。ただし、**関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様**は、転送呼出を「あり」に設定してください。
- 転送電話サービスと簡易留守録の両方を設定した場合は、簡易留守録の移行時間が呼出し時間設定よりも短く設定されていると、簡易留守録が優先されます。ただし、簡易留守録の録音件数（最大5件）がいっぱいになると、転送電話サービスに移行します。

補足
転送電話サービスを停止（OFF）するときは、「転送・留守番電話サービスを停止する」（☞P14-12）を参照してください。

留守番電話サービスを利用する

北海道／北陸／九州・沖縄地域、東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様は、別途お申し込みが必要です。

電波の届かない場所にいるときや、通話中のため電話に出られないときなどに、留守番電話センターが伝言メッセージをお預かりします。

留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスはご利用になれません。

※地域によっては機能メニューからの操作ができない場合があります。その場合は、サービスコード（☞P14-25）または一般電話からの操作（☞P14-27）を行ってください。

※地域によっては画面表示が異なる場合があります。

●留守番電話センターに転送される条件は、次の3通りです。

- V601Nの電源がOFFのとき
- 「圏外」が表示されているとき
- 応答しないで着信音が停止したあと

●V601Nでお話し中のときは、留守番電話センターへ転送されません。
（ただし、割込通話サービスをお申し込みいただいている場合は転送されます。）

電波の届かない（「圏外」が表示される）場所では

留守番電話サービスの開始／停止／確認を行ったり、伝言メッセージを聞く操作をする際には、V601Nと無線基地局の間で電波のやりとりをします。したがって、ディスプレイに「圏外」が表示される場所では留守番電話サービスの開始や確認ができません。また、電波状態の悪い場所でもできない場合があります。

なお、プッシュトーンの出せる一般電話や公衆電話からは留守番電話サービスの開始／停止／確認や伝言メッセージを聞く操作が行えます（☞P14-27）。

留守番電話サービスを開始する

V601Nの電源をOFFにしているときや、電波の届かないところにいるときにかかってきた電話が留守番電話センターに転送されるようにします。ただし、呼び出されている間ならばV601Nで電話を受けることができます。また、**関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様**は、V601Nを呼び出さずに留守番電話センターに転送することもできます。

1 「留守番呼出」を呼び出す

① (Menu) を押す

② で (各種設定) を選択し、(選択) を押す

③ で (サービス) を選択し、(選択) を押す

④ で「留守番呼出」を選択し、(選択) を押す

2 (あり) を押す

ﾙｽﾊﾞﾝｻｰﾋﾞｽ
ON

留守番電話サービスが開始（ON）されたことをお知らせします。

- 開始できなかったときはメッセージでお知らせします。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様

- 呼び出さずに転送する（留守番呼出「なし」）ときには(なし) を押します。
- 呼び出し時間を変更することができます(☞P14-10)。

北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様

- 現在「なし」をご利用いただけません。
- 呼び出し時間を変更することができます(☞P14-10)。

東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様

- 現在「なし」をご利用いただけません。
- 呼び出し時間は20秒です。変更はできません。

- 留守番電話サービスをONにすると、転送電話サービス（☞P14-3）は自動的にOFFになります。
- 割込通話サービス（☞P14-15）をお申し込みになっている場合には、通話中にかかってきた次の電話が、呼び出し後に留守番電話センターにつながります。
- 留守番電話サービスと簡易留守録の両方を設定した場合は、簡易留守録の移行時間が呼出し時間設定よりも短く設定されていると、簡易留守録が優先されます。ただし、簡易留守録の録音件数（最大5件）がいっぱいになると、留守番電話サービスに移行します。
- **関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様**は、簡易留守録（☞P13-2）をご利用になるときは留守番呼出を「あり」に設定してください。

留守番電話サービスを停止（OFF）するときは、「転送・留守番電話サービスを停止する」（☞P14-12）を参照してください。

メッセージお預かり表示について

留守番電話センターが伝言メッセージをお預かりすると、次の操作をしたときにディスプレイに「📼」が表示されます。なお、電波の届かないところでは表示されません。

〈イメージウィンドウ〉

- 電話をかけたとき※1
- 電話がかかってきたとき※1
- 通話を終了したとき
- 電源を ON にしたとき※1 ※2
- 一定距離を移動したとき※1 ※2
  （一定距離：市街地で数 km、郊外では数十 km が目安です）

※1：**東北・新潟地域でご契約のお客様**は電話をかけたとき、かかってきたときには表示されません。
また、関東・甲信／東海／関西の各地域のサービスエリア内では表示されません。

※2：**北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様**は、関東・甲信／東海／関西の各地域のサービスエリア内では表示されません。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様

V601N から「（局番なし）1415」へダイヤルしてメッセージの有無を確認することができます（通話料無料）。

伝言メッセージを聞く

ディスプレイに「📼」が表示されたら、伝言メッセージを聞いてください。V601N から留守番電話センターに接続します（留守番センター接続）。

1 「留守番センター接続」を呼び出す

① (Menu) を押す

② で (各種設定) を選択し、(選択) を押す

③ で (サービス) を選択し、(選択) を押す

④ で「留守番センター接続」を選択し、(選択) を押す

2 (実行) を押す

3 アナウンスに従って操作する

留守番電話センターがお預かりした伝言メッセージを聞くことができます。

留守番センター接続中はスピーカーから音声出力することもできます（☞P2-7）。

パーソナルオプション

北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様のみご利用になれるサービスです。
パーソナルオプションとして、次のような機能をご利用になれます。

●交換機用暗証番号入力の条件設定（留守番電話サービスご利用時に、交換機用暗証番号（☞P1-20）の入力が必要かどうかを選択できます。）
●応答メッセージの録音（電話をかけてきた相手への応答メッセージをご自分の声で録音することができます。録音がない場合には当社の通常アナウンスが流れます。）
●不在応答サービス（ご自分で録音した不在応答メッセージが流れ、相手の伝言メッセージは録音されません。不在応答メッセージを録音すると、自動的に不在応答が設定され、不在応答メッセージを消去すると、自動的に無効になります。）

1 **を押す**

1 4 1 6 ☎を押しても操作できます（☞P14-26）。

2 アナウンスに従って操作する

不在案内メッセージを録音（変更／確認）する

東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様のみご利用になれるサービスです。
電話をかけてきた相手の伝言をお預かりする前にお知らせするメッセージをご自分のお好みのメッセージに変更することができます（録音がない場合には、当社の通常のアナウンスが流れます）。不在案内メッセージは、最大３分間録音可能です。
操作する前に「圏外」表示が出ていないことを確認してください。

1 不在案内メッセージ録音（変更／確認）用サービスコード
1 4 1 8 をダイヤルする

2 ☎を押す

留守番電話センターに接続されます。

3 アナウンスに従って操作する

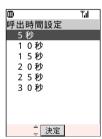
- 留守番電話サービスは、不在案内メッセージを録音しても開始されません。
- 留守番電話サービスを停止しても、録音した不在案内メッセージは消去されません。
- 録音しない場合には、不在案内メッセージが無音となってしまうことがありますので、注意してください。

秘書サービスの呼び出し時間を設定する(呼び出し時間設定)

関東・甲信／東海／関西地域、北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様にご利用いただけます。東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様は、呼び出し時間の変更はできず20秒固定となります。
転送電話サービスおよび留守番電話サービスの呼び出しを「あり」に設定した場合は、5～30秒（5秒単位）の間で呼び出し時間の設定を変えることができます。はじめは「20秒」に設定されています。
※地域によっては機能メニューからの操作ができない場合があります。その場合は、サービスコードからの操作（☞P14-25）を行ってください。
※地域によっては画面表示が異なる場合があります。

1 「呼出時間設定」を呼び出す

① ◯（Menu）を押す
② ◯で（各種設定）を選択し、◯（選択）を押す
③ ◯で（サービス）を選択し、◯（選択）を押す
④ ◯で「呼出時間設定」を選択し、◯（選択）を押す

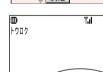
2 ◯（変更）を押す

3 ◯で呼び出し時間を選択し、◯（決定）を押す

設定されたことをお知らせします。

設定できなかったときはメッセージでお知らせします。

14

オプションサービス

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様
北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様

- 転送電話／留守番電話サービスと簡易留守録の両方を設定した場合、簡易留守録の移行時間が呼出し時間設定よりも短く設定されていると、簡易留守録が優先されます。ただし、簡易留守録の録音件数（最大５件）がいっぱいになると、転送電話／留守番電話サービスに移行します。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様

- 圏外や関東・甲信／東海／関西の各地域以外のサービスエリアからの操作および一般電話からの遠隔操作はできません。

北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様

- 北海道／北陸／九州・沖縄の各地域サービスエリア内でのみこの設定が有効です。それ以外のサービスエリア内では初期設定の秒数（20 秒）となります。

秘書サービスとは、転送電話サービスと留守番電話サービスの総称です。

転送・留守番電話サービスを停止する(秘書サービス停止)

転送電話サービスまたは留守番電話サービスの利用を停止します。
※地域によっては機能メニューからの操作ができない場合があります。その場合は、サービスコード(☞P14-25)または一般電話からの操作(☞P14-27)を行ってください。
※地域によっては画面表示が異なる場合があります。

1 「秘書サービス停止」を呼び出す

① ◯(Menu)を押す
② ◯で (各種設定)を選択し、◯(選択)を押す
③ ◯で (サービス)を選択し、◯(選択)を押す
④ ◯で「秘書サービス停止」を選択し、◯(選択)を押す

2 ◯(実行)を押す

秘書サービス(転送電話/留守番電話)が停止(OFF)されたことをお知らせします。

補足 停止できなかったときはメッセージでお知らせします。

補足 秘書サービスとは、転送電話サービスと留守番電話サービスの総称です。

秘書サービスの設定状況を確認する(秘書サービス確認)

転送電話サービスまたは留守番電話サービスの設定状況を確認することができます。
※地域によっては機能メニューからの操作ができない場合があります。その場合は、サービスコード（☞P14-25）または一般電話からの操作（☞P14-27）を行ってください。
※地域によっては画面表示が異なる場合があります。

1 「秘書サービス確認」を呼び出す

① (Menu) を押す
② で (各種設定) を選択し、(選択) を押す
③ で (サービス) を選択し、(選択) を押す
④ で「秘書サービス確認」を選択し、(選択) を押す

2 (実行) を押す

設定の状況が表示されます。

転送電話サービスがONになっているとき（転送先の電話番号が表示されます）

留守番電話サービスがONになっているとき

どちらもOFFになっているとき

補足 確認できなかったときはメッセージでお知らせします。

補足 秘書サービスとは、転送電話サービスと留守番電話サービスの総称です。

運転中モードを利用する

北海道／北陸／九州・沖縄地域、東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様にご利用いただけます。
着信音を鳴らさずに、自動車を運転中などで現在電話に出られない旨を、電話をかけてきた相手にアナウンスでお知らせすることができます。
運転中モードが開始されているときは、電話を受けることができません。ただし、電話をかけることはできます。
また、転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始することもできます。

留守番電話サービスをお申し込みになっているときは

運転中モードが開始されているときに電話がかかってくると、アナウンスのあとに相手の伝言メッセージをお預かりします。運転中モードが開始されているときにお預かりした伝言メッセージは、通常の留守番電話サービスと同じ操作で再生してください（☞P14-8）。

1 サービスコードをダイヤルする

サービス内容	サービスコード	
	北海道／北陸／九州・沖縄	東北・新潟／中国／四国
開始	1413	1413
停止	1410	1413
設定状況の確認	1403	―

2 （電話ボタン）を押す

ダイヤルしたサービスコードに応じた内容のアナウンスが流れます。

北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様
- 転送電話サービスを開始しているときに運転中モードを開始すると、転送電話サービスは自動的に停止されます。転送電話サービスをご利用になる場合は、再度開始してください。
- 運転中モードを停止すると、転送電話サービス／留守番電話サービスも停止されます。これらのサービスをご利用になる場合は、再度開始してください。
- 運転中モード停止の操作をせずに、転送電話サービス／留守番電話サービスに直接切り替えることもできます。転送電話サービスに切り替えるときは1421を、留守番電話サービスに切り替えるときは1411をダイヤルし、（電話ボタン）を押してください。

東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様
- 運転中モードが開始されているときは、留守番電話サービスによる「（留守番電話アイコン）」は表示されません。
- 運転中モードが開始されているときは、通話を終了したとき、ディスプレイに「ドライブモード　セッテイチュウ」と表示されます。

一般電話から操作するときは、「一般電話から操作する」（☞P14-27）を参照してください。

割込通話サービスを利用する

別途お申し込みが必要です。
今まで話していた相手との通話を保留にし、通話中にかかってきた電話を受けることができます。
関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様は、割込通話に加入されたあと、割り込み設定（☞P14-16）を行ってください。この設定を行わないと、サービスをご利用になれません。

割込通話サービスを受ける

1 **通話中に電話がかかってくると、「プッ、プッ」と音が聞こえ、着信ランプが点滅して着信を知らせるイラストが表示される**

2 **（☎）を押す**

今まで話していた相手との通話が保留になり、あとからかかってきた相手と電話がつながります。

（☎）を押すたびに通話の相手と保留の相手が切り替わります（メインディスプレイの表示は切り替わりません）。

通話中に電話がかかってきたときに（☎PWR HLD）を押すと、通話中の相手との電話が切れ、通常の着信動作となります。

通話中の相手との通話を終了するには

（☎PWR HLD）を押すと通話していた相手の電話が切れ、保留中の相手がいることを知らせる「プルルル」という音が聞こえます。
このとき（☎）を押すと、保留中になっていた相手と電話がつながります。

通話していた相手が通話を切ったときは

いままで通話していた相手が電話を切ると、「プープー」という音が聞こえます。
このとき（☎）を押すと、保留になっていた相手と電話がつながります。

「プープー」という音がしてから（☎PWR HLD）を押したときや約10秒間何も押さなかった場合は、保留中の相手がいることを知らせる「プルルル」という音が聞こえます。（☎）を押すと通話できます。

14 オプションサービス 全地域共通

割込通話サービスの開始／停止／設定確認をする

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様のみご利用になれるサービスです。
割込通話サービスをご利用になるときは割り込み設定を「許可」に、ご利用にならないときは「拒否」に設定します（割り込み設定）。
また、現在の設定状況を確認することもできます（割り込み確認）。
なお、関東・甲信／東海／関西の各地域以外のサービスエリアで操作する場合は、「一般電話から操作する」（☞P14-27）を参照してください。

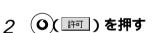
割込通話サービスを開始／停止する

通話中の割り込みを許可するか、拒否するかを選択します（割り込み設定）。

例：割込通話サービスを設定する場合

1 「割り込み設定」を呼び出す

① ◯（Menu）を押す
② ◯で（各種設定）を選択し、◯（選択）を押す
③ ◯で（サービス）を選択し、◯（選択）を押す
④ ◯で「割り込み設定」を選択し、◯（選択）を押す

2 ◯（許可）を押す

割込通話サービスが開始(ON)されたことをお知らせします。

- 停止するときは◯（拒否）を押します。
- 開始できなかったときはメッセージでお知らせします。

割込通話サービスの設定状況を確認する

1 「割り込み確認」を呼び出す

①◯(Menu)を押す
②◯で (各種設定)を選択し、◯(選択)を押す
③◯で (サービス)を選択し、◯(選択)を押す
④◯で「割り込み確認」を選択し、◯(選択)を押す

2 ◯(実行)を押す

設定の状況が表示されます。

確認できなかったときはメッセージでお知らせします。

割込通話がONになっているとき

割込通話がOFFになっているとき

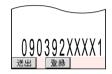
割込通話は国際電話ではご利用になれません。

三者通話サービスを利用する

別途お申し込みが必要です。
通話中にもう１人の相手に電話をかけ、３人で通話したり、２人の相手と切り替えながら通話したりすることができます。
関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様は、三者通話の途中でご自分だけ抜けることができます（通話中転送 ☞P14-21）。
なお、三者通話は国際電話ではご利用になれません。

通話中にもう１人の相手に電話をかける

1 通話中にもう１人の電話番号を入力する

リダイヤル、メモリダイヤル、スピードダイヤル、アシストダイヤル、着信履歴からそれぞれ電話番号を呼び出すこともできます。

2 [☎]を押す

呼び出しが開始され、今まで話していた相手との通話が保留になります。

相手につながると通話できます。

- 「相手を切り替えながら通話する」（☞P14-19）
- 「３人で同時に通話する」（☞P14-20）

14
オプションサービス　全地域共通

相手を切り替えながら通話する（切り替え通話）

1 **通話中にを押す**

今まで話していた相手との通話が保留になり、もう一方の相手と通話できます。

を押すたびに通話の相手と保留の相手が切り替わります（メインディスプレイの表示は切り替わりません）。

通話中の相手との通話を終了するには

PWR HLDを押すと通話していた相手の電話が切れ、保留中の相手がいることを知らせる「プルルル」という音が聞こえます。
このときを押すと、保留中になっていた相手と電話がつながります。

通話していた相手が通話を切ったときは

いままで通話していた相手が電話を切ると、「プープー」という音が聞こえます。
このときを押すと、保留になっていた相手と電話がつながります。

「プープー」という音がしてからPWR HLDを押したときや約10秒間何も押さなかった場合は、保留中の相手がいることを知らせる「プルルル」という音が聞こえます。を押すと通話できます。

3人で同時に通話する（三者通話）

1　切り替え通話中に（サブメニュー）を押す

2　（3者）を押す

確認画面が表示されます。

3　（はい）を押す

3人で通話できます。

三者通話中は割込通話サービス（☞P14-15）を受けることはできません。

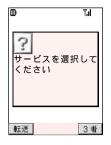
三者通話を終了するには

三者通話中にを押すと、2人の相手が同時に切れます。
また、相手のどちらかが先に電話を切ると、残りの相手との通話になります。
三者通話から切り替え通話に戻ることはできません。

ご自分以外の 2 人の通話にする（通話中転送）

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様のみご利用になれるサービスです。

切り替え通話中にご自分が途中で抜ける

1 **切り替え通話中に（サブメニュー）を押す**

2 **（転送）を押す**

確認画面が表示されます。

3 **（はい）を押す**

ご自分の電話が切れ、「プープー」という音が聞こえます。

ご自分から 2 人の相手にかけたときは、残った 2 人の通話が終了するまでの通話料金がご自分にかかります。

三者通話中にご自分が途中で抜ける

1　三者通話中に（転送）を押す

確認画面が表示されます。

2　（はい）を押す

ご自分の電話が切れ、「プープー」という音が聞こえます。

ご自分から 2 人の相手にかけたときは、残った 2 人の通話が終了するまでの通話料金がご自分にかかります。

発信者番号通知サービスを利用する

別途お申し込みが必要です。
電話をかけたときにご自分のＶ６０１Ｎの電話番号を相手に通知したり、かけてきた相手の電話番号をディスプレイで確認することができます。

サービスを受ける（通知する）で申し込まれた場合

電話をかける通常の操作でご自分のＶ６０１Ｎの電話番号が相手に通知されます。

電話をかけるとき（相手に電話番号を通知したくない場合）

1 1 8 4 と押す

2 相手の電話番号を入力する

3 （発信キー）を押す

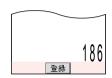
- 意図しない相手に電話番号を知られることがありますので注意してください。
- 電話番号が通知されるのは、相手の電話が表示機能を持っている場合に限られます。ただし、これらの機能を持っていても通知されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- あらかじめ「184」をアシストダイヤルに登録しておくと、先頭に「184（イヤヨ）」を付けて電話をかける操作が簡単になります（☞P10-88）。
- メモリダイヤルやリダイヤル、着信履歴からの発信も同様に相手に電話番号が通知されます。

電話がかかってきたとき（相手から電話番号が送られてきた場合）

ディスプレイに相手の電話番号が表示されます。

サービスを受けない(通知しない)で申し込まれた場合

電話をかける通常の操作では、ご自分のV601Nの電話番号は相手に通知されません。

電話をかけるとき（相手に電話番号を通知したい場合）

1 と押す

2 相手の電話番号を入力する

3 を押す

- 意図しない相手に電話番号を知られることがありますので注意してください。
- 電話番号が通知されるのは、相手の電話が表示機能を持っている場合に限られます。ただし、これらの機能を持っていても通知されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

あらかじめ「186」をアシストダイヤルに登録しておくと、先頭に「186」を付けて電話をかける操作が簡単になります（☞P10-88）。

電話がかかってきたとき(相手から電話番号が送られてきた場合)

ディスプレイに相手の電話番号が表示されます。

サービスコードを利用して操作する

V601Nから転送電話サービスや留守番電話サービスの設定などを行うとき、サービスコードを利用して操作することができます。操作はご契約いただいた地域ごとに異なります。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様の操作

この操作には、お客様のV601Nの電話番号と交換機用暗証番号が必要です。

1 1 4 0 6 **と押す**

2 ☎ **を押す**

ご自分の電話番号の入力をうながすアナウンスが流れます。

3 **ご自分のV601Nの電話番号（全桁）をダイヤルし、# を押す**

交換機用暗証番号の入力をうながすアナウンスが流れます。

4 **交換機用暗証番号（☞P1-20）をダイヤルし、# を押す**

サービスコードの入力をうながすアナウンスが流れます。

5 **サービスコードをダイヤルし、# を押す**

サービスコードには次の種類があります。

操作内容		サービスコード
転送電話サービス	転送先電話番号の登録（変更）	402＋転送先の電話番号
	サービスの開始（呼び出しあり）	441
	サービスの開始（呼び出しなし）	421
	サービスの停止	400
	設定状況の確認	403
留守番電話サービス	サービスの開始（呼び出しあり）	431
	サービスの開始（呼び出しなし）	411
	サービスの停止	400
	設定状況の確認	403
割込通話サービス	サービスの開始	481
	サービスの停止	480
	設定状況の確認	483

北海道／北陸／九州・沖縄地域、東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様の操作

1 サービスコードをダイヤルする

サービスコードには次の種類があります。

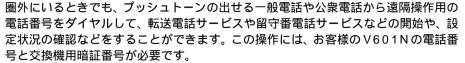
操作内容		サービスコード	
		北海道／北陸／九州・沖縄	東北・新潟／中国／四国
転送電話サービス	転送先電話番号の登録（変更）	1422 ＋転送先電話番号※1 1406+(電話ボタン)+402+転送先電話番号※2	1422
	サービスの開始	1421	1421
	サービスの停止	1420	1420
	呼び出し時間の変更※3	1422+✱+設定したい秒数※4	—
	設定状況の確認	1403	1403
留守番電話サービス	サービスの開始	1411	1411
	サービスの停止	1410	1410
	伝言メッセージの再生／消去	1416	1416
	パーソナルオプションの設定	1416	—
	呼び出し時間の変更※3	1422+✱+設定したい秒数※4	—
	設定状況の確認	1403	1403
	不在案内メッセージの録音／変更／確認	—	1418
運転中モード	サービスの開始	1413	1413
	サービスの停止	1410	1413
	設定状況の確認	1403	—

※1：北海道／北陸／九州・沖縄の各地域サービスエリア内でのみ有効です。
　　それ以外のサービスエリア内では、「一般電話から操作する」（☞P14-27）に従って操作してください。
※2：北海道／北陸／九州・沖縄以外のサービスエリア内からの操作方法です。
※3：北海道／北陸／九州・沖縄の各地域サービスエリア内でのみ有効です。
　　それ以外のサービスエリア内では、呼び出し時間は20秒となります。
※4：呼び出し時間は5秒〜30秒（5秒単位で6段階）に設定できます。

2 (電話ボタン)を押す

3 アナウンスに従って操作する

一般電話から操作する

圏外にいるときでも、プッシュトーンの出せる一般電話や公衆電話から遠隔操作用の電話番号をダイヤルして、転送電話サービスや留守番電話サービスなどの開始や、設定状況の確認などをすることができます。この操作には、お客様のＶ６０１Ｎの電話番号と交換機用暗証番号が必要です。

1 サービスセンターに接続する

ご契約地域	電話番号	
関東・甲信	090-391-1406	
東海	090-393-1406	
関西	090-392-1406	
北海道	090-130-1406	
北陸	090-131-1406	
九州・沖縄	090-341-1406	
東北・新潟	090-861	＋サービスコード※１
中国	090-860	
四国	090-132	

※１： 東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様にご利用いただくサービスコード

操作内容		サービスコード
転送電話サービス	転送先電話番号の登録（変更）	1422
	サービスの開始（呼出あり）	1421
	サービスの停止	1420
	設定状況の確認	1403
留守番電話サービス	サービスの開始（呼出あり）	1411
	サービスの停止	1410
	設定状況の確認	1403
	伝言メッセージの再生／消去	1416
	不在案内メッセージの録音／変更／確認	1418
運転中モード	サービスの開始／停止	1413

以降は、次の操作をうながすアナウンスが流れます。

東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様
６桁の番号のあとに４桁のサービスコードをダイヤルしてください。

2 ご自分のＶ６０１Ｎの電話番号（全桁）をダイヤルする

関東・甲信／東海／関西地域、北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様は、電話番号入力後#を押してください。

3 交換機用暗証番号（☞Ｐ１-２０）をダイヤルする

関東・甲信／東海／関西地域、北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様は、交換機用暗証番号入力後#を押して操作４に進んでください。

東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様は、操作１でダイヤルしたサービスコードに従ったサービスが開始されますので、アナウンスに従って操作してください。

4 サービス番号をダイヤルし、#を押す

サービス番号には次の種類があります。

操作内容		サービス番号	
		関東・甲信／東海／関西	北海道／北陸／九州・沖縄
転送電話サービス	転送先電話番号の登録（変更）	402 ＋転送先電話番号	402 ＋転送先電話番号
	サービスの開始（呼出あり）	441	441
	サービスの開始（呼出なし）	421	―
	サービスの停止	400	400
	設定状況の確認	403	403
留守番電話サービス	サービスの開始（呼出あり）	431	431
	サービスの開始（呼出なし）	411	―
	サービスの停止	400	400
	設定状況の確認	403	403
割込通話サービス	サービスの開始	481	―
	サービスの停止	480	―
	設定状況の確認	483	―
運転中モード	サービスの開始	―	531
	サービスの停止	―	400
	設定状況の確認	―	403

ご自分の電話番号や交換機用暗証番号を間違えてダイヤルしたときは、再度、正しい番号をダイヤルするようにうながすアナウンスが流れます。3 回間違えると回線が切れます。その場合は、操作 1 からやり直してください。

関東・甲信／東海／関西でご契約のお客様

留守番電話の伝言メッセージ再生を一般電話から行うときは、操作 1 で次の番号を入力したあと、アナウンスに従って操作してください。

関東・甲信地域でご契約された方 090−391−1416

東海地域でご契約された方 090−393−1416

関西地域でご契約された方 090−392−1416

北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様

留守番電話の伝言メッセージ再生、パーソナルオプションの設定を一般電話から行うときは、操作 1 で次の番号を入力したあと、アナウンスに従って操作してください。

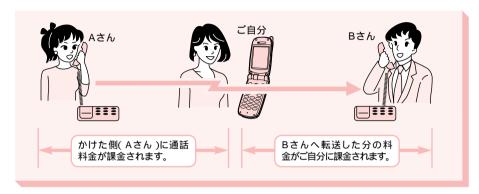
北海道地域でご契約された方 090−130−1416

北陸地域でご契約された方 090−131−1416

九州・沖縄地域でご契約された方 090−341−1416

課金方法について

転送電話サービス時の課金方法

V601Nにかかってきた電話をBさんの電話に転送するように設定してあったときに、Aさんからご自分に電話がかかってきた場合、通話料金は下図のように課金されます。

●V601Nから行う転送先の登録、開始、停止および設定状況確認の操作 ------- 無料
●一般電話から行う転送先の登録、開始、停止および設定状況確認の操作 ------- 無料
●相手からV601Nまでの通話料金 ------------------------ 電話をかけてきた相手の負担
●V601Nから転送先までの通話料金 --- ご自分の負担

遠方で転送登録をしたまま、V601Nの電源をOFFにしていますと位置登録エリアが変更されないため、通話料金が高くなることがありますので、「圏外」が表示されていない場所で電源をONにし、V601Nの位置登録エリアを再登録してください。

留守番電話サービス時の課金方法

●V601Nから行う開始、停止および設定状況確認の操作 ---------------------------- 無料
●一般電話から行う開始、停止および設定状況確認の操作 ---------------------------- 無料
●伝言メッセージの再生／消去 -- ご自分の負担
●伝言メッセージの録音 --- 電話をかけてきた相手の負担
●パーソナルオプションの設定※1 --- ご自分の負担
●不在案内メッセージ録音／変更／確認※2 ------------------------------------- ご自分の負担

※1：北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様にご利用いただけます。
※2：東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様にご利用いただけます。

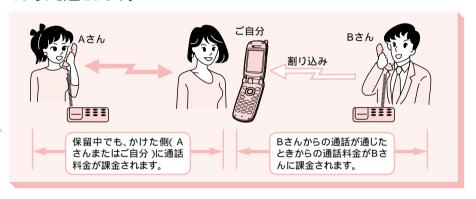
プッシュトーンを出せる一般電話や公衆電話から伝言メッセージの再生／消去を行う場合でも、ご契約いただいているV601Nの電話番号に対して通話料金がかかります。

運転中モード時の課金方法

北海道／北陸／九州・沖縄地域、東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様にご利用いただけます。

●V601Nから行う開始、停止、設定状況確認の操作※ ---------------------------------- 無料
●一般電話から行う開始、停止、設定状況確認の操作※ ---------------------------------- 無料
※設定状況の確認は、北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様にご利用いただけます。

割込通話サービス時の課金方法

Aさんとの通話中に、Bさんからご自分に電話がかかってきた場合、通話料金は下図のように課金されます。

三者通話サービス時の課金方法

■ 切り替え通話時

A さんとの通話中に、ご自分から B さんに電話をかけた場合、通話料金は下図のように課金されます。
ご自分と B さんが通話している間も、A さんとご自分との間の通話料金が、かけた側に課金されます。

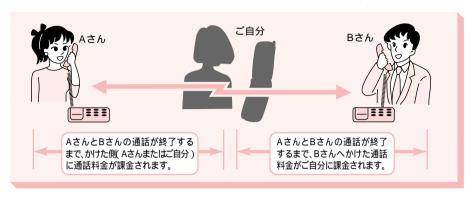
■ 三者通話時

A さんとの通話中に、ご自分から B さんに電話をかけて 3 人で通話した場合、通話料金は下図のように課金されます。

■ 通話中転送時

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様にご利用いただけます。

切り替え通話または三者通話の途中でご自分が抜けた場合、通話料金は下図のように課金されます。

A さんからご自分にかけた場合は、 A さんと B さんの通話が終了するまで、A さんにはご自分への通話料金が課金されます。ご自分から A さんと B さんにかけた場合は、通話から抜けたあとも引き続きご自分に通話料金が課金されます。

Abridged English Manual

For more information about handset operations and functions, please visit the Vodafone Website for the full manual or dial 157 from a Vodafone handset for Vodafone Customer Service.

Contents

Safety Precautions

- To ensure safe use of the handset, please read these Safety Precautions carefully before using it. After reading, please keep the Safety Precautions for future reference.
- The following precautions are provided for your benefit to protect you and others and to avoid damage to property. Please observe these Safety Precautions.

Symbols

This manual uses various symbols to facilitate your understanding of the contents, ensure correct use to prevent injury to yourself and others and prevent damage to property. The symbols used and their meanings are described below. Read the main text only after thoroughly understanding the meaning of these.

	Improper handling poses a great risk of death or serious injury.
	Improper handling poses a potential risk of death or serious injury.
	Improper handling poses the risk of injury or damage to the product or other property.

Examples

	The action is prohibited.
	The action is compulsory.
	The power cord must be unplugged.

Vodafone and NEC shall not be liable for any damages incurred by you or a third party as a result of improper use of this product, failure during use, memory loss or any other nonconformity.

Danger

■ V601N Handset, Battery and Charging Devices

- Do not use devices other than specified by Vodafone and NEC for use with the V601N handset. Using non-specified devices may cause the battery to leak battery fluid, overheat, burst or ignite.

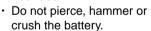
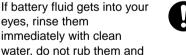
- Do not use or leave the handset, Earphone Microphone with TV Antenna, RF/AV Input Adapter with Cable, Sessha-de-lens, battery, Rapid Charger, Desktop Holder or Cigarette Lighter Charger in places with high temperatures such as near a fire or a heater. It may cause the battery to leak battery fluid, overheat, burst, smoke, ignite or distort.

■ Battery

- Do not apply excess force if you cannot completely insert the battery into the V601N handset. Battery may leak, overheat, burst or ignite. Make sure the battery is correctly aligned before inserting.

- Do not disassemble or modify. Battery may leak, overheat, burst or ignite.

- Do not get the battery wet. A battery if wet from water or a pet's urine may result in overheating, electric shock or other malfunction. Pay attention to how and where the battery is used and handled.

- Never do the following when handling the battery. Battery may leak, overheat, burst or ignite.
  - Do not drop in fire.
  - Do not solder directly.
  - Do not touch the battery terminals with metal such as wire. Also, do not carry or store the battery with metal objects such as a necklace.
  - Do not pierce, hammer or crush the battery.

- If battery fluid gets into your eyes, rinse them immediately with clean water, do not rub them and consult a doctor as soon as possible. Failing to do this may cause blindness.

Warning

■ V601N Handset, Battery and Charging Devices

- Do not apply a strong impact to or throw these devices. This may cause the battery to leak battery fluid, overheat, burst or ignite, or may cause devices to break or fire.

- Do not use the devices in a place where there may be ignition or explosion such as in a gas station. Using these devices in places where there is an inflammable atmosphere such as from propane gas, gasoline fumes or coal dust, may result in an explosion or fire.

- Do not place the battery, the handset or charging devices in a cooking vessel such as a microwave oven or pressure cooker. This may cause the battery to leak battery fluid, overheat, burst or ignite, or may cause the handset or charging devices to overheat, smoke, ignite or cause damage to circuits.

- Do not use or leave these devices in high temperatures such as under direct sunlight or in a car in hot weather. This may cause the battery to leak battery fluid, overheat, burst or ignite, or may cause devices to distort or break. Also, a part of the outer case of devices may overheat and burn the skin.

■ Battery

- If battery does not charge properly beyond the charging time, stop charging. Battery may leak, overheat, burst or ignite.

- If you notice something unusual such as an abnormal smell, overheating, change in color or distortion, remove the battery from the handset. Do not use the battery and contact Customer Service (☞P 15-50). Otherwise battery may leak, overheat, burst or ignite.

- If battery fluid gets on your skin or clothing, rinse immediately with clean water. Failing to do so may result in inflammation of the skin.

- If the battery is leaking or smells strange, immediately move it away from any open fire. Failing to do so may result in fire or bursting by igniting the leaked battery fluid.

⚠ Warning

■ V601N Handset Use near Electronic Medical Equipment

This section is based on “Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment” (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and “Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc.” (Association of Radio Industries and Business, March 2001).

- Do not use or carry the handset within 22 cm of an implanted cardiac pacemaker or defibrillator. Pacemakers and defibrillators may be affected by radio waves.

- Turn the handset power off in crowded areas such as on a train during rush hour. Someone using an implanted cardiac pacemaker or defibrillator may be near you. Pacemakers and defibrillators may be affected by radio waves.

- Observe the following inside hospitals and health care facilities.
  - Do not take the handset into operating rooms, intensive care units (ICU) or coronary care units (CCU).
  - Keep the handset off in hospital wards.
  - Keep the handset off even in the hospital lobby if there are electronic medical devices near you.
  - If the hospital or health care facility specifies places where mobile phone cannot be brought or used, follow the rules.
  - If the handset is set to be turned on automatically, cancel the setting and turn the handset off.

- If a medical electronic device other than an implanted cardiac pacemaker or defibrillator is being used at home, consult with the manufacturer of the respective medical device about the influence of radio waves on it.

⚠ Warning

■ V601N Handset

- Do not use the handset while driving. This may result in reckless driving and may cause an accident. Park the car in a safe place before using the handset. When using the handset while walking, continue to pay attention to your surroundings and path conditions.

- Do not disassemble or modify the handset. This may result in fire, bodily injury, electric shock or equipment failure. Contact Customer Service (☞P 15-50) for check-up, adjustment or repair of components other than specified areas.

- Do not swing the handset by the antenna, hand strap, Earphone Microphone with TV Antenna or RF/AV Input Adapter with Cable. The handset may hit you or another person, and this may result in bodily injury or equipment failure and damage.

- Do not direct infrared signals into eyes. This may affect the eyes. Directing infrared signals to another infrared device may cause its malfunction.

- Do not point the light close to someone's eyes. Avoid staring at the light when lit. This may cause damage to the eyes. Also, the light may cause temporary blindness or surprise which could cause accidents.

- Turn off the handset near high precision control electronic devices or devices that use low powered signals. The handset may affect the operation of these devices.
  Examples of electronic devices in this category include:
  Hearing aids, implanted cardiac pacemakers or defibrillators, other medical electronic equipment, fire alarms, automatic doors and other automatic control devices.
  If you are using an implanted cardiac pacemaker or defibrillator, or other medical electronic equipment, consult with the manufacturer or sales agent of the respective device about the radio wave effects.

⚠ Warning

- Turn off the handset in areas where usage is prohibited such as in an aircraft or hospital. The handset may affect the operation of medical or other electronic devices. If the handset is set to be turned on automatically, cancel the setting and turn the handset off. Follow the rules of the hospital or health care facility for handset usage.

- If you hear thunder while using your handset outdoors, stow the antenna, turn the handset off, and move to a safe place immediately. There is a risk of lightning or electric shock.

- If you have a weak heart, be careful with the settings of call vibration or ringer volume.

- If you are wearing a medical electronic device, do not place the handset in a chest pocket or inner pocket. Because the V601N handset is a folding type, it uses a magnet to detect the closed position. If you use the handset near medical electronic devices, the magnet may cause them to malfunction.

- Do not increase the Earphone Microphone with TV Antenna volume too high while walking. Surrounding sounds may not be heard clearly and this may cause accidents.

■ Charging Devices

- Ensure to use Rapid Charger with AC100V only. Using it with the wrong voltage may cause fire or equipment failure.

- Do not disassemble or modify. This may cause electric shock, fire or equipment failure. Contact Customer Service (☞P 15-50) for check-up, adjustment or repair of components other than specified areas.

- The Cigarette Lighter Charger is only for cars with a negative earth. Never use it in cars with a positive earth. This may cause fire.

- If the power cord gets damaged, stop using it and contact Customer Service (☞P 15-50). Continuing to use it may cause electric shock, smoke or fire.

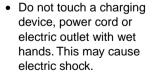
⚠ Warning

- Ensure to use the Cigarette Lighter Charger only with a car with the specified voltages (DC12V or 24V). Using it with the wrong voltage may cause fire or equipment failure.

- Ensure to use only the specified fuse to replace the fuse of the Cigarette Lighter Charger. Using it with the wrong fuse may cause fire or equipment failure.

- Do not get charging devices wet. A wet charging device from water or pet urine may result in overheating, electric shock or other malfunction. Pay attention to how and where the charging device is used and handled.

- If fluid such as water seeps in, immediately unplug from the electric outlet or cigarette lighter socket and contact Customer Service (☞P 15-50). Continuing to use it may cause electric shock, smoke or fire. Never attempt to repair it yourself.

- Do not touch a charging device, power cord or electric outlet with wet hands. This may cause electric shock.

- Do not place a charging device in an unstable place while charging. Do not cover or wrap the charging device with cloth or futon. The handset may become disconnected, or the charging device may overheat. This may cause fire or equipment failure.

- Do not short-circuit the charging terminals or connector terminals while a charging device is connected to an electric outlet or cigarette lighter socket. Also, do not touch the charger or connector terminals with your hands, fingers or any other part of your body. Doing otherwise may cause fire, equipment failure, electric shock or bodily injury.

- Never use the Rapid Charger or Desktop Holder in a very humid place such as restroom or bathroom. This may cause electric shock.

- Wipe any dust off the plug. Failure to do so may cause fire.

- When plugging the Rapid Charger into an electric outlet, do not allow it to touch metal such as a metal strap and also be sure to plug the charger securely. Otherwise this may cause electric shock, short circuit or fire.

⚠ Warning

■ Using TV Functions

- Do not touch the V601N handset with any part of your body for a long time while using TV functions. The handset may become hot and cause influence to the skin.

■ Sessha-de-lens

- Do not look at the sun or bright lights through the Sessha-de-lens. This may damage the eyes.

- Keep the Sessha-de-lens out of the reach of infants. They may mistakenly swallow it or get hurt in other ways.

⚠ Caution

■ V601N Handset, Battery and Charging Devices

- Do not keep these devices in a humid or dusty place, or in high temperature. This may cause equipment failure.

- Do not place the device in an unstable place such as on a shaking table or slanted shelf. The device may fall and cause injury or equipment failure.

- If the user is a child, the parent should teach the child how to handle the device safely. Also, watch to make sure the device is being properly used. Failing to observe instructions may cause injury.

- Keep devices away from infants. They may mistakenly swallow it or they may get hurt in other ways.

■ Battery

- Do not dispose of batteries with other household waste. This may cause fire or environmental destruction. Tape over charging terminals beforehand and take it to a Vodafone Shop or follow local regulations regarding battery disposal.

■ V601N Handset

- If you use the handset in a car, in rare cases it may affect electronic equipment in the car, depending on the type of car. Verify with your car dealer that there are sufficient electromagnetic protection measures. Otherwise, driving may become unsafe.

- Do not clamp the hand strap, Sessha-de-lens, Earphone Microphone with TV Antenna or RF/AV Input Adapter with Cable in the fold of the handset. This may cause equipment failure or damage.

- Do not place magnetic cards near the handset or clamp them in the fold of the handset. Magnetic data on cash cards, credit cards, telephone cards, floppy disks, etc. may be erased.

⚠ Caution

- Do not use the handset in crowded places. The antenna may hurt others.

- Do not get the handset wet. The handset, wet from water or pet urine, may result in overheating, electric shock or other malfunction. Pay attention to how and where the handset is used and handled.

- Do not sit down with the handset in a back pocket. Also, do not place heavy objects on the handset in a bag. This may cause equipment failure or damage.

- Do not use the handset with a damaged antenna. Touching a damaged antenna may cause bodily injury such as burning.

- Watch out for broken glass if the display or camera lens gets damaged. The surface of the display and camera lens is coated with plastic to prevent glass from scattering. However, touching broken glass parts may cause bodily injury.

- Do not leave the handset where a bright light goes into the camera lens or Sessha-de-lens for a long period. The lens light-concentrating may cause fire or equipment failure.

- When disconnecting the Earphone Microphone with TV Antenna or RF/AV Input Adapter with Cable from a connector, hold the plug, not the cord, and pull the plug. Pulling the cord may damage the cord, and this may cause electric shock or fire.

- Do not increase the headset volume too high while using TV functions or a Java™ Application for a long time. Listening at high volume for a long time may damage your ears and impair hearing.

- Do not set the headset volume too high at first, while using TV functions. Loud sounds may suddenly occur and damage your ears. In weak signal areas especially, sudden loud noises may occur.

⚠ Caution

- Depending on your physical characteristics and other conditions, skin irritations, a rash or eczema may develop in some rare cases. In such cases, stop using the handset immediately and consult a doctor.

Part	Material	Surface Finish
Antenna	ABS Resin Brass Nylon Brass	– Chrome Plating (Base: Nickel) – Nickel Plating
Outer Case (Image Window Side and Battery Side)	ABS Resin	Acrylic UV Cured Coating
Front Case (Main Display and Keypad Sides)	Magnesium Alloy	Backed Acrylic Coating
Back Side Logo Plate	Aluminum	Alumite Finish
Illumination Window Screen	Acrylic Resin	Acrylic UV Cured Resin
Infrared Port	PC Resin	Acrylic UV Cured Coating
Incoming Lamp Lens	PC Resin	–
Light Lens	Acrylic Resin	–
Camera Lens	Acrylic Resin	Acrylic UV Cured Resin
Lens Cover Frame	Nickel	Chrome Plated
Main Display Screen	Acrylic Resin	Acrylic UV Cured Resin
Screw Covers (Main Display)	Silicon Rubber Film	–
Multi Selector	ABS Resin	Chrome Plating (Base: Nickel)
Phone Book Key	ABS Resin	Chrome Plating (Base: Nickel)
Vodafone live! Key, Mail Key, Clear Key, Direct Key	PC Resin	Acrylic Urethane UV Cured Coating
Keypad, Power Key, Call Key	PC Resin	–
Side Keys	ABS Resin	–
Hinge Caps	ABS Resin	–
Earphone Jack and External Connector Covers	Elastomer Resin	–
Screw Covers (Near Strap Eyelet)	Silicon Rubber	–
Screws (in Battery Compartment)	Iron	Trivalent Chrome Chromate Finish
Charging Terminals	Phosphor Bronze	Gold Plating
Earphone Microphone with TV Antenna	Polyester Elastomer Resin ABS Resin PC Resin	– – –

⚠ Caution

■ Charging Devices

- Do not use the Cigarette Lighter Charger while the engine is not running. This may cause the car battery to run down.

- Do not place heavy objects on the power cord. This may cause electric shock or fire.

- After charging completes, unplug from the electric outlet or cigarette lighter socket. Failure to do so may cause fire or equipment failure.

- Before cleaning, always unplug the device from the electric outlet or cigarette lighter socket. Failure to do so may cause electric shock.

- When unplugging a charger from an electric outlet or cigarette lighter socket, do not pull the power cord. This may damage the power cord and cause fire or electric shock.

■ Sessha-de-lens

- Do not swing the Sessha-de-lens with the hand strap. The handset may hit you or another person, and this may result in bodily injury or equipment failure.

- Do not place Sessha-de-lens near the magnetic cards. Magnetic data on floppy disks, cash cards, credit cards, telephone cards, etc. may be erased.

General Notes

■ When Using

- As the V601N handset uses radio waves, it cannot be used where signals are weak or when the handset is out-of-range. Even within a service area, the handset cannot be used where signals do not reach such as behind or inside a building, in a tunnel, underground or in mountainous areas. If you move to such places during a call, the call may get disconnected.
- Do not disturb others when using the handset on a train, or in other crowded or quiet places.
- Do not set the headset volume too high while listening. Sound leakage from the headset may disturb others.
- If using the handset in a public vehicle such as a train, on rare occasions it can affect electronic equipment mounted on the vehicle.
- Vodafone and NEC are not liable for any damages resulting from accidental loss or alteration of the handset data. Please keep separate records of Phone Book data, images, sounds, etc.
- The V601N handset is a radio station subject to Japanese Radio Law. You may be requested to submit the handset for inspection according to this law.
- The time provided by the handset may not be completely accurate. If you need to know the precise time, use another means such as a time signal service.
- Failure to follow the recommendations below may result in calls not being connected or excessive noise being heard:
  - Do not keep the handset in an extremely cold place such as in frozen storage. This may hinder proper operation.
  - Do not use the handset near metal furniture. Signals may not be easily transmitted.
  - Do not place the handset near magnetic devices such as electric appliances, AV or OA equipment, or in places where magnetic waves are emitted. (Computers, microwave ovens, speakers, TV's, radios, facsimiles, fluorescent lights, word processing devices, electric heaters, inverter air-conditioners, magnetic cookers, etc.)
  - Under the influence of strong magnetic or electric fields, the noise may become louder, or calls may become unavailable. In particular, using microwave oven has the potential to adversely affect the handset.
  - If you are near a broadcasting or radio station and getting a lot of noise, try moving the handset. If the signals from the station are too strong, the handset may not work.
  - When a truck, car or motorcycle is passing by, you may hear noise.

- **Be Aware of Eavesdropping**
  The V601N handset employs digital signals and it is difficult to intercept these signals. However, as the handset also uses radio waves, if a method beyond ordinary means is taken, eavesdropping by a third party may occur. You should understand this before using the handset.
  Eavesdropping:
  A third party receives the content of radio communication with another receiver intentionally or accidentally.

■ General Use

- Do not pour water on parts. The V601N handset, battery, charging devices, Earphone Microphone with TV Antenna and RF/AV Input Adapter with Cable are not water-proof. Do not use them in humid places such as the bath or in the rain. When carrying the handset in your shirt pocket, moisture from sweat may corrode internal parts and this may cause equipment failure.
- Clean with soft dry cloth. Wiping with a wet cloth may cause equipment failure. Also, wiping with alcohol, thinner, benzene or liquid soap may cause decals to fade or other discoloration.
- Clean connectors with a dry cotton swab occasionally. Dirty connectors may cause poor contact and the handset may get turned off. Also, dirty contacts may prevent proper charging.
- Do not place the handset near the airflow of an air-conditioner. Sudden temperature changes may cause condensation and this may corrode internal parts.
- Do not keep the handset in a place where extreme force may be applied. Placing the handset in a bag with many other items, or sitting down with the handset in your pocket may damage the display or internal circuit boards and may cause equipment failure.
- Do not use the handset in extremely high or low temperatures. The operating temperature range is from 5 to 40 degrees Celsius and the humidity range is from 35 to 85 percent.
- If you use the handset near a landline, TV or radio, the handset may affect the operation of these devices. Use the handset as far as possible from these devices.
- If the handset battery is removed or if the handset is left with a low battery charge for a long period, the data or settings you saved may be lost or altered. Vodafone and NEC are not liable for any damages incurred by loss or alteration of data in such cases.
- Usually, use the handset with Earphone Jack cover and External Connector covers closed. Without the covers closed, dust or water can easily seep in and this may cause equipment failure.

■ Copyrights

Music, images, computer programs, database, other copyrighted materials and their respective copyright holders are protected by copyright laws. Use of materials beyond this limit is prohibited except as authorized by the copyright holder. If duplications (including conversion of data types), modifications, transfer of duplicates or distribution on networks are made without permission of copyright holders this constitutes "Literary Piracy" and "Infringement of Copyright Holder Rights" and a criminal action for reparations may be filed. If duplicates are made using the handset, please observe the copyright laws. The V601N handset is equipped with a camera. Materials captured with the camera are also subject to the above.

Handset Parts & Functions

Handset

Earpiece

Main Display
Shows operating status, messages, etc.

Received Calls Key ▲ (Side Key)
Use to increase earpiece volume, receive a call, display Received Calls on Image Window (Sub LCD), set/cancel Off-Line Mode. Also navigates through function menus or lists.

Memo/Shutter Key ▼ (Side Key)
Use to reduce earpiece volume, receive a call, or release shutter in Mobile Camera mode. Also navigates through function menus or lists.

Redial/Clear Key
Use to redial or delete characters. Returns to the previous screen during an operation.

Call Key
Initiates/answers calls.

Keypad
Enter numbers or text.

Earphone Jack (Side)
Connect Earphone Microphone (accessory/sold separately).

✳ Key
Enter asterisks and Japanese kana marks. Toggle Camera windows.

 # Key
Enter sharp, comma, period or space. Also use to set Key Operation Invalid.

Strap Eyelet
Attach hand strap as shown:

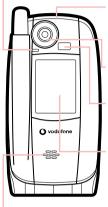
Antenna

Microphone

External Connector Cover

Charging Terminals
Connect to Desktop Holder to charge.

External Connector
Connect Rapid Charger or Cigarette Lighter Charger (sold separately).

Incoming Lamp
Flashes to notify of incoming calls or messages; illuminates red while charging and turns off after charging.

Infrared Port
Sends and receives data using infrared transmission. Sends signals for remote control.

Camera
Capture images.

Light
Use as a flash when capturing images or as a light in standby.

Image Window
Notifies of missed calls or new messages and shows current operating status.

Speaker

Soft Keys
Select item or execute an operation displayed at the bottom of Main Display. Also use in the following functions:

Vodafone live! Key
Access Vodafone live!. Press for 1+ seconds to access Mobile Camera.

Phone Book Key
Opens Phone Book. Press for 1+ seconds to check missed calls, etc.

Mail Key
Access Mail. Press for 1+ seconds to activate TV.

Multi Selector
Press in one of four directions. Some Java™ Applications allow the use of eight directions. Use as follows:

Convert/Up Key
Convert Kana-Kanji, adjust volume or move the cursor up. Hold to scroll up continuously.

Convert/Down Key
Convert Kana-Kanji, adjust volume or move the cursor down. Hold to scroll down continuously.

Menu/Right Key
Display function menus or Schedule Calendar. Move the cursor right. Also navigate between function menus or lists.

Assist/Manner/Left Key
Access Dial Assist or set/cancel Manner Mode. Move the cursor left. Also navigate between function menus or lists.

Direct Key
Opens Shortcut list. In a text entry window, enters a carriage return.

Power/End Key
Turns the handset power on/off, ends the call or cancels operations. Press to place an incoming call on hold.

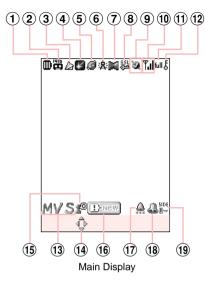
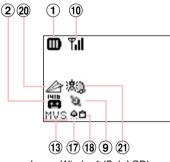
Display Indicators

Main Display

Image Window* (Sub LCD)
* Image Window is a trademark of NEC Corporation.

① **Battery Strength**
Indicates remaining charge

② **Voice Mail**
New messages held at Voice Mail Center

③ **Mail (Main Display)**
Unread mail (other than Super Mail)

④ **Super Mail**
Unread Super Mail or messages on the server

⑤ **Web**
Unread Web information

⑥ **Station**
Unread Station information

⑦ **Line Connection**
Communicating with Mail Server or Service Center

⑧ **SSL**
Appears when using SSL (Secure Socket Layer)

⑨ **Java™ Status**
Indicates Java™ status

Java™ Activated

Java™ Paused

⑩ **Power On**
Handset power is on in a service area

Signal Strength
Indicates signal strength. More bars shows stronger signal

Out-of-Range
Handset is currently out-of-range

Off-Line Mode
Handset is in Off-Line Mode

IrDA Exchange
Infrared transmission in progress

⑪ full **Memory Full**
Available memory space for Vodafone live! is less than 10%

⑫ **Secret Mode**
On: Secret Mode is On
Blinking: Entry or data saved in Secret Phone Book is being displayed

⑬ **Manner Mode**
Manner Mode is On

Vibration
Handset vibrates for incoming calls, messages and Web/Station information

Silent Mode
Ringer Volume is Silent

⑭ **Scrolling**
Indicates available scroll directions

⑮ 0/1/2/3/4/5
Message Recorder
Indicates number of recorded messages when Message Recorder is set

⑯ **New Message**
Unchecked messages on Message Recorder, missed calls, unread Mail/Web/Station, etc.

15 Abridged English Manual

⑰ **Snooze**
Alarm Clock with Snooze is activated

⑱ **Alarm**
Appears when a Schedule event, Java™ Timer, Action Item or set Alarm Clock date arrives and disappears when it is past

⑲ **Side Key Lock**
Side Key Lock is On

⑳ **Mail (Image Window)**
Unread Mail

㉑ **Web/Station**
Unread Web information or Station information

- Display Resolutions
  Main Display: 216 x 160 dots
  Image Window: 80 x 120 dots
- Indicators do not appear on Image Window (Sub LCD) if Analog 2 is set for Standby.
- The handset's liquid crystal display employs high precision technology, however, please note that there may be instances where there are missing pixels or pixels that remain on.
- With polarized sunglasses, display contents may be difficult to see from the side.

Multi Selector

This manual uses the following notations to describe use Multi Selector:

Common Usage	Description
Press (Menu)	Press Right Key (Menu)
Press ()	Press Left Key (Manner Mode)
Press (Convert)	Press Up or Down Key (Kana-Kanji Conversion)
Use to select menu item	Press Up, Down, Right or Left Key to move the cursor to select an item
Use to select an item	Press Up or Down Key to move the cursor to select an item
Use to select menu item	Press Right or Left Key to move the cursor to select an item

Soft Keys

Each Soft Key corresponds to a function/action appearing at bottom of Main Display (see illustration below). Press the corresponding Soft Key to select the item.

Example:

- To select Menu, press
- To select Enter, press
- To select Received, press

End Key & Clear Key

To cancel an operation, press PWR HLD. For some functions, pressing CLR returns to the previous screen. If Back is displayed at the bottom of Main Display, press the corresponding soft key to go back. If an operation is canceled mid-operation, operation will be canceled (entries will not be saved and settings unset).

Codes

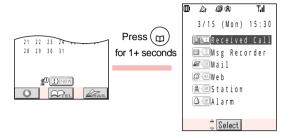
Security Code and Center Access Code are required to use/access some functions/services.

- Security Code
  The Code is initially set to “9999” or the 4-digit number selected at initial service subscription.

- Center Access Code
  The Code is the 4-digit number selected at initial service subscription and is required to set optional services from a landline.

- Do not forget these codes.
- Do not reveal your codes to others.
- If you forget any of the codes, you must follow certain procedures. For more information, contact Customer Service (☞P 15-50).

New Messages

appears on Standby Display when there are unchecked messages on Message Recorder, missed calls, unread Mail/Web/Station, etc. Press for 1+ seconds to display notification for missed calls/unchecked information. disappears after checking all notifications.

Received Call: Select and press Select to view missed calls.

Message Recorder:

Select and press Select to open Message Recorder.
Or press to play messages while the handset is open.

Mail: Select and press Select to view new mail.

Web: Select and press Select to view new Web information.

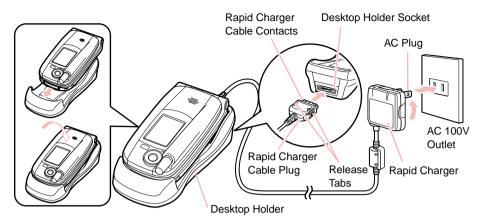
Station: Select and press Select to view new Station information.

Alarm: This notification indicates a Scheduled event, Action Item or Alarm time which elapsed during a call, while recording message on Message Recorder or other Web/Station communications. Select and press Select to check which Alarm did not sound.

Note If ***Time Unset. Set Clock*** appears, see “Setting Clock” (☞P 15-26).

15 Abridged English Manual

Charging the Battery

Charging with Desktop Holder and Rapid Charger

1 Connect Rapid Charger to Desktop Holder

Make sure the plug is inserted securely.

2 Insert Rapid Charger into an AC outlet

3 Insert the handset into Desktop Holder, making sure the battery is inserted in the handset (Charging Time: Approx. 95 minutes)

The Incoming Lamp illuminates red while charging. The Lamp turns off after charging is complete.

4 Remove handset from Desktop Holder. Unplug AC cable from outlet

To remove Rapid Charger from Desktop Holder or the handset, press release tabs and pull plug.

Using Battery & Charger

- Charge the battery before using the handset for the first time or if the handset has not been used for a long time.
- If the handset will not be used for a long time, charge it at least every six months. If the battery has not been used for a long time, it may not be fully charged and operating time may be reduced.
- The V601N comes with a lithium-ion battery. Lithium-ion batteries do not have memory effects, and therefore can be recharged without fully draining the battery.
- Do not charge where:
  Ambient temperature is below 5°C or over 35°C
  In a humid, dusty or unstable surfaces (may cause a malfunction)
  Near a radio (the handset signals may cause noises)
- During charging, the battery or charger may become warm. This is normal. However, if they become extremely hot, stop charging immediately and contact Customer Service (☞P 15-50).
- Do not plug too many devices into one outlet. Connecting too many devices to one outlet may cause overheating and result in a fire.
- Keep the battery in a well ventilated cool place avoiding direct sunlight. If you do not intend to use the handset for a long period, remove the battery from the handset after the battery is discharged.
- The battery is a consumable item. If operating time becomes too short for practical use, its lifetime has elapsed. Replace the battery with a new one.
- Do not dispose of exhausted batteries with municipal waste. Tape over charger terminals and send it to a recycle collection or bring it to a Vodafone Shop. Follow local regulations regarding battery disposal.
- Lithium-ion batteries are valuable and recyclable resources.

- Use only charging devices specified by Vodafone and NEC for use with the V601N handset.
- Always install a battery in the handset before charging. Without installing the battery, the handset cannot be charged and powered on.
- If the Incoming Lamp flashes red during charging, the battery may not be charging properly. Contact Customer Service (☞P 15-50).
- If ***Charger Failure Stop Charging*** appears and the Incoming Lamp flashes red, remove the battery from the handset and disconnect the charger. Reconnect them and try again. If the same symptoms occur, the charger may be defective. Contact Customer Service (☞P 15-50).

- The battery can only be charged when installed in the handset.
- Charging time indicates the approximate time required to charge handset while power is turned off. Charging takes longer if the handset power is on during charging. Charging time may vary depending on an ambient temperature.
- Unplug charger from outlet or cigarette lighter socket if you do not intend to use it for a long time.

Basic Handset Operations

Handset Power On/Off

Power On

Press ☎PWR HLD for 1+ seconds

Power Off

Press ☎PWR HLD for 2+ seconds

Changing Display Language to English

1 Press ◯ (Menu) from Standby

2 Press 3 さ DEF 5 な JKL

3 Press 📖 変更 (Change)

4 Use ◯ to select *English* and press 📖 設定 (Set)

Setting Clock

1 Press ◯ (Menu) from Standby

2 Press 5 な JKL 9 ら WXYZ

3 Press 📖 Set

4 Enter year, month, day and time in the 24-hour system

5 Press 📖 Enter

Making a Call

1. **Enter a phone number**
2. **Press**

Redialing

1. **Press** CLR
2. **Use** CLR **or** the navigation key **to select a number**
3. **Press**

Receiving a Call

1. **The handset rings/vibrates and the Incoming Lamp flashes**
2. **Press**

Putting a Caller on Hold

1. **The handset rings/vibrates and the Incoming Lamp flashes**
2. **Press** PWR HLD
3. **Press** **to start talking**

Press PWR HLD to end the call.

Making an International Call

International calls can be made directly from your handset. A separate subscription is required to use this service (no application fees or basic monthly charges are required).

To make an International Call enter:
0046 + 010 + Country Code + Area Code + Phone Number

- If the area code starts with zero, omit the zero. (Except when calling a fixed-line number in Italy)
- For more information, contact Customer Service (☞P 15-50).

Message Recorder & Voice Mail

Message Recorder

Set Message Recorder to record up to five 20-second messages on the handset.

■ Setting Message Recorder

1 Open *Settings*

① Press (Menu) from Standby

② Use to select *Settings* and press Select

③ Use to select *Message Recorder* and press Select

④ Use to select *Settings* and press Select

2 Press Set

3 Use to select *Message Recorder* and press Select

4 Press Yes

■ Playing Message Recorder Messages

1 **Open *Playback***

① Press (Menu) from Standby

② Use to select *Settings* and press Select

③ Use to select *Message Recorder* and press Select

④ Use to select *Playback* and press Select

2 **Press Execute**

3 **Use to select a recorded message and press Play**

4 **Press One or All to delete messages**

Recordings can be deleted immediately after playback.

Voice Mail

A Separate subscription is required for customers in Hokkaido, Hokuriku, Kyushu/ Okinawa, Tohoku/Niigata, Chugoku or Shikoku Service Areas.

■ Starting Voice Mail Service

1 **Open *Voice Mail Ringer***

① Press (Menu) from Standby

② Use to select *Settings* and press Select

③ Use to select *Services* and press Select

④ Use to select *Voice Mail Ringer* and press Select

2 **Press On**

If you subscribe in Kanto/Koshin, Tokai or Kansai Service Areas, press Off to set ringer off. The handset does not ring when a call arrives and is directly forwarded to Voice Mail Center.

Playing Voice Mail Messages

1 Open *Access Voice Mail*

① Press (Menu) from Standby

② Use to select *Settings* and press Select

③ Use to select *Services* and press Select

④ Use to select *Access Voice Mail* and press Select

2 Press Execute

3 Voice prompts start (in Japanese only)

Messages are played back automatically.

4 Press 7 PQRS to delete message after playback

Call Forwarding

Transfers incoming calls to a specified number.

Saving a Forwarding Number

1 Open *Forwarding Number*

① Press (Menu) from Standby

② Use to select *Settings* and press Select

③ Use to select *Services* and press Select

④ Use to select *Forwarding Number* and press Select

2 Press Enter and enter a number for Call Forwarding

3 Press Send

Call Forwarding and Voice Mail cannot be used at the same time.

Starting Call Forwarding Service

1 **Open *Call Forwarding Ringer***

① Press (Menu) from Standby

② Use to select *Settings* and press Select

③ Use to select *Services* and press Select

④ Use to select *Call Forwarding Ringer* and press Select

2 **Press On**

If you subscribe in Kanto/Koshin, Tokai or Kansai Service Areas, press Off to set ringer off. The handset does not ring when a call arrives and is directly forwarded to the set Forwarding Number.

Setting Manner Mode

The default Manner Mode settings are as follows:
All Ring Tones and alarms: Silent
Vibration for incoming calls, messages and Web/Station information and alarms: On
Message Recorder: On

Press ( ) for 1+ seconds in Standby

Press ( ) for 1+ seconds in Standby to cancel Manner Mode.

Displaying Total Charges & Total Talk Time

1 **Press (Menu) from Standby**

2 **Use to select *User's Data* and press Select**

3 **Use to select *Call Time & Charge* and press Select**

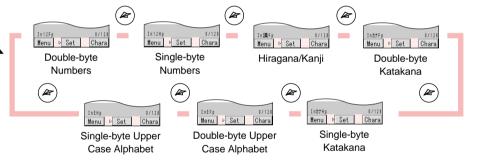
4 **Press Total**

Entering Text

Entering Text Window

Text Input Mode is Single-byte Lower Case Roman letter mode by default.
Press [key] to toggle upper/lower case.

Text Input Mode

Press [key] **Characters** from any text entry window to switch text modes. Some text modes are not available in some text entry windows. Press [key] to toggle upper/lower case for Alphabet/Hiragana/Kanji/Katakana modes.

Entering Pictographs/Symbols

1 **Press [key] Menu from a text entry window**

2 **Use [key] to select *Pictographs* or *Symbols* and press [key] Select**

3 **Use [key] to select a Pictograph (477) or Symbol (385 double-byte and 41 single-byte symbols) and press [key] Select**

Key Assignments

Mode / Key	Upper Case Alphabet	Lower Case Alphabet	Number
1 あ @	@ . _ ‾ .CO.JP .NE.JP .AC.JP .OR.JP .COM .HTML HTTP:// HTTPS:// WWW. .NET	@ . _ ‾ .co.jp .ne.jp .ac.jp .or.jp .com .html http:// https:// www. .net	1
2 か ABC	ABC	abc	2
3 さ DEF	DEF	def	3
4 た GHI	GHI	ghi	4
5 な JKL	JKL	jkl	5
6 は MNO	MNO	mno	6
7 ま PQRS	PQRS	pqrs	7
8 や TUV	TUV	tuv	8
9 ら WXYZ	WXYZ	wxyz	9
0 わをんー	␣ (Space)		0
* ゛゜	*		
# 記号	, ' " / ␣ (Space) ↲ : ; + – = & % $ ¥ ! ? # ( ) < >		: / ␣ (Space) ↲ + – . = % ¥ $ ( ) #
CLR	Press to delete the character highlighted by the cursor Press for 1+ seconds to delete all characters		
✓	Press for 1+ seconds to insert a carriage return		
☎	Toggles upper/lower case		

- If two adjacent characters use the same key, press ◯ to move the cursor before entering the second character.
- To switch upper/lower case modes, press ◯ Menu, select ***Upper Case*** or ***Lower Case*** from Sub Menu and press ◯ Select.

Phone Book

Save up to 500 Phone Book entries and up to three phone numbers and three e-mail addresses per entry.

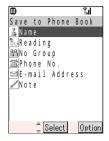
Save the following in Phone Book:

Item		Description
–	Memory Number	Save entries from Memory Number 000 to 499
	Name	Enter up to 10 double-byte or 20 single-byte characters
	Reading	Enter up to 20 single-byte characters
	Group	Classify entries into one of 19 Groups or No Group
	Phone Number	Enter up to 24 digits per phone number (up to 3 phone numbers)
	E-mail Address	Enter up to 60 single-byte alphanumeric characters per address (up to 3 addresses)
	Note	Enter up to 30 double-byte or 60 single-byte characters
Options		Personalize Ring Tones, Incoming Lamp color, etc. Personal Ring Tone Personal Call Color Personal Call Illustration Personal Mail Tone Personal Mail Color PIN Sub-address

Note If the battery is removed or left in the handset with little or no charge for an extended period of time, Phone Book entries may be altered or lost. Accidents or malfunctions can also result in lost information. Please keep a backup copy of Phone Book data. Vodafone and NEC are not liable for any damages resulting from accidental loss or alteration of Phone Book data.

Saving Information to Phone Book

1 **Press [book key] [Phone Book/TEL] from Standby**

2 **Use [navigation key] to select [New Entry icon] *New Entry* and press [book key] Select**

3 **Press [book key] Select and enter a name (up to 10 double-byte or 20 single-byte characters)**

4 **Press [book key] Set**

The text entered in the name field (either alphabet, kana or number) appears in single-byte characters as the name's reading. Edit Reading as necessary.

5 **Press [book key] Set**

6 **Press [book key] Select**

7 **Use [navigation key] to select a group and press [book key] Select**

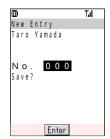
8 **Press [book key] Select and enter the entire phone number (up to 24 digits)**

9 **Press [book key] Set**

10 **Use [navigation key] to select *E-mail Address***

11 **Press [book key] Select and enter an e-mail address (up to 60 single-byte characters)**

12 **Press [book key] Set**

13 **Press** (button) Enter

14 **Enter a Memory Number (000 to 499) or press** (button) Enter **to save in smallest available Memory Number**

Saving a Phone Number from Received Calls

1 **Open *Received Calls***

① Press (CLR) from Standby

② Press (button) **Received**

2 **Use** (button) **to display a number and press** (button) Enter

3 **Use** (button) **to select *New Number* and press** (button) Select

Tip For subsequent steps, see “Saving Information to Phone Book” (☞P 15-35).

Editing Phone Book Entries

1 **Open a Phone Book entry**

Tip
For finding an entry, see “Searching Phone Book Entries” (☞P 15-37 from Step 1 to 5).

2 **Press** (button) Edit

3 **Use** (button) **to select an item and press** (button) Select

4 **Edit the contents**

5 Press Set

6 Press Enter

7 Press Change

Searching Phone Book Entries

Reading Search

1 Press from Standby

2 Use to select *Reading Search* and press Select

3 Enter a reading (up to 20 single-byte characters)

4 Press Search

5 Use to select an entry and press View

6 Use to select phone number and press to make a call

Memory Number Search

1 Press from Standby

2 Use to select *Entry Number Search* and press Select

3 Enter a Memory Number (three digits)

Tip Press without entering a Memory Number to display all entries.

4 Use to select an entry and press View

5 Use to select phone number and press to make a call

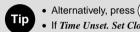
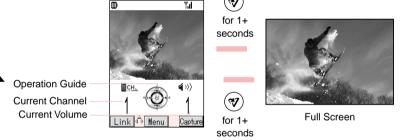
TV

Watching TV

Attach Earphone Microphone with TV Antenna and extend the antenna and the cord.

Activating TV

1 Press (Menu) from Standby

2 Use to select *TV* and press Select

Tip
- Alternatively, press for 1+ seconds from Standby to activate TV.
- If ***Time Unset. Set Clock*** appears, see "Setting Clock" (☞P 15-26).

Adjusting Volume

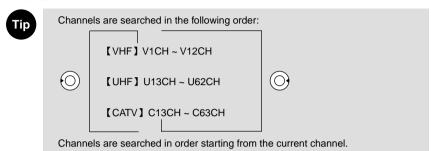
The default setting is 🔈 1.

Press to increase and press to reduce the volume

Press to mute. Press again to return to the previous volume.

Selecting a Channel

■ Searching a Channel

Channel Auto-select in Progress appears. When a channel is found, the channel switches.

■ Manually Selecting Channels

Press (○) to switch to next channel and (○) to switch to previous channel.

Exiting TV

Press (PWR HLD) while watching TV

TV automatically ends when;

- Incoming Call arrives
- Auto-Off time arrives (Default setting is 30 minutes)
- battery level falls to ▮
- the handset is closed
- Schedule event, Java™ Timer, Action Item or set Alarm Clock time arrives

Camera

Capture still images and videos with built-in camera. Create animations from serial captured images.

Still Images

Shooting Mode	Image Size (dots)	File Format (Extension)	Description and Main Use
Standard	180 x 160 (Standard Mode) 180 x 160 (Zoom Mode) 120 x 160 (Wide Mode)	JPEG (.jpg) Saved to Images folder	Use as Wallpaper or set as Personal Images, etc. Depending on image quality or the receiver's handset, cannot attach to mail.
Sha-Mail	160 x 120 (Standard, Zoom & Wide Modes for Small Wallpaper) 180 x 160 (Standard & Zoom Modes) 120 x 160 (Wide Mode for Full Size)	JPEG (.jpg) Saved to Images folder	Attach to mail.
Digital Camera	480 x 640 Image appearing on the V601N handset display is 120 x 160	JPEG (DCF) (.jpg) Saved to Digital Camera folder (in Images folder)	Use this mode to edit or print from PCs. Cannot attach to mail.

Video (with Sound)

Video Mode		Image Size (dots)	File Format (Extension)	Description and Main Use
Movie Sha-Mail	Nancy Mode	60 x 80 (Standard Mode) 60 x 80 (Zoom Mode)	Nancy (.noa) Saved to Movies folder	Capture up to five seconds of video. Attach to mail.
	MPEG Mode	96 x 128 (Standard, Zoom & Wide Modes)	MPEG-4 (.3gp) Saved to Movies folder	High quality. Capture up to 10 seconds or up to 30 Kbytes of video. Depending on the receiver's handset, cannot attach to mail.
Original	Fine Animation	180 x 160 (Standard & Zoom Modes) 120 x 160 (Wide Mode)	JPEG (.jpg) Saved to Animation folder	Shoot up to nine animations. Depending on the quality of images, cannot attach to mail.
	Mail Animation	60 x 80 (Standard & Zoom Modes)	JPEG (.jpg) Saved to Animation folder	Shoot up to four animations. Attach to mail.
	Local Movie	96 x 128 (Standard, Zoom & Wide Modes)	MPEG-4 (.3gp) Saved to Movies folder	Capture up to 30 seconds or up to 225 Kbytes. Cannot be attached to mail.

Capturing Images

1 Open *Mobile Camera*

① Press (Menu) from Standby

② Use to select *Mobile Camera* and press Select

2 Use to select a shooting mode and press Select

Tip To use Self-timer, press Menu. Use to select ***Self-timer*** and press Select.

3 Frame the shot and press Shoot/Start (when timer is setting) or

4 Press Save or Sha-mail to access Super Mail

Tip

- For details on Super Mail, refer to Vodafone live! Manual (☞P 19-7).
- Alternatively, press for 1+ seconds from Standby to activate Mobile Camera.
- If ***Time Unset. Set Clock*** appears, see “Setting Clock” (☞P 15-26).

Data Folder

Data Folder Contents

Save created or downloaded data in Data Folder. Data Folder is shared with Java™ Library. Save up to about 7 Mbytes or 2000 items. Data Folder is organized in three layers with six default folders and one default sub folder.

First Layer	Second Layer: Folders	Third Layer: Sub Folders
Data Folder	Images	Digital Camera
		(User Defined Folder)
	Melodies	(User Defined Folder)
	Animations	(User Defined Folder)
	Movies	(User Defined Folder)
	Memo	(User Defined Folder)
	Others	(User Defined Folder)
	(User Defined Folder)	(User Defined Folder)

Files are sorted and saved folders by file format as shown below:

Folder	File Format (“extension”)		Use Saved Files To:
Images	PNG “.png, .pnz”		Edit, Create Animation, Attach to Mail, Exchange via IrDA and Set: Wallpaper, Standby Display, Sub LCD Wallpaper, Sub LCD Standby and Set as Personal Images
	JPEG “.jpg, .jpeg, .jpe, .jpz”		Edit, Create Animation, Attach to Mail, Exchange via IrDA and Set: Wallpaper, Standby Display, Sub LCD Wallpaper, Sub LCD Standby and Set as Personal Images
Digital Camera	JPEG (DCF) “.jpg”		Exchange via IrDA and Save Thumbnail
Melodies	SMD “.smd, .smz, .smx”		Edit, Attach to Mail, Set as Ring Tones and Sound Effects
	SMAF “.mmf”		Attach to Mail, Set as Ring Tones and Sound Effects
	Original Melody “.nom”		Edit, Attach to Mail, Set as Ring Tones and Sound Effects
Animations	Motion Animation (extension is not displayed)		Edit, Attach to Mail, Set: Wallpaper, Sub LCD Wallpaper and Set as Personal Images
	MNG “.mng”		Attach to Mail, Exchange via IrDA, and Set: Wallpaper, Sub LCD Wallpaper and Set as Personal Images
Movies	Nancy “.noa”		Attach to Mail and Exchange via IrDA
	MPEG-4 “.3gp”		Edit Telop, Attach to Mail and Exchange via IrDA
	Action View “.acv”		Playback on the V601N handset (transfer from J-N51)
Memo	TEXT “.txt”		Attach to Mail and Edit
	vSeries Files	vNote “.vnt”	Attach to Mail and Edit
	Multimedia Memo “.mmm”		Attach to Mail, Send Mail and Edit
Others	vSeries Files	vCard “.vcf”	Attach to Mail, Save to Phone Book or Exchange via IrDA
		vBookmark “.vbm, .url”	Attach to Mail or Save to Bookmark
		vMessage “.vmg”	Attach to Mail or Save to Mail Box
		vCalendar “.vcs”	Attach to Mail, Exchange via IrDA, Save to Schedule/Action Item
	EML(RFC822) “.eml”		Attach to Mail
	HTML “.htm, .html”		Attach to Mail or Save URL
	MML “.mml”		Attach to Mail or Save URL
	Unsupported File		Attach to Mail (cannot open file on V601N handset)

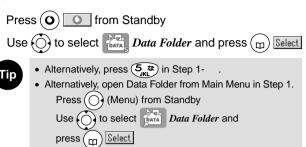
Opening Files

1 Open ***Data Folder***

① Press [Vodafone key] from Standby

② Use [navigation key] to select [DATA 5] ***Data Folder*** and press [key] Select

Tip

- Alternatively, press [5 JKL] in Step 1-②.
- Alternatively, open Data Folder from Main Menu in Step 1.
  ① Press [key] (Menu) from Standby
  ② Use [navigation key] to select [DATA] ***Data Folder*** and press [key] Select

2 Use [navigation key] to select a folder and press [key] Select

3 Use [navigation key] to select a file and press [key] Select

If ***Time Unset. Set Clock*** appears, see "Setting Clock" (☞P 15-26).

Attaching a File to Super Mail

① Press [key] Menu after Step 3 under Checking Files

② Use [navigation key] to select ***Attach to Mail*** and press [key] Select

Super Mail window appears with the file attached.

(Refer to Vodafone live! Manual P 19-7)

Function List

Key Sequence	Function	Description
◯ 0	Owner Profile	Display handset phone number. Owner Profile appears if information has been saved.
◯ 1 0	Ring Tones	Set ring tone pattern or melody.
◯ 1 1	Ringer Volume	Set ringer volume.
◯ 1 2	Vibration	Set vibration on or off.
◯ 1 3	Sound Effects	Set a keypad tone or power on/off tones.
◯ 1 5	Ring Time	Set Ringer Ring Time.
◯ 1 6	Create Melody	Create your own melody.
◯ 1 7	Media Pod	Play default melodies and sounds or images in Data Folder.
◯ 1 8	Illumination	Set Incoming Lamp color.
◯ 1 9	Delayed Ringer	Set Ringer off for one-ring calls.
◯ 2 0	Keypad Lock	Set Keypad Lock.
◯ 2 1	Auto Key Lock	Set or cancel Auto Key Lock.
◯ 2 2	Secret Mode	Set Secret Mode.
◯ 2 3	Side Key Lock	Set side keys to lock when handset is closed.
◯ 2 4	All Outgoing	Set restriction for outgoing calls.
◯ 2 5	Reject No ID Calls	Reject incoming calls without Caller ID.
◯ 2 6	Reset Settings	Reset settings to their defaults.
◯ 2 7	Clear Phone Book	Delete all Phone Book entries.
◯ 2 8	Change Code	Change Security Code.
◯ 2 9	Clear All	Reset all settings to their defaults and clear all saved information such as Phone Book entries.

Key Sequence	Function	Description
○ 3 1	Memory Status	Check Phone Book or Data Folder memory status.
○ 3 3	Power Saving	Set Power Saving on or off.
○ 3 4	Backlight	Set Main Display or keypad backlight.
○ 3 5	言語選択 (Language)	Switch display language to Japanese or English.
○ 3 6	Power On Settings	Set Power On settings.
○ 3 8	Weak Signal Alert	Set signal strength alert on or off.
○ 3 9	Memo	Create memos with or without attachments.
○ 4 0	Display Color	Set background and text color.
○ 4 1	Close to End	Set handset to disconnect when you close handset.
○ 4 2	Dial Assist	Save frequently used phone numbers.
○ 4 3	Manner Mode	Set ringer volume, alarm volume, vibration and Message Recorder for Manner Mode.
○ 4 4	Standby Settings	Set Standby Display image.
○ 4 5	User Dictionary	Save frequently used words for Kanji conversion.
○ 4 6	Font	Change display font and style of font.
○ 4 7	Sub LCD	Configure Image Window settings.
○ 4 8	Text Entry Settings	Set Text Entry Mode and Word Prediction On/Off.
○ 4 9	Wallpaper Settings	Set Wallpaper for Standby Display.
○ 5 1	Auto Power On	Set a time for handset to automatically power on.
○ 5 2	Auto Power Off	Set a time for handset to automatically power off.
○ 5 3	Schedule	Save or delete Schedule events or anniversaries.
○ 5 4	Action Item	Save or delete Schedule events with deadlines.

Key Sequence	Function	Description
◯ 5 7	Alarm Clock	Set Alarm Clock.
◯ 5 9	Clock	Set date and time for Clock.
◯ 6 0	Call Time & Charge	Display or reset total call time and charges or last call time and charge.
◯ 7 0	Ring Time[1]	Set duration of Ring Time before a call is forwarded to Voice Mail Center or the set Forwarding Number.
◯ 7 1	Call Forwarding Ringer[2]	Activate Call Forwarding Service.
◯ 7 2	Voice Mail Ringer[2]	Activate Voice Mail Service.
◯ 7 3	Cancel Services	Stop Call Forwarding/Voice Mail Service.
◯ 7 4	Check Services	Check Call Forwarding/Voice Mail Service status.
◯ 7 5	Call Waiting[3]	Activate or stop Call Waiting Service.
◯ 7 6	Check Call Waiting[3]	Check Call Waiting Service status.
◯ 7 7	Access Voice Mail	Check messages held at Voice Mail Center.
◯ 7 8	Forwarding Number	Save a Call Forwarding number.
◯ 9 0	Message Recorder Settings	Set Message Recorder on or off and Ring Time.
◯ 9 1	Message Recorder Playback	Play or delete recorded messages on the handset.
◯ 9 2	Voice Memo	Play or delete Voice Memos/record, play or delete My Voice Memo.
◯ 9 3	Unchecked	Set Unchecked Lamp on or off.
◯ 9 4	Off-Line Mode	Set send/receive signals on or off.
◯ 9 5	Library	Save frequently used expressions.
◯ 9 7	Personal Images	Set illustration.
◯ 9 8	IrDA Exchange	Send data such as Phone Book file via Infrared Port.

1 Unavailable in Tohoku/Niigata, Chugoku and Shikoku Service Areas.

2 Cannot set Call Forwarding Ringer and Voice Mail Ringer to Off in Hokkaido, Tohoku/Niigata, Hokuriku, Chugoku, Shikoku and Kyushu/Okinawa Service Areas.

3 Unavailable in Hokkaido, Tohoku/Niigata, Hokuriku, Chugoku, Shikoku and Kyushu/Okinawa Service Areas.

Specifications

The ratings and specifications are subject to change without prior notice.

V601N

Weight	Approx. 119g
Continuous Call Time	Approx. 125 minutes
Continuous Standby Time	Approx. 450 hours (with the handset closed and Image Window backlight off)
Continuous TV Viewing Time	Approx. 60 minutes
Dimensions (W x H x D)	Approx. 48 x 95 x 24 mm (with the handset closed; excluding antenna)
Maximum Output	0.8 W

- The above figures were calculated with the battery installed.
- Continuous Standby Time was measured under the following conditions: In standby status, with fully-charged new battery installed, handset closed, no incoming/outgoing calls, no handset operations and with normal signal reception.
  Continuous Call Time was measured under the following conditions: In Standby status and with normal signal reception.
  Call Time and Standby Time decrease with handset operation.
- Continuous TV Viewing Time is the average time it takes the battery level to decrease to ▮ (remaining strength approximately 10%) and TV automatically turns off. This value was measured under the following conditions: Display Brightness set to the highest level and Earphone Microphone with TV Antenna attached.
- The number of service hours of the battery is the value calculated with stable signal reception. Talking in places with weak signals or leaving the handset in standby while out-of-range consumes much battery power and service hours may be reduced by more than half.
- Frequent use with backlight on (for Vodafone live! operation, etc.) will result in shorter Continuous Call Time and Continuous Standby Time.
- Setting moving images for Wallpaper may result in much shorter Continuous Call Time and Continuous Standby Time.
- Running Java™ Applications may result in shorter Continuous Call Time and Continuous Standby Time.
- Station may consume more battery than usual as Station receives information automatically.

Battery

Voltage	3.7 V
Type	Lithium-ion Battery
Capacity	680 mAh
Dimensions (W x H x D)	Approx. 51 x 5 x 36 mm

Rapid Charger

Input Voltage	AC100V, 50/60 Hz
Rated Input Capacitance	11 VA
Output Voltage/ Output Current	DC 5.6 V / 600 mA
Operating Temperature	5°C to 35°C
Dimensions (W x H x D)	Approx. 48 x 16 x 45 mm (excluding cord)

Desktop Holder

Input Voltage/Input Current	DC 5.6 V / 600 mA (with Rapid Charger connected)
Output Voltage/ Output Current	DC 5.6 V / 600 mA (with Rapid Charger connected)
Dimensions (W x H x D)	Approx. 58 x 35 x 116mm

Customer Service

If you have any questions about a Vodafone handset or service, please call General Information. For service or repairs, please call Customer Assistance.

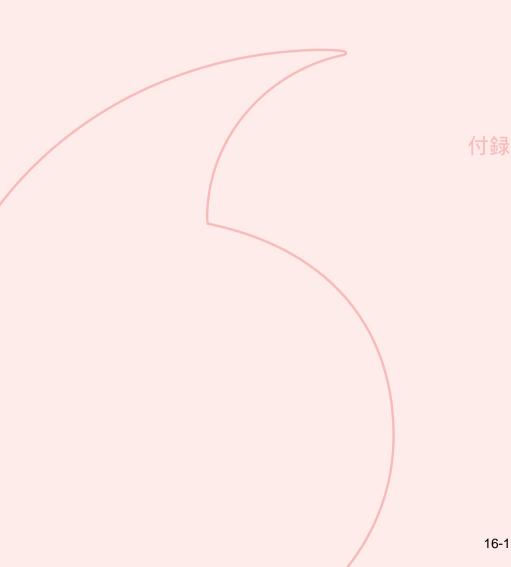
Vodafone Customer Centers

From a Vodafone handset, dial toll free at 157 for General Information or toll free at 113 for Customer Assistance

Call These Numbers Toll Free from Fixed Line Phones:

Subscription Areas

Area	Service	Number
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	0088-240-157
	Customer Assistance	0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	0088-241-157
	Customer Assistance	0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	0088-242-157
	Customer Assistance	0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane	General Information	0088-259-157
	Customer Assistance	0088-259-113
Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi	General Information	0088-247-157
	Customer Assistance	0088-247-113
Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	0088-250-157
	Customer Assistance	0088-250-113

付録

機能メニュー一覧

ボタン操作	機能名	機能説明	参照ページ
◎ 0	オーナー情報	お使いのV601Nの電話番号やご自分の情報を登録／表示	2-22 10-80
◎ 1 0	着信音パターン選択	着信音のパターンまたはメロディを設定	8-5
◎ 1 1	着信音量設定	着信音の音量を設定	8-3
◎ 1 2	バイブレータ設定	着信時のバイブレータのON／OFF	8-9
◎ 1 3	効果音設定	ボタン操作や電源のON／OFFをしたときの音のパターンを設定	8-11
◎ 1 5	着信時間設定	メッセージを受信したときなどの着信時間の設定	8-8
◎ 1 6	メロディ作成	オリジナルのメロディを作成	10-66
◎ 1 7	メディアポッド	内蔵メロディとデータフォルダ内のサウンドや画像の再生	12-2 12-5
◎ 1 8	着信イルミネーション設定	着信ランプの色を設定	8-16
◎ 1 9	ワン切り設定	ワンコールで切れる電話の着信音を鳴らさないように設定	8-18
◎ 2 0	ダイヤルロック	ダイヤルロックの設定	9-3
◎ 2 1	オートロック	オートロックの設定／解除	9-5
◎ 2 2	シークレットモード	シークレットモードの設定	4-13 9-2
◎ 2 3	サイドボタン設定	折り畳み時の誤操作防止を設定	9-17
◎ 2 4	発信禁止	電話をかける（発信）動作禁止の設定／解除	9-6
◎ 2 5	非通知着信拒否設定	電話番号非通知の着信に対する拒否／許可を設定	9-7
◎ 2 6	設定リセット	設定内容を初期状態に戻す	9-9
◎ 2 7	メモリオールクリア	登録したメモリダイヤルのすべてを消去	9-8
◎ 2 8	暗証番号変更	操作用暗証番号の変更	9-16
◎ 2 9	オールリセット	設定や登録内容をお買い上げ時の初期状態に戻す	9-10

ボタン操作	機能名	機能説明	参照ページ
○ 3 1	メモリ確認	メモリダイヤルやデータフォルダなどの使用状況を表示	13-28
○ 3 3	バッテリーセーブ	バッテリーセーブの ON ／ OFF	13-27
○ 3 4	照明設定	ディスプレイ照明や微灯照明の時間、ボタン照明の設定	7-13
○ 3 5	Language	ディスプレイの文字を日本語／英語に設定	7-31
○ 3 6	ウェイクアップ設定	ウェイクアップ画面の設定	7-11
○ 3 8	通話品質アラーム	電波の状態が悪くなったときに鳴らすアラーム音の ON ／ OFF	13-8
○ 3 9	メモ作成	簡単なメモやファイルを添付したメモの作成	10-52
○ 4 0	画面配色設定	画面の背景色と文字色を設定	7-2
○ 4 1	クローズ終話	V601N を折り畳んだときの動作を設定	13-9
○ 4 2	アシスト登録	特によく使用する電話番号を登録	10-85
○ 4 3	マナーモード設定	マナーモード時の着信音量、アラーム音量、バイブレータ、簡易留守録の設定	8-13
○ 4 4	待ち受け表示設定	待受画面の表示内容の設定	7-3
○ 4 5	ユーザ辞書登録	漢字変換時によく使用する単語の登録	10-89
○ 4 6	フォント切替	画面に表示される文字のフォント（書体）と太さの切り替え	7-29
○ 4 7	背面 LCD	イメージウィンドウの各種設定	7-16
○ 4 8	文字入力方式	優先して使用する文字入力方式やワード予測機能の ON ／ OFF	3-3
○ 4 9	壁紙設定	待受中の壁紙を設定	7-6
○ 5 1	自動電源 ON	自動的に電源 ON する時刻を設定	13-20
○ 5 2	自動電源 OFF	自動的に電源OFF する時刻を設定	13-24
○ 5 3	スケジュール	スケジュールや記念日などの登録／消去	10-2
○ 5 4	アクションアイテム	期限の決まった予定の登録／消去	10-27

ボタン操作	機能名	機能説明	参照ページ
◎ 5 7	めざまし	めざましアラームの設定	10-42
◎ 5 9	日付時刻設定	時計の日付・時刻の設定	2-4
◎ 6 0	通話時間／料金表示	直前にかけた電話と累積の通話時間・通話料金の表示／リセット	2-20
◎ 7 0	呼出時間設定※ 1	転送／留守番電話サービス利用時にV601N を何秒呼び出すかの設定	14-10
◎ 7 1	転送呼出※ 2	転送電話サービスの開始	14-5
◎ 7 2	留守番呼出※ 2	留守番電話サービスの開始	14-7
◎ 7 3	秘書サービス停止	転送／留守番電話サービスの停止	14-12
◎ 7 4	秘書サービス確認	転送／留守番電話サービスの設定状況の確認	14-13
◎ 7 5	割り込み設定※ 3	割込通話サービスの開始／停止	14-16
◎ 7 6	割り込み確認※ 3	割込通話サービスの設定状況の確認	14-17
◎ 7 7	留守番センター接続	留守番電話センターに預けられたメッセージの確認	14-8
◎ 7 8	転送先番号登録	転送先電話番号の登録	14-3
◎ 9 0	簡易留守録設定	V601Nの留守録機能のON／OFFおよび移行時間の設定	13-2
◎ 9 1	簡易留守録再生	V601N に録音されたメッセージの再生／消去	13-5
◎ 9 2	メモ選択	音声メモの再生／消去・マイボイスメモの録音／再生／消去	13-13 13-14
◎ 9 3	未確認通知	未確認通知ランプの ON ／ OFF	8-17
◎ 9 4	オフラインモード	電波の送受信をする／しないを設定	9-18
◎ 9 5	ライブラリ	よく使用するメッセージの登録	10-93
◎ 9 7	マイキャラクター	イラスト表示の設定	7-9
◎ 9 8	赤外線全件転送	赤外線でのメモリダイヤルなどのデータの全件転送	11-53

※ 1：東北・新潟／中国／四国の各地域ではこの機能を現在ご利用いただけません。

※ 2：北海道／東北・新潟／北陸／中国／四国／九州・沖縄の各地域では転送呼出・留守番呼出「なし」を現在ご利用いただけません。

※ 3：北海道／東北・新潟／北陸／中国／四国／九州・沖縄の各地域ではこの機能を現在ご利用いただけません。

メロディ作成／編集で設定できる音色一覧

メロディの音色（☞P10-70）は次の16ジャンル128種類の中から選択することができます。

ジャンル	音色名	ジャンル	音色名	ジャンル	音色名	ジャンル	音色名
ピアノ	ﾋﾟｱﾉ ﾌﾞﾗｲﾄﾋﾟｱﾉ ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟｱﾉ ﾎﾝｷｰﾄﾝｸﾋﾟｱﾉ ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾋﾟｱﾉ１ ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾋﾟｱﾉ２ ﾊｰﾌﾟｼｺｰﾄﾞ ｸﾗﾋﾞ	ベース	ｱｺｰｽﾃｨｯｸﾍﾞｰｽ ﾌｨﾝｶﾞｰﾍﾞｰｽ ﾋﾟｯｸﾍﾞｰｽ ﾌﾚｯﾄﾚｽﾍﾞｰｽ ｽﾗｯﾌﾟﾍﾞｰｽ１ ｽﾗｯﾌﾟﾍﾞｰｽ２ ｼﾝｾﾍﾞｰｽ１ ｼﾝｾﾍﾞｰｽ２	リード	ｿﾌﾟﾗﾉｻｯｸｽ ｱﾙﾄｻｯｸｽ ﾃﾅｰｻｯｸｽ ﾊﾞﾘﾄﾝｻｯｸｽ ｵｰﾎﾞｴ ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭﾎﾙﾝ ﾊﾞｽｰﾝ ｸﾗﾘﾈｯﾄ	シンセエフェクト	雨音 ｻｳﾝﾄﾞﾄﾗｯｸ ｸﾘｽﾀﾙ ｱﾄﾓｽﾌｨｱ ﾌﾞﾗｲﾄﾈｽ ｺﾞﾌﾞﾘﾝ ｴｺｰ ＳＦ
鉄琴	ﾁｪﾚｽﾀ ｸﾞﾛｯｹﾝ ｵﾙｺﾞｰﾙ ﾋﾞﾌﾞﾗﾌｫﾝ ﾏﾘﾝﾊﾞ ｼﾛﾌｫﾝ ﾁｭｰﾌﾞﾗｰﾍﾞﾙ ﾀﾞﾙｼﾏｰ	弦楽器	ﾊﾞｲｵﾘﾝ ﾋﾞｵﾗ ﾁｪﾛ ｺﾝﾄﾗﾊﾞｽ ﾄﾚﾓﾛｽﾄﾘﾝｸﾞｽ ﾋﾟﾁｶｰﾄｽﾄﾘﾝｸﾞｽ ﾊｰﾌﾟ ﾃｨﾝﾊﾟﾆｰ	笛	ﾋﾟｯｺﾛ ﾌﾙｰﾄ ﾘｺｰﾀﾞｰ ﾊﾟﾝﾌﾙｰﾄ ﾎﾞﾄﾙﾌﾞﾛｳ 尺八 ﾎｲｯｽﾙ ｵｶﾘﾅ	エスニック	ｼﾀｰﾙ ﾊﾞﾝｼﾞｮｰ 三味線 琴 ｶﾘﾝﾊﾞ ﾊﾞｸﾞﾊﾟｲﾌﾟ ﾌｨﾄﾞﾙ ｼｬﾅｲ
オルガン	ﾄﾞﾛｰﾊﾞｰｵﾙｶﾞﾝ Ｐｅｒｃｵﾙｶﾞﾝ ﾛｯｸｵﾙｶﾞﾝ ﾁｬｰﾁｵﾙｶﾞﾝ ﾘｰﾄﾞｵﾙｶﾞﾝ ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝ ﾊｰﾓﾆｶ ﾀﾝｺﾞｱｺｰﾃﾞｨｵﾝ	ストリングス	ｽﾄﾘﾝｸﾞｽ１ ｽﾄﾘﾝｸﾞｽ２ ｼﾝｾｽﾄﾘﾝｸﾞｽ１ ｼﾝｾｽﾄﾘﾝｸﾞｽ２ ﾎﾞｲｽ(ｱｰ) ﾎﾞｲｽ(ｳｰ) ｼﾝｾﾎﾞｲｽ ｵｰｹｽﾄﾗﾋｯﾄ	シンセリード	矩形波ﾘｰﾄﾞ 鋸波ﾘｰﾄﾞ ｶﾘｵｰﾌﾟﾘｰﾄﾞ Ｃｈｉｆｆﾘｰﾄﾞ Ｃｈａｒａｎｇﾘｰﾄﾞ ﾎﾞｲｽﾘｰﾄﾞ ５度ﾘｰﾄﾞ ﾍﾞｰｽ＆ﾘｰﾄﾞ	パーカッション	ﾍﾞﾙ ｱｺﾞｺﾞ ｽﾃｨｰﾙﾄﾞﾗﾑ ｳｯﾄﾞﾌﾞﾛｯｸ 和太鼓 ﾒﾛﾃﾞｨｯｸﾀﾑ ｼﾝｾﾄﾞﾗﾑ ﾘﾊﾞｰｽｼﾝﾊﾞﾙ
ギター	ﾅｲﾛﾝｷﾞﾀｰ ｽﾃｨｰﾙｷﾞﾀｰ ｼﾞｬｽﾞｷﾞﾀｰ ｸﾘｰﾝｷﾞﾀｰ ﾐｭｰﾄｷﾞﾀｰ ｵｰﾊﾞﾄﾞﾗｲﾌﾞｷﾞﾀｰ ﾃﾞｨｽﾄｰｼｮﾝｷﾞﾀｰ ｷﾞﾀｰﾊｰﾓﾆｸｽ	ブラス	ﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ ﾄﾛﾝﾎﾞｰﾝ ﾁｭｰﾊﾞ ﾐｭｰﾄﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ ﾌﾚﾝﾁﾎﾙﾝ ﾌﾞﾗｽｾｸｼｮﾝ ｼﾝｾﾌﾞﾗｽ１ ｼﾝｾﾌﾞﾗｽ２	シンセパッド	ﾆｭｰｴｲｼﾞﾊﾟｯﾄﾞ ｳｫｰﾑﾊﾟｯﾄﾞ ﾎﾟﾘｼﾝｾﾊﾟｯﾄﾞ ｸﾜｲｱﾊﾟｯﾄﾞ ﾎﾞｰﾄﾞﾊﾟｯﾄﾞ ﾒﾀﾘｯｸﾊﾟｯﾄﾞ ﾊﾛｰﾊﾟｯﾄﾞ ｽｳｨｰﾌﾟﾊﾟｯﾄﾞ	効果音	ｷﾞﾀｰﾌﾚｯﾄﾉｲｽﾞ ﾌﾞﾚｽﾉｲｽﾞ 波の音 鳥のさえずり 電話のﾍﾞﾙ ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰ 拍手 銃声

故障かな？ と思ったら

症状	確認すること	処　置
電源が入らない	(PWR HLD)を1秒以上押していますか？	(PWR HLD)を1秒以上押してください。
	電池切れになっていませんか？	電池パックを予備の電池パックに交換するか充電してください（☞P1-21～1-26）。
ボタン操作ができない	ダイヤルロックが設定されていませんか？（ が表示）	ダイヤルロックを解除してください（☞P9-3）。
	キー操作無効が設定されていませんか？（ が表示）	キー操作無効を解除してください（☞P9-4）。
ダイヤルしても話中音（プープー…）が出る	「圏外」が表示されていませんか？	電波の届く場所に移動してかけ直してください。
	市外局番など0からはじまる相手の電話番号をダイヤルしていますか？	市外局番など0からはじまる相手の電話番号をダイヤルしてください。
「圏外」が表示され、電話がかけられない	アンテナを伸ばしていますか？	アンテナを十分伸ばしてください。
	サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？	電波の届く場所に移動してかけ直してください。
ダイヤルを押しても電話がかけられない	ダイヤルロックが設定されていませんか？（ が表示）	ダイヤルロックを解除してください（☞P9-3）。
	キー操作無効が設定されていませんか？（ が表示）	キー操作無効を解除してください（☞P9-4）。
	発信禁止が設定されていませんか？	発信禁止を解除してください（☞P9-6）。
	オフラインモードが設定されていませんか？（ が表示）	オフラインモードを解除してください（☞P9-18）。
メモリダイヤルが呼び出せない	呼び出したいメモリダイヤルがシークレットメモリに登録されていませんか？	シークレットモードを設定してください（☞P4-13、9-2）。
表示されないスケジュールやアクションアイテムがある	スケジュールやアクションアイテムにシークレットが設定されていませんか？	
通話が途切れたり切れたりする	電波の届きにくい場所にいませんか？	電波の届く場所に移動してかけ直してください。
	電池切れになっていませんか？	電池パックを予備の電池パックに交換するか充電してください（☞P1-21～1-26）。
サイドボタンを押しても不在着信通知が確認できない	サイドボタン操作禁止が設定されていませんか？（SIDE が表示）	サイドボタン操作禁止を解除してください（☞P9-17）。
	キー操作無効が設定されていませんか？（ が表示）	キー操作無効を解除してください（☞P9-4）。

●上記の処置をしても直らない場合は、お買い上げいただいた取扱店、最寄りのボーダフォンショップ、またはお問い合わせ先（☞P16-8）にご相談ください。

保証書とアフターサービスについて

保証書

V601N 本体をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いています。

① お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
② 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
③ 保証期間は、保証書に記載しております。

> **保証上の注意**
> 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

アフターサービス

修理をご依頼になる前に、「故障かな？ と思ったら」に記載されている項目をもう一度ご確認ください。該当する症状がないときや、異常が解決できないときは、お買い上げいただいた取扱店、最寄りのボーダフォンショップ、またはお問い合わせ先（☞P16-8）にご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

① 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
② 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

その他アフターサービスの詳細は、お買い上げいただいた取扱店、最寄りのボーダフォンショップ、またはお問い合わせ先（☞P16-8）までご連絡ください。

なお、補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、生産打ち切り後 6 年です。

> **修理の際の注意**
> 故障または修理により、お客様が登録・設定した内容が消失・変化する場合がありますので、大切なメモリダイヤルなどは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に V601N に登録したデータ（メモリダイヤル・画像・サウンドなど）や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ボーダフォンお客さまセンター

総合案内　ボーダフォン携帯電話から 157（無料）
紛失・故障受付　ボーダフォン携帯電話から 113（無料）

一般電話からおかけの場合

ご契約地域

ご契約地域		
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県	総合案内	0088-259-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-259-113（無料）
徳島県・香川県・愛媛県・高知県	総合案内	0088-247-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-247-113（無料）
福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

索引

[Vodafone live!]はVodafone live!編の参照を意味します。

英数字

あ

か

さ

た

な

は

主な仕様

定格および仕様は予告なく変更することがあります。

V601N

質量	約119g
連続通話時間	約125分
連続待受時間	約450時間 （折り畳み時かつイメージウィンドウの表示OFF時）
TVの連続視聴時間	約60分
サイズ（W×H×D）	約48×95×24mm（折り畳み時、アンテナ部分含まず）
最大出力	0.8W

※ 上記は、電池パック装着時の数値です。
※ 連続待受時間とは、「充電を満たした新品の電池パックを装着し、V601Nを折り畳んだ状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態により算出した計算値」、また連続通話時間とは、「静止状態で連続して通話状態を保った場合の計算値」です。実際に使う場合は、通話と待ち受けの組み合わせとなるため、通話時間も待受時間も短くなります。
※ TVの連続視聴時間は、「ディスプレイの照明をもっとも明るく設定し、付属のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを使用したとき、電池残量が▮になって自動的にTVがOFFになるまで」の時間の計算値です。
※ 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や「圏外」表示での待ち受けは電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
※ ディスプレイの照明がついている状態でのご利用（ボーダフォンライブ！の操作など）が多い場合、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
※ 壁紙などに動きのある画面を設定した場合、連続通話時間および連続待受時間が著しく短くなることがあります。
※ Java™アプリを起動させた状態では、通話時間および待受時間が短くなる場合があります。
※ ステーションは、情報を自動的に受信するというサービスの特性上、通常よりも電池を消耗することがあります。

電池パック

電圧	3.7V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	680mAh
サイズ（W×H×D）	約51×5×36mm

急速充電器

入力電圧	AC100V、50／60Hz
定格入力容量	11VA
出力電圧／出力電流	DC5.6V／600mA
使用温度	5℃～35℃
サイズ（W×H×D）	約48×16×45mm （電源プラグ収納時、電源コード部分含まず）

卓上ホルダー

入力電圧／入力電流	DC5.6V／600mA（急速充電器接続時）
出力電圧／出力電流	DC5.6V／600mA（急速充電器接続時）
サイズ（W×H×D）	約58×35×116mm